

---

沼田市  
人権に関する市民意識調査報告書

---

令和4年2月  
沼田市



## 目 次

I. 調査の概要 .....	1
1. 目的 .....	3
2. 調査期間 .....	3
3. 調査対象者 .....	3
4. 発送数及び回収数 .....	3
5. 報告書の見方 .....	3
II. アンケート調査結果.....	5
ご自身について .....	7
1 基本的人権について .....	8
2 女性の人権について .....	35
3 子どもの人権について.....	41
4 高齢者の人権について.....	47
5 障がい者の人権について.....	53
6 同和問題について .....	59
7 外国人の人権について.....	67
8 感染症患者等の人権について.....	73
9 犯罪被害者等の人権について.....	79
10 刑を終えて出所した人の人権について.....	85
11 インターネットを介した人権侵害について.....	97
12 性的少数者（LGBTQ 等）の人権について .....	103
13 市の取り組みに関すること.....	113
III. アンケート調査結果（記述編） .....	124



---

---

## I. 調査の概要

---

---



## 1. 目的

本調査は、市民の人権に関する意識、実態等を把握・分析し、「沼田市人権教育・啓発に関する基本計画」を策定するうえでの基礎資料として活用するために実施しました。

## 2. 調査期間

令和3年12月27日（月）～ 令和4年1月20日（木）

## 3. 調査対象者

市民調査に関しては、沼田市内に在住の18歳以上の方を対象に2,000人を無作為に抽出し、調査票を郵送しました。（抽出日 令和3年12月24日）

## 4. 発送数及び回収数

	発送数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
市民調査	2,000件	1,000件	50.0%	998件	49.9%

## 5. 報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- ・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は、「非該当」として扱います。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（%）で示しているため、非該当者数は構成比に含まれません。
- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第二位を四捨五入し算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率（%）で示しているため、合計値が100%にならない場合があります。
- ・本報告書では、回答合計の表記を単一回答（○は1つだけ）は「合計」、複数回答（○は3つまで）又は（○はいくつでも）は「回答者数」としています。非該当処理が含まれる設問は「回答者数」と表記しています。
- ・横棒グラフ（積み上げ）の構成比が3%未満の場合、数値は表記していません。





---

---

## Ⅱ. アンケート調査結果

---

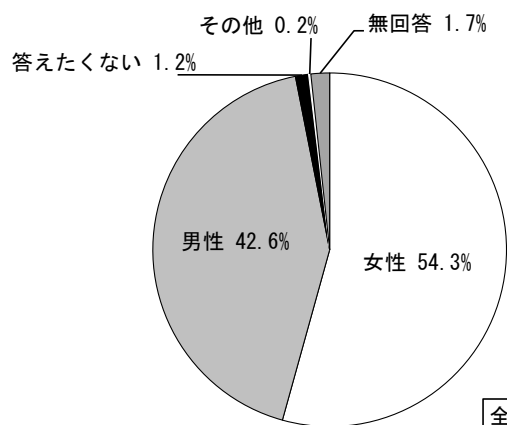
---



## ご自身について

### 性別について

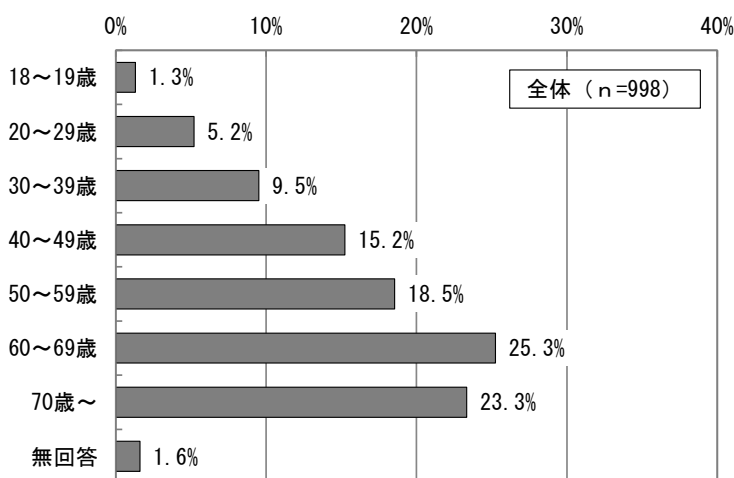
性別については、「女性」が 54.3%、「男性」が 42.6%となっています。



項目	度数	構成比
女性	542	54.3%
男性	425	42.6%
答えたくない	12	1.2%
その他	2	0.2%
無回答	17	1.7%
合計	998	100.0%

### 年齢について

年齢については、「60～69歳」が 25.3%と最も多く、次いで「70歳～」が 23.3%、「50～59歳」が 18.5%となっています。

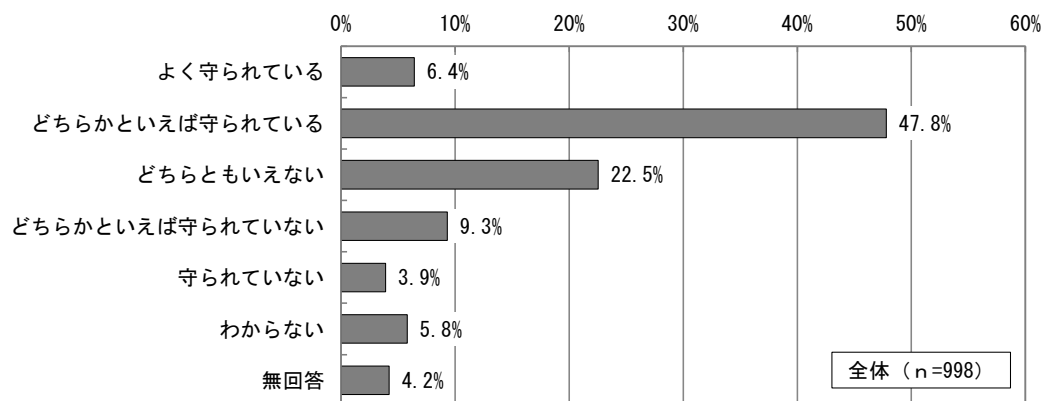


項目	度数	構成比
18～19歳	13	1.3%
20～29歳	52	5.2%
30～39歳	95	9.5%
40～49歳	152	15.2%
50～59歳	185	18.5%
60～69歳	252	25.3%
70歳～	233	23.3%
無回答	16	1.6%
合計	998	100.0%

## 1 基本的人権について

**問1 基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されています。日本の現実をみて、基本的人権が守られていると思いますか。(○は1つだけ)**

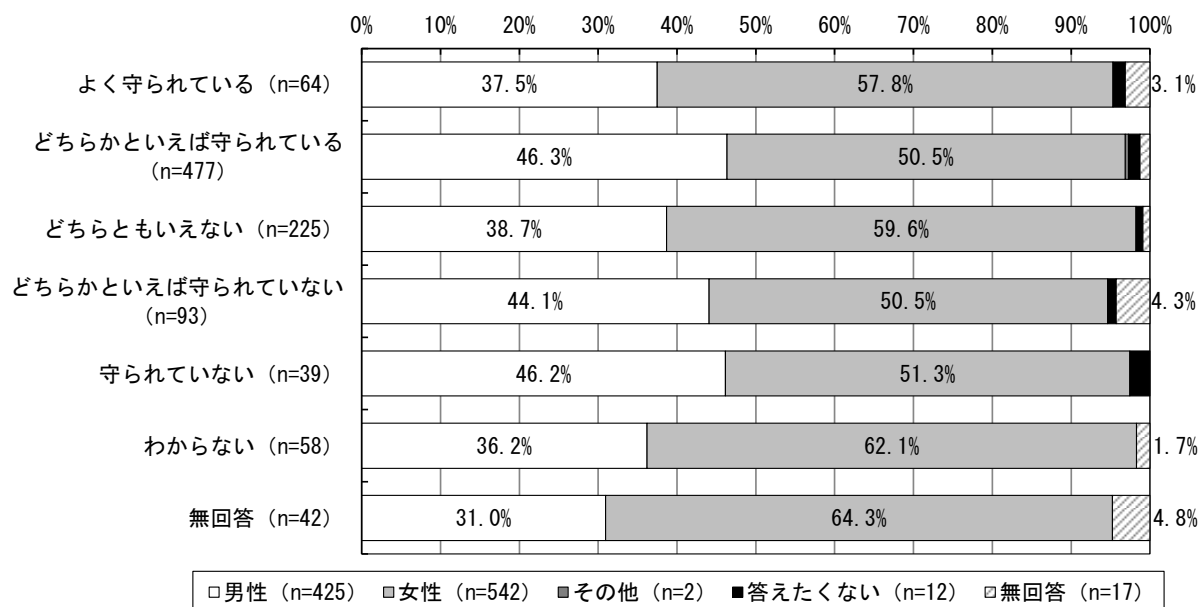
基本的人権が守られていると思うかについては、「どちらかといえば守られている」が47.8%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が22.5%、「どちらかといえば守られていない」が9.3%となっています。



項目	度数	構成比
よく守られている	64	6.4%
どちらかといえば守られている	477	47.8%
どちらともいえない	225	22.5%
どちらかといえば守られていない	93	9.3%
守られていない	39	3.9%
わからない	58	5.8%
無回答	42	4.2%
合計	998	100.0%

**問1 性別クロス**

基本的人権が守られていると思うかについて性別でみると、最も回答の多かった「どちらかといえば守られている」を選んだ477人のうち、「男性」が46.3%、「女性」が50.5%となっています。

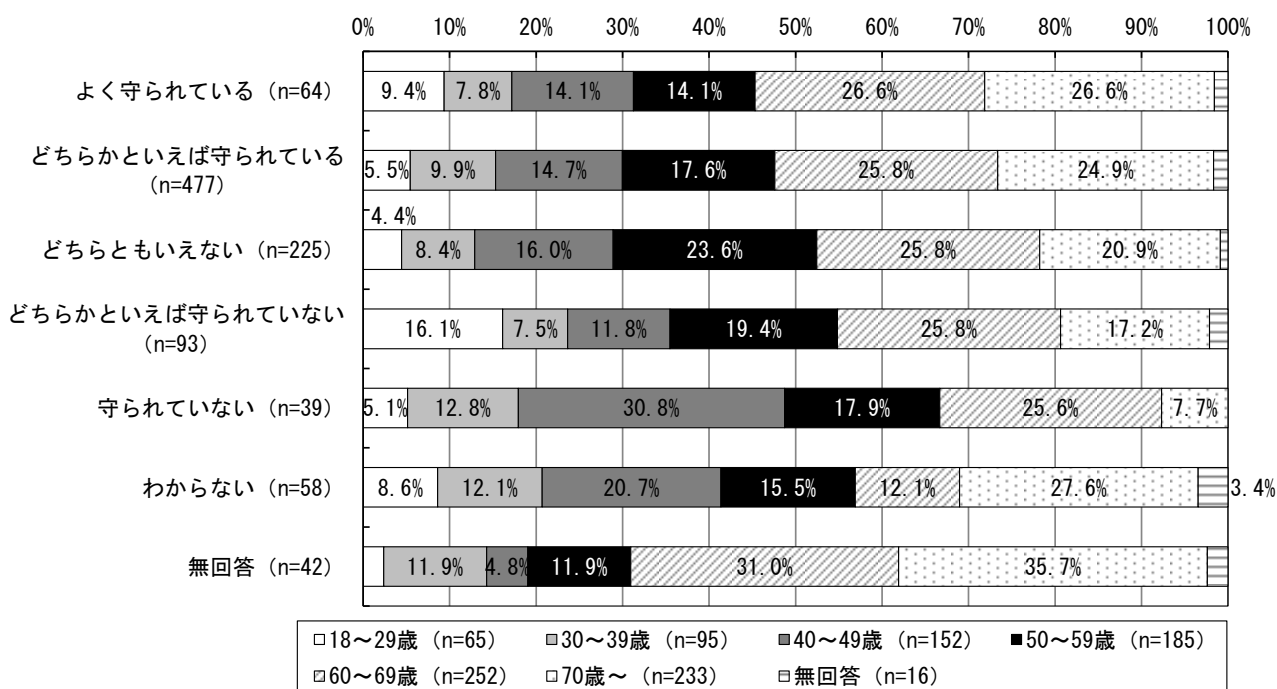


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(構成比)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
よく守られている	64	24	37	0	1	2	よく守られている	6%	37.5%	57.8%	0.0%	1.6%	3.1%
どちらかといえば守られている	477	221	241	2	7	6	どちらかといえば守られている	48%	46.3%	50.5%	0.4%	1.5%	1.3%
どちらともいえない	225	87	134	0	2	2	どちらともいえない	23%	38.7%	59.6%	0.0%	0.9%	0.9%
どちらかといえば守られていない	93	41	47	0	1	4	どちらかといえば守られていない	9%	44.1%	50.5%	0.0%	1.1%	4.3%
守られていない	39	18	20	0	1	0	守られていない	4%	46.2%	51.3%	0.0%	2.6%	0.0%
わからない	58	21	36	0	0	1	わからない	6%	36.2%	62.1%	0.0%	0.0%	1.7%
無回答	42	13	27	0	0	2	無回答	4%	31.0%	64.3%	0.0%	0.0%	4.8%
合計	998	425	542	2	12	17	合計						

○市民意識調査結果

**問1 年代別クロス**

基本的人権が守られていると思うかについて年代別でみると、最も回答の多かった「どちらかといえば守られている」を選んだ477人のうち、「60～69歳」が25.8%と最も多く、次いで「70歳～」が24.9%、「50～59歳」が17.6%となっています。

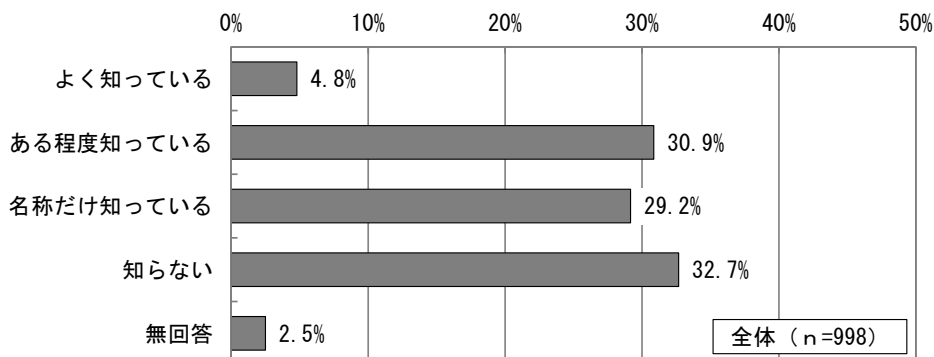


項目(度数)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	項目(構成比)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
よく守られている	64	6	5	9	9	17	17	1	よく守られている	6.4%	9.4%	7.8%	14.1%	14.1%	26.6%	26.6%	1.6%
どちらかといえば守られている	477	26	47	70	84	123	119	8	どちらかといえば守られている	47.8%	5.5%	9.9%	14.7%	17.6%	25.8%	24.9%	1.7%
どちらともいえない	225	10	19	36	53	58	47	2	どちらともいえない	22.5%	4.4%	8.4%	16.0%	23.6%	25.8%	20.9%	0.9%
どちらかといえば守られていない	93	15	7	11	18	24	16	2	どちらかといえば守られていない	9.3%	16.1%	7.5%	11.8%	19.4%	25.8%	17.2%	2.2%
守られていない	39	2	5	12	7	10	3	0	守られていない	3.9%	5.1%	12.8%	30.8%	17.9%	25.6%	7.7%	0.0%
わからない	58	5	7	12	9	7	16	2	わからない	5.8%	8.6%	12.1%	20.7%	15.5%	12.1%	27.6%	3.4%
無回答	42	1	5	2	5	13	15	1	無回答	4.2%	2.4%	11.9%	4.8%	11.9%	31.0%	35.7%	2.4%
合計	998	65	95	152	185	252	233	16	合計								

**問2 人権に関する法律を知っていますか。(○はそれぞれ1つ)**

**① 障害者差別解消法「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」**

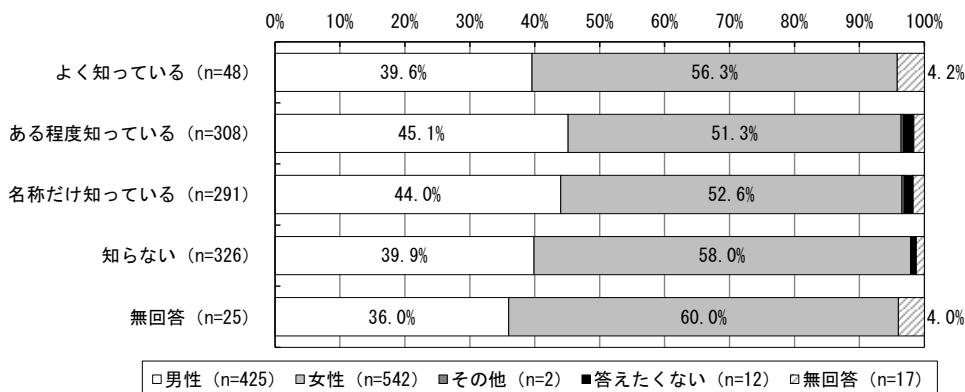
障害者差別解消法「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」については、「知らない」が32.7%と最も多く、次いで「ある程度知っている」が30.9%、「名称だけ知っている」が29.2%となっています。



項目	度数	構成比
よく知っている	48	4.8%
ある程度知っている	308	30.9%
名称だけ知っている	291	29.2%
知らない	326	32.7%
無回答	25	2.5%
合計	998	100.0%

**問2-① 性別クロス**

障害者差別解消法「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」について性別で見ると、最も回答の多かった「知らない」を選んだ326人のうち、「男性」が39.9%、「女性」が58.0%となっています。

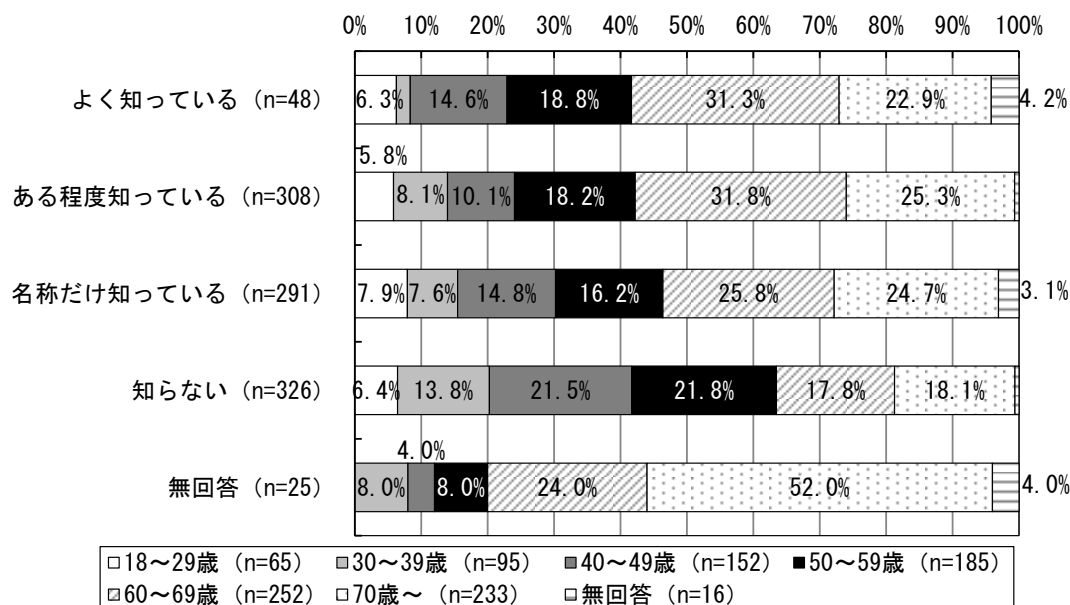


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(構成比)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
よく知っている	48	19	27	0	0	2	よく知っている	5%	39.6%	56.3%	0.0%	0.0%	4.2%
ある程度知っている	308	139	158	1	5	5	ある程度知っている	31%	45.1%	51.3%	0.3%	1.6%	1.6%
名称だけ知っている	291	128	153	1	4	5	名称だけ知っている	29%	44.0%	52.6%	0.3%	1.4%	1.7%
知らない	326	130	189	0	3	4	知らない	33%	39.9%	58.0%	0.0%	0.9%	1.2%
無回答	25	9	15	0	0	1	無回答	3%	36.0%	60.0%	0.0%	0.0%	4.0%
合計	998	425	542	2	12	17	合計						

○市民意識調査結果

**問2-① 年代別クロス**

障害者差別解消法「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」について年代別でみると、最も回答の多かった「知らない」を選んだ326人のうち、「50～59歳」が21.8%と最も多く、次いで「40～49歳」が21.5%、「70歳～」が18.1%となっています。



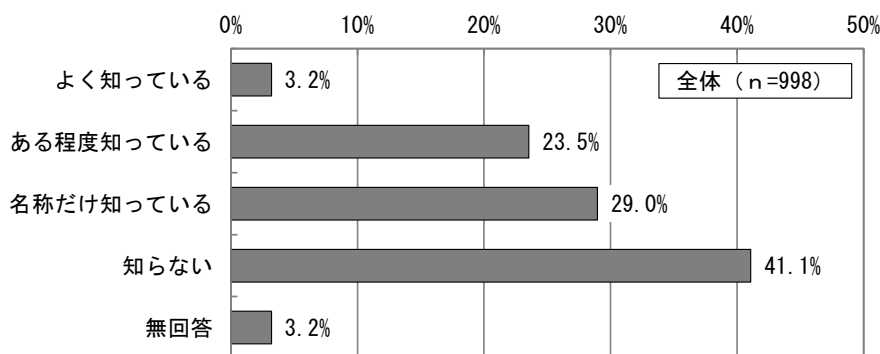
項目(度数)	項目(構成比)							
	全体	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
よく知っている	48	3	1	7	9	15	11	2
ある程度知っている	308	18	25	31	56	98	78	2
名称だけ知っている	291	23	22	43	47	75	72	9
知らない	326	21	45	70	71	58	59	2
無回答	25	0	2	1	2	6	13	1
合計	998	65	95	152	185	252	233	16



問2 人権に関する法律を知っていますか。(○はそれぞれ1つ)

② ヘイトスピーチ解消法「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」

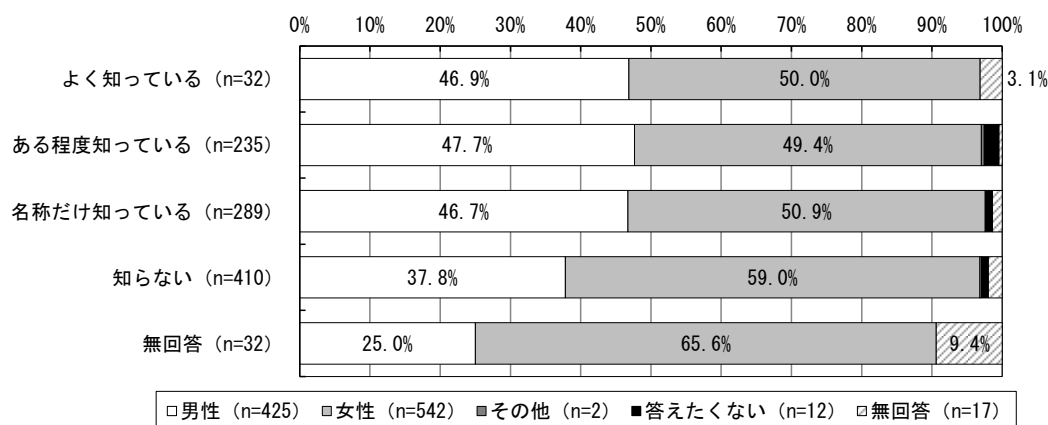
ヘイトスピーチ解消法「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」については、「知らない」が41.1%と最も多く、次いで「名称だけ知っている」が29.0%、「ある程度知っている」が23.5%となっています。



項目	度数	構成比
よく知っている	32	3.2%
ある程度知っている	235	23.5%
名称だけ知っている	289	29.0%
知らない	410	41.1%
無回答	32	3.2%
合計	998	100.0%

問2-② 性別クロス

ヘイトスピーチ解消法「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」について性別でみると、最も回答の多かった「知らない」を選んだ410人のうち、「男性」が37.8%、「女性」が59.0%となっています。

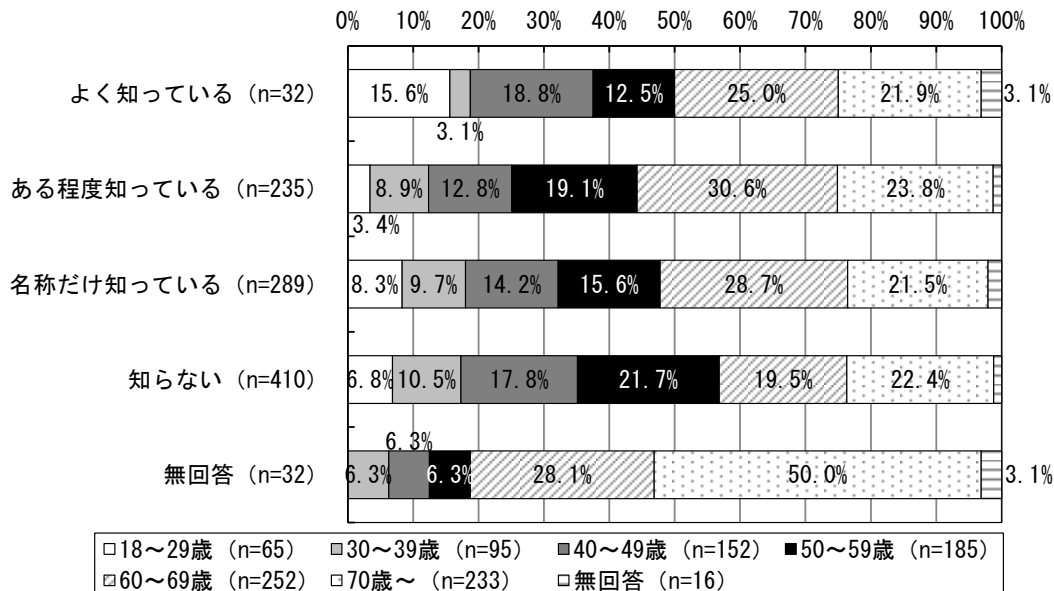


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(構成比)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
よく知っている	32	15	16	0	0	1	よく知っている	3%	46.9%	50.0%	0.0%	0.0%	3.1%
ある程度知っている	235	112	116	1	5	1	ある程度知っている	24%	47.7%	49.4%	0.4%	2.1%	0.4%
名称だけ知っている	289	135	147	0	3	4	名称だけ知っている	29%	46.7%	50.9%	0.0%	1.0%	1.4%
知らない	410	155	242	1	4	8	知らない	41%	37.8%	59.0%	0.2%	1.0%	2.0%
無回答	32	8	21	0	0	3	無回答	3%	25.0%	65.6%	0.0%	0.0%	9.4%
合計	998	425	542	2	12	17	合計						

○市民意識調査結果

**問2-② 年代別クロス**

ヘイトスピーチ解消法「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」について年代別で見ると、最も回答の多かった「知らない」を選んだ410人のうち、「70歳～」が22.4%と最も多く、次いで「50～59歳」が21.7%、「60～69歳」が19.5%となっています。

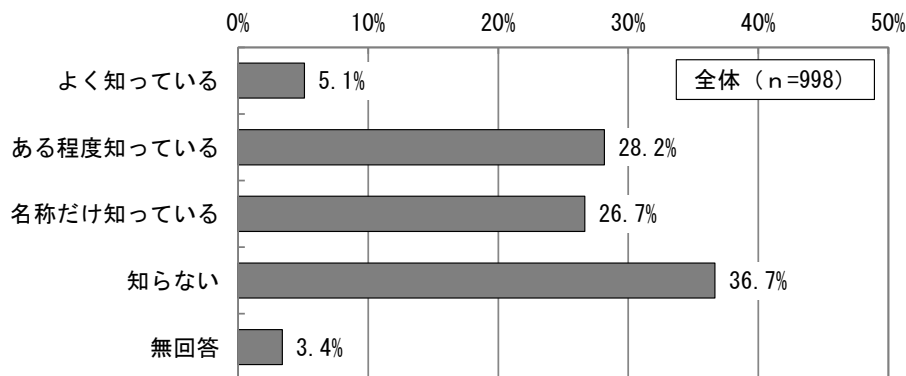


項目(度数)	項目(構成比)								項目(構成比)	項目(構成比)							
	全体	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答		全体	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
よく知っている	32	5	1	6	4	8	7	1	よく知っている	3.2%	15.6%	3.1%	18.8%	12.5%	25.0%	21.9%	3.1%
ある程度知っている	235	8	21	30	45	72	56	3	ある程度知っている	23.5%	3.4%	8.9%	12.8%	19.1%	30.6%	23.8%	1.3%
名称だけ知っている	289	24	28	41	45	83	62	6	名称だけ知っている	29.0%	8.3%	9.7%	14.2%	15.6%	28.7%	21.5%	2.1%
知らない	410	28	43	73	89	80	92	5	知らない	41.1%	6.8%	10.5%	17.8%	21.7%	19.5%	22.4%	1.2%
無回答	32	0	2	2	2	9	16	1	無回答	3.2%	0.0%	6.3%	6.3%	6.3%	28.1%	50.0%	3.1%
合計	998	65	95	152	185	252	233	16	合計								

**問2 人権に関する法律を知っていますか。(○はそれぞれ1つ)**

**③ 部落差別解消推進法「部落差別の解消の推進に関する法律」**

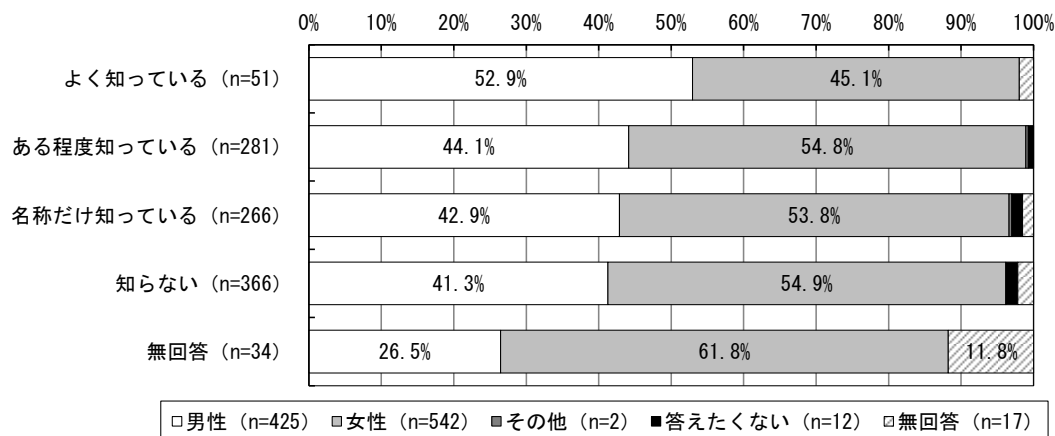
部落差別解消推進法「部落差別の解消の推進に関する法律」については、「知らない」が36.7%と最も多く、次いで「ある程度知っている」が28.2%、「名称だけ知っている」が26.7%となっています。



項目	度数	構成比
よく知っている	51	5.1%
ある程度知っている	281	28.2%
名称だけ知っている	266	26.7%
知らない	366	36.7%
無回答	34	3.4%
合計	998	100.0%

**問2-③ 性別クロス**

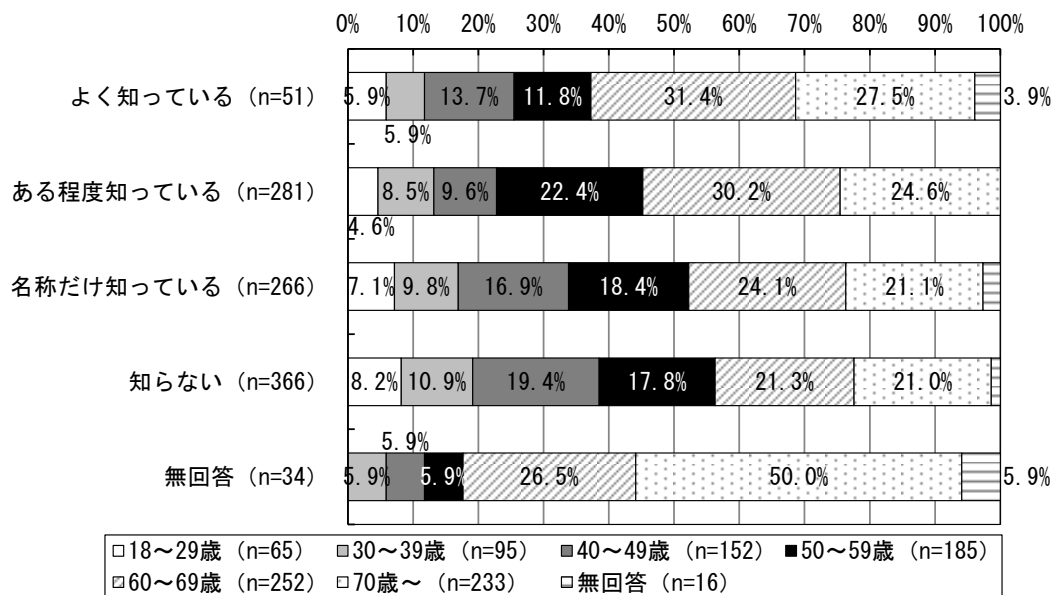
部落差別解消推進法「部落差別の解消の推進に関する法律」について性別で見ると、最も回答の多かった「知らない」を選んだ366人のうち、「男性」が41.3%、「女性」が54.9%となっています。



項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(構成比)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
よく知っている	51	27	23	0	0	1	よく知っている	5%	52.9%	45.1%	0.0%	0.0%	2.0%
ある程度知っている	281	124	154	1	2	0	ある程度知っている	28%	44.1%	54.8%	0.4%	0.7%	0.0%
名称だけ知っている	266	114	143	1	4	4	名称だけ知っている	27%	42.9%	53.8%	0.4%	1.5%	1.5%
知らない	366	151	201	0	6	8	知らない	37%	41.3%	54.9%	0.0%	1.6%	2.2%
無回答	34	9	21	0	0	4	無回答	3%	26.5%	61.8%	0.0%	0.0%	11.8%
合計	998	425	542	2	12	17	合計						

**問2-3 年代別クロス**

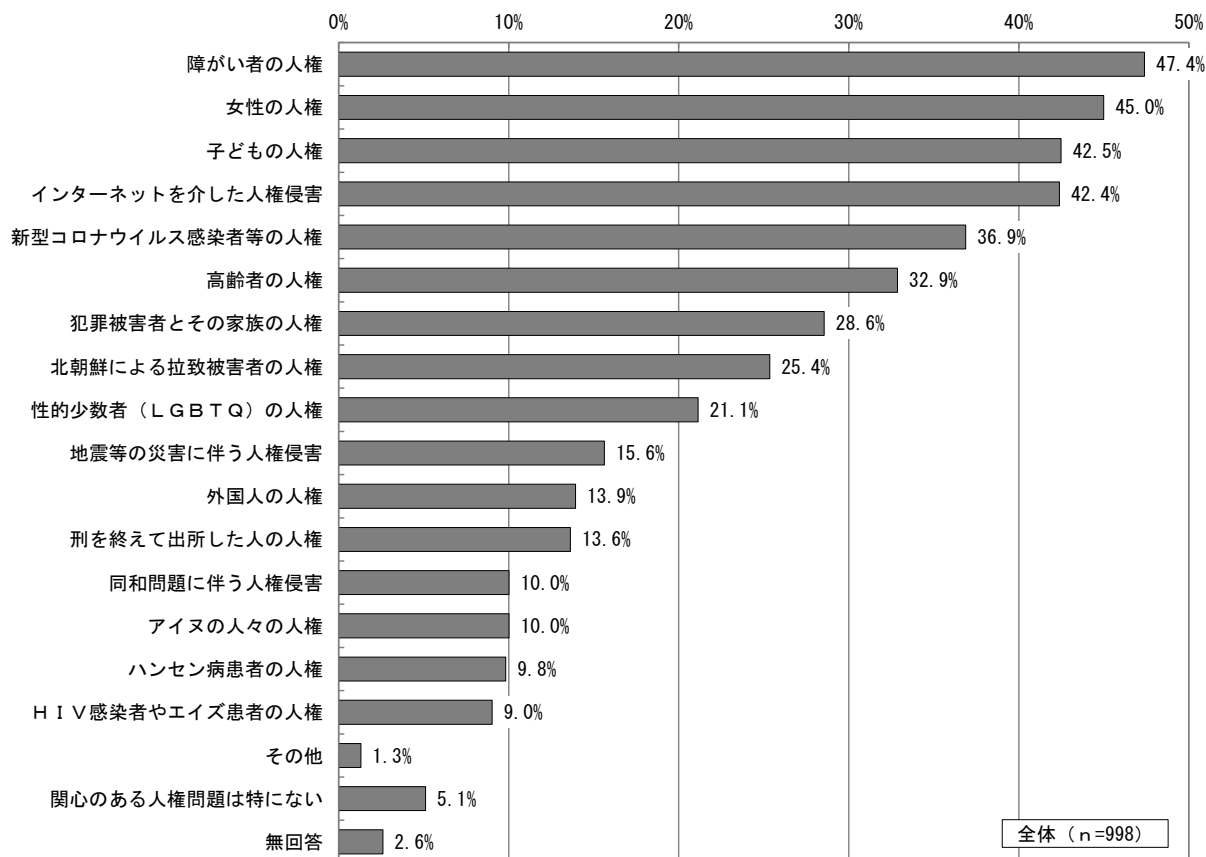
部落差別解消推進法「部落差別の解消の推進に関する法律」について年代別で見ると、最も回答の多かった「知らない」を選んだ366人のうち、「60～69歳」が21.3%と最も多く、次いで「70歳～」が21.0%、「40～49歳」が19.4%となっています



項目(度数)	全体	項目(構成比)						全体	項目(構成比)								
		20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～		無回答	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	
よく知っている	51	3	3	7	6	16	14	2	よく知っている	5.1%	5.9%	5.9%	13.7%	11.8%	31.4%	27.5%	3.9%
ある程度知っている	281	13	24	27	63	85	69	0	ある程度知っている	28.2%	4.6%	8.5%	9.6%	22.4%	30.2%	24.6%	0.0%
名称だけ知っている	266	19	26	45	49	64	56	7	名称だけ知っている	26.7%	7.1%	9.8%	16.9%	18.4%	24.1%	21.1%	2.6%
知らない	366	30	40	71	65	78	77	5	知らない	36.7%	8.2%	10.9%	19.4%	17.8%	21.3%	21.0%	1.4%
無回答	34	0	2	2	2	9	17	2	無回答	3.4%	0.0%	5.9%	5.9%	5.9%	26.5%	50.0%	5.9%
合計	998	65	95	152	185	252	233	16	合計								

### 問3 どのような人権問題に関心がありますか。(○はいくつでも)

どのような人権問題に関心があるかについては、「障がい者の人権」が47.4%と最も多く、次いで「女性の人権」が45.0%、「子供の人権」が42.5%となっています。

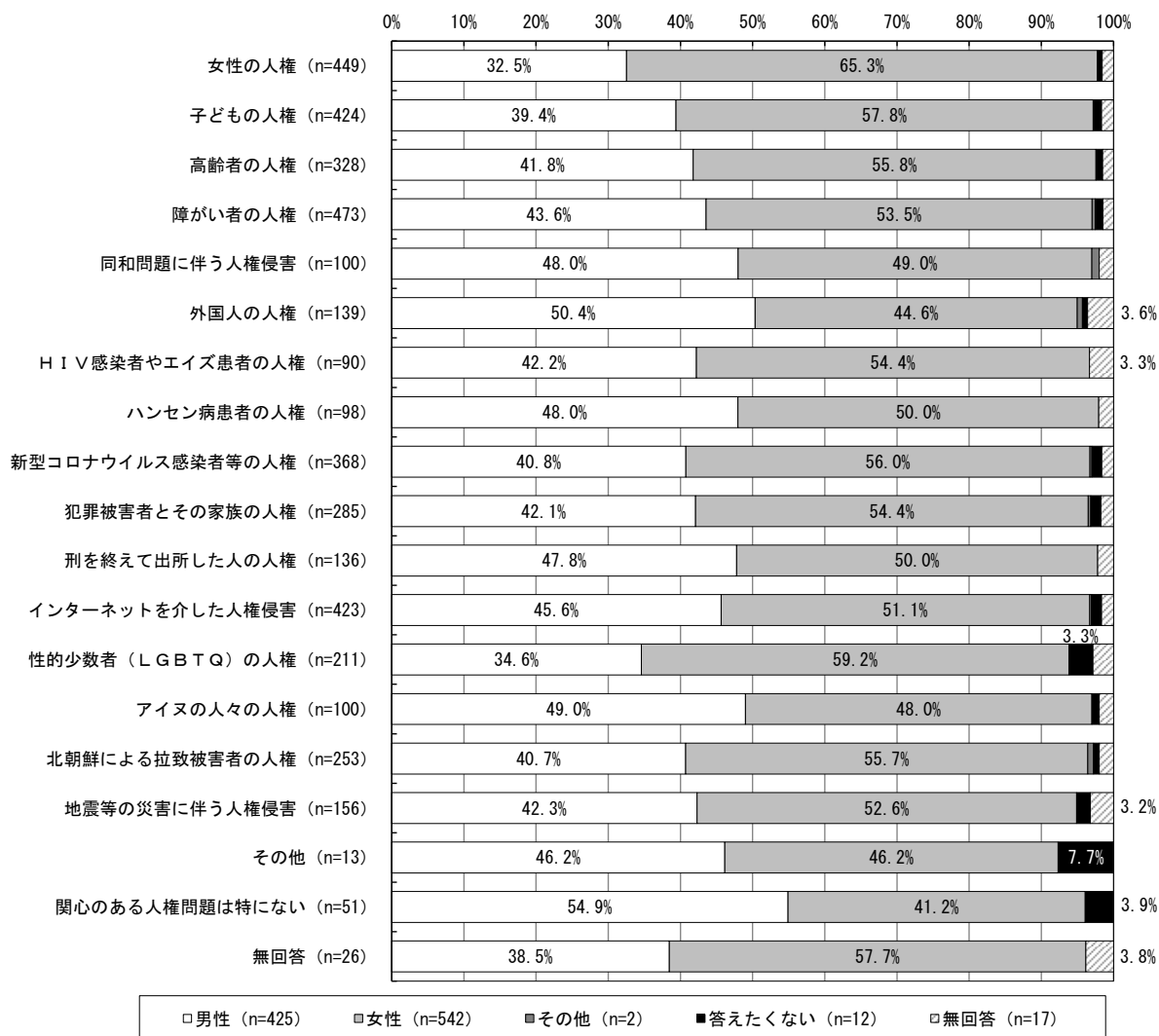


項目	度数	比率
障がい者の人権	473	47.4%
女性の人権	449	45.0%
子どもの人権	424	42.5%
インターネットを介した人権侵害	423	42.4%
新型コロナウイルス感染者等の人権	368	36.9%
高齢者の人権	328	32.9%
犯罪被害者とその家族の人権	285	28.6%
北朝鮮による拉致被害者の人権	253	25.4%
性的少数者(LGBTQ)の人権	211	21.1%
地震等の災害に伴う人権侵害	156	15.6%
外国人の人権	139	13.9%
刑を終えて出所した人の人権	136	13.6%
同和問題に伴う人権侵害	100	10.0%
アイヌの人々の人権	100	10.0%
ハンセン病患者の人権	98	9.8%
HIV感染者やエイズ患者の人権	90	9.0%
その他	13	1.3%
関心のある人権問題は特にない	51	5.1%
無回答	26	2.6%
回答者数	998	
回答計	4123	

○市民意識調査結果

**問3 性別クロス**

どのような人権問題に関心があるかについて性別でみると、最も回答の多かった「障がい者の人権」を選んだ473人のうち、「男性」が43.6%、「女性」が53.5%となっています。



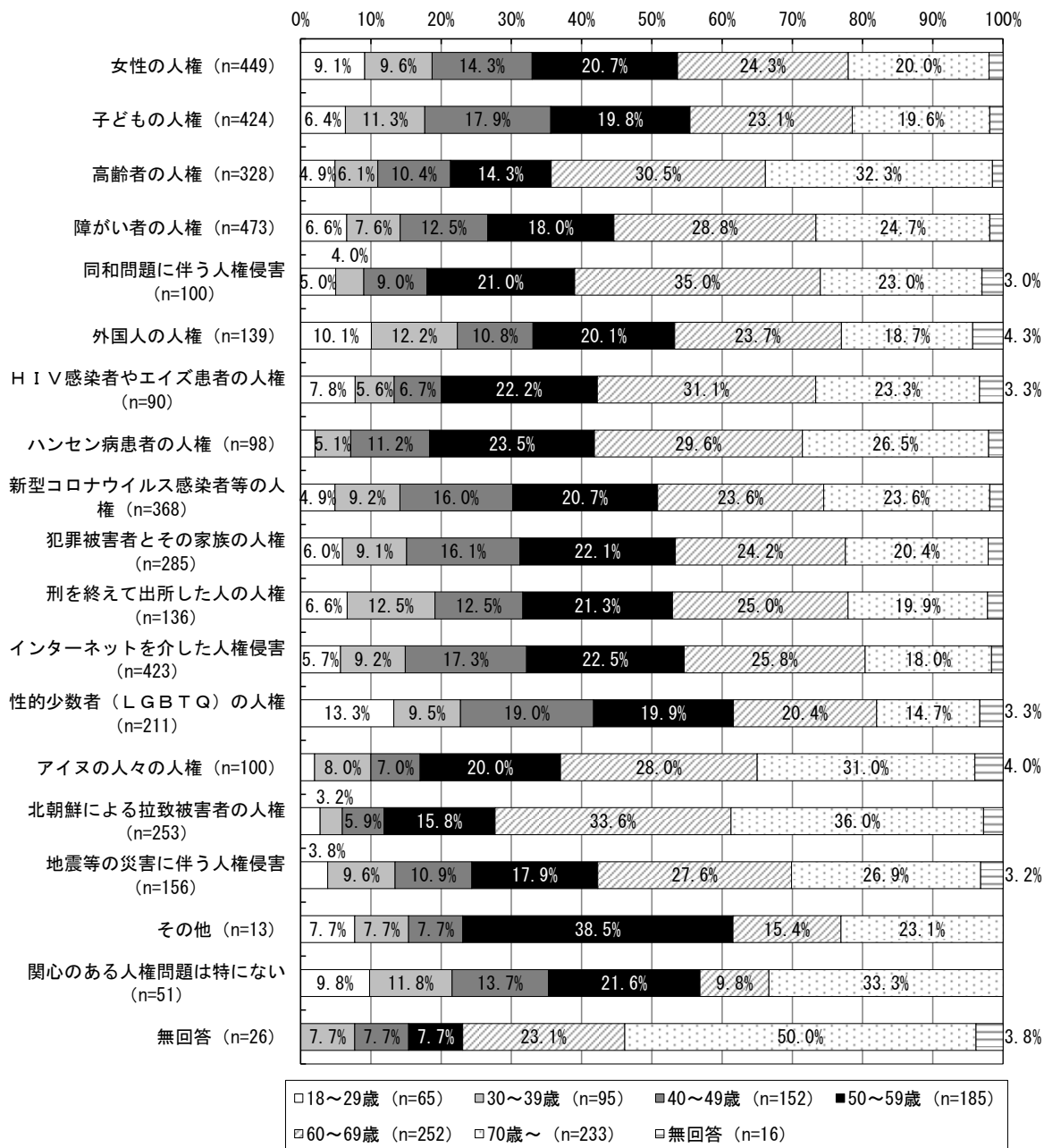
○市民意識調査結果

項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
女性の人権	449	146	293	0	3	7	女性の人権	10.9%	32.5%	65.3%	0.0%	0.7%	1.6%
子どもの人権	424	167	245	0	5	7	子どもの人権	10.3%	39.4%	57.8%	0.0%	1.2%	1.7%
高齢者の人権	328	137	183	0	3	5	高齢者の人権	8.0%	41.8%	55.8%	0.0%	0.9%	1.5%
障がい者の人権	473	206	253	2	5	7	障がい者の人権	11.5%	43.6%	53.5%	0.4%	1.1%	1.5%
同和問題に伴う人権侵害	100	48	49	1	0	2	同和問題に伴う人権侵害	2.4%	48.0%	49.0%	1.0%	0.0%	2.0%
外国人の人権	139	70	62	1	1	5	外国人の人権	3.4%	50.4%	44.6%	0.7%	0.7%	3.6%
HIV感染者やエイズ患者の人権	90	38	49	0	0	3	HIV感染者やエイズ患者の人権	2.2%	42.2%	54.4%	0.0%	0.0%	3.3%
ハンセン病患者の人権	98	47	49	0	0	2	ハンセン病患者の人権	2.4%	48.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0%
新型コロナウイルス感染者等の人権	368	150	206	1	5	6	新型コロナウイルス感染者等の人権	8.9%	40.8%	56.0%	0.3%	1.4%	1.6%
犯罪被害者とその家族の人権	285	120	155	1	4	5	犯罪被害者とその家族の人権	6.9%	42.1%	54.4%	0.4%	1.4%	1.8%
刑を終えて出所した人の人権	136	65	68	0	0	3	刑を終えて出所した人の人権	3.3%	47.8%	50.0%	0.0%	0.0%	2.2%
インターネットを介した人権侵害	423	193	216	1	6	7	インターネットを介した人権侵害	10.3%	45.6%	51.1%	0.2%	1.4%	1.7%
性的少数者(LGBTQ)の人権	211	73	125	0	7	6	性的少数者(LGBTQ)の人権	5.1%	34.6%	59.2%	0.0%	3.3%	2.8%
アイヌの人々の人権	100	49	48	0	1	2	アイヌの人々の人権	2.4%	49.0%	48.0%	0.0%	1.0%	2.0%
北朝鮮による拉致被害者の人権	253	103	141	2	2	5	北朝鮮による拉致被害者の人権	6.1%	40.7%	55.7%	0.8%	0.8%	2.0%
地震等の災害に伴う人権侵害	156	66	82	0	3	5	地震等の災害に伴う人権侵害	3.8%	42.3%	52.6%	0.0%	1.9%	3.2%
その他	13	6	6	0	1	0	その他	0.3%	46.2%	46.2%	0.0%	7.7%	0.0%
関心のある人権問題は特にない	51	28	21	0	2	0	関心のある人権問題は特にない	1.2%	54.9%	41.2%	0.0%	3.9%	0.0%
無回答	26	10	15	0	0	1	無回答	0.6%	38.5%	57.7%	0.0%	0.0%	3.8%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	4123	1722	2266	9	48	78	回答計						

○市民意識調査結果

**問3 年代別クロス**

どのような人権問題に関心があるかについて年代別でみると、最も回答の多かった「障がい者の人権」を選んだ473人のうち、「60～69歳」が28.8%と最も多く、次いで「70歳～」が24.7%、「50～59歳」が18.0%となっています。



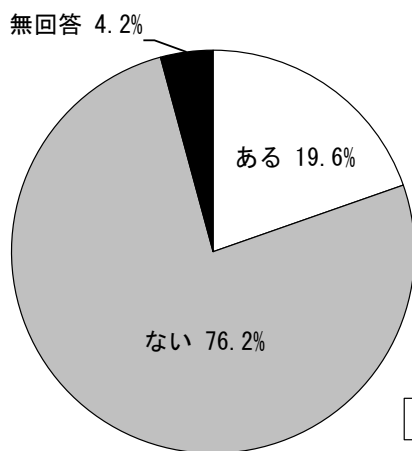


○市民意識調査結果

項目(度数)	全体	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	項目(比率)	全体	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
女性の人権	449	41	43	64	93	109	90	9	女性の人権	10.9%	9.1%	9.6%	14.3%	20.7%	24.3%	20.0%	2.0%
子どもの人権	424	27	48	76	84	98	83	8	子どもの人権	10.3%	6.4%	11.3%	17.9%	19.8%	23.1%	19.6%	1.9%
高齢者の人権	328	16	20	34	47	100	106	5	高齢者の人権	8.0%	4.9%	6.1%	10.4%	14.3%	30.5%	32.3%	1.5%
障がい者の人権	473	31	36	59	85	136	117	9	障がい者の人権	11.5%	6.6%	7.6%	12.5%	18.0%	28.8%	24.7%	1.9%
同和問題に伴う人権侵害	100	5	4	9	21	35	23	3	同和問題に伴う人権侵害	2.4%	5.0%	4.0%	9.0%	21.0%	35.0%	23.0%	3.0%
外国人の人権	139	14	17	15	28	33	26	6	外国人の人権	3.4%	10.1%	12.2%	10.8%	20.1%	23.7%	18.7%	4.3%
HIV感染者やエイズ患者の人権	90	7	5	6	20	28	21	3	HIV感染者やエイズ患者の人権	2.2%	7.8%	5.6%	6.7%	22.2%	31.1%	23.3%	3.3%
ハンセン病患者の人権	98	2	5	11	23	29	26	2	ハンセン病患者の人権	2.4%	2.0%	5.1%	11.2%	23.5%	29.6%	26.5%	2.0%
新型コロナウイルス感染者等の人権	368	18	34	59	76	87	87	7	新型コロナウイルス感染者等の人権	8.9%	4.9%	9.2%	16.0%	20.7%	23.6%	23.6%	1.9%
犯罪被害者とその家族の人権	285	17	26	46	63	69	58	6	犯罪被害者とその家族の人権	6.9%	6.0%	9.1%	16.1%	22.1%	24.2%	20.4%	2.1%
刑を終えて出所した人の人権	136	9	17	17	29	34	27	3	刑を終えて出所した人の人権	3.3%	6.6%	12.5%	12.5%	21.3%	25.0%	19.9%	2.2%
インターネットを介した人権侵害	423	24	39	73	95	109	76	7	インターネットを介した人権侵害	10.3%	5.7%	9.2%	17.3%	22.5%	25.8%	18.0%	1.7%
性的少数者(LGBTQ)の人権	211	28	20	40	42	43	31	7	性的少数者(LGBTQ)の人権	5.1%	13.3%	9.5%	19.0%	19.9%	20.4%	14.7%	3.3%
アイヌの人々の人権	100	2	8	7	20	28	31	4	アイヌの人々の人権	2.4%	2.0%	8.0%	7.0%	20.0%	28.0%	31.0%	4.0%
北朝鮮による拉致被害者の人権	253	7	8	15	40	85	91	7	北朝鮮による拉致被害者の人権	6.1%	2.8%	3.2%	5.9%	15.8%	33.6%	36.0%	2.8%
地震等の災害に伴う人権侵害	156	6	15	17	28	43	42	5	地震等の災害に伴う人権侵害	3.8%	3.8%	9.6%	10.9%	17.9%	27.6%	26.9%	3.2%
その他	13	1	1	1	5	2	3	0	その他	0.3%	7.7%	7.7%	7.7%	38.5%	15.4%	23.1%	0.0%
関心のある人権問題は特にない	51	5	6	7	11	5	17	0	関心のある人権問題は特にない	1.2%	9.8%	11.8%	13.7%	21.6%	9.8%	33.3%	0.0%
無回答	26	0	2	2	2	6	13	1	無回答	0.6%	0.0%	7.7%	7.7%	7.7%	23.1%	50.0%	3.8%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数								
回答計	4123	260	354	558	812	1079	968	92	回答計								

**問4 自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。(○は1つだけ)**

自分の人権が侵害されたと感じたことがあるかについては、「ない」が76.2%、「ある」が19.6%となっています。

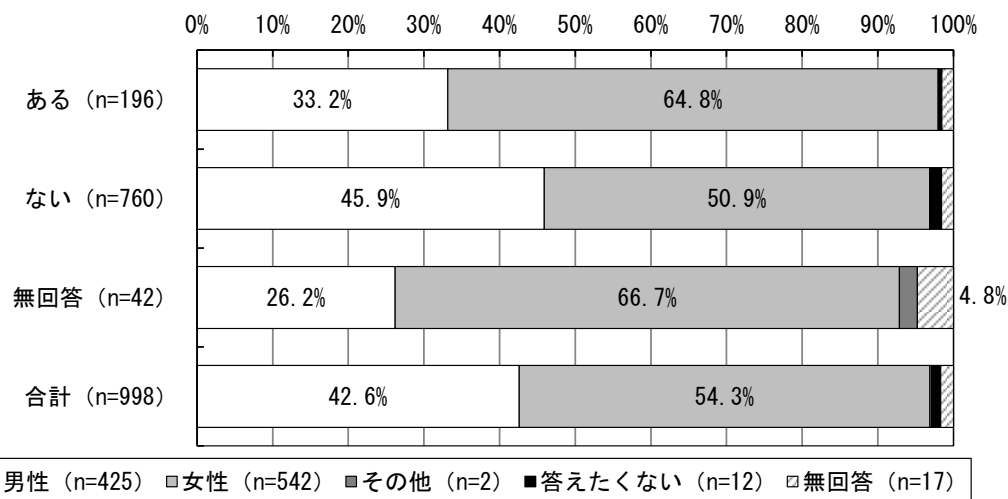


全体 (n=998)

項目	度数	構成比
ある	196	19.6%
ない	760	76.2%
無回答	42	4.2%
合計	998	100.0%

**問4 性別クロス**

自分の人権が侵害されたと感じたことがあるかについて性別でみると、「ない」を選んだ760人のうち、「男性」が45.9%、「女性」が50.9%となっています。

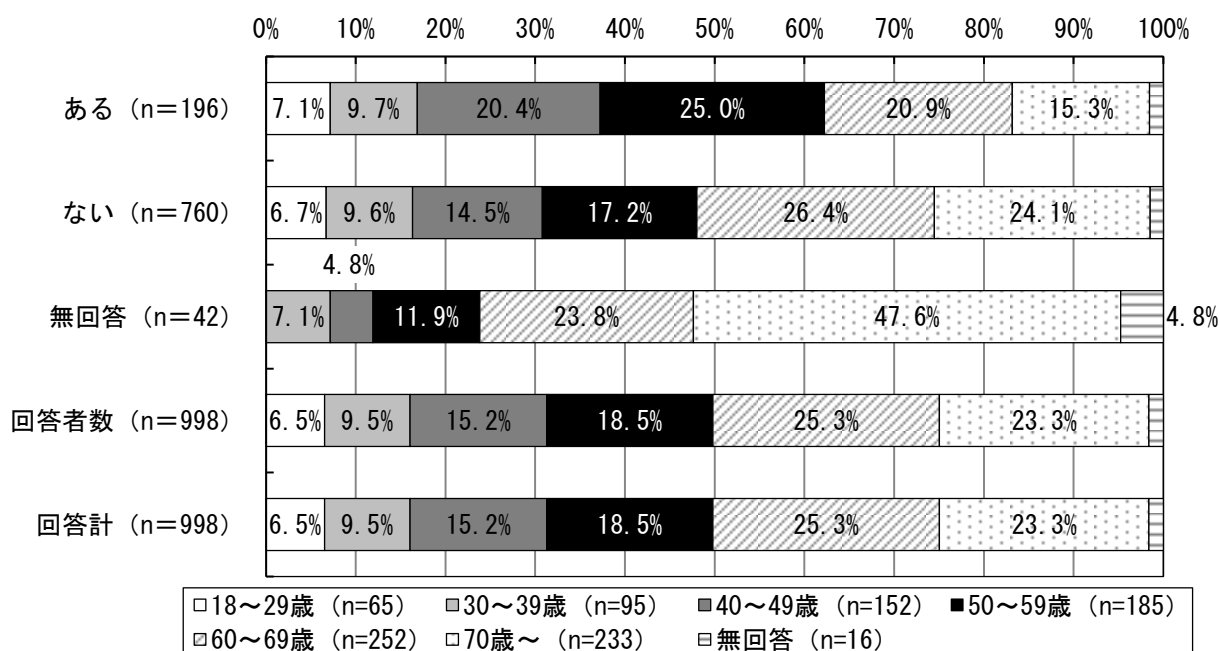


□男性 (n=425) □女性 (n=542) ■その他 (n=2) ■答えたくない (n=12) □無回答 (n=17)

項目(度数)	全体						項目(構成比)						
	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	
ある	196	65	127	0	1	3	ある	19.6%	33.2%	64.8%	0.0%	0.5%	1.5%
ない	760	349	387	1	11	12	ない	76.2%	45.9%	50.9%	0.1%	1.4%	1.6%
無回答	42	11	28	1	0	2	無回答	4.2%	26.2%	66.7%	2.4%	0.0%	4.8%
合計	998	425	542	2	12	17	合計						

**問4 年代別クロス**

自分の人権が侵害されたと感じたことがあるかについて年代別でみると、「ない」を選んだ 760 人のうち、「60～69 歳」が 26.4%と最も多く、次いで「70 歳～」が 24.1%、「50～59 歳」が 17.2% となっています。



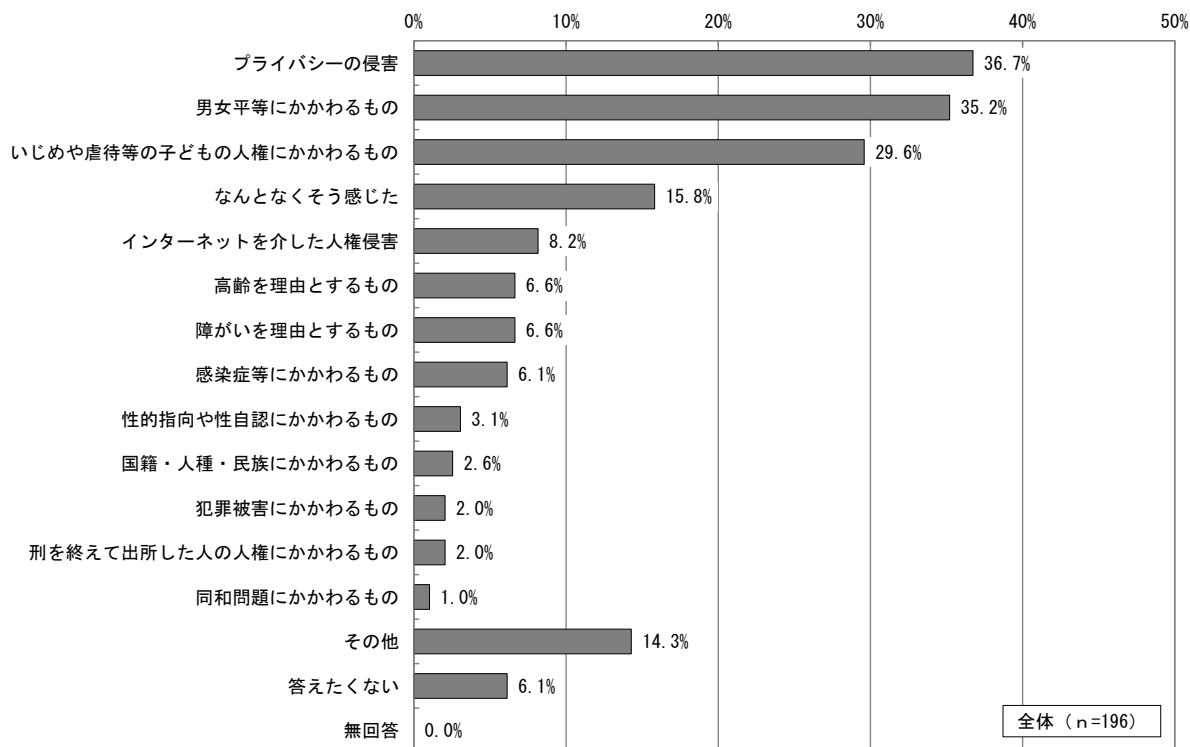
項目(度数)	全体	項目(構成比)							全体	項目(構成比)							
		18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳~	無回答		18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳~	無回答	
ある	196	14	19	40	49	41	30	3	ある	19.6%	7.1%	9.7%	20.4%	25.0%	20.9%	15.3%	1.5%
ない	760	51	73	110	131	201	183	11	ない	76.2%	6.7%	9.6%	14.5%	17.2%	26.4%	24.1%	1.4%
無回答	42	0	3	2	5	10	20	2	無回答	4.2%	0.0%	7.1%	4.8%	11.9%	23.8%	47.6%	4.8%
合計	998	65	95	152	185	252	233	16	合計								

○市民意識調査結果

[問4で「1. ある」と回答した方に伺います。]

**問5 自分の人権が侵害されたと感じたのは、どのようなことですか。(〇はいくつでも)**

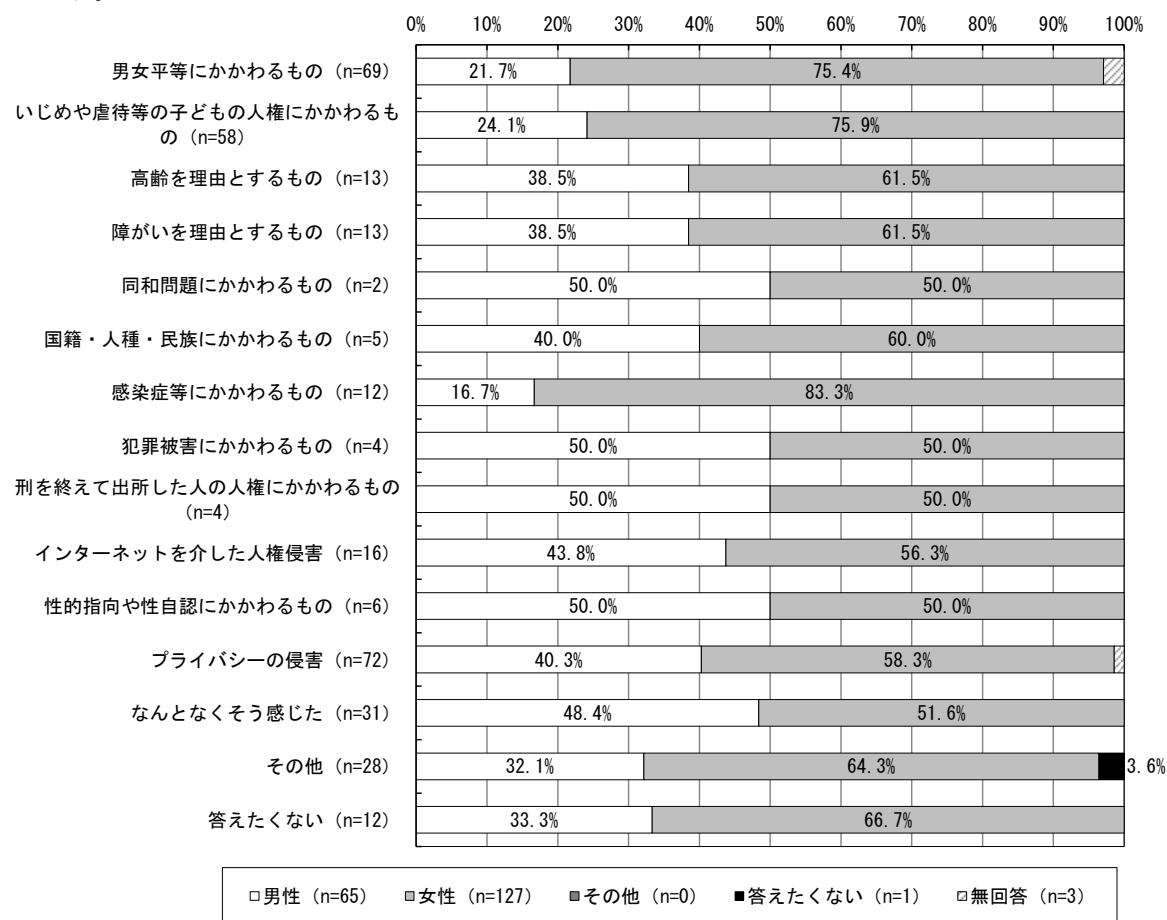
どのようなことで自分の人権が侵害されたと感じたのかについては、「プライバシーの侵害」が36.7%と最も多く、次いで「男女平等にかかわるもの」が35.2%、「いじめや虐待等の子どもの人権にかかわるもの」が29.6%となっています。



項目	度数	比率
プライバシーの侵害	72	36.7%
男女平等にかかわるもの	69	35.2%
いじめや虐待等の子どもの人権にかかわるもの	58	29.6%
なんとなくそう感じた	31	15.8%
インターネットを介した人権侵害	16	8.2%
高齢を理由とするもの	13	6.6%
障がい理由とするもの	13	6.6%
感染症等にかかわるもの	12	6.1%
性的指向や性自認にかかわるもの	6	3.1%
国籍・人種・民族にかかわるもの	5	2.6%
犯罪被害にかかわるもの	4	2.0%
刑を終えて出所した人の人権にかかわるもの	4	2.0%
同和問題にかかわるもの	2	1.0%
その他	28	14.3%
答えたくない	12	6.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	196	
非該当	802	
回答計	345	

### 問5 性別クロス

どのようなことで自分の人権が侵害されたと感じたのかについて性別でみると、最も回答の多かった「プライバシーの侵害」を選んだ72人のうち、「男性」が40.3%、「女性」が58.3%となっています。

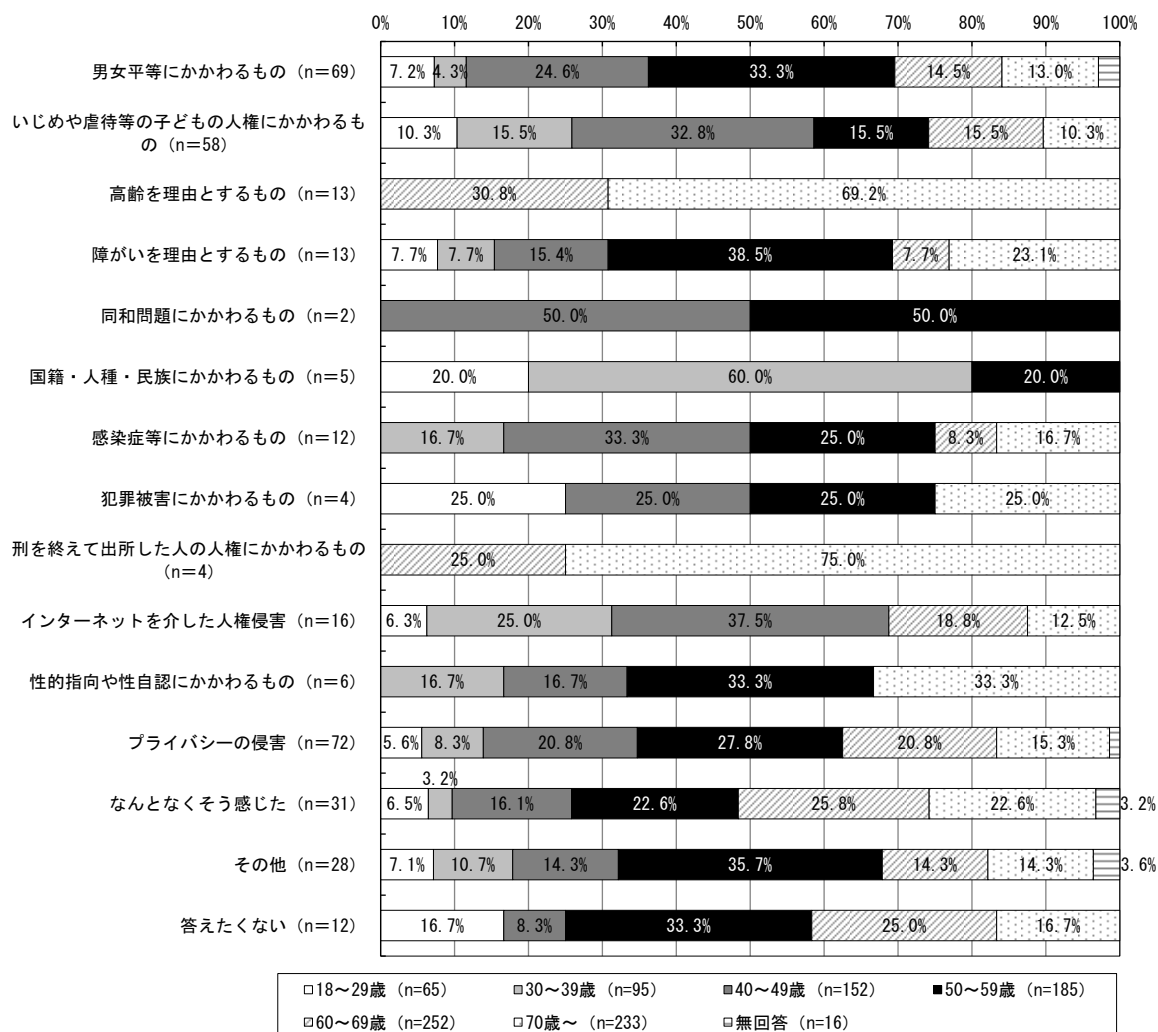


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
男女平等にかかわるもの	69	15	52	0	0	2	男女平等にかかわるもの	20.0%	21.7%	75.4%	0.0%	0.0%	2.9%
いじめや虐待等の子どもの人権にかかわるもの	58	14	44	0	0	0	いじめや虐待等の子どもの人権にかかわるもの	16.8%	24.1%	75.9%	0.0%	0.0%	0.0%
高齢を理由とするもの	13	5	8	0	0	0	高齢を理由とするもの	3.8%	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%
障がい理由とするもの	13	5	8	0	0	0	障がい理由とするもの	3.8%	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%
同和問題にかかわるもの	2	1	1	0	0	0	同和問題にかかわるもの	0.6%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国籍・人種・民族にかかわるもの	5	2	3	0	0	0	国籍・人種・民族にかかわるもの	1.4%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
感染症等にかかわるもの	12	2	10	0	0	0	感染症等にかかわるもの	3.5%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%
犯罪被害にかかわるもの	4	2	2	0	0	0	犯罪被害にかかわるもの	1.2%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
刑を終えて出所した人の人権にかかわるもの	4	2	2	0	0	0	刑を終えて出所した人の人権にかかわるもの	1.2%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
インターネットを介した人権侵害	16	7	9	0	0	0	インターネットを介した人権侵害	4.6%	43.8%	56.3%	0.0%	0.0%	0.0%
性的指向や性自認にかかわるもの	6	3	3	0	0	0	性的指向や性自認にかかわるもの	1.7%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
プライバシーの侵害	72	29	42	0	0	1	プライバシーの侵害	20.9%	40.3%	58.3%	0.0%	0.0%	1.4%
なんとなくそう感じた	31	15	16	0	0	0	なんとなくそう感じた	9.0%	48.4%	51.6%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	28	9	18	0	1	0	その他	8.1%	32.1%	64.3%	0.0%	3.6%	0.0%
答えたくない	12	4	8	0	0	0	答えたくない	3.5%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	196	65	127	0	1	3	回答者数						
非該当	802	360	415	2	11	14	非該当						
回答計	345	115	226	0	1	3	回答計						

○市民意識調査結果

**問5 年代別クロス**

どのようなことで自分の人権が侵害されたと感じたのかについて年代別でみると、最も回答の多かった「プライバシーの侵害」を選んだ72人のうち、「50～59歳」が27.8%と最も多く、次いで「40～49歳」と「60～69歳」が20.8%となっています。

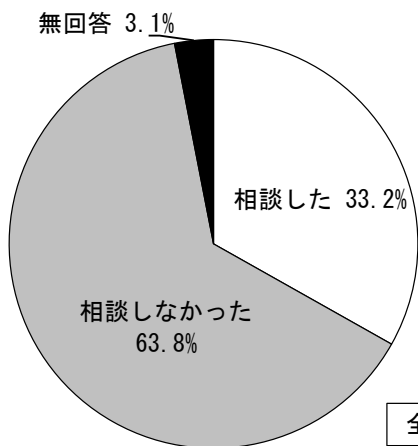


項目(度数)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	項目(比率)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
男女平等にかかわるもの	69	5	3	17	23	10	9	2	男女平等にかかわるもの	20.0%	7.2%	4.3%	24.6%	33.3%	14.5%	13.0%	2.9%
いじめや虐待等の子どもの人権にかかわるもの	58	6	9	19	9	9	6	0	いじめや虐待等の子どもの人権にかかわるもの	16.8%	10.3%	15.5%	32.8%	15.5%	15.5%	10.3%	0.0%
高齢を理由とするもの	13	0	0	0	0	4	9	0	高齢を理由とするもの	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	69.2%	0.0%
障がい理由とするもの	13	1	1	2	5	1	3	0	障がい理由とするもの	3.8%	7.7%	7.7%	15.4%	38.5%	7.7%	23.1%	0.0%
同和問題にかかわるもの	2	0	0	1	1	0	0	0	同和問題にかかわるもの	0.6%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国籍・人種・民族にかかわるもの	5	1	3	0	1	0	0	0	国籍・人種・民族にかかわるもの	1.4%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
感染症等にかかわるもの	12	0	2	4	3	1	2	0	感染症等にかかわるもの	3.5%	0.0%	16.7%	33.3%	25.0%	8.3%	16.7%	0.0%
犯罪被害にかかわるもの	4	1	0	1	1	0	1	0	犯罪被害にかかわるもの	1.2%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%
刑を終えて出所した人の人権にかかわるもの	4	0	0	0	0	1	3	0	刑を終えて出所した人の人権にかかわるもの	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%
インターネットを介した人権侵害	16	1	4	6	0	3	2	0	インターネットを介した人権侵害	4.6%	6.3%	25.0%	37.5%	0.0%	18.8%	12.5%	0.0%
性的指向や性自認にかかわるもの	6	0	1	1	2	0	2	0	性的指向や性自認にかかわるもの	1.7%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
プライバシーの侵害	72	4	6	15	20	15	11	1	プライバシーの侵害	20.8%	5.6%	8.3%	20.8%	27.8%	20.8%	15.3%	1.4%
なんとなくそう感じた	31	2	1	5	7	8	7	1	なんとなくそう感じた	9.0%	6.5%	3.2%	16.1%	22.6%	25.8%	22.6%	3.2%
その他	28	2	3	4	10	4	4	1	その他	8.1%	7.1%	10.7%	14.3%	35.7%	14.3%	14.3%	3.6%
答えたくない	12	2	0	1	4	3	2	0	答えたくない	3.5%	16.7%	0.0%	8.3%	33.3%	25.0%	16.7%	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	196	14	19	40	49	41	30	3	回答者数								
非該当	802	51	76	112	136	211	203	13	非該当								
回答計	345	25	33	76	86	59	61	5	回答計								

[問4で「1. ある」と回答した方に伺います。]

**問6 自分の人権が侵害されたと感じた時、どこ（誰）かに相談しましたか。（○は1つだけ）**

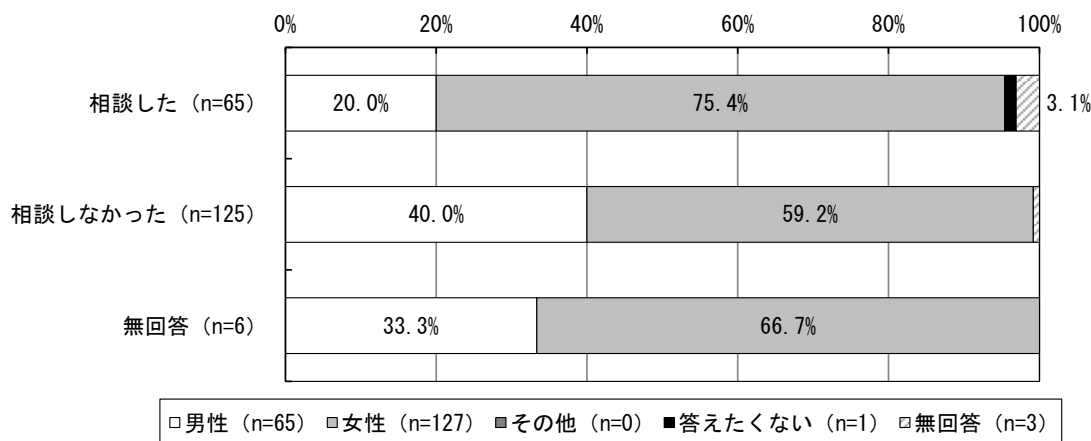
自分の人権が侵害されたと感じた時、どこ（誰）かに相談したかについては、「相談しなかった」が63.8%と最も多く、次いで「相談した」が33.2%となっています。



項目	度数	構成比
相談した	65	33.2%
相談しなかった	125	63.8%
無回答	6	3.1%
回答者数	196	
非該当	802	

**問6 性別クロス**

自分の人権が侵害されたと感じた時、どこ（誰）かに相談したかについて性別で見ると、最も回答の多かった「相談しなかった」を選んだ125人のうち、「男性」が40.0%、「女性」が59.2%となっています。

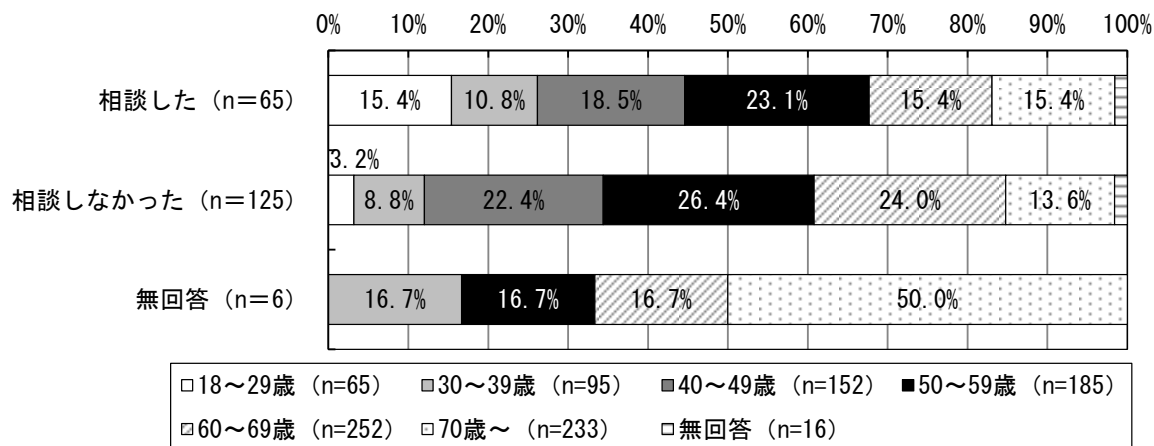


項目(度数)	性別						項目(比率)	性別					
	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答		全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
相談した	65	13	49	0	1	2	相談した	33.2%	20.0%	75.4%	0.0%	1.5%	3.1%
相談しなかった	125	50	74	0	0	1	相談しなかった	63.8%	40.0%	59.2%	0.0%	0.0%	0.8%
無回答	6	2	4	0	0	0	無回答	3.1%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	196	65	127	0	1	3	回答者数						
非該当	802	360	415	2	11	14	非該当						

○市民意識調査結果

**問6 年代別クロス**

自分の人権が侵害されたと感じた時、どこ（誰）かに相談したかについて年代別で見ると、最も回答の多かった「相談しなかった」を選んだ125人のうち、「50～59歳」が26.4%と最も多く、次いで「60～69歳」が24.0%、「40～49歳」が22.4%となっています。



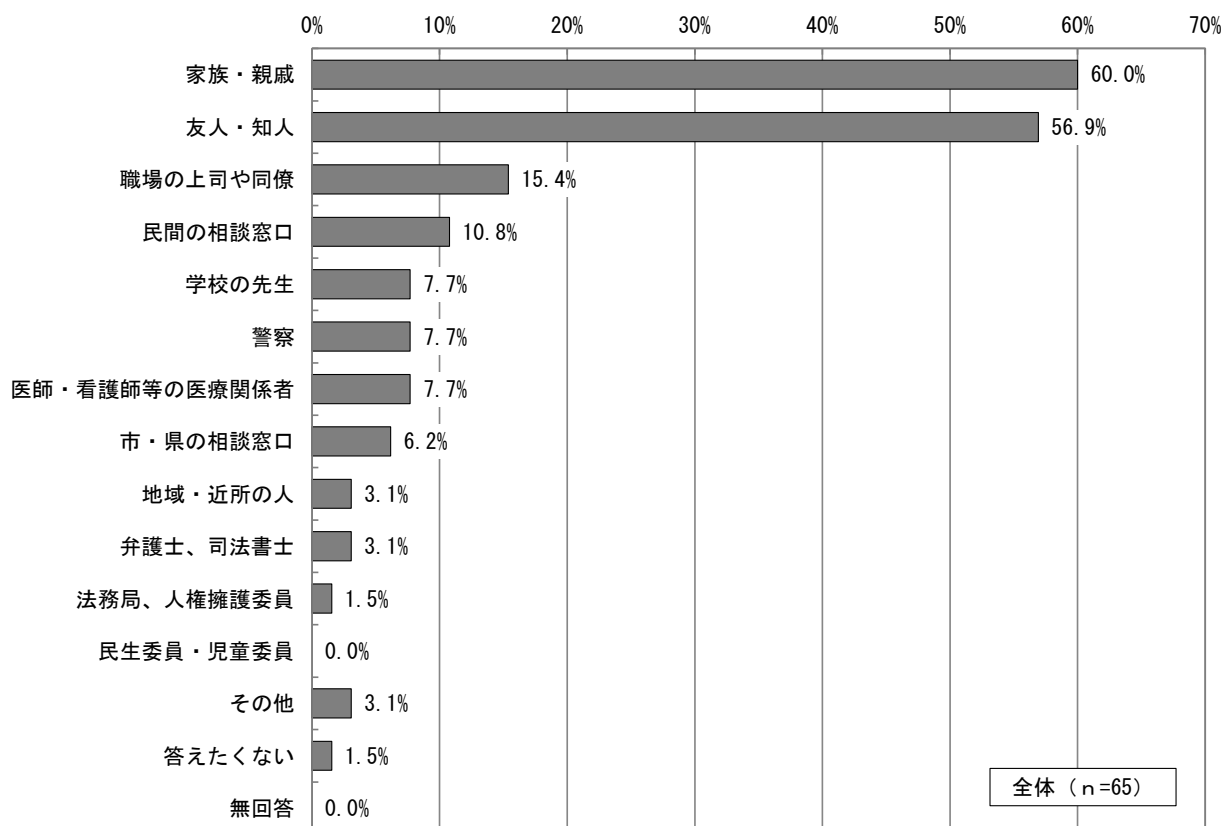
項目(度数)	全体	年代別						無回答	項目(比率)	全体	年代別						無回答
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～				18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	
相談した	65	10	7	12	15	10	10	1	相談した	33.2%	15.4%	10.8%	18.5%	23.1%	15.4%	15.4%	1.5%
相談しなかった	125	4	11	28	33	30	17	2	相談しなかった	63.8%	3.2%	8.8%	22.4%	26.4%	24.0%	13.6%	1.6%
無回答	6	0	1	0	1	1	3	0	無回答	3.1%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%
回答者数	196	14	19	40	49	41	30	3	回答者数								
非該当	802	51	76	112	136	211	203	13	非該当								



[問6で「1. 相談した」と回答した方に伺います。]

### 問7 どこ（誰）に相談しましたか。（○はいくつでも）

どこ（誰）に相談したかについては、「家族・親戚」が60.0%と最も多く、次いで「友人・知人」が56.9%、「職場の上司や同僚」が15.4%となっています。

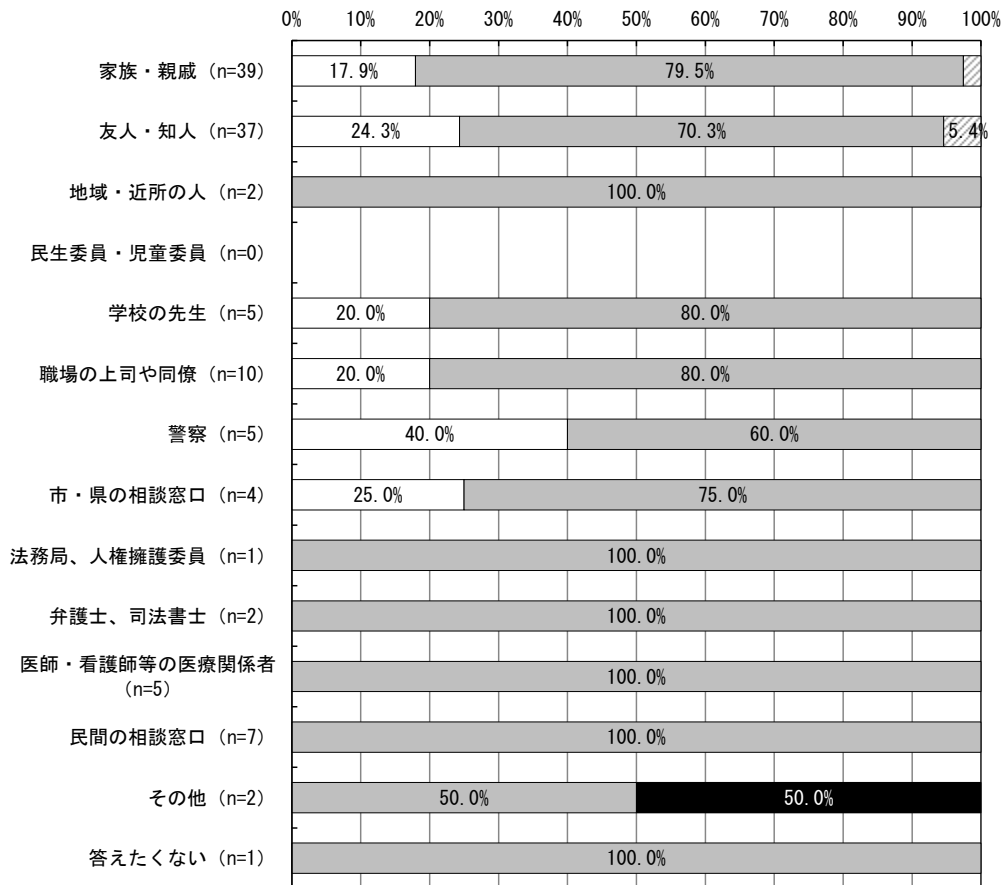


項目	度数	比率
家族・親戚	39	60.0%
友人・知人	37	56.9%
職場の上司や同僚	10	15.4%
民間の相談窓口	7	10.8%
学校の先生	5	7.7%
警察	5	7.7%
医師・看護師等の医療関係者	5	7.7%
市・県の相談窓口	4	6.2%
地域・近所の人	2	3.1%
弁護士、司法書士	2	3.1%
法務局、人権擁護委員	1	1.5%
民生委員・児童委員	0	0.0%
その他	2	3.1%
答えたくない	1	1.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	65	
非該当	933	
回答計	120	

○市民意識調査結果

**問7 性別クロス**

どこ（誰）に相談したかについて性別でみると、最も回答の多かった「家族・親戚」を選んだ39人のうち、「男性」が17.9%、「女性」が79.5%となっています。

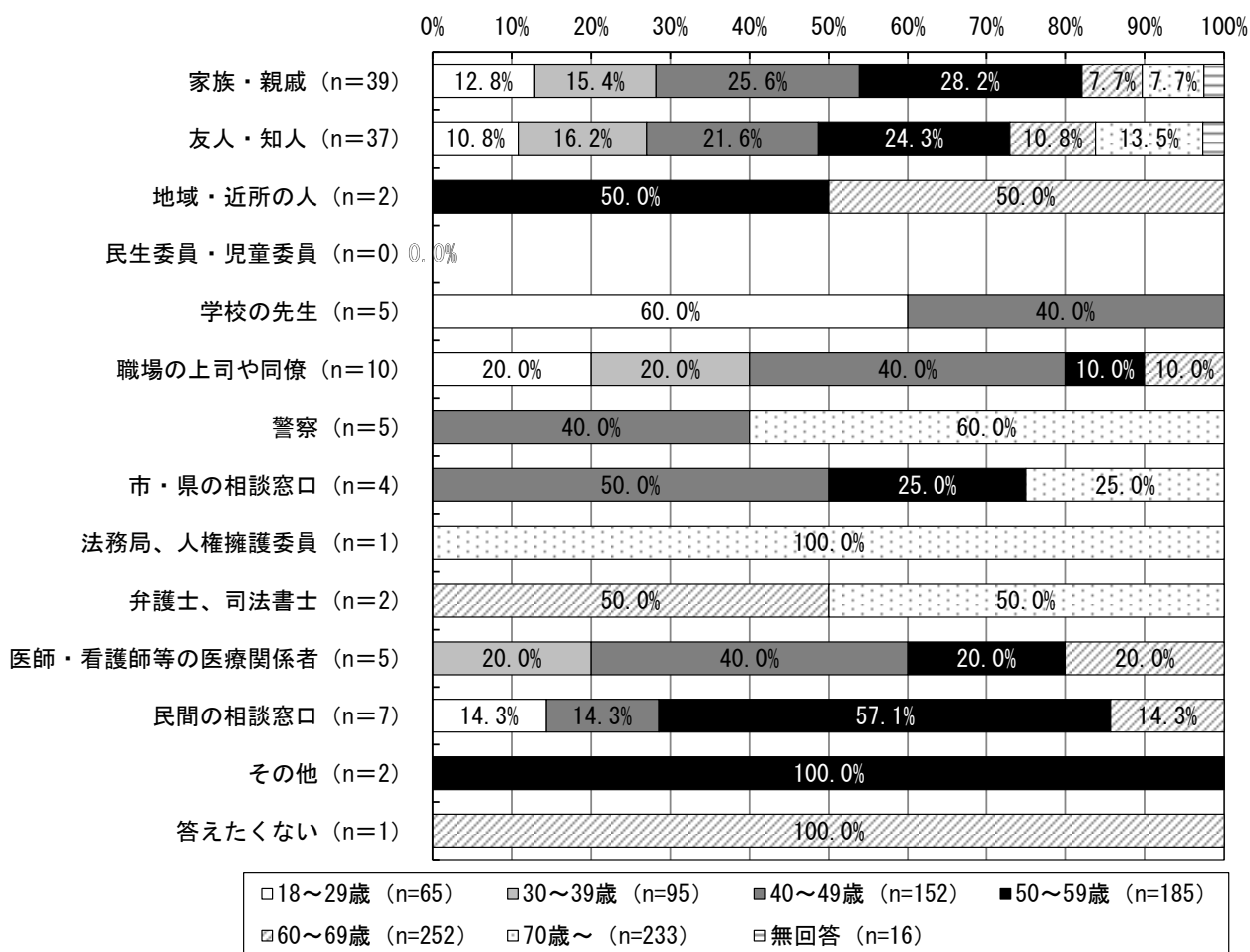


□男性 (n=13) □女性 (n=49) ■その他 (n=0) ■答えたくない (n=1) □無回答 (n=2)

項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
家族・親戚	39	7	31	0	0	1	家族・親戚	32.5%	17.9%	79.5%	0.0%	0.0%	2.6%
友人・知人	37	9	26	0	0	2	友人・知人	30.8%	24.3%	70.3%	0.0%	0.0%	5.4%
地域・近所の人	2	0	2	0	0	0	地域・近所の人	1.7%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
民生委員・児童委員	0	0	0	0	0	0	民生委員・児童委員	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学校の先生	5	1	4	0	0	0	学校の先生	4.2%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職場の上司や同僚	10	2	8	0	0	0	職場の上司や同僚	8.3%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
警察	5	2	3	0	0	0	警察	4.2%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
市・県の相談窓口	4	1	3	0	0	0	市・県の相談窓口	3.3%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
法務局、人権擁護委員	1	0	1	0	0	0	法務局、人権擁護委員	0.8%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
弁護士、司法書士	2	0	2	0	0	0	弁護士、司法書士	1.7%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医師・看護師等の医療関係者	5	0	5	0	0	0	医師・看護師等の医療関係者	4.2%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
民間の相談窓口	7	0	7	0	0	0	民間の相談窓口	5.8%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	2	0	1	0	1	0	その他	1.7%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
答えたくない	1	0	1	0	0	0	答えたくない	0.8%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	65	13	49	0	1	2	回答者数						
非該当	933	412	493	2	11	15	非該当						
回答計	120	22	94	0	1	3	回答計						

**問7 年代別クロス**

どこ（誰）に相談したかについて年代別で見ると、最も回答の多かった「家族・親戚」を選んだ39人のうち、「50～59歳」が28.2%と最も多く、次いで「40～49歳」が25.6%、「30～39歳」が15.4%となっています。



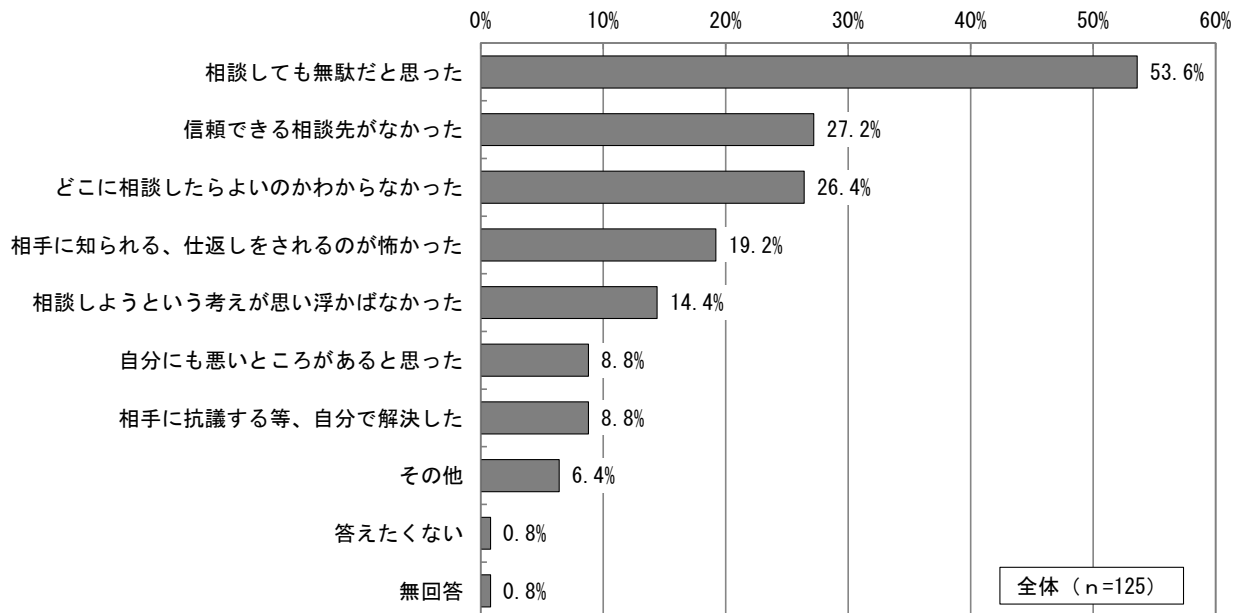
項目(度数)	全体	年代別							項目(比率)	全体	年代別							70歳～	無回答
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答		
家族・親戚	39	5	6	10	11	3	3	1	家族・親戚	32.5%	12.8%	15.4%	25.6%	28.2%	7.7%	7.7%	2.6%		
友人・知人	37	4	6	8	9	4	5	1	友人・知人	30.8%	10.8%	16.2%	21.6%	24.3%	10.8%	13.5%	2.7%		
地域・近所の人	2	0	0	0	1	1	0	0	地域・近所の人	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
民生委員・児童委員	0	0	0	0	0	0	0	0	民生委員・児童委員	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
学校の先生	5	3	0	2	0	0	0	0	学校の先生	4.2%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
職場の上司や同僚	10	2	2	4	1	1	0	0	職場の上司や同僚	8.3%	20.0%	20.0%	40.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%		
警察	5	0	0	2	0	0	3	0	警察	4.2%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%		
市・県の相談窓口	4	0	0	2	1	0	1	0	市・県の相談窓口	3.3%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%		
法務局、人権擁護委員	1	0	0	0	0	0	1	0	法務局、人権擁護委員	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%		
弁護士、司法書士	2	0	0	0	0	1	1	0	弁護士、司法書士	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
医師・看護師等の医療関係者	5	0	1	2	1	1	0	0	医師・看護師等の医療関係者	4.2%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%		
民間の相談窓口	7	1	0	1	4	1	0	0	民間の相談窓口	5.8%	14.3%	0.0%	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%		
その他	2	0	0	0	2	0	0	0	その他	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
答えたくない	1	0	0	0	0	1	0	0	答えたくない	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
回答者数	65	10	7	12	15	10	10	1	回答者数										
非該当	933	55	88	140	170	242	223	15	非該当										
回答計	120	15	15	31	30	13	14	2	回答計										

○市民意識調査結果

[問6で「2. 相談しなかった」と回答した方に伺います。]

**問8 相談しなかったのはなぜですか。(○はいくつでも)**

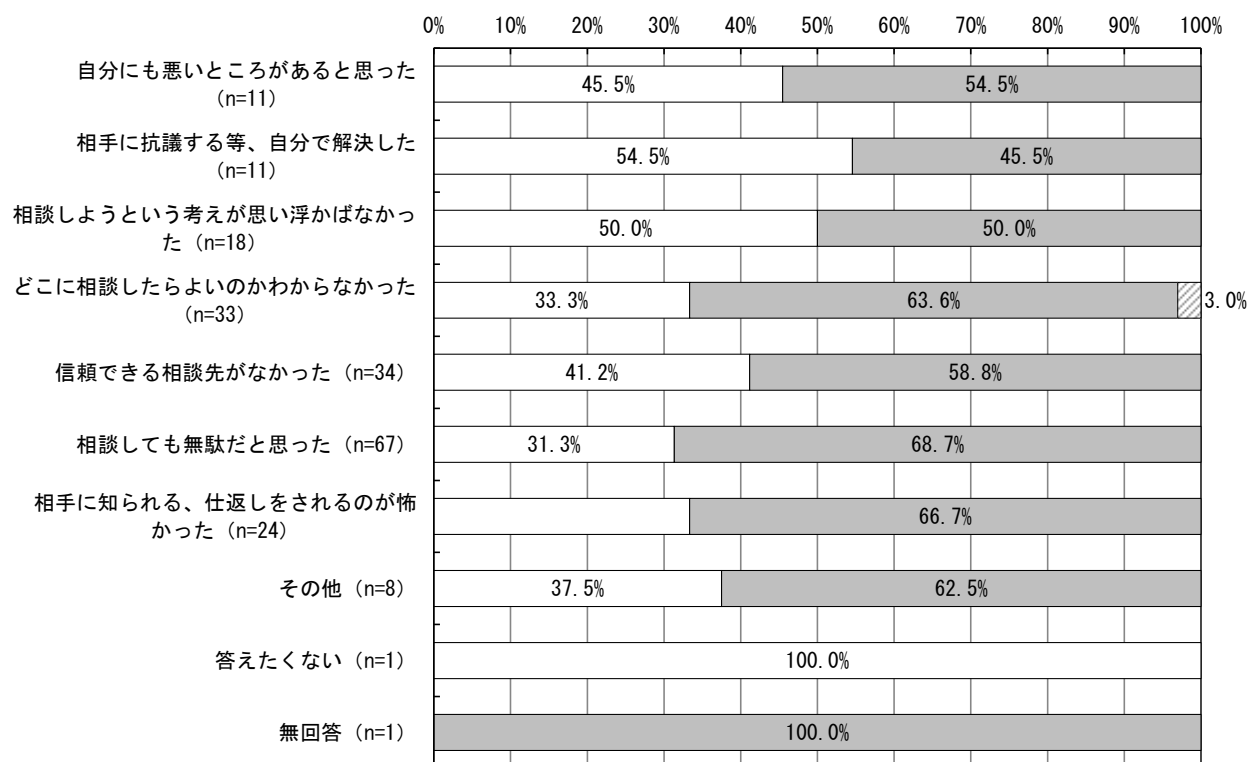
相談しなかった理由については、「相談しても無駄だと思った」が53.6%と最も多く、次いで「信頼できる相談先がなかった」が27.2%、「どこに相談したらよいのかわからなかった」が26.4%となっています。



項目	度数	比率
相談しても無駄だと思った	67	53.6%
信頼できる相談先がなかった	34	27.2%
どこに相談したらよいのかわからなかった	33	26.4%
相手に知られる、仕返しをされるのが怖かった	24	19.2%
相談しようという考えが思い浮かばなかった	18	14.4%
自分にも悪いところがあった	11	8.8%
相手に抗議する等、自分で解決した	11	8.8%
その他	8	6.4%
答えたくない	1	0.8%
無回答	1	0.8%
回答者数	125	
非該当	873	
回答計	208	

**問8 性別クロス**

相談しなかった理由について性別でみると、最も回答の多かった「相談しても無駄だと思った」を選んだ67人のうち、「男性」が31.3%、「女性」が68.7%となっています。



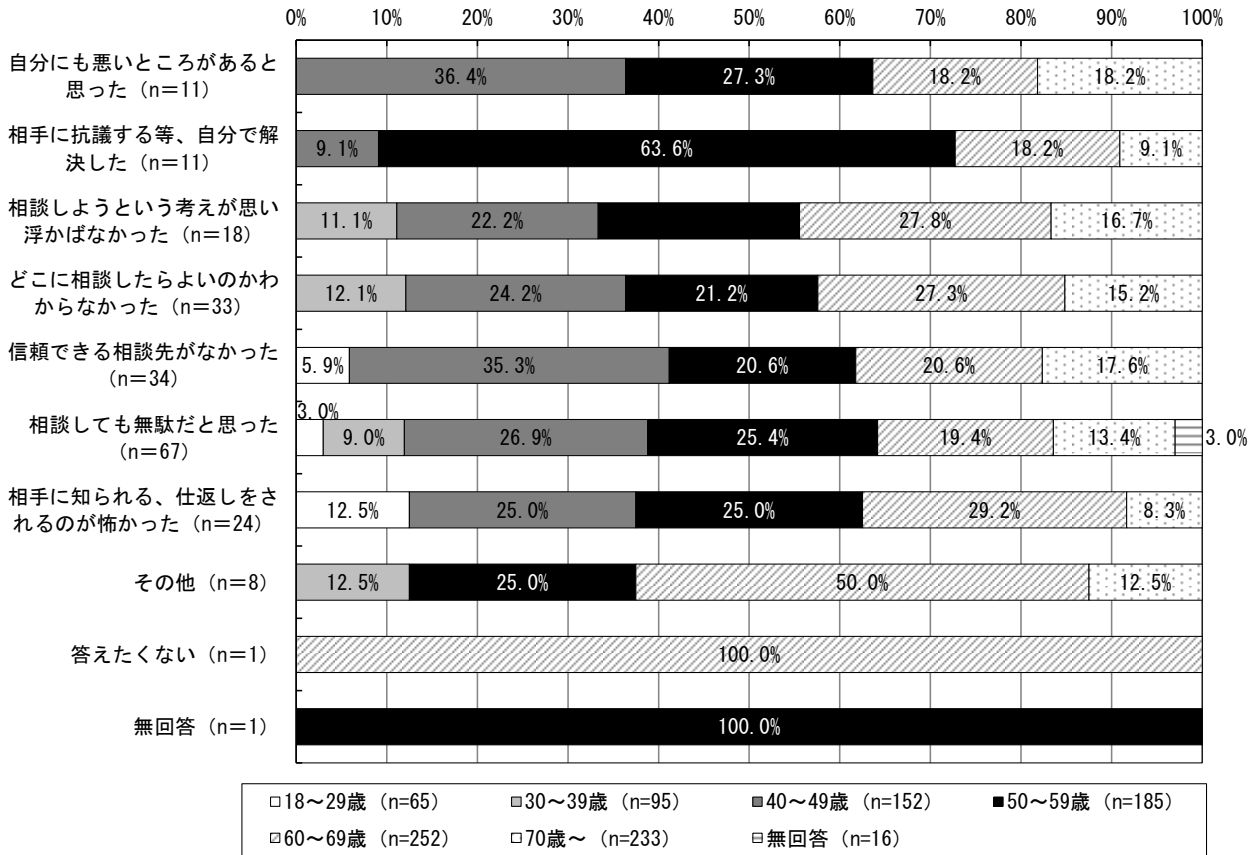
□男性 (n=50) □女性 (n=74) ■その他 (n=0) ■答えたくない (n=0) □無回答 (n=1)

項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
自分にも悪いところがあった	11	5	6	0	0	0	自分にも悪いところがあった	5.3%	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%
相手に抗議する等、自分で解決した	11	6	5	0	0	0	相手に抗議する等、自分で解決した	5.3%	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%
相談しようという考えが思い浮かばなかった	18	9	9	0	0	0	相談しようという考えが思い浮かばなかった	8.7%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
どこに相談したらよいかわからなかった	33	11	21	0	0	1	どこに相談したらよいかわからなかった	15.9%	33.3%	63.6%	0.0%	0.0%	3.0%
信頼できる相談先がなかった	34	14	20	0	0	0	信頼できる相談先がなかった	16.3%	41.2%	58.8%	0.0%	0.0%	0.0%
相談しても無駄だと思った	67	21	46	0	0	0	相談しても無駄だと思った	32.2%	31.3%	68.7%	0.0%	0.0%	0.0%
相手に知られる、仕返しをされるのが怖かった	24	8	16	0	0	0	相手に知られる、仕返しをされるのが怖かった	11.5%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	8	3	5	0	0	0	その他	3.8%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%
答えたくない	1	1	0	0	0	0	答えたくない	0.5%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1	0	1	0	0	0	無回答	0.5%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	125	50	74	0	0	1	回答者数						
非該当	873	375	468	2	12	16	非該当						
回答計	208	78	129	0	0	1	回答計						

○市民意識調査結果

**問8 年代別クロス**

相談しなかった理由について年代別でみると、最も回答の多かった「相談しても無駄だと思った」を選んだ67人のうち、「40～49歳」が26.9%と最も多く、次いで「50～59歳」が25.4%、「60～69歳」が19.4%となっています。

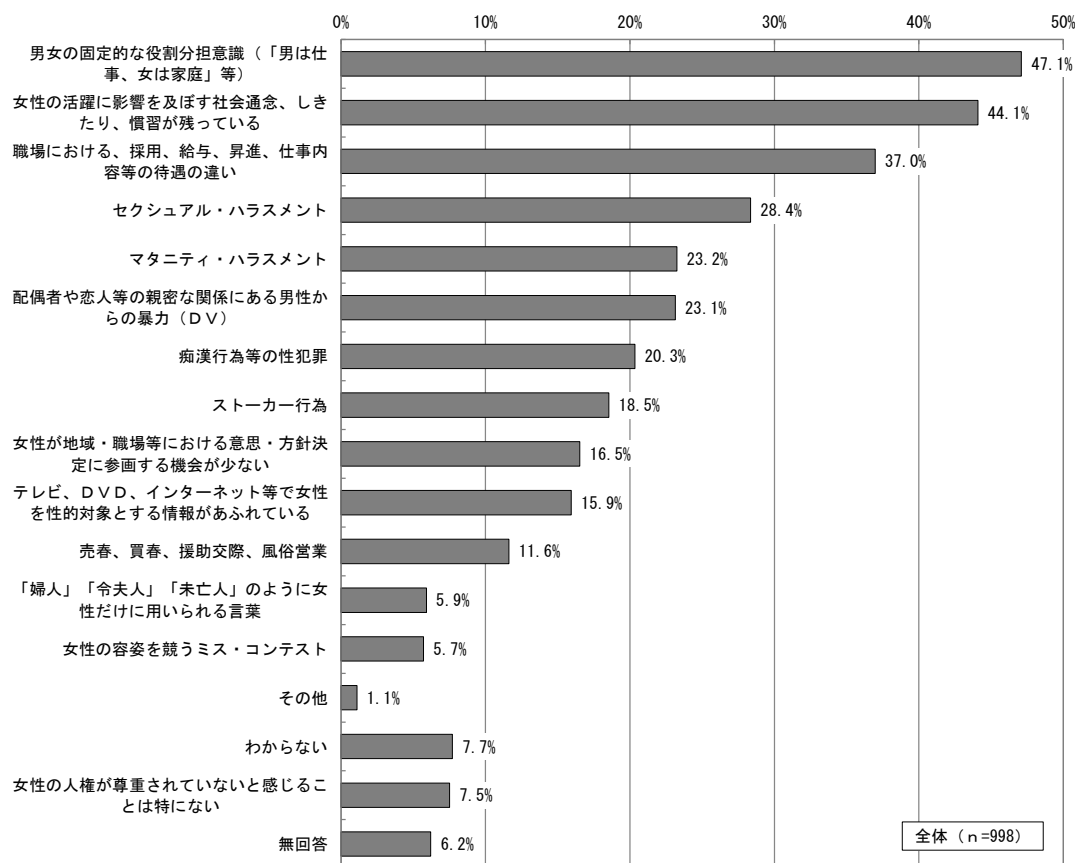


項目(度数)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	項目(比率)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
自分にも悪いところがあると思った	11	0	0	4	3	2	2	0	自分にも悪いところがあると思った	5.3%	0.0%	0.0%	36.4%	27.3%	18.2%	18.2%	0.0%
相手に抗議する等、自分で解決した	11	0	0	1	7	2	1	0	相手に抗議する等、自分で解決した	5.3%	0.0%	0.0%	9.1%	63.6%	18.2%	9.1%	0.0%
相談しようという考えが思い浮かばなかった	18	0	2	4	4	5	3	0	相談しようという考えが思い浮かばなかった	8.7%	0.0%	11.1%	22.2%	22.2%	27.8%	16.7%	0.0%
どこに相談したらよいかわからなかった	33	0	4	8	7	9	5	0	どこに相談したらよいかわからなかった	15.9%	0.0%	12.1%	24.2%	21.2%	27.3%	15.2%	0.0%
信頼できる相談先がなかった	34	2	0	12	7	7	6	0	信頼できる相談先がなかった	16.3%	5.9%	0.0%	35.3%	20.6%	20.6%	17.6%	0.0%
相談しても無駄だと思った	67	2	6	18	17	13	9	2	相談しても無駄だと思った	32.2%	3.0%	9.0%	26.9%	25.4%	19.4%	13.4%	3.0%
相手に知られる、仕返しをされるのが怖かった	24	3	0	6	6	7	2	0	相手に知られる、仕返しをされるのが怖かった	11.5%	12.5%	0.0%	25.0%	25.0%	29.2%	8.3%	0.0%
その他	8	0	1	0	2	4	1	0	その他	3.8%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	50.0%	12.5%	0.0%
答えたくない	1	0	0	0	0	1	0	0	答えたくない	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
無回答	1	0	0	0	1	0	0	0	無回答	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	125	4	11	28	33	30	17	2	回答者数								
非該当	873	61	84	124	152	222	216	14	非該当								
回答計	208	7	13	53	54	50	29	2	回答計								

## 2 女性の人権について

### 問9 女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。(○はいくつでも)

女性の人権が尊重されていないと感じることについては、「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」等）」が47.1%と最も多く、次いで「女性の活躍に影響を及ぼす社会通念、しきたり、慣習が残っている」が44.1%、「職場における、採用、給与、昇進、仕事内容等の待遇の違い」が37.0%となっています。

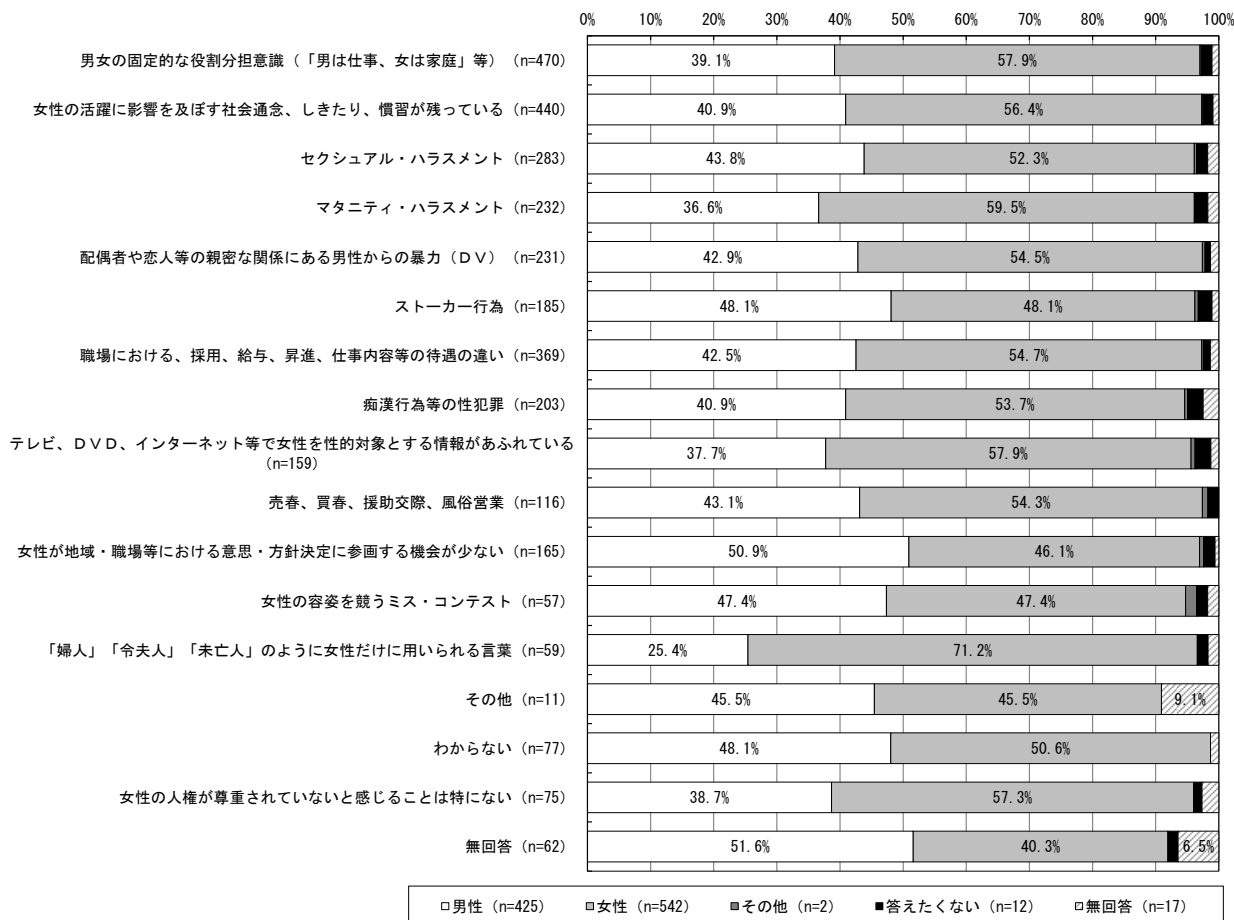


項目	度数	比率
男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」等）」	470	47.1%
女性の活躍に影響を及ぼす社会通念、しきたり、慣習が残っている	440	44.1%
職場における、採用、給与、昇進、仕事内容等の待遇の違い	369	37.0%
セクシュアル・ハラスメント	283	28.4%
マタニティ・ハラスメント	232	23.2%
配偶者や恋人等の親密な関係にある男性からの暴力（DV）	231	23.1%
痴漢行為等の性犯罪	203	20.3%
ストーカー行為	185	18.5%
女性が地域・職場等における意思・方針決定に参画する機会が少ない	165	16.5%
テレビ、DVD、インターネット等で女性を性的対象とする情報があふれている	159	15.9%
売春、買春、援助交際、風俗営業	116	11.6%
「婦人」「令夫人」「未亡人」のように女性だけに用いられる言葉	59	5.9%
女性の容姿を競うミス・コンテスト	57	5.7%
その他	11	1.1%
わからない	77	7.7%
女性の人権が尊重されていないと感じることは特にない	75	7.5%
無回答	62	6.2%
回答者数	998	
回答計	3194	

○市民意識調査結果

**問9 性別クロス**

女性の人権が尊重されていないと感じることについて性別で見ると、最も回答の多かった「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」等）」を選んだ470人のうち、「男性」が39.1%、「女性」が57.9%となっています。

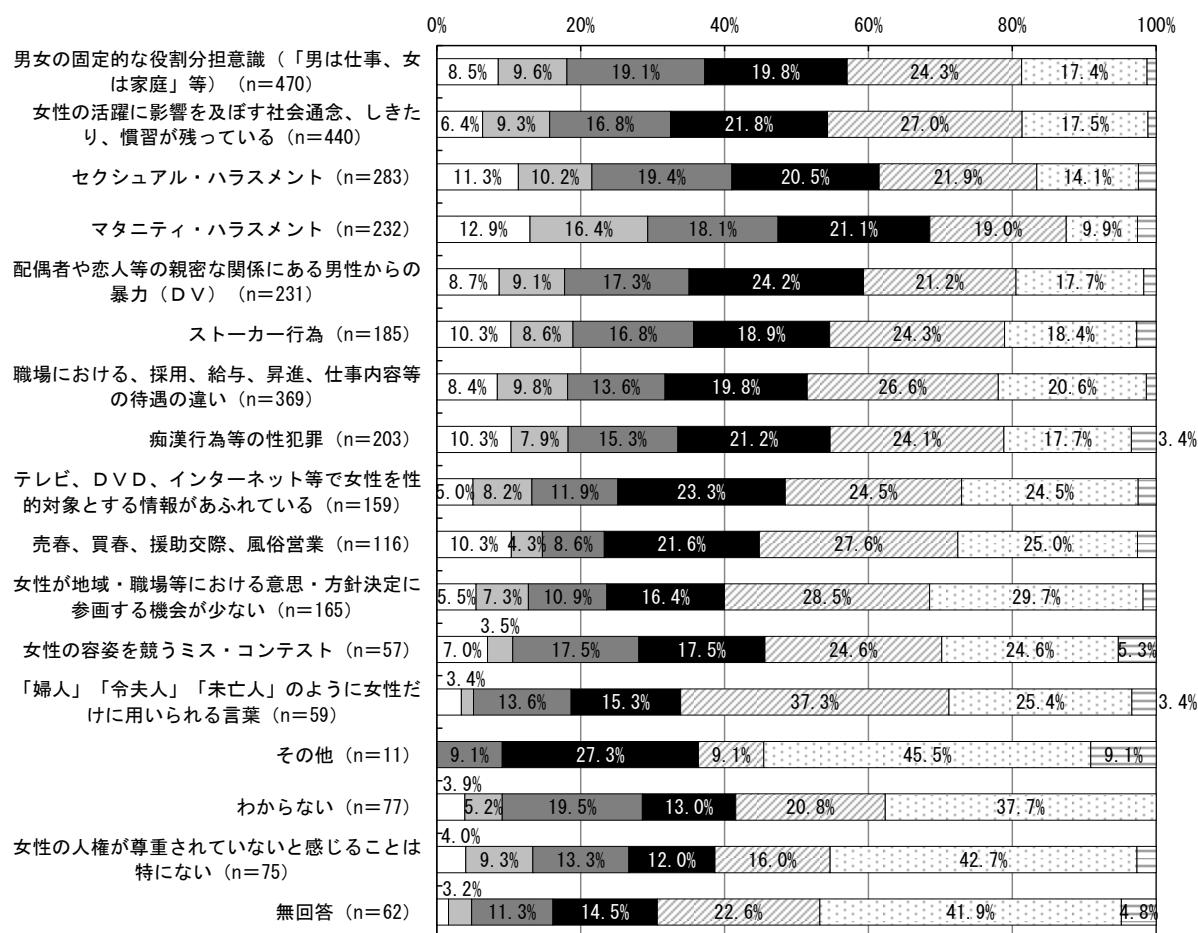


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」等）	470	184	272	1	8	5	男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」等）	14.7%	39.1%	57.9%	0.2%	1.7%	1.1%
女性の活躍に影響を及ぼす社会通念、しきたり、慣習が残っている	440	180	248	1	7	4	女性の活躍に影響を及ぼす社会通念、しきたり、慣習が残っている	13.8%	40.9%	56.4%	0.2%	1.6%	0.9%
セクシュアル・ハラスメント	283	124	148	1	5	5	セクシュアル・ハラスメント	8.9%	43.8%	52.3%	0.4%	1.8%	1.8%
マタニティ・ハラスメント	232	85	138	0	5	4	マタニティ・ハラスメント	7.3%	36.6%	59.5%	0.0%	2.2%	1.7%
配偶者や恋人等の親密な関係にある男性からの暴力(DV)	231	99	126	1	2	3	配偶者や恋人等の親密な関係にある男性からの暴力(DV)	7.2%	42.9%	54.5%	0.4%	0.9%	1.3%
ストーカー行為	185	89	89	1	4	2	ストーカー行為	5.8%	48.1%	48.1%	0.5%	2.2%	1.1%
職場における、採用、給与、昇進、仕事内容等の待遇の違い	369	157	202	1	4	5	職場における、採用、給与、昇進、仕事内容等の待遇の違い	11.6%	42.5%	54.7%	0.3%	1.1%	1.4%
痴漢行為等の性犯罪	203	83	109	1	5	5	痴漢行為等の性犯罪	6.4%	40.9%	53.7%	0.5%	2.5%	2.5%
テレビ、DVD、インターネット等で女性を性的対象とする情報があふれている	159	60	92	1	4	2	テレビ、DVD、インターネット等で女性を性的対象とする情報があふれている	5.0%	37.7%	57.9%	0.6%	2.5%	1.3%
売春、買春、援助交際、風俗営業	116	50	63	1	2	0	売春、買春、援助交際、風俗営業	3.6%	43.1%	54.3%	0.9%	1.7%	0.0%
女性が地域・職場等における意思・方針決定に参画する機会が少ない	165	84	76	1	3	1	女性が地域・職場等における意思・方針決定に参画する機会が少ない	5.2%	50.9%	46.1%	0.6%	1.8%	0.6%
女性の容姿を競うミス・コンテスト	57	27	27	1	1	1	女性の容姿を競うミス・コンテスト	1.8%	47.4%	47.4%	1.8%	1.8%	1.8%
「婦人」「令夫人」「未亡人」のように女性だけに用いられる言葉	59	15	42	0	1	1	「婦人」「令夫人」「未亡人」のように女性だけに用いられる言葉	1.8%	25.4%	71.2%	0.0%	1.7%	1.7%
その他	11	5	5	0	0	1	その他	0.3%	45.5%	45.5%	0.0%	0.0%	9.1%
わからない	77	37	39	0	0	1	わからない	2.4%	48.1%	50.6%	0.0%	0.0%	1.3%
女性の人権が尊重されていないと感じることは特にならない	75	29	43	0	1	2	女性の人権が尊重されていないと感じることは特にならない	2.3%	38.7%	57.3%	0.0%	1.3%	2.7%
無回答	62	32	25	0	1	4	無回答	1.9%	51.6%	40.3%	0.0%	1.6%	6.5%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	3194	1340	1744	11	53	46	回答計						



**問9 年代別クロス**

女性の人権が尊重されていないと感じることについて年代別でみると、最も回答の多かった「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」等）」を選んだ470人のうち、「60～69歳」が24.3%と最も多く、次いで「50～59歳」が19.8%、「40～49歳」が19.1%となっています。



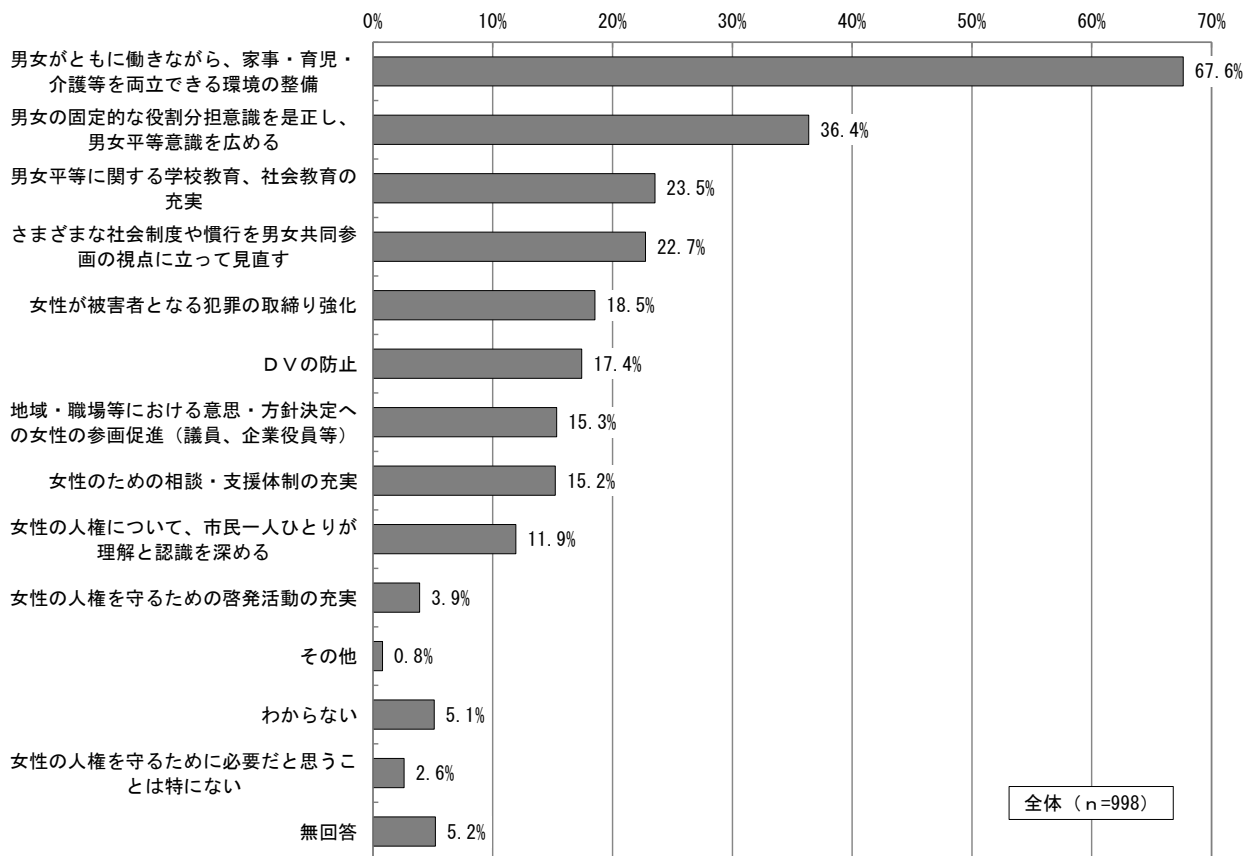
18～29歳 (n=65)   
  30～39歳 (n=95)   
  40～49歳 (n=152)   
  50～59歳 (n=185)  
 60～69歳 (n=252)   
  70歳～ (n=233)   
  無回答 (n=16)

項目	全体	年代別							項目(比率)	全体	年代別							70歳～	無回答
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答		
男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」等）	470	40	45	90	93	114	82	6	男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」等）	14.7%	8.5%	9.6%	19.1%	19.8%	24.3%	17.4%	1.3%		
女性の活躍に影響を及ぼす社会通念、しきたり、慣習が残っている	440	28	41	74	96	119	77	5	女性の活躍に影響を及ぼす社会通念、しきたり、慣習が残っている	13.8%	6.4%	9.3%	16.8%	21.8%	27.0%	17.5%	1.1%		
セクシュアル・ハラスメント	283	32	29	55	58	62	40	7	セクシュアル・ハラスメント	8.9%	11.3%	10.2%	19.4%	20.5%	21.9%	14.1%	2.5%		
マタニティ・ハラスメント	232	30	38	42	49	44	23	6	マタニティ・ハラスメント	7.3%	12.9%	16.4%	18.1%	21.1%	19.0%	9.9%	2.6%		
配偶者や恋人等の親密な関係にある男性からの暴力(DV)	231	20	21	40	56	49	41	4	配偶者や恋人等の親密な関係にある男性からの暴力(DV)	7.2%	8.7%	9.1%	17.3%	24.2%	21.2%	17.7%	1.7%		
ストーカー行為	185	19	16	31	35	45	34	5	ストーカー行為	5.8%	10.3%	8.6%	16.8%	18.9%	24.3%	18.4%	2.7%		
職場における、採用、給与、昇進、仕事内容等の待遇の違い	369	31	36	50	73	98	76	5	職場における、採用、給与、昇進、仕事内容等の待遇の違い	11.6%	8.4%	9.8%	13.6%	19.8%	26.6%	20.6%	1.4%		
痴漢行為等の性犯罪	203	21	16	31	43	49	36	7	痴漢行為等の性犯罪	6.4%	10.3%	7.9%	15.3%	21.2%	24.1%	17.7%	3.4%		
テレビ、DVD、インターネット等で女性を性的対象とする情報があふれている	159	8	13	19	37	39	39	4	テレビ、DVD、インターネット等で女性を性的対象とする情報があふれている	5.0%	5.0%	8.2%	11.9%	23.3%	24.5%	24.5%	2.5%		
売春、買春、援助交際、風俗営業	116	12	5	10	25	32	29	3	売春、買春、援助交際、風俗営業	3.6%	10.3%	4.3%	8.6%	21.6%	27.6%	25.0%	2.6%		
女性が地域・職場等における意思・方針決定に参画する機会が少ない	165	9	12	18	27	47	49	3	女性が地域・職場等における意思・方針決定に参画する機会が少ない	5.2%	5.5%	7.3%	10.9%	16.4%	28.5%	29.7%	1.8%		
女性の容姿を競うミス・コンテスト	57	4	2	10	10	14	14	3	女性の容姿を競うミス・コンテスト	1.8%	7.0%	3.5%	17.5%	17.5%	24.6%	24.6%	5.3%		
「婦人」「令夫人」「未亡人」のように女性だけに用いられる言葉	59	2	1	8	9	22	15	2	「婦人」「令夫人」「未亡人」のように女性だけに用いられる言葉	1.8%	3.4%	1.7%	13.6%	15.3%	37.3%	25.4%	3.4%		
その他	11	0	0	1	3	1	5	1	その他	0.3%	0.0%	0.0%	9.1%	27.3%	9.1%	45.5%	9.1%		
わからない	77	3	4	15	10	16	29	0	わからない	2.4%	3.9%	5.2%	19.5%	13.0%	20.8%	37.7%	0.0%		
女性の人権が尊重されていないと感じることは特にない	75	3	7	10	9	12	32	2	女性の人権が尊重されていないと感じることは特にない	2.3%	4.0%	9.3%	13.3%	12.0%	16.0%	42.7%	2.7%		
無回答	62	1	2	7	9	14	26	3	無回答	1.9%	1.6%	3.2%	11.3%	14.5%	22.6%	41.9%	4.8%		
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数										
回答計	3194	263	288	511	642	777	647	66	回答計										

○市民意識調査結果

**問 10 女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に大切だと思うものを選んでください。（○は3つまで）**

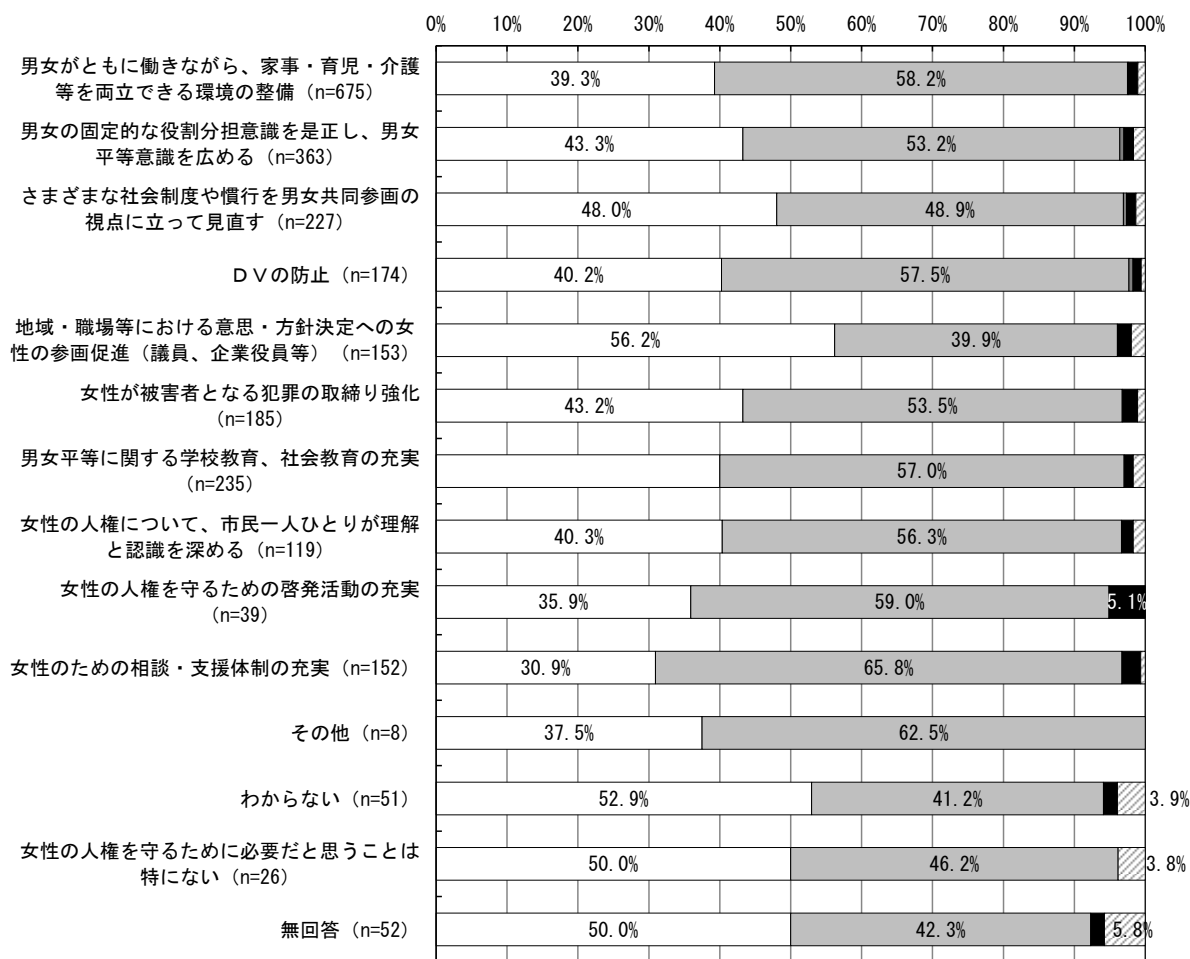
女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思うかについては、「男女がともに働きながら、家事・育児・介護等を両立できる環境の整備」が67.6%と最も多く、次いで「男女の固定的な役割分担意識を是正し、男女平等意識を広める」が36.4%、「男女平等に関する学校教育、社会教育の充実」が23.5%となっています。



項目	度数	比率
男女がともに働きながら、家事・育児・介護等を両立できる環境の整備	675	67.6%
男女の固定的な役割分担意識を是正し、男女平等意識を広める	363	36.4%
男女平等に関する学校教育、社会教育の充実	235	23.5%
さまざまな社会制度や慣行を男女共同参画の視点に立って見直す	227	22.7%
女性が被害者となる犯罪の取締り強化	185	18.5%
DVの防止	174	17.4%
地域・職場等における意思・方針決定への女性の参画促進（議員、企業役員等）	153	15.3%
女性のための相談・支援体制の充実	152	15.2%
女性の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	119	11.9%
女性の人権を守るための啓発活動の充実	39	3.9%
その他	8	0.8%
わからない	51	5.1%
女性の人権を守るために必要だと思うことは特にはない	26	2.6%
無回答	52	5.2%
回答者数	998	
回答計	2459	

**問 10 性別クロス**

女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思うかについて性別でみると、最も回答の多かった「男女がともに働きながら、家事・育児・介護等を両立できる環境の整備」を選んだ675人のうち、「男性」が39.3%、「女性」が58.2%となっています。



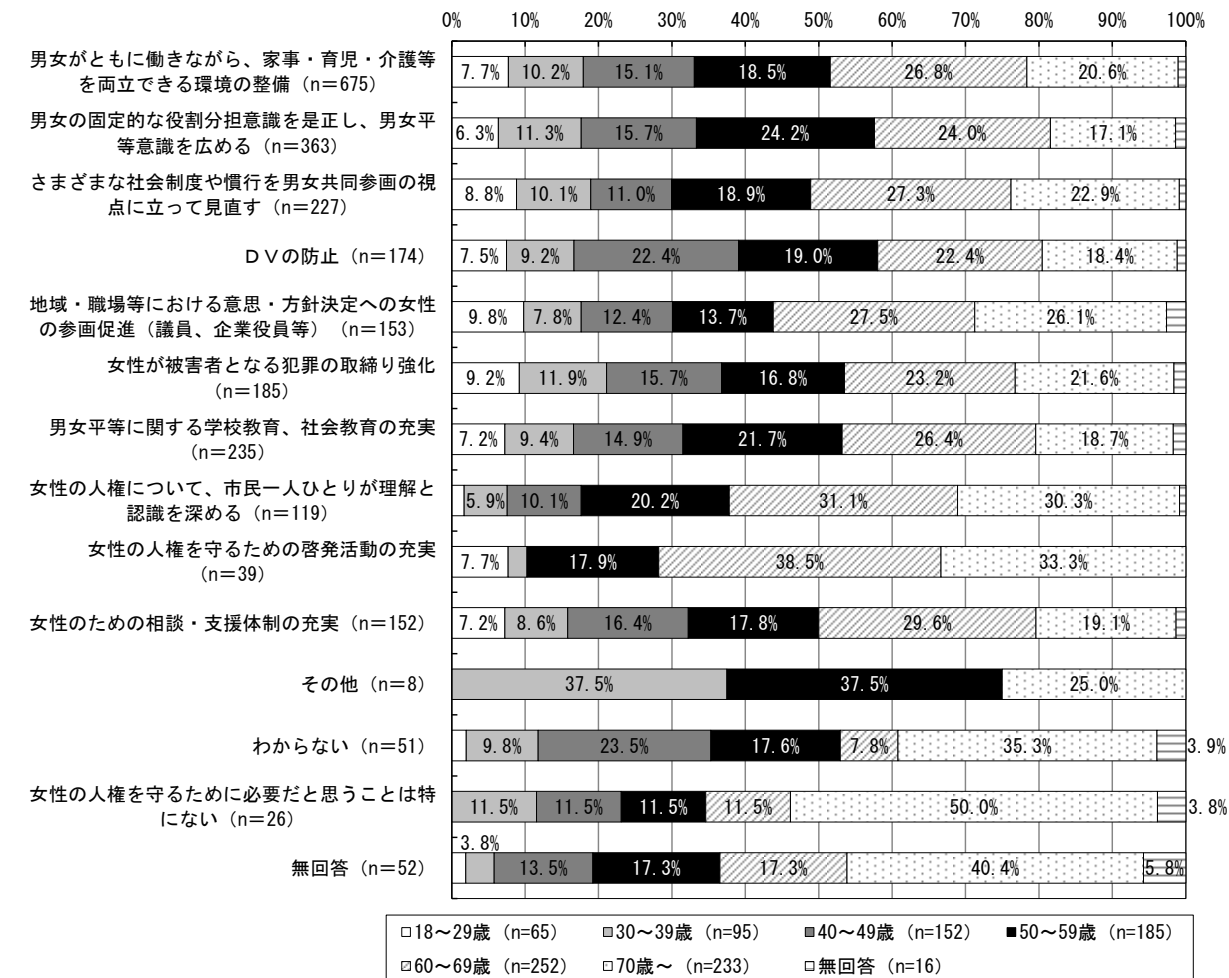
□男性 (n=425) □女性 (n=542) ■その他 (n=2) ■答えたくない (n=12) □無回答 (n=17)

項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
男女がともに働きながら、家事・育児・介護等を両立できる環境の整備	675	265	393	1	9	7	男女がともに働きながら、家事・育児・介護等を両立できる環境の整備	27.5%	39.3%	58.2%	0.1%	1.3%	1.0%
男女の固定的な役割分担意識を是正し、男女平等意識を広める	363	157	193	2	5	6	男女の固定的な役割分担意識を是正し、男女平等意識を広める	14.8%	43.3%	53.2%	0.6%	1.4%	1.7%
さまざまな社会制度や慣行を男女共同参画の視点に立って見直す	227	109	111	1	3	3	さまざまな社会制度や慣行を男女共同参画の視点に立って見直す	9.2%	48.0%	48.9%	0.4%	1.3%	1.3%
DVの防止	174	70	100	1	2	1	DVの防止	7.1%	40.2%	57.5%	0.6%	1.1%	0.6%
地域・職場等における意思・方針決定への女性の参画促進(議員、企業役員等)	153	86	61	0	3	3	地域・職場等における意思・方針決定への女性の参画促進(議員、企業役員等)	6.2%	56.2%	39.9%	0.0%	2.0%	2.0%
女性が被害者となる犯罪の取締り強化	185	80	99	0	4	2	女性が被害者となる犯罪の取締り強化	7.5%	43.2%	53.5%	0.0%	2.2%	1.1%
男女平等に関する学校教育、社会教育の充実	235	94	134	0	3	4	男女平等に関する学校教育、社会教育の充実	9.6%	40.0%	57.0%	0.0%	1.3%	1.7%
女性の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	119	48	67	0	2	2	女性の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	4.8%	40.3%	56.3%	0.0%	1.7%	1.7%
女性の人権を守るための啓発活動の充実	39	14	23	0	2	0	女性の人権を守るための啓発活動の充実	1.6%	35.9%	59.0%	0.0%	5.1%	0.0%
女性のための相談・支援体制の充実	152	47	100	0	4	1	女性のための相談・支援体制の充実	6.2%	30.9%	65.8%	0.0%	2.6%	0.7%
その他( )	8	3	5	0	0	0	その他( )	0.3%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	51	27	21	0	1	2	わからない	2.1%	52.9%	41.2%	0.0%	2.0%	3.9%
女性の人権を守るために必要だと思うことは特にない	26	13	12	0	0	1	女性の人権を守るために必要だと思うことは特にない	1.1%	50.0%	46.2%	0.0%	0.0%	3.8%
無回答	52	26	22	0	1	3	無回答	2.1%	50.0%	42.3%	0.0%	1.9%	5.8%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	2459	1039	1341	5	39	35	回答計						

○市民意識調査結果

**問 10 年代別クロス**

女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思うかについて年代別でみると、最も回答の多かった「男女がともに働きながら、家事・育児・介護等を両立できる環境の整備」を選んだ675人のうち、「60～69歳」が26.8%と最も多く、次いで「70歳～」が20.6%、「50～59歳」が18.5%となっています。

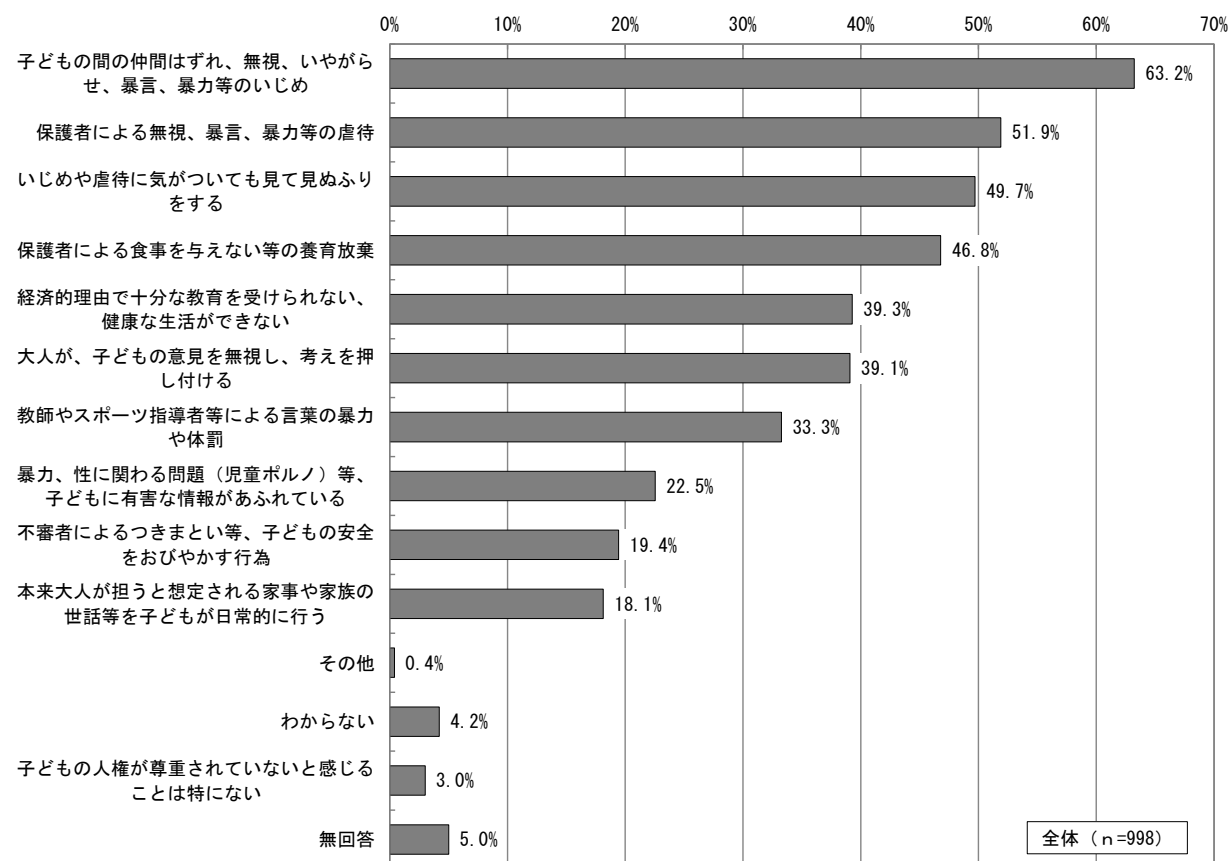


項目	全体	項目(比率)							全体	項目(比率)						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
男女がともに働きながら、家事・育児・介護等を両立できる環境の整備	675	52	69	102	125	181	139	7	27.5%	7.7%	10.2%	15.1%	18.5%	26.8%	20.6%	1.0%
男女の固定的な役割分担意識を是正し、男女平等意識を広める	363	23	41	57	88	87	62	5	14.8%	6.3%	11.3%	15.7%	24.2%	24.0%	17.1%	1.4%
さまざまな社会制度や慣行を男女共同参画の視点に立って見直す	227	20	23	25	43	62	52	2	9.2%	8.8%	10.1%	11.0%	18.9%	27.3%	22.9%	0.9%
DVの防止	174	13	16	39	33	39	32	2	7.1%	7.5%	9.2%	22.4%	19.0%	22.4%	18.4%	1.1%
地域・職場等における意思・方針決定への女性の参画促進(議員、企業役員等)	153	15	12	19	21	42	40	4	6.2%	9.8%	7.8%	12.4%	13.7%	27.5%	26.1%	2.6%
女性が被害者となる犯罪の取締り強化	185	17	22	29	31	43	40	3	7.5%	9.2%	11.9%	15.7%	16.8%	23.2%	21.6%	1.6%
男女平等に関する学校教育、社会教育の充実	235	17	22	35	51	62	44	4	9.6%	7.2%	9.4%	14.9%	21.7%	26.4%	18.7%	1.7%
女性の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	119	2	7	12	24	37	36	1	4.8%	1.7%	5.9%	10.1%	20.2%	31.1%	30.3%	0.8%
女性の人権を守るための啓発活動の充実	39	3	1	0	7	15	13	0	1.6%	7.7%	2.6%	0.0%	17.9%	38.5%	33.3%	0.0%
女性のための相談・支援体制の充実	152	11	13	25	27	45	29	2	6.2%	7.2%	8.6%	16.4%	17.8%	29.6%	19.1%	1.3%
その他	8	0	3	0	3	0	2	0	0.3%	0.0%	37.5%	0.0%	37.5%	0.0%	25.0%	0.0%
わからない	51	1	5	12	9	4	18	2	2.1%	2.0%	9.8%	23.5%	17.6%	7.8%	35.3%	3.9%
女性の人権を守るために必要だと思うことはない	26	0	3	3	3	3	13	1	1.1%	0.0%	11.5%	11.5%	11.5%	11.5%	50.0%	3.8%
無回答	52	1	2	7	9	9	21	3	2.1%	1.9%	3.8%	13.5%	17.3%	17.3%	40.4%	5.8%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16								
回答計	2459	175	239	365	474	629	541	36								

### 3 子どもの人権について

#### 問11 子どもの人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。(〇はいくつでも)

子どもの人権が尊重されていないと感じることについては、「子どもの間の仲間はずれ、無視、いやがらせ、暴言、暴力等のいじめ」が63.2%と最も多く、次いで「保護者による無視、暴言、暴力等の虐待」が51.9%、「いじめや虐待に気がついても見て見ぬふりをする」が49.7%となっています。

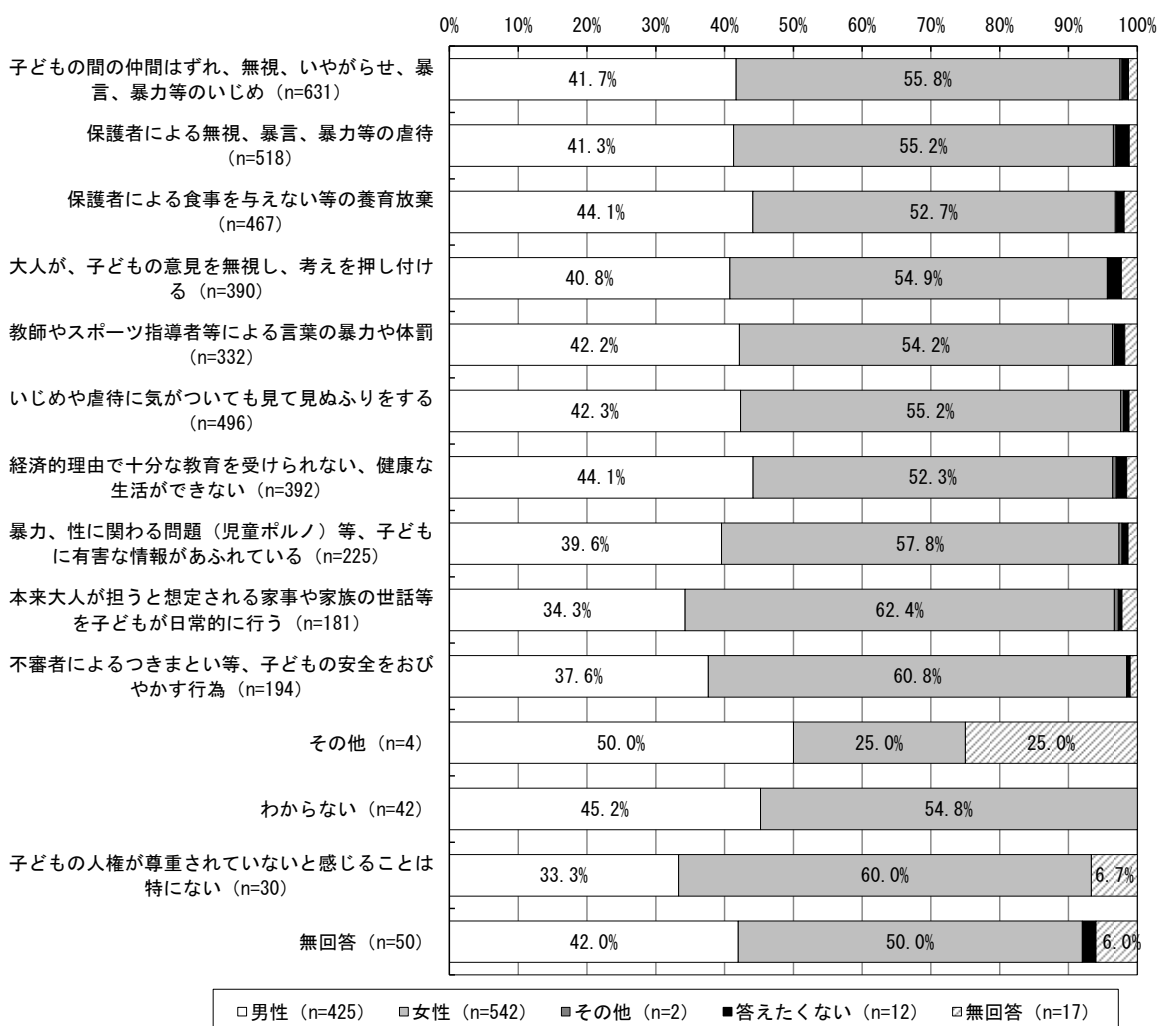


項目	度数	比率
子どもの間の仲間はずれ、無視、いやがらせ、暴言、暴力等のいじめ	631	63.2%
保護者による無視、暴言、暴力等の虐待	518	51.9%
いじめや虐待に気がついても見て見ぬふりをする	496	49.7%
保護者による食事を与えない等の養育放棄	467	46.8%
経済的理由で十分な教育を受けられない、健康な生活ができない	392	39.3%
大人が、子どもの意見を無視し、考えを押し付ける	390	39.1%
教師やスポーツ指導者等による言葉の暴力や体罰	332	33.3%
暴力、性に関わる問題(児童ポルノ)等、子どもに有害な情報があふれている	225	22.5%
不審者によるつきまとい等、子どもの安全をおびやかす行為	194	19.4%
本来大人が担うと想定される家事や家族の世話を子どもが日常的に行う	181	18.1%
その他	4	0.4%
わからない	42	4.2%
子どもの人権が尊重されていないと感じることは特にない	30	3.0%
無回答	50	5.0%
回答者数	998	
回答計	3952	

○市民意識調査結果

**問 11 性別クロス**

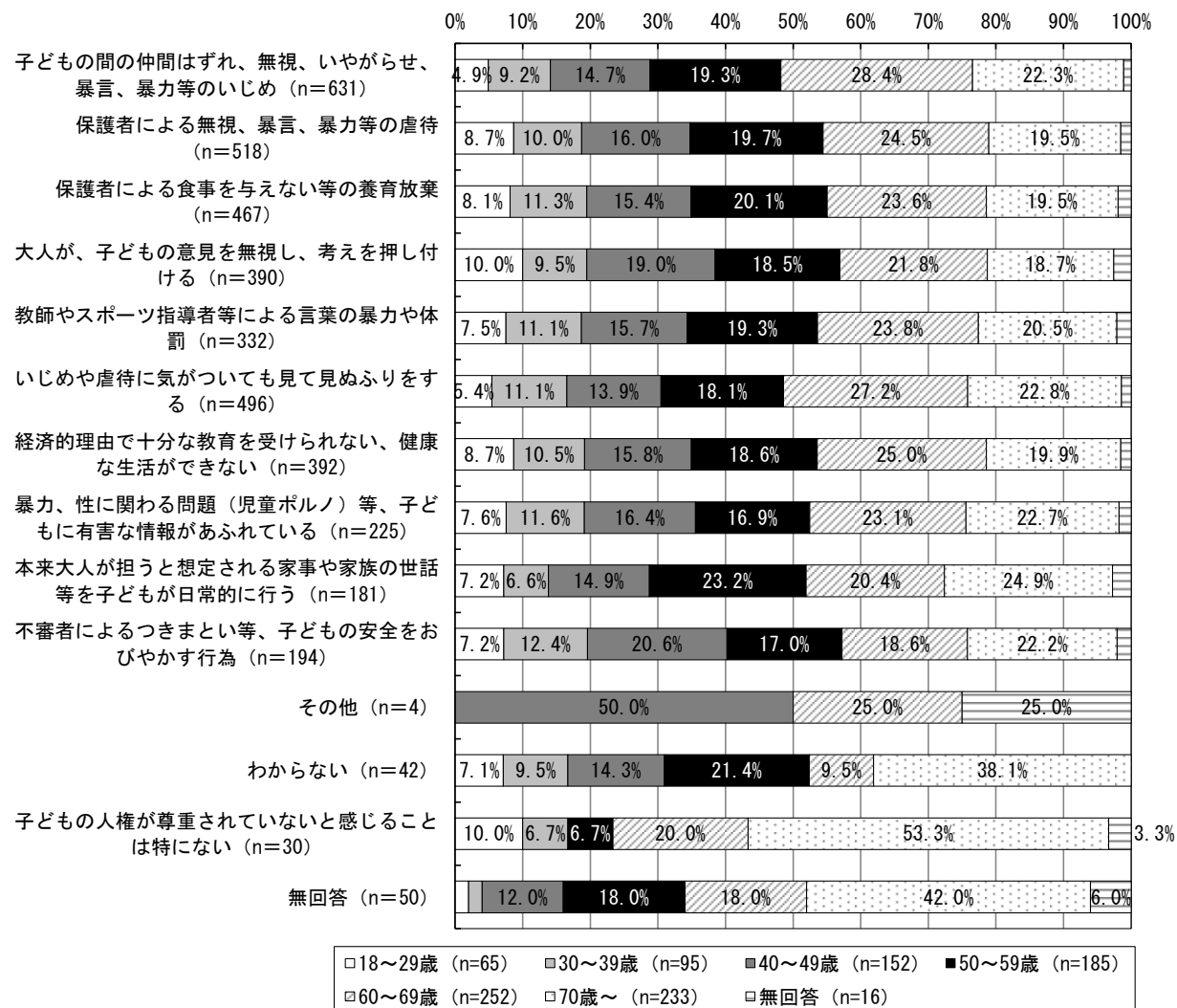
子どもの人権が尊重されていないと感じることについて性別でみると、最も回答の多かった「子どもの間の仲間はずれ、無視、いやがらせ、暴言、暴力等のいじめ」を選んだ 631 人のうち、「男性」が 41.7%、「女性」が 55.8%となっています。



項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
子どもの間の仲間はずれ、無視、いやがらせ、暴言、暴力等のいじめ	631	263	352	2	6	8	子どもの間の仲間はずれ、無視、いやがらせ、暴言、暴力等のいじめ	16.0%	41.7%	55.8%	0.3%	1.0%	1.3%
保護者による無視、暴言、暴力等の虐待	518	214	286	2	10	6	保護者による無視、暴言、暴力等の虐待	13.1%	41.3%	55.2%	0.4%	1.9%	1.2%
保護者による食事を与えない等の養育放棄	467	206	246	1	5	9	保護者による食事を与えない等の養育放棄	11.8%	44.1%	52.7%	0.2%	1.1%	1.9%
大人が、子どもの意見を無視し、考えを押し付ける	390	159	214	0	8	9	大人が、子どもの意見を無視し、考えを押し付ける	9.9%	40.8%	54.9%	0.0%	2.1%	2.3%
教師やスポーツ指導者等による言葉の暴力や体罰	332	140	180	1	5	6	教師やスポーツ指導者等による言葉の暴力や体罰	8.4%	42.2%	54.2%	0.3%	1.5%	1.8%
いじめや虐待に気がついても見て見ぬふりをする	496	210	274	2	4	6	いじめや虐待に気がついても見て見ぬふりをする	12.6%	42.3%	55.2%	0.4%	0.8%	1.2%
経済的理由で十分な教育を受けられない、健康な生活ができない	392	173	205	2	6	6	経済的理由で十分な教育を受けられない、健康な生活ができない	9.9%	44.1%	52.3%	0.5%	1.5%	1.5%
暴力、性に関わる問題(児童ポルノ)等、子どもに有害な情報があふれている	225	89	130	1	2	3	暴力、性に関わる問題(児童ポルノ)等、子どもに有害な情報があふれている	5.7%	39.6%	57.8%	0.4%	0.9%	1.3%
本来大人が担うと想定される家事や家族の世話を子どもが日常的に行う	181	62	113	1	1	4	本来大人が担うと想定される家事や家族の世話を子どもが日常的に行う	4.6%	34.3%	62.4%	0.6%	0.6%	2.2%
不審者によるつきまとい等、子どもの安全をおびやかす行為	194	73	118	0	1	2	不審者によるつきまとい等、子どもの安全をおびやかす行為	4.9%	37.6%	60.8%	0.0%	0.5%	1.0%
その他	4	2	1	0	0	1	その他	0.1%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
わからない	42	19	23	0	0	0	わからない	1.1%	45.2%	54.8%	0.0%	0.0%	0.0%
子どもの人権が尊重されていないと感じることは特にない	30	10	18	0	0	2	子どもの人権が尊重されていないと感じることは特にない	0.8%	33.3%	60.0%	0.0%	0.0%	6.7%
無回答	50	21	25	0	1	3	無回答	1.3%	42.0%	50.0%	0.0%	2.0%	6.0%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	3952	1641	2185	12	49	65	回答計						

**問 11 年代別クロス**

子どもの人権が尊重されていないと感じることについて年代別でみると、最も回答の多かった「子どもの間の仲間はずれ、無視、いやがらせ、暴言、暴力等のいじめ」を選んだ 631 人のうち、「60～69 歳」が 28.4%と最も多く、次いで「70 歳～」が 22.3%、「50～59 歳」が 19.3%となっています。

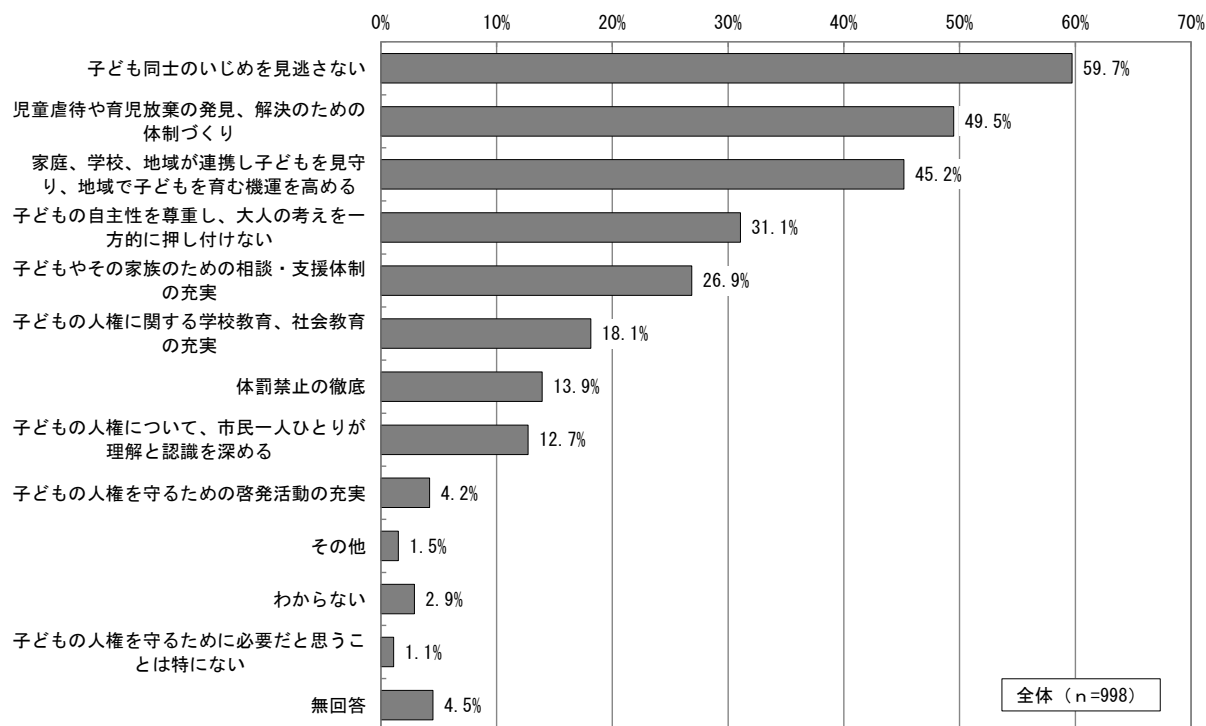


項目	全体	年代別							項目(比率)	全体	年代別							無回答
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～		
子どもの間の仲間はずれ、無視、いやがらせ、暴言、暴力等のいじめ	631	31	58	93	122	179	141	7	子どもの間の仲間はずれ、無視、いやがらせ、暴言、暴力等のいじめ	16.0%	4.9%	9.2%	14.7%	19.3%	28.4%	22.3%	1.1%	
保護者による無視、暴言、暴力等の虐待	518	45	52	83	102	127	101	8	保護者による無視、暴言、暴力等の虐待	13.1%	8.7%	10.0%	16.0%	19.7%	24.5%	19.5%	1.5%	
保護者による食事を与えない等の養育放棄	467	38	53	72	94	110	91	9	保護者による食事を与えない等の養育放棄	11.8%	8.1%	11.3%	15.4%	20.1%	23.6%	19.5%	1.9%	
大人が、子どもの意見を無視し、考えを押し付ける	390	39	37	74	72	85	73	10	大人が、子どもの意見を無視し、考えを押し付ける	9.9%	10.0%	9.5%	19.0%	18.5%	21.8%	18.7%	2.6%	
教師やスポーツ指導者等による言葉の暴力や体罰	332	25	37	52	64	79	68	7	教師やスポーツ指導者等による言葉の暴力や体罰	8.4%	7.5%	11.1%	15.7%	19.3%	23.8%	20.5%	2.1%	
いじめや虐待に気がついても見て見ぬふりする	496	27	55	69	90	135	113	7	いじめや虐待に気がついても見て見ぬふりする	12.6%	5.4%	11.1%	13.9%	18.1%	27.2%	22.8%	1.4%	
経済的理由で十分な教育を受けられない、健康な生活ができない	392	34	41	62	73	98	78	6	経済的理由で十分な教育を受けられない、健康な生活ができない	9.9%	8.7%	10.5%	15.8%	18.6%	25.0%	19.9%	1.5%	
暴力、性に関わる問題(児童ポルノ)等、子どもに有害な情報があふれている	225	17	26	37	38	52	51	4	暴力、性に関わる問題(児童ポルノ)等、子どもに有害な情報があふれている	5.7%	7.6%	11.6%	16.4%	16.9%	23.1%	22.7%	1.8%	
本来大人が担うと想定される家事や家族の世話等を子どもが日常的に行う	181	13	12	27	42	37	45	5	本来大人が担うと想定される家事や家族の世話等を子どもが日常的に行う	4.6%	7.2%	6.6%	14.9%	23.2%	20.4%	24.9%	2.8%	
不審者によるつきまとい等、子どもの安全をおびやかす行為	194	14	24	40	33	36	43	4	不審者によるつきまとい等、子どもの安全をおびやかす行為	4.9%	7.2%	12.4%	20.6%	17.0%	18.6%	22.2%	2.1%	
その他	4	0	0	2	0	1	0	1	その他	0.1%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	
わからない	42	3	4	6	9	4	16	0	わからない	1.1%	7.1%	9.5%	14.3%	21.4%	9.5%	38.1%	0.0%	
子どもの人権が尊重されていないと感じることは特にない	30	3	2	0	2	6	16	1	子どもの人権が尊重されていないと感じることは特にない	0.8%	10.0%	6.7%	0.0%	6.7%	20.0%	53.3%	3.3%	
無回答	50	1	1	6	9	9	21	3	無回答	1.3%	2.0%	2.0%	12.0%	18.0%	18.0%	42.0%	6.0%	
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数									
回答計	3952	290	402	623	750	958	857	72	回答計									

○市民意識調査結果

**問 12 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に大切だと思うものを選んでください。（○は3つまで）**

子どもの人権を守るために必要だと思うことについては、「子ども同士のいじめを見逃さない」が59.7%と最も多く、次いで「児童虐待や育児放棄の発見、解決のための体制づくり」が49.5%、「家庭、学校、地域が連携し子どもを見守り、地域で子どもを育む機運を高める」が45.2%となっています。

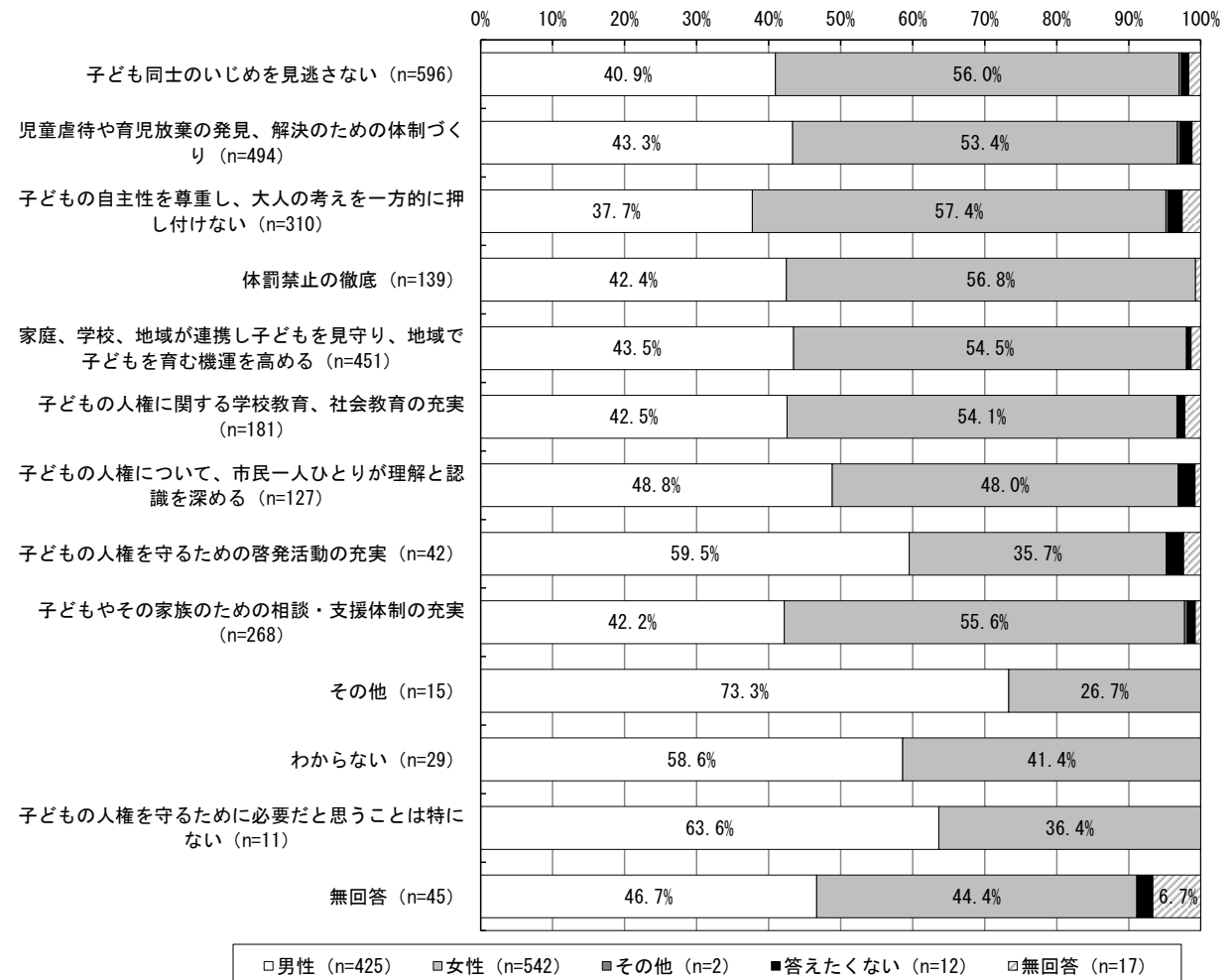


項目	度数	比率
子ども同士のいじめを見逃さない	596	59.7%
児童虐待や育児放棄の発見、解決のための体制づくり	494	49.5%
家庭、学校、地域が連携し子どもを見守り、地域で子どもを育む機運を高める	451	45.2%
子どもの自主性を尊重し、大人の考えを一方向的に押し付けない	310	31.1%
子どもやその家族のための相談・支援体制の充実	268	26.9%
子どもの人権に関する学校教育、社会教育の充実	181	18.1%
体罰禁止の徹底	139	13.9%
子どもの人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	127	12.7%
子どもの人権を守るための啓発活動の充実	42	4.2%
その他	15	1.5%
わからない	29	2.9%
子どもの人権を守るために必要だと思うことは特にない	11	1.1%
無回答	45	4.5%
回答者数	998	
回答計	2708	



**問 12 性別クロス**

子どもの人権を守るために必要だと思うことについて性別でみると、最も回答の多かった「子ども同士のいじめを見逃さない」を選んだ596人のうち、「男性」が40.9%、「女性」が56.0%となっています。

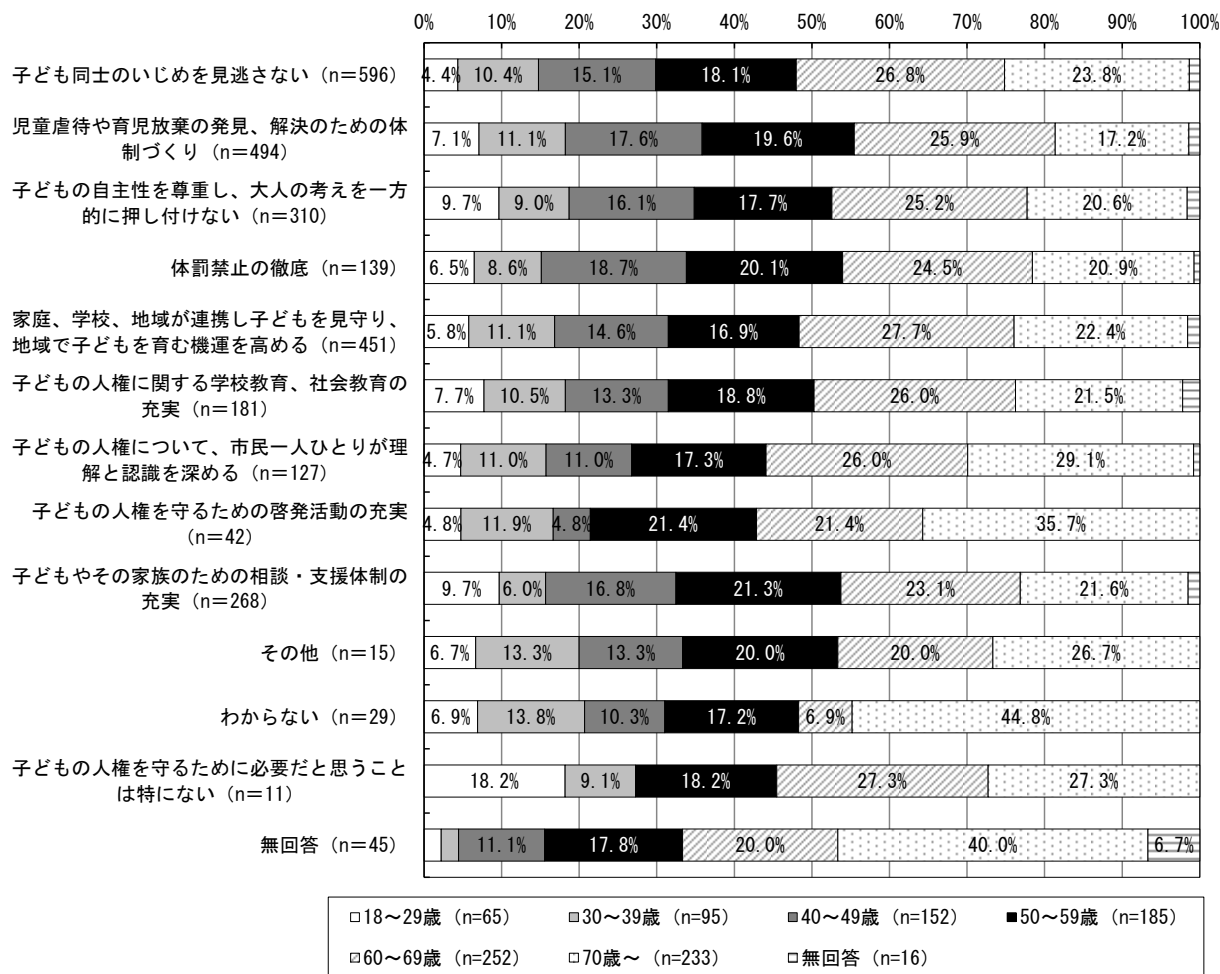


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
子ども同士のいじめを見逃さない	596	244	334	2	6	10	子ども同士のいじめを見逃さない	22.0%	40.9%	56.0%	0.3%	1.0%	1.7%
児童虐待や育児放棄の発見、解決のための体制づくり	494	214	264	2	8	6	児童虐待や育児放棄の発見、解決のための体制づくり	18.2%	43.3%	53.4%	0.4%	1.6%	1.2%
子どもの自主性を尊重し、大人の考えを一方向的に押し付けけない	310	117	178	1	6	8	子どもの自主性を尊重し、大人の考えを一方向的に押し付けけない	11.4%	37.7%	57.4%	0.3%	1.9%	2.6%
体罰禁止の徹底	139	59	79	0	0	1	体罰禁止の徹底	5.1%	42.4%	56.8%	0.0%	0.0%	0.7%
家庭、学校、地域が連携し子どもを見守り、地域で子どもを育む機運を高める	451	196	246	0	3	6	家庭、学校、地域が連携し子どもを見守り、地域で子どもを育む機運を高める	16.7%	43.5%	54.5%	0.0%	0.7%	1.3%
子どもの人権に関する学校教育、社会教育の充実	181	77	98	0	2	4	子どもの人権に関する学校教育、社会教育の充実	6.7%	42.5%	54.1%	0.0%	1.1%	2.2%
子どもの人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	127	62	61	0	3	1	子どもの人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	4.7%	48.8%	48.0%	0.0%	2.4%	0.8%
子どもの人権を守るための啓発活動の充実	42	25	15	0	1	1	子どもの人権を守るための啓発活動の充実	1.6%	59.5%	35.7%	0.0%	2.4%	2.4%
子どもやその家族のための相談・支援体制の充実	268	113	149	1	3	2	子どもやその家族のための相談・支援体制の充実	9.9%	42.2%	55.6%	0.4%	1.1%	0.7%
その他	15	11	4	0	0	0	その他	0.6%	73.3%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	29	17	12	0	0	0	わからない	1.1%	58.6%	41.4%	0.0%	0.0%	0.0%
子どもの人権を守るために必要だと思うことは特にない	11	7	4	0	0	0	子どもの人権を守るために必要だと思うことは特にない	0.4%	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	45	21	20	0	1	3	無回答	1.7%	46.7%	44.4%	0.0%	2.2%	6.7%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	2708	1163	1464	6	33	42	回答計						

○市民意識調査結果

**問 12 年代別クロス**

子どもの人権を守るために必要だと思うことについて年代別でみると、最も回答の多かった「子ども同士のいじめを見逃さない」を選んだ596人のうち、「60～69歳」が26.8%と最も多く、次いで「70歳～」が23.8%、「50～59歳」が18.1%となっています。

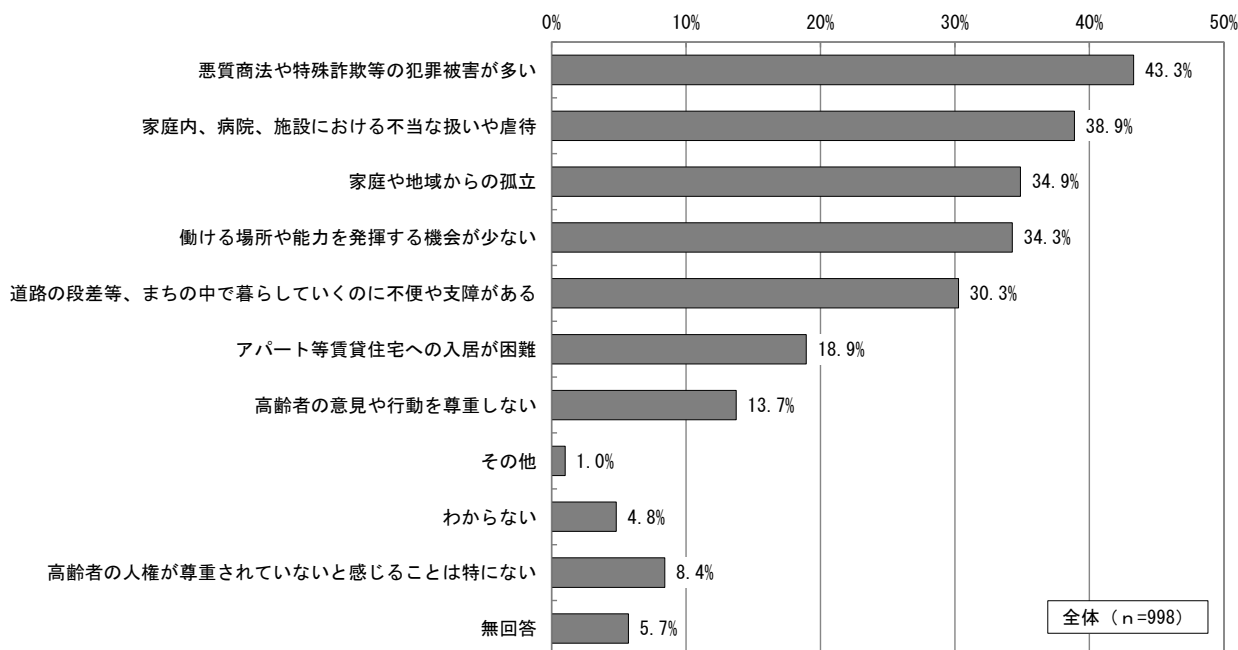


項目	全体	年代別							項目(比率)	全体	年代別							無回答
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～		
子ども同士のいじめを見逃さない	596	26	62	90	108	160	142	8	子ども同士のいじめを見逃さない	22.0%	4.4%	10.4%	15.1%	18.1%	26.8%	23.8%	1.3%	
児童虐待や育児放棄の発見、解決のための体制づくり	494	35	55	87	97	128	85	7	児童虐待や育児放棄の発見、解決のための体制づくり	18.2%	7.1%	11.1%	17.6%	19.6%	25.9%	17.2%	1.4%	
子どもの自主性を尊重し、大人の考えを一方的に押し付けない	310	30	28	50	55	78	64	5	子どもの自主性を尊重し、大人の考えを一方的に押し付けない	11.4%	9.7%	9.0%	16.1%	17.7%	25.2%	20.6%	1.6%	
体罰禁止の徹底	139	9	12	26	28	34	29	1	体罰禁止の徹底	5.1%	6.5%	8.6%	18.7%	20.1%	24.5%	20.9%	0.7%	
家庭、学校、地域が連携し子どもを見守り、地域で子どもを育む機運を高める	451	26	50	66	76	125	101	7	家庭、学校、地域が連携し子どもを見守り、地域で子どもを育む機運を高める	16.7%	5.8%	11.1%	14.6%	16.9%	27.7%	22.4%	1.6%	
子どもの人権に関する学校教育、社会教育の充実	181	14	19	24	34	47	39	4	子どもの人権に関する学校教育、社会教育の充実	6.7%	7.7%	10.5%	13.3%	18.8%	26.0%	21.5%	2.2%	
子どもの人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	127	6	14	14	22	33	37	1	子どもの人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	4.7%	4.7%	11.0%	11.0%	17.3%	26.0%	29.1%	0.8%	
子どもの人権を守るための啓発活動の充実	42	2	5	2	9	9	15	0	子どもの人権を守るための啓発活動の充実	1.6%	4.8%	11.9%	4.8%	21.4%	21.4%	35.7%	0.0%	
子どもやその家族のための相談・支援体制の充実	268	26	16	45	57	62	58	4	子どもやその家族のための相談・支援体制の充実	9.9%	9.7%	6.0%	16.8%	21.3%	23.1%	21.6%	1.5%	
その他	15	1	2	2	3	3	4	0	その他	0.6%	6.7%	13.3%	13.3%	20.0%	20.0%	26.7%	0.0%	
わからない	29	2	4	3	5	2	13	0	わからない	1.1%	6.9%	13.8%	10.3%	17.2%	6.9%	44.8%	0.0%	
子どもの人権を守るために必要だと思うことは特にない	11	2	1	0	2	3	3	0	子どもの人権を守るために必要だと思うことは特にない	0.4%	18.2%	9.1%	0.0%	18.2%	27.3%	27.3%	0.0%	
無回答	45	1	1	5	8	9	18	3	無回答	1.7%	2.2%	2.2%	11.1%	17.8%	20.0%	40.0%	6.7%	
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数									
回答計	2708	180	269	414	504	693	608	40	回答計									

## 4 高齢者の人権について

### 問 13 高齢者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。(○はいくつでも)

高齢者の人権が尊重されていないと感じることについては、「悪質商法や特殊詐欺等の犯罪被害が多い」が43.3%と最も多く、次いで「家庭内、病院、施設における不当な扱いや虐待」が38.9%、「家庭や地域からの孤立」が34.9%となっています。

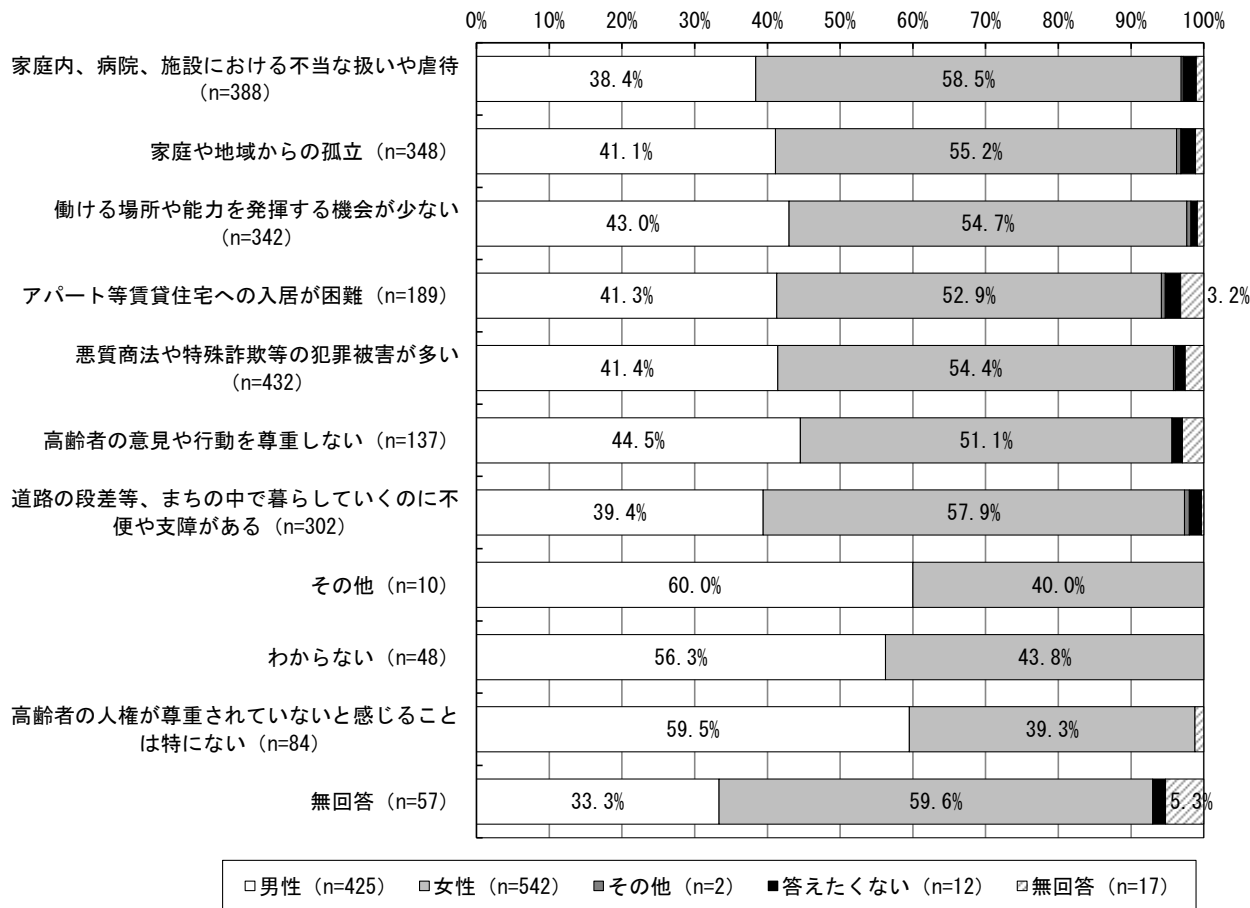


項目	度数	比率
悪質商法や特殊詐欺等の犯罪被害が多い	432	43.3%
家庭内、病院、施設における不当な扱いや虐待	388	38.9%
家庭や地域からの孤立	348	34.9%
働ける場所や能力を発揮する機会が少ない	342	34.3%
道路の段差等、まちの中で暮らしていくのに不便や支障がある	302	30.3%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	189	18.9%
高齢者の意見や行動を尊重しない	137	13.7%
その他	10	1.0%
わからない	48	4.8%
高齢者の人権が尊重されていないと感じることは特にはない	84	8.4%
無回答	57	5.7%
回答者数	998	
回答計	2337	

○市民意識調査結果

**問 13 性別クロス**

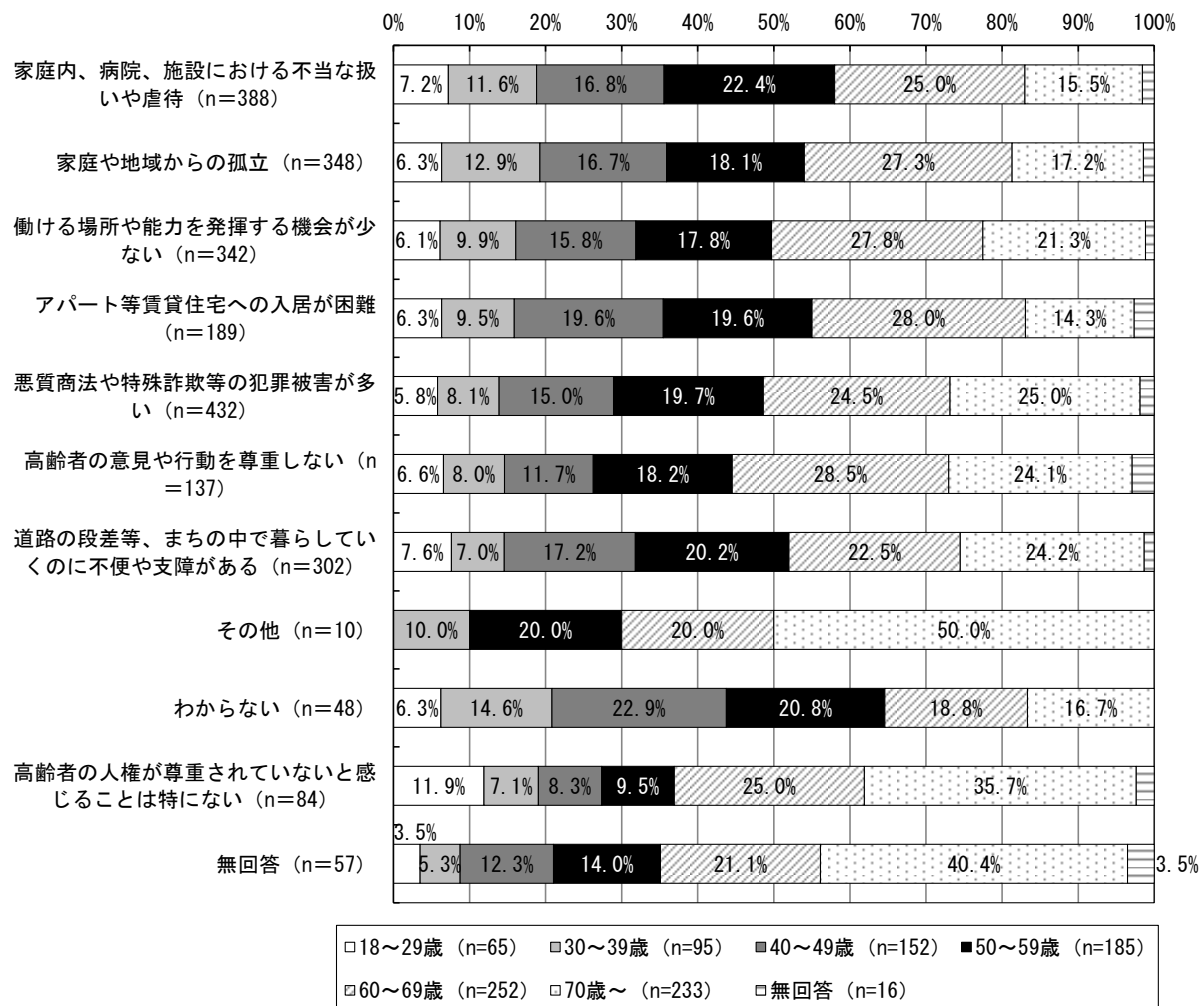
高齢者の人権が尊重されていないと感じることについて性別で見ると、最も回答の多かった「悪質商法や特殊詐欺等の犯罪被害が多い」を選んだ432人のうち、「男性」が41.4%、「女性」が54.4%となっています。



項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
家庭内、病院、施設における不当な扱いや虐待	388	149	227	1	7	4	家庭内、病院、施設における不当な扱いや虐待	16.6%	38.4%	58.5%	0.3%	1.8%	1.0%
家庭や地域からの孤立	348	143	192	2	7	4	家庭や地域からの孤立	14.9%	41.1%	55.2%	0.6%	2.0%	1.1%
働ける場所や能力を発揮する機会が少ない	342	147	187	2	3	3	働ける場所や能力を発揮する機会が少ない	14.6%	43.0%	54.7%	0.6%	0.9%	0.9%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	189	78	100	1	4	6	アパート等賃貸住宅への入居が困難	8.1%	41.3%	52.9%	0.5%	2.1%	3.2%
悪質商法や特殊詐欺等の犯罪被害が多い	432	179	235	1	6	11	悪質商法や特殊詐欺等の犯罪被害が多い	18.5%	41.4%	54.4%	0.2%	1.4%	2.5%
高齢者の意見や行動を尊重しない	137	61	70	0	2	4	高齢者の意見や行動を尊重しない	5.9%	44.5%	51.1%	0.0%	1.5%	2.9%
道路の段差等、まちの中で暮らしていくのに不便や支障がある	302	119	175	2	5	1	道路の段差等、まちの中で暮らしていくのに不便や支障がある	12.9%	39.4%	57.9%	0.7%	1.7%	0.3%
その他	10	6	4	0	0	0	その他	0.4%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	48	27	21	0	0	0	わからない	2.1%	56.3%	43.8%	0.0%	0.0%	0.0%
高齢者の人権が尊重されていないと感じることは特にはない	84	50	33	0	0	1	高齢者の人権が尊重されていないと感じることは特にはない	3.6%	59.5%	39.3%	0.0%	0.0%	1.2%
無回答	57	19	34	0	1	3	無回答	2.4%	33.3%	59.6%	0.0%	1.8%	5.3%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	2337	978	1278	9	35	37	回答計						

**問 13 年代別クロス**

高齢者の人権が尊重されていないと感じることについて年代別でみると、最も回答の多かった「悪質商法や特殊詐欺等の犯罪被害が多い」を選んだ432人のうち、「70歳～」が25.0%と最も多く、次いで「60～69歳」が24.5%、「50～59歳」が19.7%となっています。

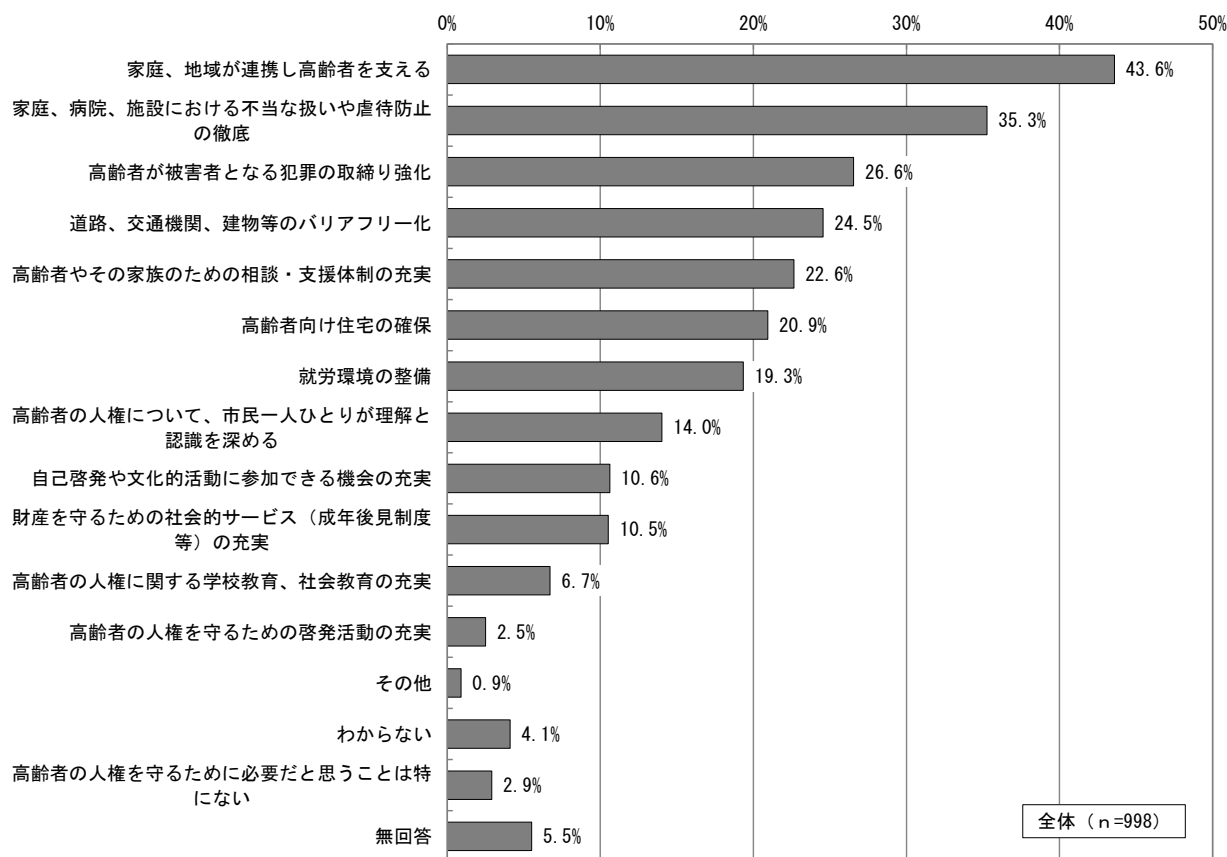


項目	全体	項目 (比率)							全体	項目 (比率)						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
家庭内、病院、施設における不当な扱いや虐待	388	28	45	65	87	97	60	6	16.6%	7.2%	11.6%	16.8%	22.4%	25.0%	15.5%	1.5%
家庭や地域からの孤立	348	22	45	58	63	95	60	5	14.9%	6.3%	12.9%	16.7%	18.1%	27.3%	17.2%	1.4%
働ける場所や能力を発揮する機会が少ない	342	21	34	54	61	95	73	4	14.6%	6.1%	9.9%	15.8%	17.8%	27.8%	21.3%	1.2%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	189	12	18	37	37	53	27	5	8.1%	6.3%	9.5%	19.6%	19.6%	28.0%	14.3%	2.6%
悪質商法や特殊詐欺等の犯罪被害が多い	432	25	35	65	85	106	108	8	18.5%	5.8%	8.1%	15.0%	19.7%	24.5%	25.0%	1.9%
高齢者の意見や行動を尊重しない	137	9	11	16	25	39	33	4	5.9%	6.6%	8.0%	11.7%	18.2%	28.5%	24.1%	2.9%
道路の段差等、まちの中で暮らしていくのに不便や支障がある	302	23	21	52	61	68	73	4	12.9%	7.6%	7.0%	17.2%	20.2%	22.5%	24.2%	1.3%
その他	10	0	1	0	2	2	5	0	0.4%	0.0%	10.0%	0.0%	20.0%	20.0%	50.0%	0.0%
わからない	48	3	7	11	10	9	8	0	2.1%	6.3%	14.6%	22.9%	20.8%	18.8%	16.7%	0.0%
高齢者の人権が尊重されていないと感じることは特にはない	84	10	6	7	8	21	30	2	3.6%	11.9%	7.1%	8.3%	9.5%	25.0%	35.7%	2.4%
無回答	57	2	3	7	8	12	23	2	2.4%	3.5%	5.3%	12.3%	14.0%	21.1%	40.4%	3.5%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16								
回答計	2337	155	226	372	447	597	500	40								

○市民意識調査結果

**問 14 高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に大切だと思うものを選んでください。(○は3つまで)**

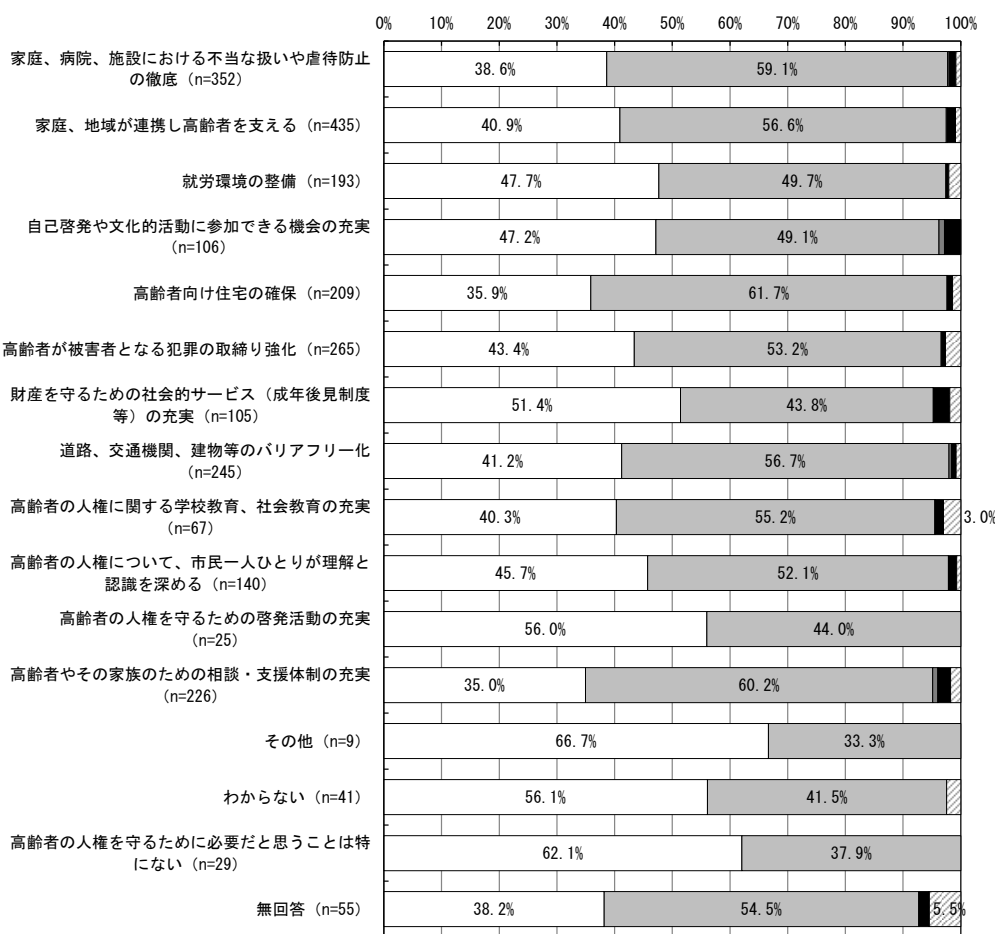
高齢者の人権を守るために必要だと思うことについては、「家庭、地域が連携し高齢者を支える」が43.6%と最も多く、次いで「家庭、病院、施設における不当な扱いや虐待防止の徹底」が35.3%、「高齢者が被害者となる犯罪の取締り強化」が26.6%となっています。



項目	度数	比率
家庭、地域が連携し高齢者を支える	435	43.6%
家庭、病院、施設における不当な扱いや虐待防止の徹底	352	35.3%
高齢者が被害者となる犯罪の取締り強化	265	26.6%
道路、交通機関、建物等のバリアフリー化	245	24.5%
高齢者やその家族のための相談・支援体制の充実	226	22.6%
高齢者向け住宅の確保	209	20.9%
就労環境の整備	193	19.3%
高齢者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	140	14.0%
自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実	106	10.6%
財産を守るための社会的サービス(成年後見制度等)の充実	105	10.5%
高齢者の人権に関する学校教育、社会教育の充実	67	6.7%
高齢者の人権を守るための啓発活動の充実	25	2.5%
その他	9	0.9%
わからない	41	4.1%
高齢者の人権を守るために必要だと思うことは特にな	29	2.9%
無回答	55	5.5%
回答者数	998	
回答計	2502	

**問 14 性別クロス**

高齢者の人権を守るために必要だと思うことについて性別でみると、最も回答の多かった「家庭、地域が連携し高齢者を支える」を選んだ435人のうち、「男性」が40.9%、「女性」が56.6%となっています。



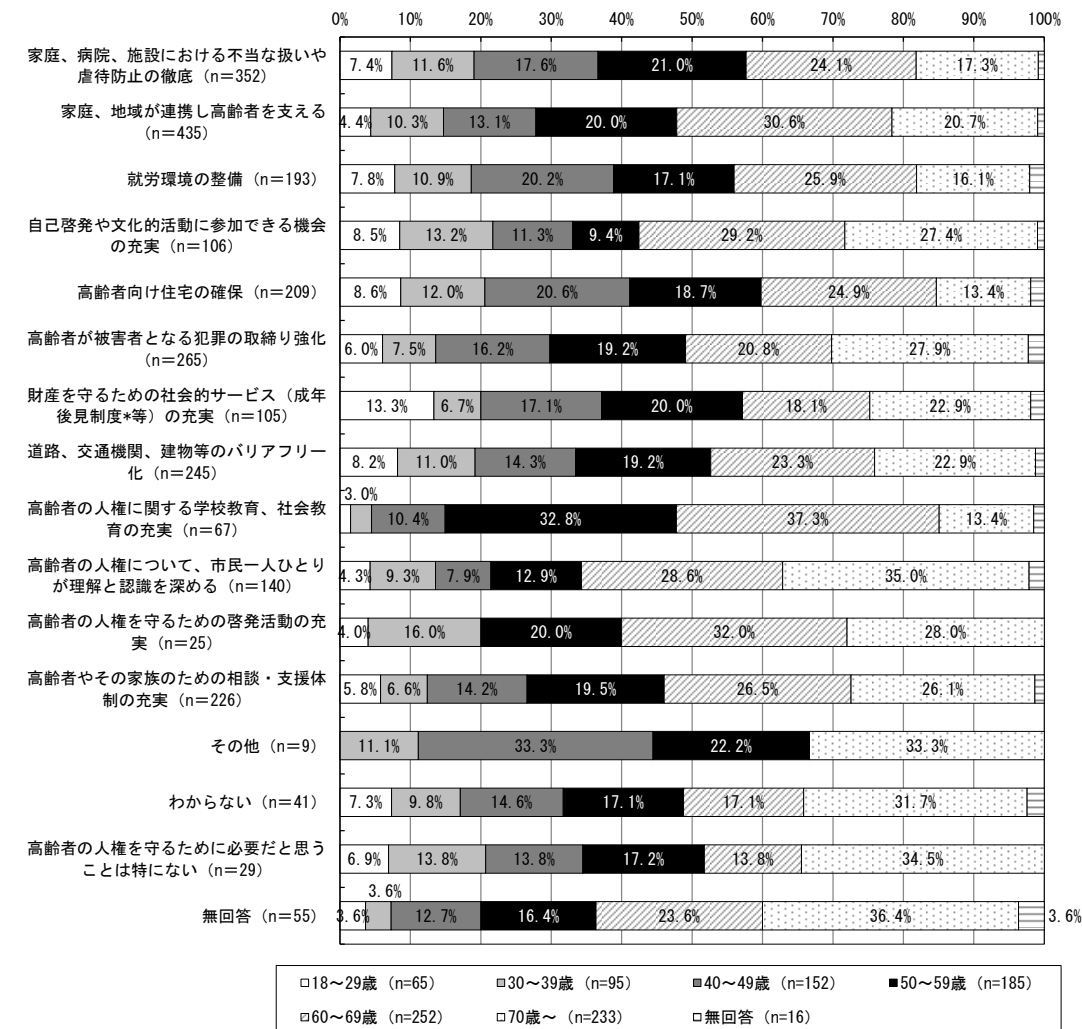
□男性 (n=425) □女性 (n=542) ■その他 (n=2) ■答えたくない (n=12) □無回答 (n=17)

項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
家庭、病院、施設における不当な扱いや虐待防止の徹底	352	136	208	1	4	3	家庭、病院、施設における不当な扱いや虐待防止の徹底	14.1%	38.6%	59.1%	0.3%	1.1%	0.9%
家庭、地域が連携し高齢者を支える	435	178	246	1	6	4	家庭、地域が連携し高齢者を支える	17.4%	40.9%	56.6%	0.2%	1.4%	0.9%
就労環境の整備	193	92	96	0	1	4	就労環境の整備	7.7%	47.7%	49.7%	0.0%	0.5%	2.1%
自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実	106	50	52	1	3	0	自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実	4.2%	47.2%	49.1%	0.9%	2.8%	0.0%
高齢者向け住宅の確保	209	75	129	0	2	3	高齢者向け住宅の確保	8.4%	35.9%	61.7%	0.0%	1.0%	1.4%
高齢者が被害者となる犯罪の取締り強化	265	115	141	0	2	7	高齢者が被害者となる犯罪の取締り強化	10.6%	43.4%	53.2%	0.0%	0.8%	2.6%
財産を守るための社会的サービス(成年後見制度*等)の充実	105	54	46	0	3	2	財産を守るための社会的サービス(成年後見制度*等)の充実	4.2%	51.4%	43.8%	0.0%	2.9%	1.9%
道路、交通機関、建物等のバリアフリー化	245	101	139	1	2	2	道路、交通機関、建物等のバリアフリー化	9.8%	41.2%	56.7%	0.4%	0.8%	0.8%
高齢者の人権に関する学校教育、社会教育の充実	67	27	37	0	1	2	高齢者の人権に関する学校教育、社会教育の充実	2.7%	40.3%	55.2%	0.0%	1.5%	3.0%
高齢者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	140	64	73	0	2	1	高齢者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	5.6%	45.7%	52.1%	0.0%	1.4%	0.7%
高齢者の人権を守るための啓発活動の充実	25	14	11	0	0	0	高齢者の人権を守るための啓発活動の充実	1.0%	56.0%	44.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高齢者やその家族のための相談・支援体制の充実	226	79	136	2	5	4	高齢者やその家族のための相談・支援体制の充実	9.0%	35.0%	60.2%	0.9%	2.2%	1.8%
その他	9	6	3	0	0	0	その他	0.4%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	41	23	17	0	0	1	わからない	1.6%	56.1%	41.5%	0.0%	0.0%	2.4%
高齢者の人権を守るために必要だと思うことは特 にない	29	18	11	0	0	0	高齢者の人権を守るために必要だと思うことは特 にない	1.2%	62.1%	37.9%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	55	21	30	0	1	3	無回答	2.2%	38.2%	54.5%	0.0%	1.8%	5.5%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	2502	1053	1375	6	32	36	回答計						

○市民意識調査結果

**問 14 年代別クロス**

高齢者の人権を守るために必要だと思うことについて年代別でみると、最も回答の多かった「家庭、地域が連携し高齢者を支える」を選んだ435人のうち、「60～69歳」が30.6%と最も多く、次いで「70歳～」が20.7%、「50～59歳」が20.0%となっています。



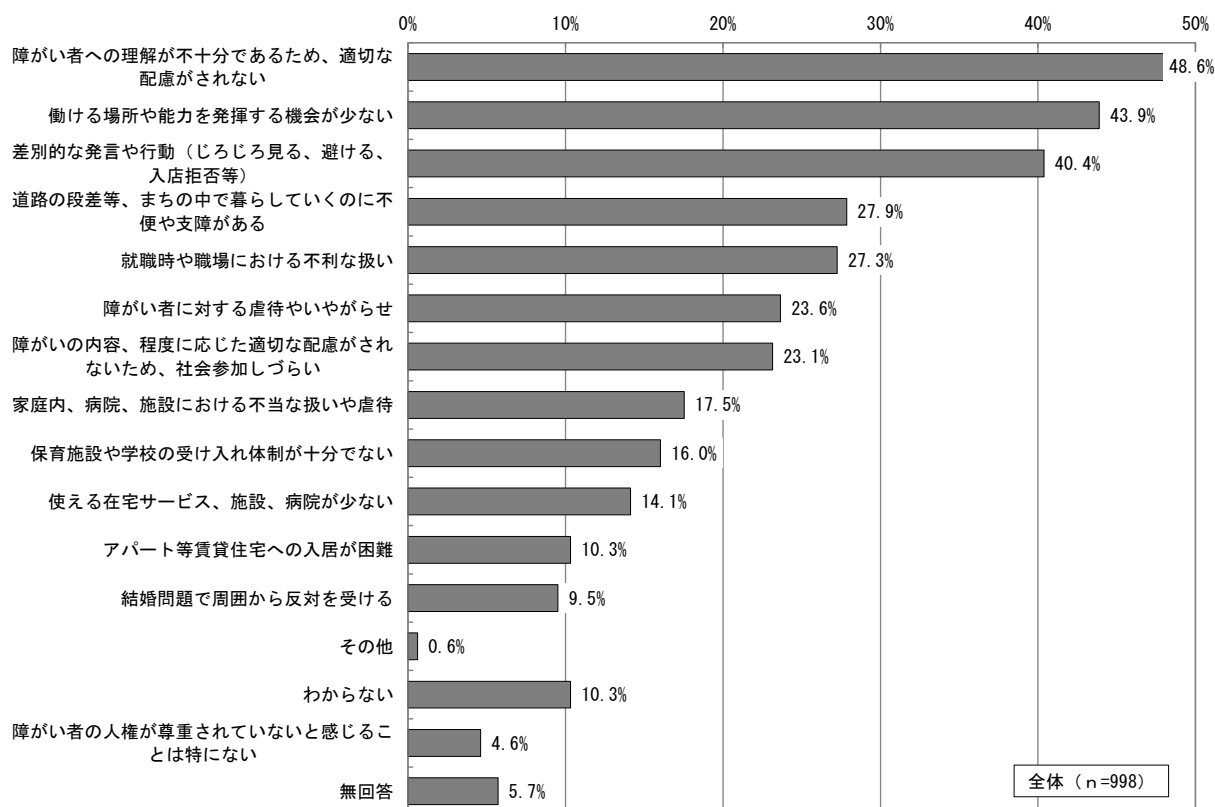
項目	全体	項目 (比率)						全体	項目 (比率)								
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～		無回答	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	
家庭、病院、施設における不当な扱いや虐待防止の徹底	352	26	41	62	74	85	61	3	家庭、病院、施設における不当な扱いや虐待防止の徹底	10.2%	7.4%	11.6%	17.6%	21.0%	24.1%	17.3%	0.9%
家庭、地域が連携し高齢者を支える	435	19	45	57	87	133	90	4	家庭、地域が連携し高齢者を支える	12.7%	4.4%	10.3%	13.1%	20.0%	30.6%	20.7%	0.9%
就労環境の整備	193	15	21	39	33	50	31	4	就労環境の整備	5.6%	7.8%	10.9%	20.2%	17.1%	25.9%	16.1%	2.1%
自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実	106	9	14	12	10	31	29	1	自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実	3.1%	8.5%	13.2%	11.3%	9.4%	29.2%	27.4%	0.9%
高齢者向け住宅の確保	209	18	25	43	39	52	28	4	高齢者向け住宅の確保	6.1%	8.6%	12.0%	20.6%	18.7%	24.9%	13.4%	1.9%
高齢者が被害者となる犯罪の取締り強化	265	16	20	43	51	55	74	6	高齢者が被害者となる犯罪の取締り強化	7.7%	6.0%	7.5%	16.2%	19.2%	20.8%	27.9%	2.3%
財産を守るための社会的サービス(成年後見制度*等)の充実	105	14	7	18	21	19	24	2	財産を守るための社会的サービス(成年後見制度*等)の充実	3.1%	13.3%	6.7%	17.1%	20.0%	18.1%	22.9%	1.9%
道路、交通機関、建物等のバリアフリー化	245	20	27	35	47	57	56	3	道路、交通機関、建物等のバリアフリー化	7.1%	8.2%	11.0%	14.3%	19.2%	23.3%	22.9%	1.2%
高齢者の人権に関する学校教育、社会教育の充実	67	1	2	7	22	25	9	1	高齢者の人権に関する学校教育、社会教育の充実	2.0%	1.5%	3.0%	10.4%	32.8%	37.3%	13.4%	1.5%
高齢者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	140	6	13	11	18	40	49	3	高齢者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	4.1%	4.3%	9.3%	7.9%	12.9%	28.6%	35.0%	2.1%
高齢者の人権を守るための啓発活動の充実	25	1	4	0	5	8	7	0	高齢者の人権を守るための啓発活動の充実	0.7%	4.0%	16.0%	0.0%	20.0%	32.0%	28.0%	0.0%
高齢者やその家族のための相談・支援体制の充実	226	13	15	32	44	60	59	3	高齢者やその家族のための相談・支援体制の充実	6.6%	5.8%	6.6%	14.2%	19.5%	26.5%	26.1%	1.3%
その他	9	0	1	3	2	0	3	0	その他	0.3%	0.0%	11.1%	33.3%	22.2%	0.0%	33.3%	0.0%
わからない	41	3	4	6	7	7	13	1	わからない	1.2%	7.3%	9.8%	14.6%	17.1%	17.1%	31.7%	2.4%
高齢者の人権を守るために必要だと思うことは特にない	29	2	4	4	5	4	10	0	高齢者の人権を守るために必要だと思うことは特にない	0.8%	6.9%	13.8%	13.8%	17.2%	13.8%	34.5%	0.0%
無回答	55	2	2	7	9	13	20	2	無回答	1.6%	3.6%	3.6%	12.7%	16.4%	23.6%	36.4%	3.6%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数								
回答計	3435	165	340	531	659	891	796	53	回答計								



## 5 障がい者の人権について

問15 障がい者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。(○はいくつでも)

障がい者の人権が尊重されていないと感じることについては、「障がい者への理解が不十分であるため、適切な配慮がされない」が48.6%と最も多く、次いで「働ける場所や能力を発揮する機会が少ない」が43.9%、「差別的な発言や行動（じろじろ見る、避ける、入店拒否等）」が40.4%となっています。

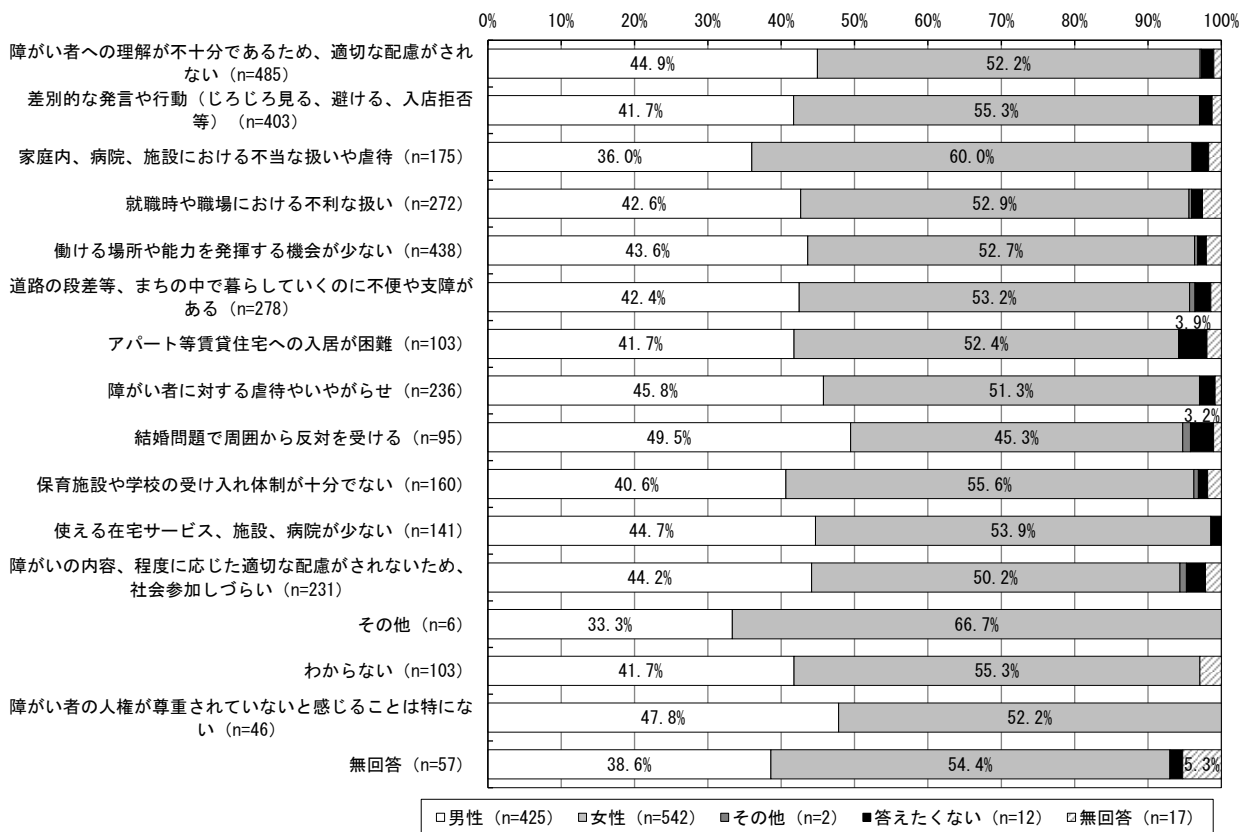


項目	度数	比率
障がい者への理解が不十分であるため、適切な配慮がされない	485	48.6%
働ける場所や能力を発揮する機会が少ない	438	43.9%
差別的な発言や行動（じろじろ見る、避ける、入店拒否等）	403	40.4%
道路の段差等、まちの中で暮らしていくのに不便や支障がある	278	27.9%
就職時や職場における不利な扱い	272	27.3%
障がい者に対する虐待やいやがらせ	236	23.6%
障がいの内容、程度に応じた適切な配慮がされないため、社会参加しづらい	231	23.1%
家庭内、病院、施設における不当な扱いや虐待	175	17.5%
保育施設や学校の受け入れ体制が十分でない	160	16.0%
使える在宅サービス、施設、病院が少ない	141	14.1%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	103	10.3%
結婚問題で周囲から反対を受ける	95	9.5%
その他	6	0.6%
わからない	103	10.3%
障がい者の人権が尊重されていないと感じることは特にない	46	4.6%
無回答	57	5.7%
回答者数	998	
回答計	3229	

○市民意識調査結果

**問 15 性別クロス**

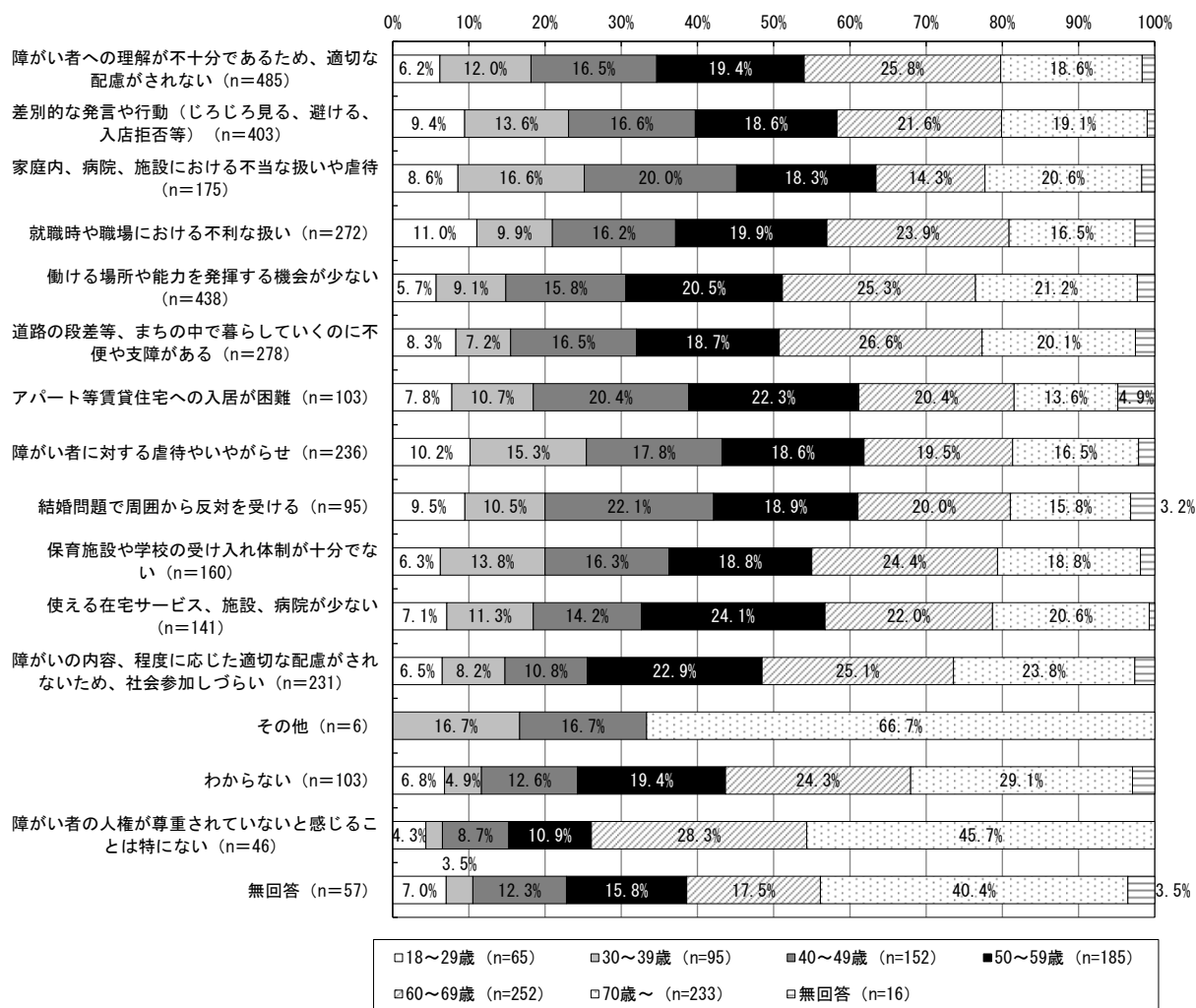
障がい者の人権が尊重されていないと感じることについて性別でみると、最も回答の多かった「障がい者への理解が不十分であるため、適切な配慮がされない」を選んだ485人のうち、「男性」が44.9%、「女性」が52.2%となっています。



項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
障がい者への理解が不十分であるため、適切な配慮がされない	485	218	253	1	8	5	障がい者への理解が不十分であるため、適切な配慮がされない	15.0%	44.9%	52.2%	0.2%	1.6%	1.0%
差別的な発言や行動(じろじろ見る、避ける、入店拒否等)	403	168	223	0	7	5	差別的な発言や行動(じろじろ見る、避ける、入店拒否等)	12.5%	41.7%	55.3%	0.0%	1.7%	1.2%
家庭内、病院、施設における不当な扱いや虐待	175	63	105	0	4	3	家庭内、病院、施設における不当な扱いや虐待	5.4%	36.0%	60.0%	0.0%	2.3%	1.7%
就職時や職場における不利な扱い	272	116	144	1	4	7	就職時や職場における不利な扱い	8.4%	42.6%	52.9%	0.4%	1.5%	2.6%
働ける場所や能力を発揮する機会が少ない	438	191	231	2	5	9	働ける場所や能力を発揮する機会が少ない	13.6%	43.6%	52.7%	0.5%	1.1%	2.1%
道路の段差等、まちの中で暮らしていくのに不便や支障がある	278	118	148	2	6	4	道路の段差等、まちの中で暮らしていくのに不便や支障がある	8.6%	42.4%	53.2%	0.7%	2.2%	1.4%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	103	43	54	0	4	2	アパート等賃貸住宅への入居が困難	3.2%	41.7%	52.4%	0.0%	3.9%	1.9%
障がい者に対する虐待やいやがらせ	236	108	121	0	5	2	障がい者に対する虐待やいやがらせ	7.3%	45.8%	51.3%	0.0%	2.1%	0.8%
結婚問題で周囲から反対を受ける	95	47	43	1	3	1	結婚問題で周囲から反対を受ける	2.9%	49.5%	45.3%	1.1%	3.2%	1.1%
保育施設や学校の受け入れ体制が十分でない	160	65	89	1	2	3	保育施設や学校の受け入れ体制が十分でない	5.0%	40.6%	55.6%	0.6%	1.3%	1.9%
使える在宅サービス、施設、病院が少ない	141	63	76	0	2	0	使える在宅サービス、施設、病院が少ない	4.4%	44.7%	53.9%	0.0%	1.4%	0.0%
障がいの内容、程度に応じた適切な配慮がされないため、社会参加しづらい	231	102	116	2	6	5	障がいの内容、程度に応じた適切な配慮がされないため、社会参加しづらい	7.2%	44.2%	50.2%	0.9%	2.6%	2.2%
その他	6	2	4	0	0	0	その他	0.2%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	103	43	57	0	0	3	わからない	3.2%	41.7%	55.3%	0.0%	0.0%	2.9%
障がい者の人権が尊重されていないと感じることは特にない	46	22	24	0	0	0	障がい者の人権が尊重されていないと感じることは特にない	1.4%	47.8%	52.2%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	57	22	31	0	1	3	無回答	1.8%	38.6%	54.4%	0.0%	1.8%	5.3%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	3229	1391	1719	10	57	52	回答計						

**問 15 年代別クロス**

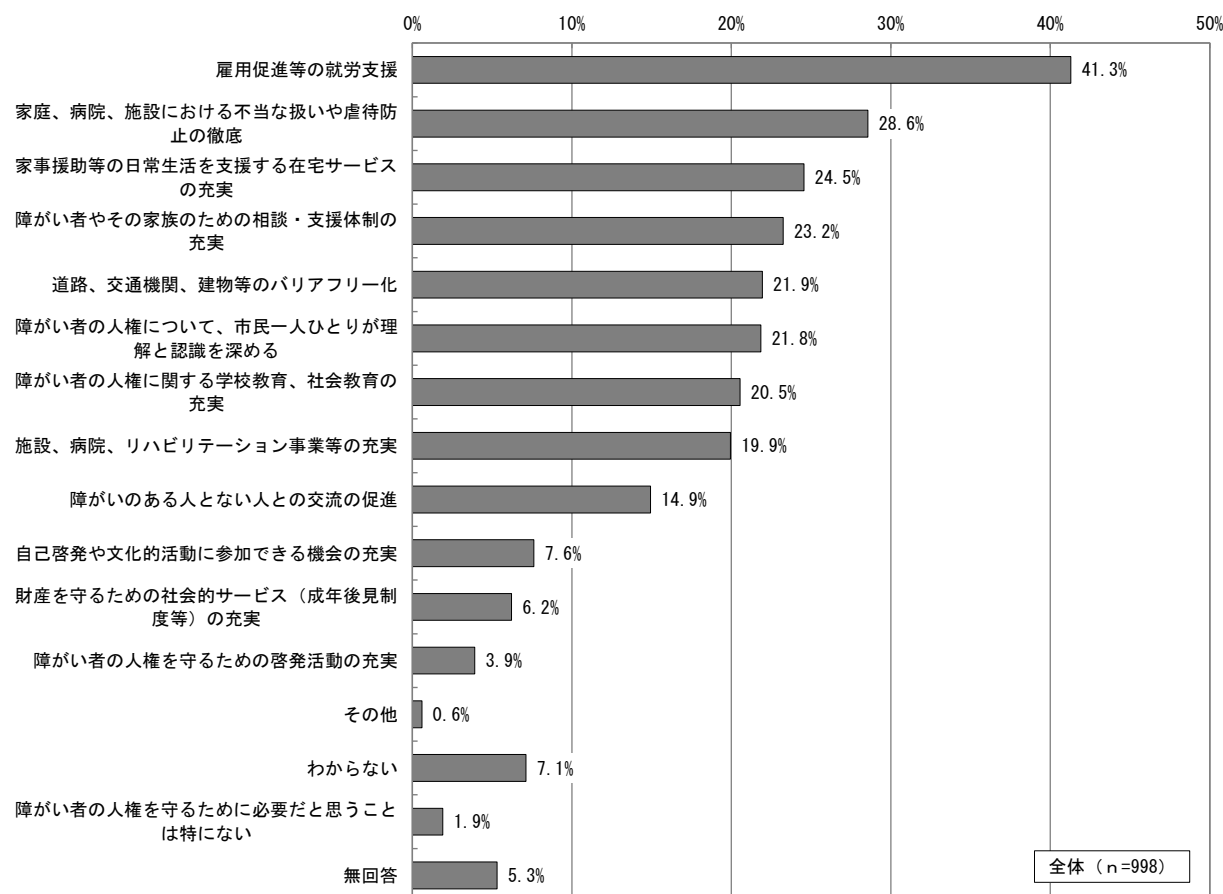
障がい者の人権が尊重されていないと感じることについて年代別でみると、最も回答の多かった「障がい者への理解が不十分であるため、適切な配慮がされない」を選んだ 485 人のうち、「60～69 歳」が 25.8%と最も多く、次いで「50～59 歳」が 19.4%、「70 歳～」が 18.6%となっています。



項目	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	項目(比率)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
障がい者への理解が不十分であるため、適切な配慮がされない	485	30	58	80	94	125	90	8	障がい者への理解が不十分であるため、適切な配慮がされない	15.0%	6.2%	12.0%	16.5%	19.4%	25.8%	18.6%	1.6%
差別的な発言や行動(じろじろ見る、避ける、入店拒否等)	403	38	55	67	75	87	77	4	差別的な発言や行動(じろじろ見る、避ける、入店拒否等)	12.5%	9.4%	13.6%	16.6%	18.6%	21.6%	19.1%	1.0%
家庭内、病院、施設における不当な扱いや虐待	175	15	29	35	32	25	36	3	家庭内、病院、施設における不当な扱いや虐待	5.4%	8.6%	16.6%	20.0%	18.3%	14.3%	20.6%	1.7%
就職時や職場における不利な扱い	272	30	27	44	54	65	45	7	就職時や職場における不利な扱い	8.4%	11.0%	9.9%	16.2%	19.9%	23.9%	16.5%	2.6%
働ける場所や能力を発揮する機会が少ない	438	25	40	69	90	111	93	10	働ける場所や能力を発揮する機会が少ない	13.6%	5.7%	9.1%	15.8%	20.5%	25.3%	21.2%	2.3%
道路の段差等、まちの中で暮らしていくのに不便や支障がある	278	23	20	46	52	74	56	7	道路の段差等、まちの中で暮らしていくのに不便や支障がある	8.6%	8.3%	7.2%	16.5%	18.7%	26.6%	20.1%	2.5%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	103	8	11	21	23	21	14	5	アパート等賃貸住宅への入居が困難	3.2%	7.8%	10.7%	20.4%	22.3%	20.4%	13.6%	4.9%
障がい者に対する虐待やいやがらせ	236	24	36	42	44	46	39	5	障がい者に対する虐待やいやがらせ	7.3%	10.2%	15.3%	17.8%	18.6%	19.5%	16.5%	2.1%
結婚問題で周囲から反対を受ける	95	9	10	21	18	19	15	3	結婚問題で周囲から反対を受ける	2.9%	9.5%	10.5%	22.1%	18.9%	20.0%	15.8%	3.2%
保育施設や学校の受け入れ体制が十分でない	160	10	22	26	30	39	30	3	保育施設や学校の受け入れ体制が十分でない	5.0%	6.3%	13.8%	16.3%	18.8%	24.4%	18.8%	1.9%
使える在宅サービス、施設、病院が少ない	141	10	16	20	34	31	29	1	使える在宅サービス、施設、病院が少ない	4.4%	7.1%	11.3%	14.2%	24.1%	22.0%	20.6%	0.7%
障がいの内容、程度に応じた適切な配慮がされないため、社会参加しづらい	231	15	19	25	53	58	55	6	障がいの内容、程度に応じた適切な配慮がされないため、社会参加しづらい	7.2%	6.5%	8.2%	10.8%	22.9%	25.1%	23.8%	2.6%
その他	6	0	1	1	0	0	4	0	その他	0.2%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
わからない	103	7	5	13	20	25	30	3	わからない	3.2%	6.8%	4.9%	12.6%	19.4%	24.3%	29.1%	2.9%
障がい者の人権が尊重されていないと感じることは特にならない	46	2	1	4	5	13	21	0	障がい者の人権が尊重されていないと感じることは特にならない	1.4%	4.3%	2.2%	8.7%	10.9%	28.3%	45.7%	0.0%
無回答	57	4	2	7	9	10	23	2	無回答	1.8%	7.0%	3.5%	12.3%	15.8%	17.5%	40.4%	3.5%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数								
回答計	3229	250	352	521	633	749	657	67	回答計								

**問 16 障がい者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に大切だと思うものを選んでください。(○は3つまで)**

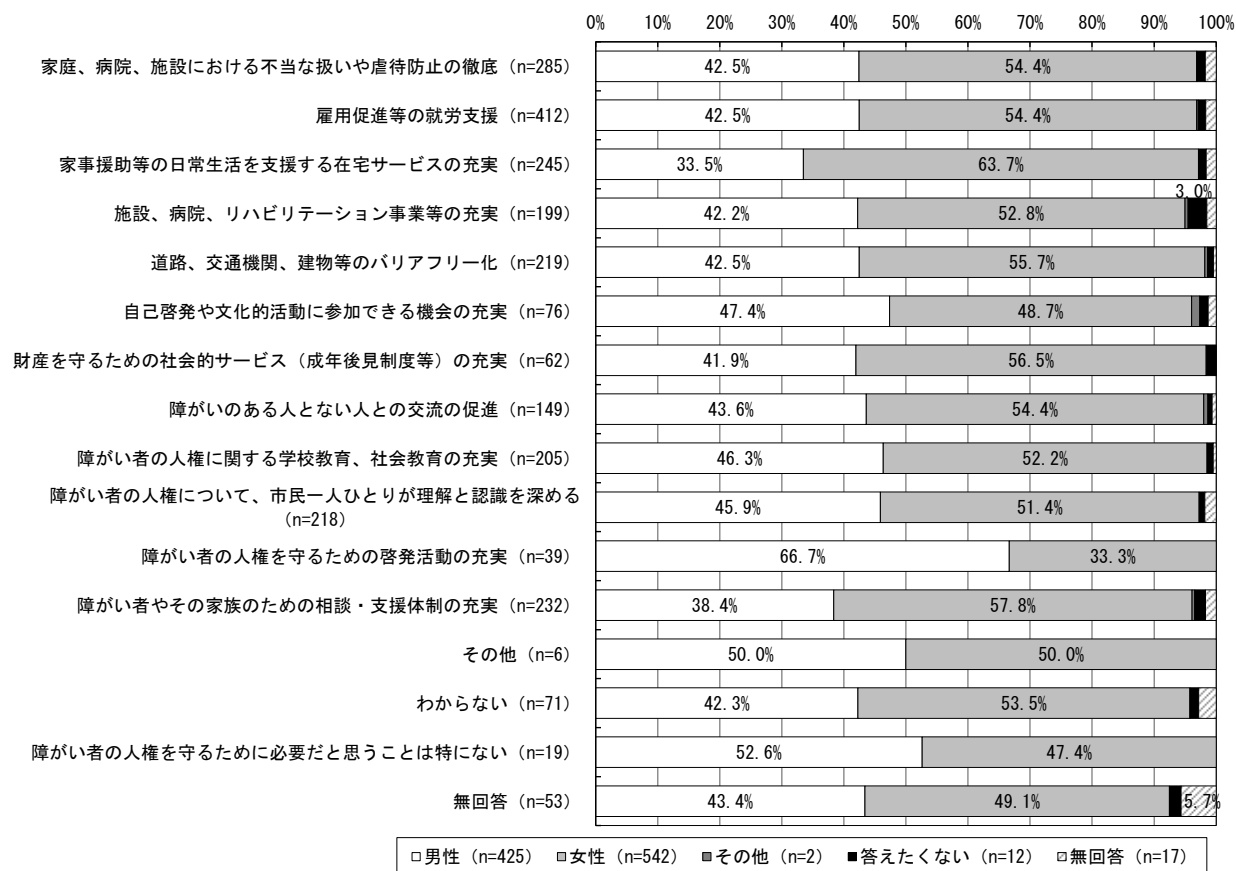
障がい者の人権を守るために必要だと思うことについては、「雇用促進等の就労支援」が41.3%と最も多く、次いで「家庭、病院、施設における不当な扱いや虐待防止の徹底」が28.6%、「家事援助等の日常生活を支援する在宅サービスの充実」が24.5%となっています。



項目	度数	比率
雇用促進等の就労支援	412	41.3%
家庭、病院、施設における不当な扱いや虐待防止の徹底	285	28.6%
家事援助等の日常生活を支援する在宅サービスの充実	245	24.5%
障がい者やその家族のための相談・支援体制の充実	232	23.2%
道路、交通機関、建物等のバリアフリー化	219	21.9%
障がい者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	218	21.8%
障がい者の人権に関する学校教育、社会教育の充実	205	20.5%
施設、病院、リハビリテーション事業等の充実	199	19.9%
障がいのある人とない人との交流の促進	149	14.9%
自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実	76	7.6%
財産を守るための社会的サービス（成年後見制度等）の充実	62	6.2%
障がい者の人権を守るための啓発活動の充実	39	3.9%
その他	6	0.6%
わからない	71	7.1%
障がい者の人権を守るために必要だと思うことは特にはない	19	1.9%
無回答	53	5.3%
回答者数	998	
回答計	2490	

**問 16 性別クロス**

障がい者の人権を守るために必要だと思うことについて性別で見ると、最も回答が多かった「雇用促進等の就労支援」を選んだ412人のうち、「男性」が42.5%、「女性」が54.4%となっています。

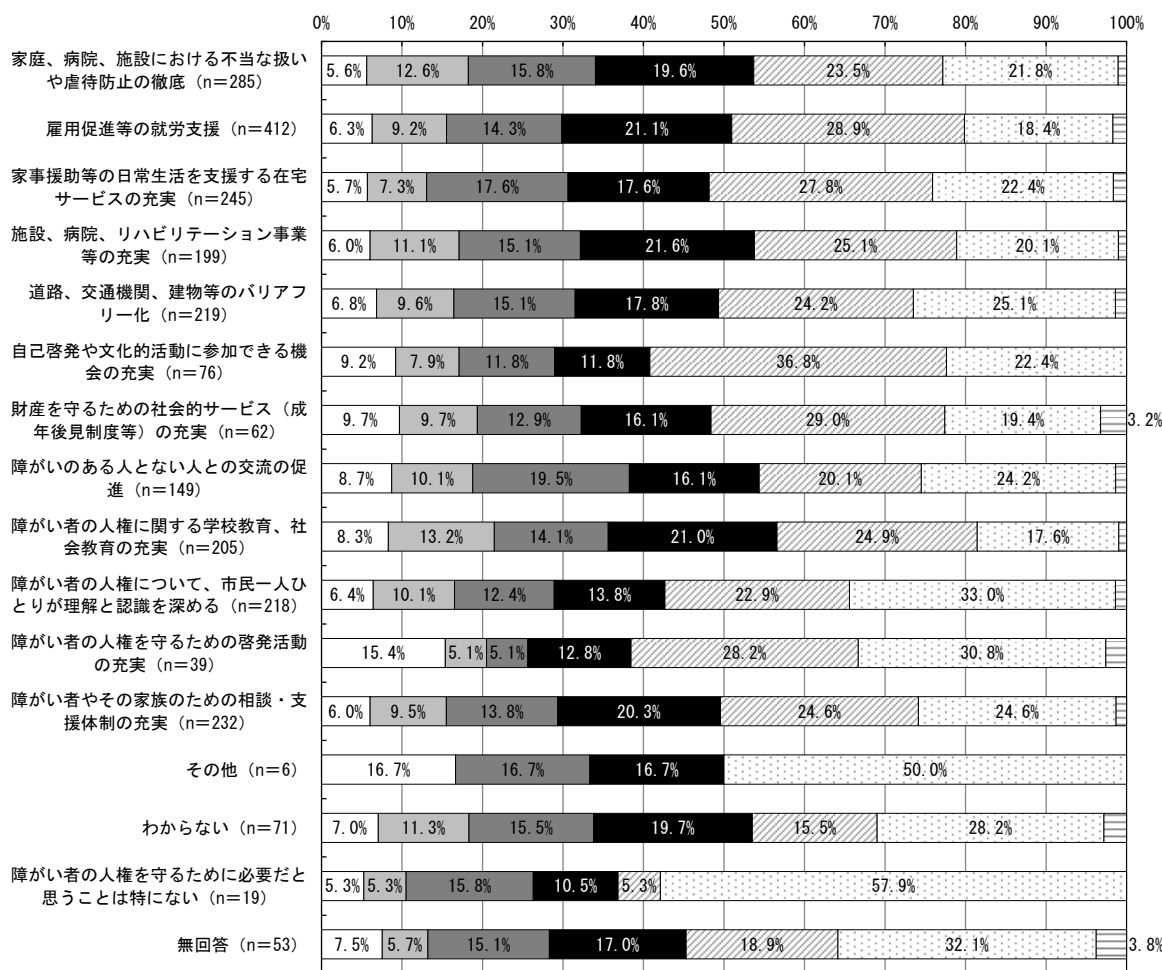


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
家庭、病院、施設における不当な扱いや虐待防止の徹底	285	121	155	0	4	5	家庭、病院、施設における不当な扱いや虐待防止の徹底	11.4%	42.5%	54.4%	0.0%	1.4%	1.8%
雇用促進等の就労支援	412	175	224	1	5	7	雇用促進等の就労支援	16.5%	42.5%	54.4%	0.2%	1.2%	1.7%
家事援助等の日常生活を支援する在宅サービスの充実	245	82	156	0	3	4	家事援助等の日常生活を支援する在宅サービスの充実	9.8%	33.5%	63.7%	0.0%	1.2%	1.6%
施設、病院、リハビリテーション事業等の充実	199	84	105	1	6	3	施設、病院、リハビリテーション事業等の充実	8.0%	42.2%	52.8%	0.5%	3.0%	1.5%
道路、交通機関、建物等のバリアフリー化	219	93	122	1	2	1	道路、交通機関、建物等のバリアフリー化	8.8%	42.5%	55.7%	0.5%	0.9%	0.5%
自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実	76	36	37	1	1	1	自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実	3.1%	47.4%	48.7%	1.3%	1.3%	1.3%
財産を守るための社会的サービス(成年後見制度等)の充実	62	26	35	0	1	0	財産を守るための社会的サービス(成年後見制度等)の充実	2.5%	41.9%	56.5%	0.0%	1.6%	0.0%
障がいのある人となし人との交流の促進	149	65	81	1	1	1	障がいのある人となし人との交流の促進	6.0%	43.6%	54.4%	0.7%	0.7%	0.7%
障がい者の人権に関する学校教育、社会教育の充実	205	95	107	0	2	1	障がい者の人権に関する学校教育、社会教育の充実	8.2%	46.3%	52.2%	0.0%	1.0%	0.5%
障がい者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	218	100	112	0	2	4	障がい者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	8.8%	45.9%	51.4%	0.0%	0.9%	1.8%
障がい者の人権を守るための啓発活動の充実	39	26	13	0	0	0	障がい者の人権を守るための啓発活動の充実	1.6%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
障がい者やその家族のための相談・支援体制の充実	232	89	134	1	4	4	障がい者やその家族のための相談・支援体制の充実	9.3%	38.4%	57.8%	0.4%	1.7%	1.7%
その他	6	3	3	0	0	0	その他	0.2%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	71	30	38	0	1	2	わからない	2.9%	42.3%	53.5%	0.0%	1.4%	2.8%
障がい者の人権を守るために必要だと思うことは特になし	19	10	9	0	0	0	障がい者の人権を守るために必要だと思うことは特になし	0.8%	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	53	23	26	0	1	3	無回答	2.1%	43.4%	49.1%	0.0%	1.9%	5.7%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	2490	1058	1357	6	33	36	回答計						

○市民意識調査結果

**問 16 年代別クロス**

障がい者の人権を守るために必要だと思うことについて年代別でみると、最も回答の多かった「雇用促進等の就労支援」を選んだ412人のうち、「60～69歳」が28.9%と最も多く、次いで「50～59歳」が21.1%、「70歳～」が18.4%となっています。



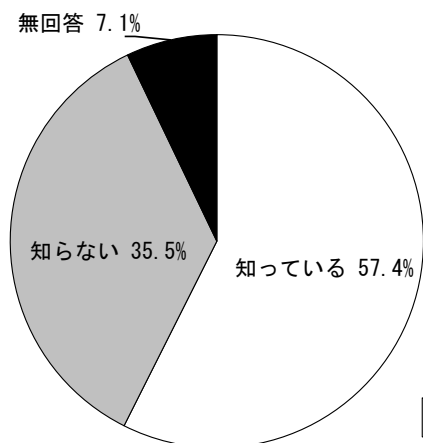
18～29歳 (n=65)   
  30～39歳 (n=95)   
  40～49歳 (n=152)   
  50～59歳 (n=185)  
 60～69歳 (n=252)   
 70歳～ (n=233)   
 無回答 (n=16)

項目	全体	年代別							項目(比率)	全体	年代別							無回答
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～		
家庭、病院、施設における不当な扱いや虐待防止の徹底	285	16	36	45	56	67	62	3	家庭、病院、施設における不当な扱いや虐待防止の徹底	11.4%	5.6%	12.6%	15.8%	19.6%	23.5%	21.8%	1.1%	
雇用促進等の就労支援	412	26	38	59	87	119	76	7	雇用促進等の就労支援	16.5%	6.3%	9.2%	14.3%	21.1%	28.9%	18.4%	1.7%	
家事援助等の日常生活を支援する在宅サービスの充実	245	14	18	43	43	68	55	4	家事援助等の日常生活を支援する在宅サービスの充実	9.8%	5.7%	7.3%	17.6%	17.6%	27.8%	22.4%	1.6%	
施設、病院、リハビリテーション事業等の充実	199	12	22	30	43	50	40	2	施設、病院、リハビリテーション事業等の充実	8.0%	6.0%	11.1%	15.1%	21.6%	25.1%	20.1%	1.0%	
道路、交通機関、建物等のバリアフリー化	219	15	21	33	39	53	55	3	道路、交通機関、建物等のバリアフリー化	8.8%	6.8%	9.6%	15.1%	17.8%	24.2%	25.1%	1.4%	
自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実	76	7	6	9	9	28	17	0	自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実	3.1%	9.2%	7.9%	11.8%	11.8%	36.8%	22.4%	0.0%	
財産を守るための社会的サービス(成年後見制度等)の充実	62	6	6	8	10	18	12	2	財産を守るための社会的サービス(成年後見制度等)の充実	2.5%	9.7%	9.7%	12.9%	16.1%	29.0%	19.4%	3.2%	
障がいのある人とない人との交流の促進	149	13	15	29	24	30	36	2	障がいのある人とない人との交流の促進	6.0%	8.7%	10.1%	19.5%	16.1%	20.1%	24.2%	1.3%	
障がい者の人権に関する学校教育、社会教育の充実	205	17	27	29	43	51	36	2	障がい者の人権に関する学校教育、社会教育の充実	8.2%	8.3%	13.2%	14.1%	21.0%	24.9%	17.6%	1.0%	
障がい者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	218	14	22	27	30	50	72	3	障がい者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	8.8%	6.4%	10.1%	12.4%	13.8%	22.9%	33.0%	1.4%	
障がい者の人権を守るための啓発活動の充実	39	6	2	2	5	11	12	1	障がい者の人権を守るための啓発活動の充実	1.6%	15.4%	5.1%	5.1%	12.8%	28.2%	30.8%	2.6%	
障がい者やその家族のための相談・支援体制の充実	232	14	22	32	47	57	57	3	障がい者やその家族のための相談・支援体制の充実	9.3%	6.0%	9.5%	13.8%	20.3%	24.6%	24.6%	1.3%	
その他	6	1	0	1	1	0	3	0	その他	0.2%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%	
わからない	71	5	8	11	14	11	20	2	わからない	2.9%	7.0%	11.3%	15.5%	19.7%	15.5%	28.2%	2.8%	
障がい者の人権を守るために必要だと思うことは特にない	19	1	1	3	2	1	11	0	障がい者の人権を守るために必要だと思うことは特にない	0.8%	5.3%	5.3%	15.8%	10.5%	5.3%	57.9%	0.0%	
無回答	53	4	3	8	9	10	17	2	無回答	2.1%	7.5%	5.7%	15.1%	17.0%	18.9%	32.1%	3.8%	
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数									
回答計	2490	171	247	369	462	624	581	36	回答計									

## 6 同和問題について

### 問 17 日本社会に「同和問題」「部落差別」と呼ばれる人権問題があることを知っていますか。(○は1つだけ)

日本社会に「同和問題」「部落差別」と呼ばれる人権問題があることを知っているかについては、「知っている」が57.4%と最も多く、次いで「知らない」が35.5%となっています。

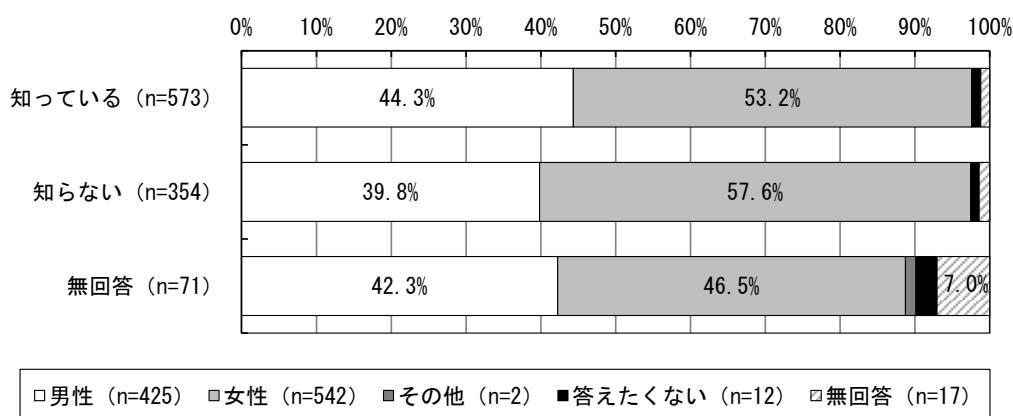


項目	度数	構成比
知っている	573	57.4%
知らない	354	35.5%
無回答	71	7.1%
合計	998	100.0%

全体 (n=998)

### 問 17 性別クロス

日本社会に「同和問題」「部落差別」と呼ばれる人権問題があることを知っているかについて性別でみると、最も回答の多かった「知っている」を選んだ573人のうち、「男性」が44.3%、「女性」が53.2%となっています。



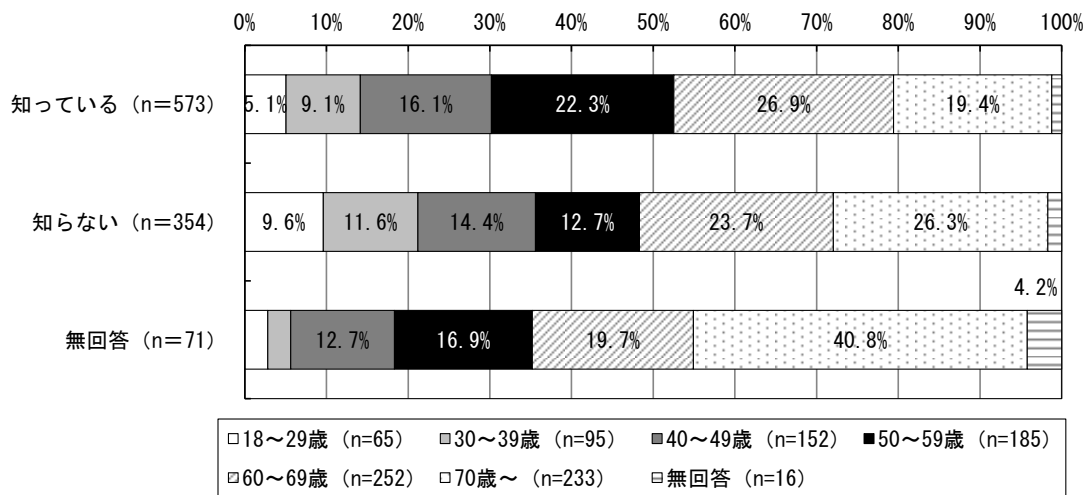
□男性 (n=425) □女性 (n=542) ■その他 (n=2) ■答えたくない (n=12) □無回答 (n=17)

項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(構成比)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
知っている	573	254	305	1	6	7	知っている	57.4%	44.3%	53.2%	0.2%	1.0%	1.2%
知らない	354	141	204	0	4	5	知らない	35.5%	39.8%	57.6%	0.0%	1.1%	1.4%
無回答	71	30	33	1	2	5	無回答	7.1%	42.3%	46.5%	1.4%	2.8%	7.0%
合計	998	425	542	2	12	17	合計						

○市民意識調査結果

**問 17 年代別クロス**

日本社会に「同和問題」「部落差別」と呼ばれる人権問題があることを知っているかについて年代別でみると、最も回答の多かった「知っている」を選んだ573人のうち、「60～69歳」が26.9%と最も多く、次いで「50～59歳」が22.3%、「70歳～」が19.4%となっています。



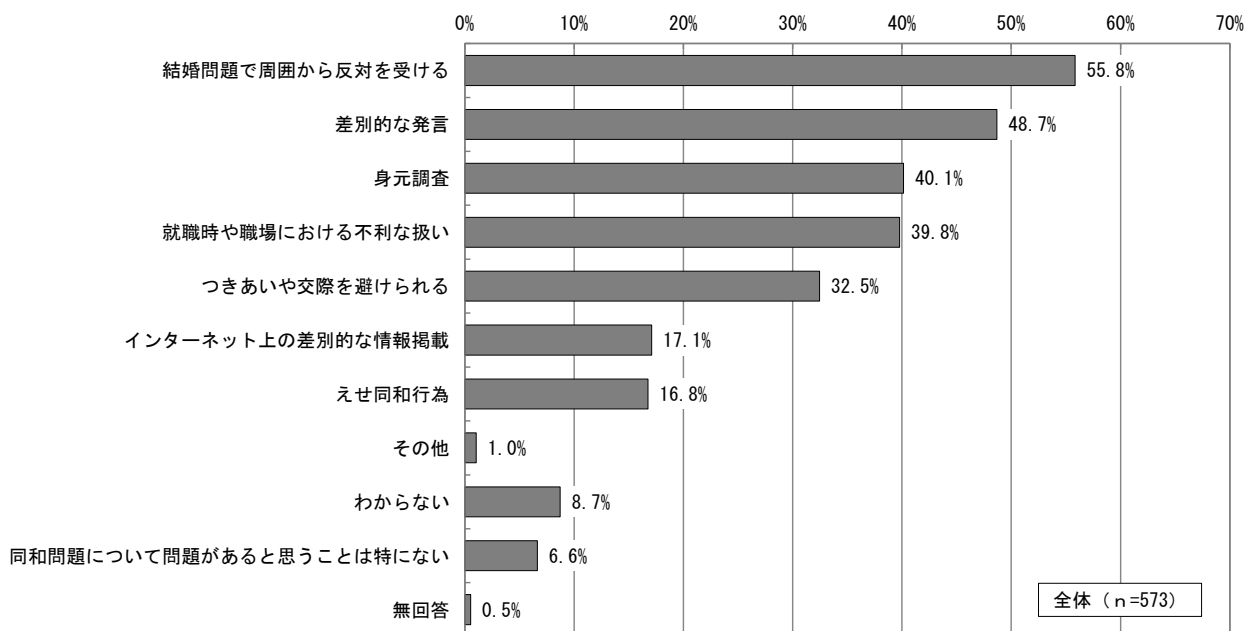
項目	全体	項目(構成比)						全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答										
知っている	573	29	52	92	128	154	111	7	知っている	57.4%	5.1%	9.1%	16.1%	22.3%	26.9%	19.4%	1.2%
知らない	354	34	41	51	45	84	93	6	知らない	35.5%	9.6%	11.6%	14.4%	12.7%	23.7%	26.3%	1.7%
無回答	71	2	2	9	12	14	29	3	無回答	7.1%	2.8%	2.8%	12.7%	16.9%	19.7%	40.8%	4.2%
合計	998	65	95	152	185	252	233	16	合計								



[問17で「1. 知っている」と回答した方に伺います。]

**問18 同和問題において、人権上問題があると思うことはどのようなことについてですか。(〇はいくつでも)**

同和問題において、人権上問題があると思うことについては、「結婚問題で周囲から反対を受ける」が55.8%と最も多く、次いで「差別的な発言」が48.7%、「身元調査」が40.1%となっています。

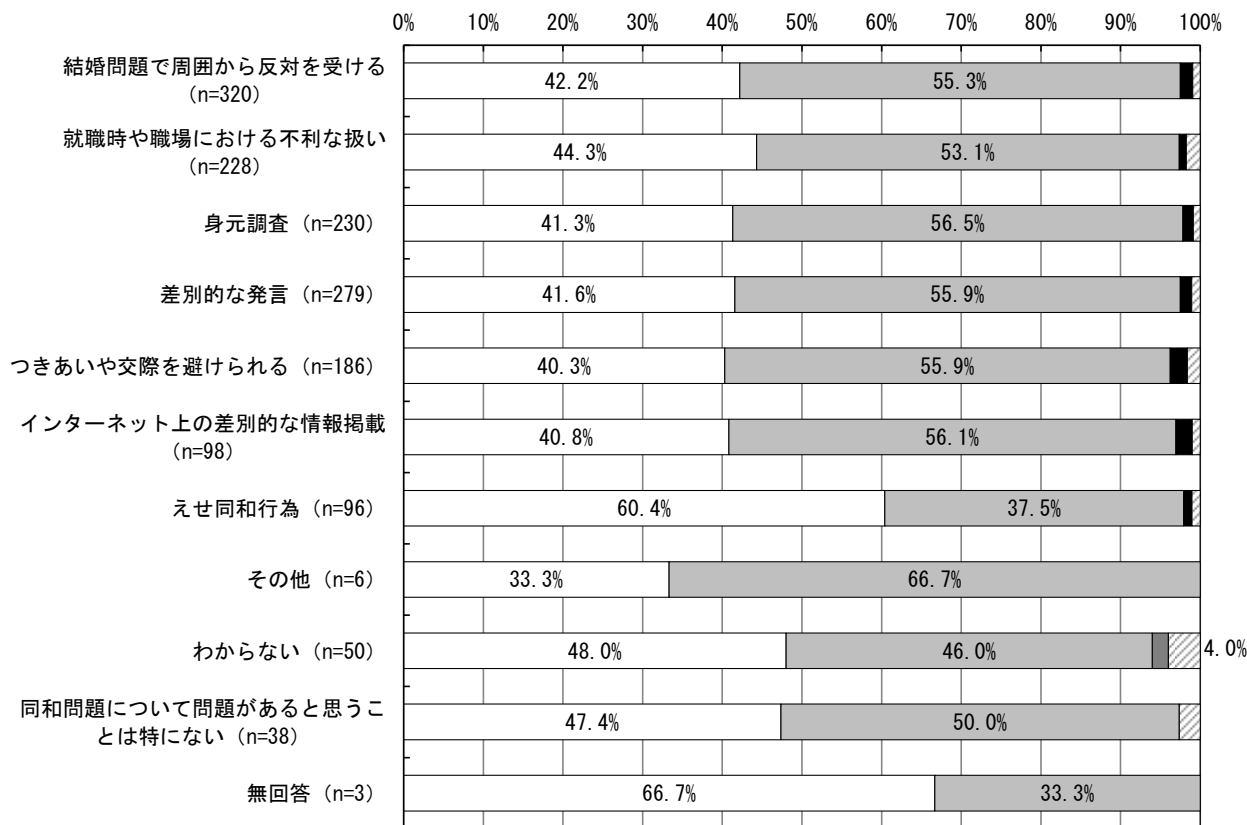


項目	度数	比率
結婚問題で周囲から反対を受ける	320	55.8%
差別的な発言	279	48.7%
身元調査	230	40.1%
就職時や職場における不利な扱い	228	39.8%
つきあいや交際を避けられる	186	32.5%
インターネット上の差別的な情報掲載	98	17.1%
えせ同和行為	96	16.8%
その他	6	1.0%
わからない	50	8.7%
同和問題について問題があると思うことは特にない	38	6.6%
無回答	3	0.5%
回答者数	573	
非該当	425	
回答計	1534	

○市民意識調査結果

**問 18 性別クロス**

同和問題において、人権上問題があると思うことについて性別でみると、最も回答の多かった「結婚問題で周囲から反対を受ける」を選んだ 320 人のうち、「男性」が 42.2%、「女性」が 55.3%となっています。

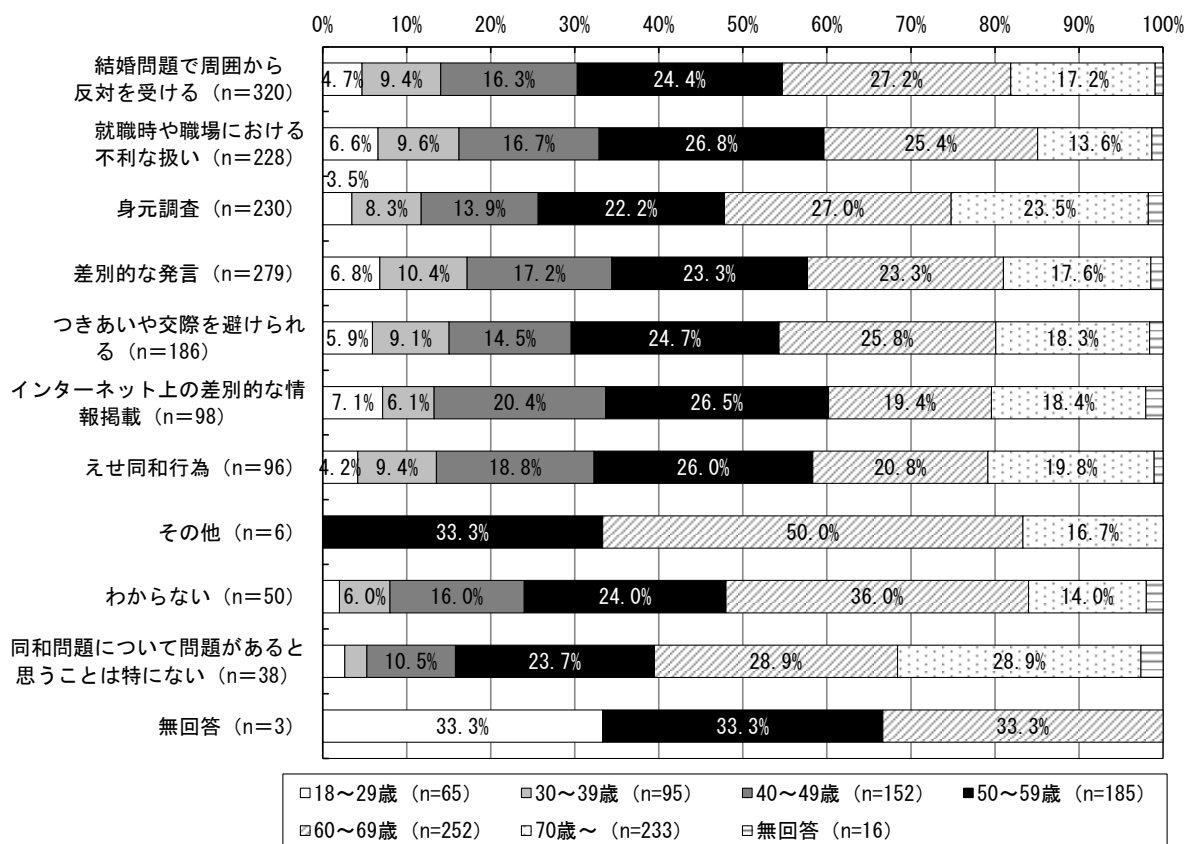


□男性 (n=254) □女性 (n=305) ■その他 (n=1) ■答えたくない (n=6) □無回答 (n=7)

項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
結婚問題で周囲から反対を受ける	320	135	177	0	5	3	結婚問題で周囲から反対を受ける	20.9%	42.2%	55.3%	0.0%	1.6%	0.9%
就職時や職場における不利な扱い	228	101	121	0	2	4	就職時や職場における不利な扱い	14.9%	44.3%	53.1%	0.0%	0.9%	1.8%
身元調査	230	95	130	0	3	2	身元調査	15.0%	41.3%	56.5%	0.0%	1.3%	0.9%
差別的な発言	279	116	156	0	4	3	差別的な発言	18.2%	41.6%	55.9%	0.0%	1.4%	1.1%
つきあいや交際を避けられる	186	75	104	0	4	3	つきあいや交際を避けられる	12.1%	40.3%	55.9%	0.0%	2.2%	1.6%
インターネット上の差別的な情報掲載	98	40	55	0	2	1	インターネット上の差別的な情報掲載	6.4%	40.8%	56.1%	0.0%	2.0%	1.0%
えせ同和行為*	96	58	36	0	1	1	えせ同和行為*	6.3%	60.4%	37.5%	0.0%	1.0%	1.0%
その他	6	2	4	0	0	0	その他	0.4%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	50	24	23	1	0	2	わからない	3.3%	48.0%	46.0%	2.0%	0.0%	4.0%
同和問題について問題があると思うことは特にない	38	18	19	0	0	1	同和問題について問題があると思うことは特にない	2.5%	47.4%	50.0%	0.0%	0.0%	2.6%
無回答	3	2	1	0	0	0	無回答	0.2%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	573	254	305	1	6	7	回答者数						
非該当	425	171	237	1	6	10	非該当						
回答計	1534	666	826	1	21	20	回答計						

**問 18 年代別クロス**

同和問題において、人権上問題があると思うことについて年代別でみると、最も回答の多かった「結婚問題で周囲から反対を受ける」を選んだ320人のうち、「60～69歳」が27.2%と最も多く、次いで「50～59歳」が24.4%、「70歳～」が17.2%となっています。



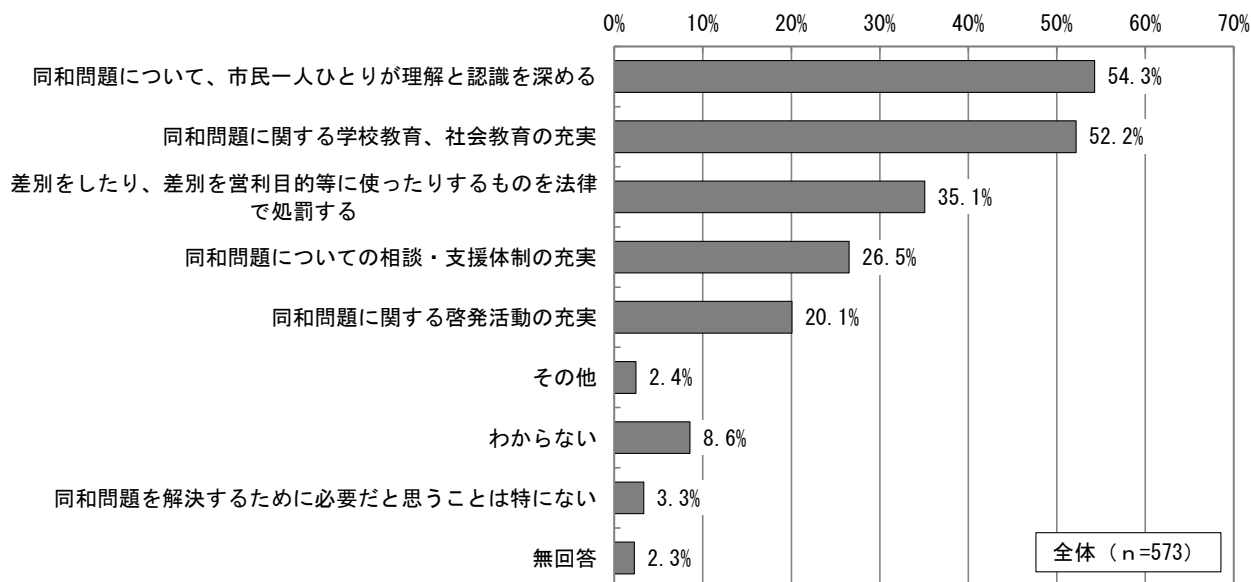
項目	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	項目(比率)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
結婚問題で周囲から反対を受ける	320	15	30	52	78	87	55	3	結婚問題で周囲から反対を受ける	20.9%	4.7%	9.4%	16.3%	24.4%	27.2%	17.2%	0.9%
就職時や職場における不利な扱い	228	15	22	38	61	58	31	3	就職時や職場における不利な扱い	14.9%	6.6%	9.6%	16.7%	26.8%	25.4%	13.6%	1.3%
身元調査	230	8	19	32	51	62	54	4	身元調査	15.0%	3.5%	8.3%	13.9%	22.2%	27.0%	23.5%	1.7%
差別的な発言	279	19	29	48	65	65	49	4	差別的な発言	18.2%	6.8%	10.4%	17.2%	23.3%	23.3%	17.6%	1.4%
つきあいや交際を避けられる	186	11	17	27	46	48	34	3	つきあいや交際を避けられる	12.1%	5.9%	9.1%	14.5%	24.7%	25.8%	18.3%	1.6%
インターネット上の差別的な情報掲載	98	7	6	20	26	19	18	2	インターネット上の差別的な情報掲載	6.4%	7.1%	6.1%	20.4%	26.5%	19.4%	18.4%	2.0%
えせ同和行為	96	4	9	18	25	20	19	1	えせ同和行為	6.3%	4.2%	9.4%	18.8%	26.0%	20.8%	19.8%	1.0%
その他	6	0	0	0	2	3	1	0	その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%
わからない	50	1	3	8	12	18	7	1	わからない	3.3%	2.0%	6.0%	16.0%	24.0%	36.0%	14.0%	2.0%
同和問題について問題があると思うことは特にない	38	1	1	4	9	11	11	1	同和問題について問題があると思うことは特にない	2.5%	2.6%	2.6%	10.5%	23.7%	28.9%	28.9%	2.6%
無回答	3	1	0	0	1	1	0	0	無回答	0.2%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
回答者数	573	29	52	92	128	154	111	7	回答者数								
非該当	425	36	43	60	57	98	122	9	非該当								
回答計	1534	82	136	247	376	392	279	22	回答計								

○市民意識調査結果

[問17で「1. 知っている」と回答した方に伺います。]

**問19 同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを選んでください。(〇は3つまで)**

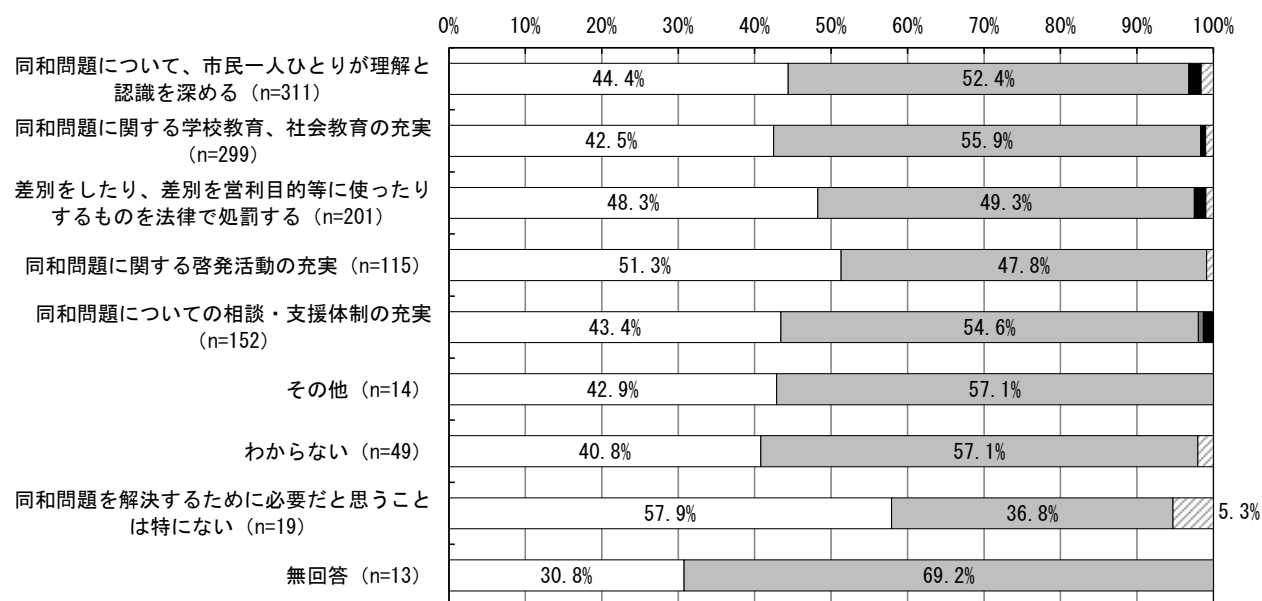
同和問題を解決するために必要だと思うことについては、「同和問題について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」が54.3%と最も多く、次いで「同和問題に関する学校教育、社会教育の充実」が52.2%、「差別をしたり、差別を営利目的等に使ったりするものを法律で処罰する」が35.1%となっています。



項目	度数	比率
同和問題について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	311	54.3%
同和問題に関する学校教育、社会教育の充実	299	52.2%
差別をしたり、差別を営利目的等に使ったりするものを法律で処罰する	201	35.1%
同和問題についての相談・支援体制の充実	152	26.5%
同和問題に関する啓発活動の充実	115	20.1%
その他	14	2.4%
わからない	49	8.6%
同和問題を解決するために必要だと思うことは特にない	19	3.3%
無回答	13	2.3%
回答者数	573	
非該当	425	
回答計	1173	

**問 19 性別クロス**

同和問題を解決するために必要だと思うことについて性別で見ると、最も回答の多かった「同和問題について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」を選んだ311人のうち、「男性」が44.4%、「女性」が52.4%となっています。



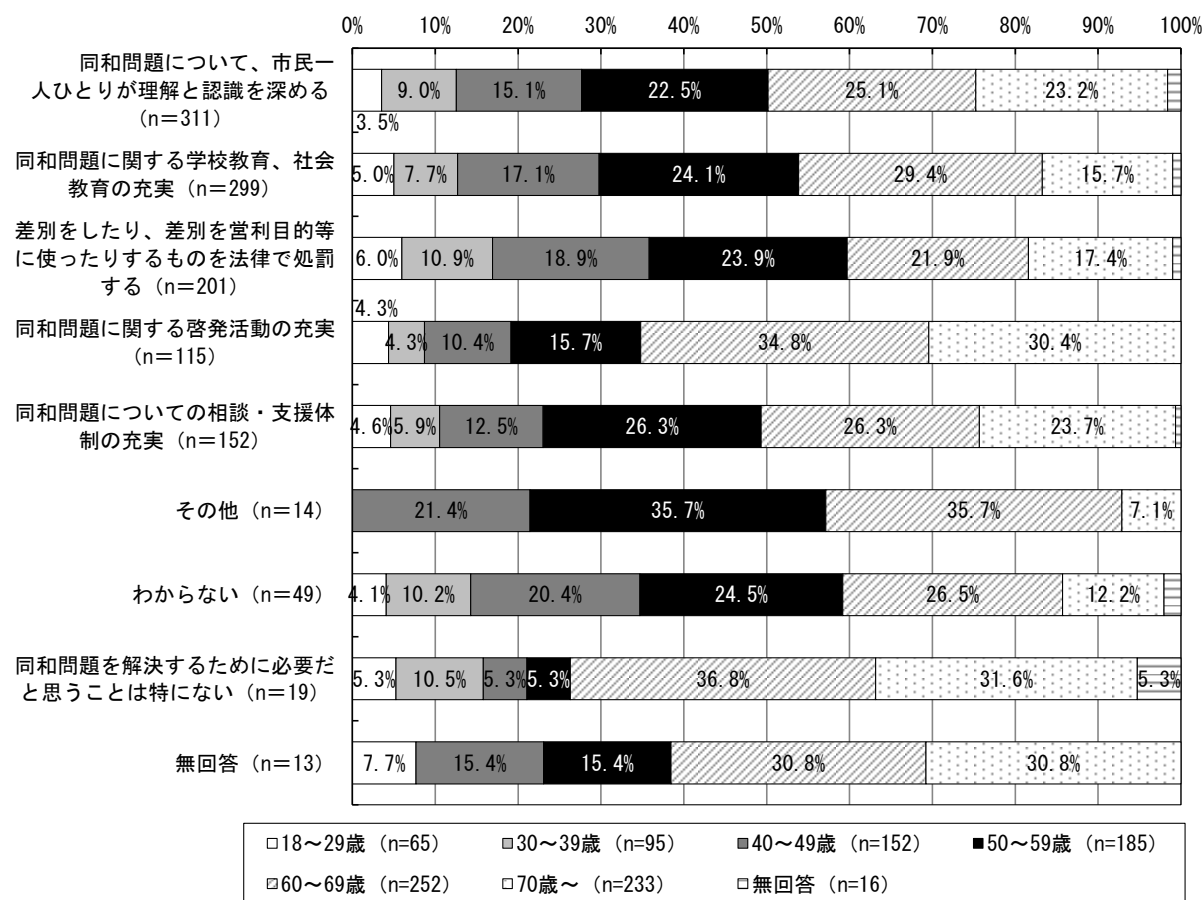
□男性 (n=254) □女性 (n=305) ■その他 (n=1) ■答えたくない (n=6) □無回答 (n=7)

項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
同和問題について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	311	138	163	0	5	5	同和問題について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	26.5%	44.4%	52.4%	0.0%	1.6%	1.6%
同和問題に関する学校教育、社会教育の充実	299	127	167	0	2	3	同和問題に関する学校教育、社会教育の充実	25.5%	42.5%	55.9%	0.0%	0.7%	1.0%
差別をしたり、差別を営利目的等に使ったりするものを法律で処罰する	201	97	99	0	3	2	差別をしたり、差別を営利目的等に使ったりするものを法律で処罰する	17.1%	48.3%	49.3%	0.0%	1.5%	1.0%
同和問題に関する啓発活動の充実	115	59	55	0	0	1	同和問題に関する啓発活動の充実	9.8%	51.3%	47.8%	0.0%	0.0%	0.9%
同和問題についての相談・支援体制の充実	152	66	83	1	2	0	同和問題についての相談・支援体制の充実	13.0%	43.4%	54.6%	0.7%	1.3%	0.0%
その他	14	6	8	0	0	0	その他	1.2%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	49	20	28	0	0	1	わからない	4.2%	40.8%	57.1%	0.0%	0.0%	2.0%
同和問題を解決するために必要だと思うことは特にない	19	11	7	0	0	1	同和問題を解決するために必要だと思うことは特にない	1.6%	57.9%	36.8%	0.0%	0.0%	5.3%
無回答	13	4	9	0	0	0	無回答	1.1%	30.8%	69.2%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	573	254	305	1	6	7	回答者数						
非該当	425	171	237	1	6	10	非該当						
回答計	1173	528	619	1	12	13	回答計						

○市民意識調査結果

**問 19 年代別クロス**

同和問題を解決するために必要だと思うことについて年代別でみると、最も回答の多かった「同和問題について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」を選んだ311人のうち、「60～69歳」が25.1%と最も多く、次いで「70歳～」が23.2%、「50～59歳」が22.5%となっています。



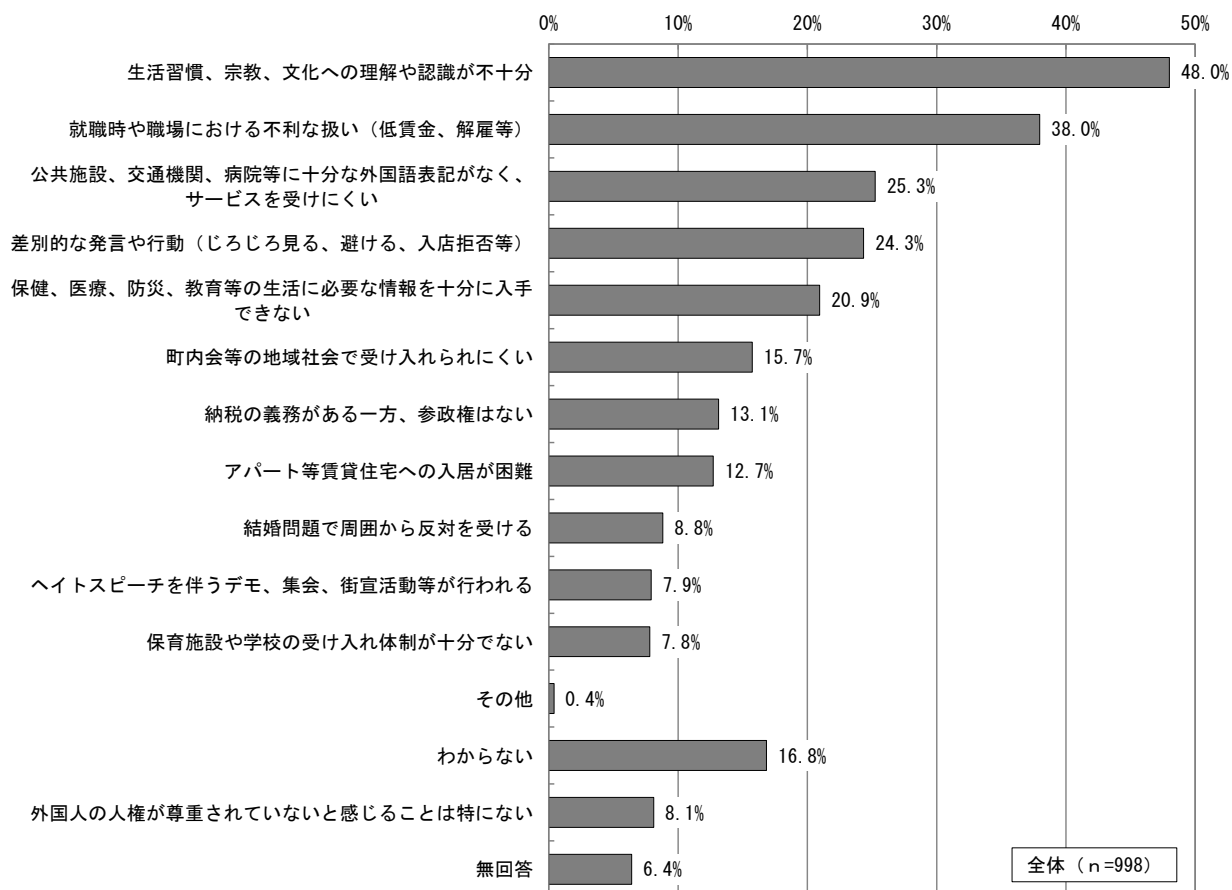
□18～29歳 (n=65)    □30～39歳 (n=95)    ■40～49歳 (n=152)    ■50～59歳 (n=185)  
 □60～69歳 (n=252)    □70歳～ (n=233)    □無回答 (n=16)

項目	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	項目(比率)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
同和問題について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	311	11	28	47	70	78	72	5	同和問題について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	26.5%	3.5%	9.0%	15.1%	22.5%	25.1%	23.2%	1.6%
同和問題に関する学校教育、社会教育の充実	299	15	23	51	72	88	47	3	同和問題に関する学校教育、社会教育の充実	25.5%	5.0%	7.7%	17.1%	24.1%	29.4%	15.7%	1.0%
差別をしたり、差別を営利目的等に使ったりするものを法律で処罰する	201	12	22	38	48	44	35	2	差別をしたり、差別を営利目的等に使ったりするものを法律で処罰する	17.1%	6.0%	10.9%	18.9%	23.9%	21.9%	17.4%	1.0%
同和問題に関する啓発活動の充実	115	5	5	12	18	40	35	0	同和問題に関する啓発活動の充実	9.8%	4.3%	4.3%	10.4%	15.7%	34.8%	30.4%	0.0%
同和問題についての相談・支援体制の充実	152	7	9	19	40	40	36	1	同和問題についての相談・支援体制の充実	13.0%	4.6%	5.9%	12.5%	26.3%	26.3%	23.7%	0.7%
その他	14	0	0	3	5	5	1	0	その他	1.2%	0.0%	0.0%	21.4%	35.7%	35.7%	7.1%	0.0%
わからない	49	2	5	10	12	13	6	1	わからない	4.2%	4.1%	10.2%	20.4%	24.5%	26.5%	12.2%	2.0%
同和問題を解決するために必要だと思うことは特にない	19	1	2	1	1	7	6	1	同和問題を解決するために必要だと思うことは特にない	1.6%	5.3%	10.5%	5.3%	5.3%	36.8%	31.6%	5.3%
無回答	13	1	0	2	2	4	4	0	無回答	1.1%	7.7%	0.0%	15.4%	15.4%	30.8%	30.8%	0.0%
回答者数	573	29	52	92	128	154	111	7	回答者数								
非該当	425	36	43	60	57	98	122	9	非該当								
回答計	1173	54	94	183	288	319	242	13	回答計								

## 7 外国人の人権について

問 20 外国人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。(○はいくつでも)

外国人の人権が尊重されていないと感じることについては、「生活習慣、宗教、文化への理解や認識が不十分」が 48.0%と最も多く、次いで「就職時や職場における不利な扱い(低賃金、解雇等)」が 38.0%、「公共施設、交通機関、病院等に十分な外国語表記がなく、サービスを受けにくい」が 25.3%となっています。

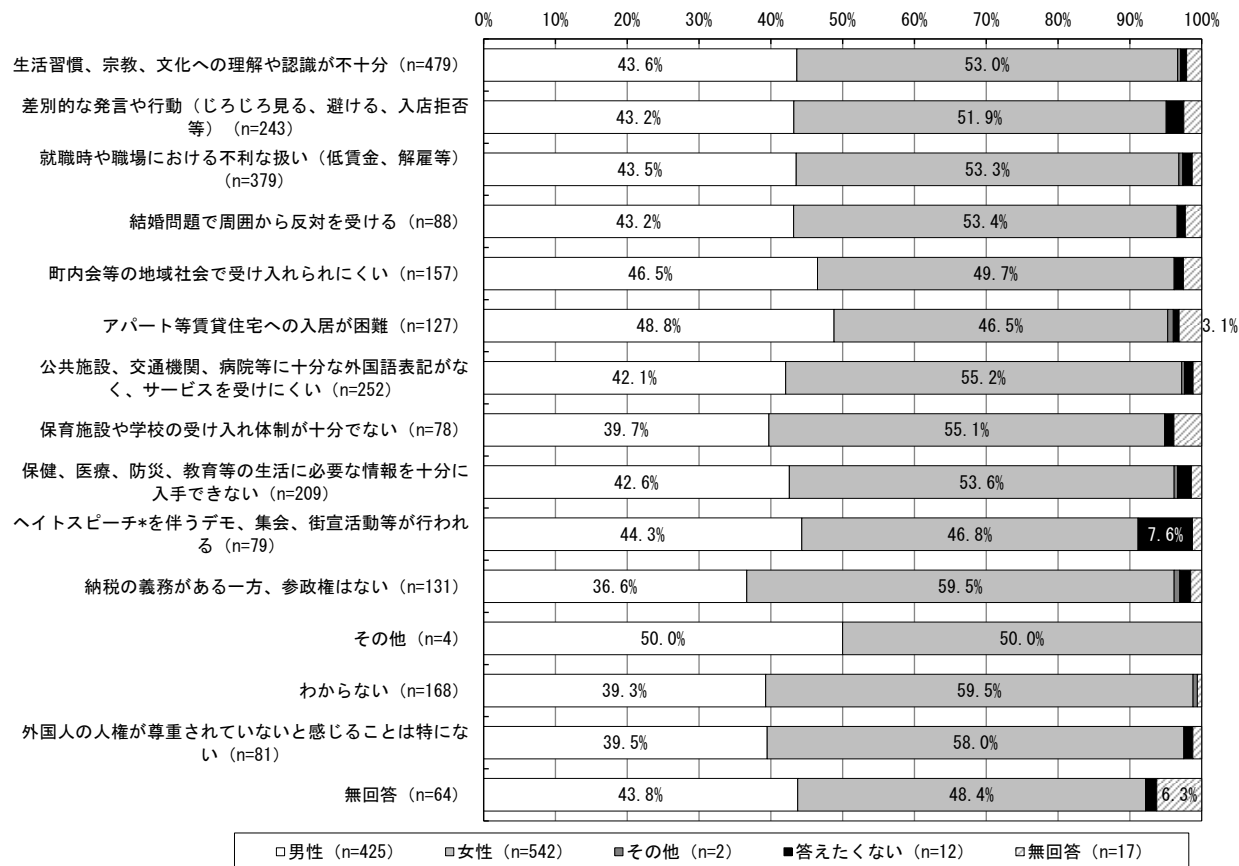


項目	度数	比率
生活習慣、宗教、文化への理解や認識が不十分	479	48.0%
就職時や職場における不利な扱い(低賃金、解雇等)	379	38.0%
公共施設、交通機関、病院等に十分な外国語表記がなく、サービスを受けにくい	252	25.3%
差別的な発言や行動(じろじろ見る、避ける、入店拒否等)	243	24.3%
保健、医療、防災、教育等の生活に必要な情報を十分に入手できない	209	20.9%
町内会等の地域社会で受け入れられにくい	157	15.7%
納税の義務がある一方、参政権はない	131	13.1%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	127	12.7%
結婚問題で周囲から反対を受ける	88	8.8%
ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等が行われる	79	7.9%
保育施設や学校の受け入れ体制が十分でない	78	7.8%
その他	4	0.4%
わからない	168	16.8%
外国人の人権が尊重されていないと感じることは特にない	81	8.1%
無回答	64	6.4%
回答者数	998	
回答計	2539	

○市民意識調査結果

**問 20 性別クロス**

外国人の人権が尊重されていないと感じることについて性別でみると、最も回答の多かった「生活習慣、宗教、文化への理解や認識が不十分」を選んだ479人のうち、「男性」が43.6%、「女性」が53.0%となっています。

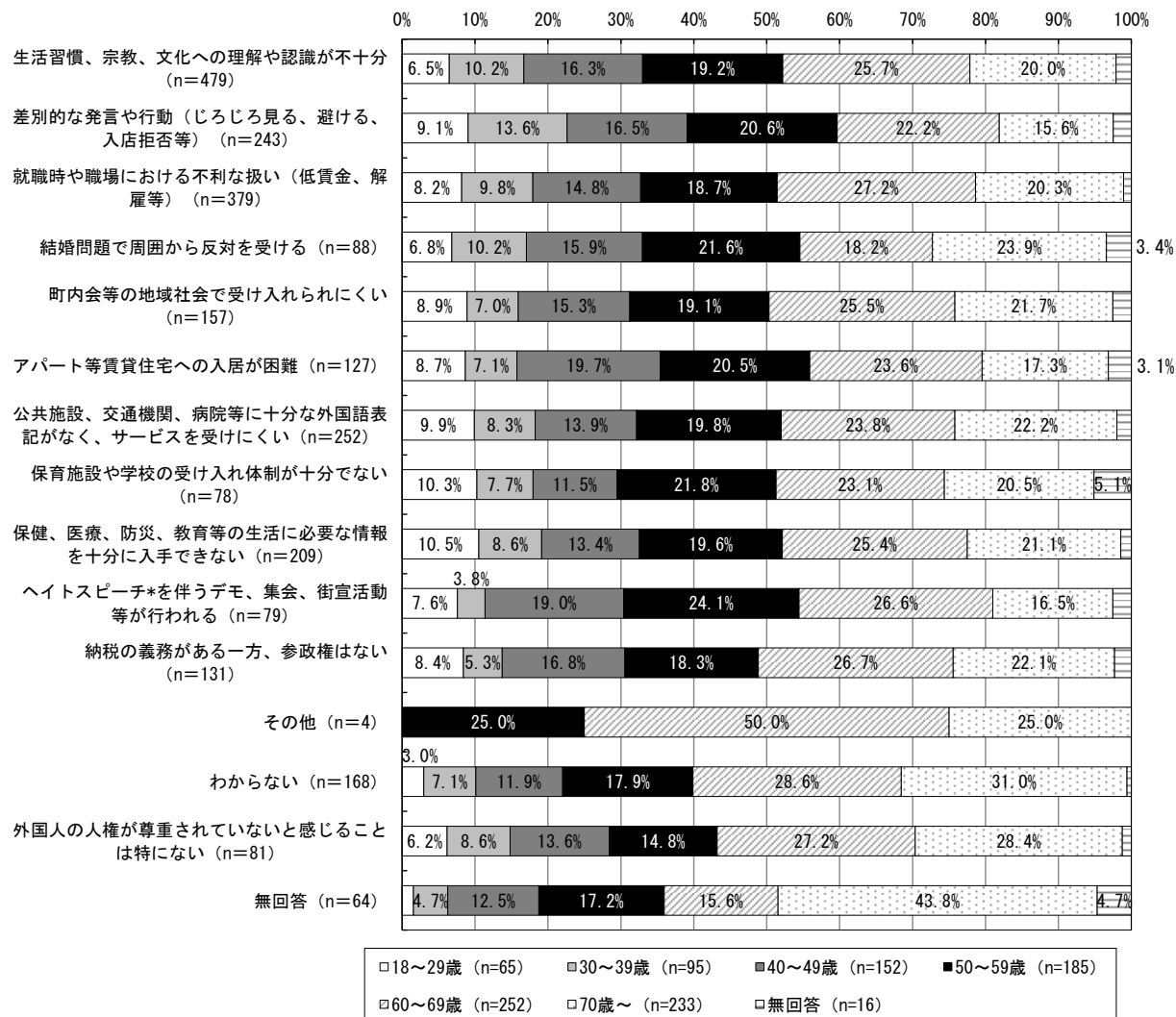


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
生活習慣、宗教、文化への理解や認識が不十分	479	209	254	2	4	10	生活習慣、宗教、文化への理解や認識が不十分	18.9%	43.6%	53.0%	0.4%	0.8%	2.1%
差別的な発言や行動(じろじろ見る、避ける、入店拒否等)	243	105	126	0	6	6	差別的な発言や行動(じろじろ見る、避ける、入店拒否等)	9.6%	43.2%	51.9%	0.0%	2.5%	2.5%
就職時や職場における不利な扱い(低賃金、解雇等)	379	165	202	2	5	5	就職時や職場における不利な扱い(低賃金、解雇等)	14.9%	43.5%	53.3%	0.5%	1.3%	1.3%
結婚問題で周囲から反対を受ける	88	38	47	0	1	2	結婚問題で周囲から反対を受ける	3.5%	43.2%	53.4%	0.0%	1.1%	2.3%
町内会等の地域社会で受け入れられにくい	157	73	78	0	2	4	町内会等の地域社会で受け入れられにくい	6.2%	46.5%	49.7%	0.0%	1.3%	2.5%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	127	62	59	1	1	4	アパート等賃貸住宅への入居が困難	5.0%	48.8%	46.5%	0.8%	0.8%	3.1%
公共施設、交通機関、病院等に十分な外国語表記がなく、サービスを受けにくい	252	106	139	1	3	3	公共施設、交通機関、病院等に十分な外国語表記がなく、サービスを受けにくい	9.9%	42.1%	55.2%	0.4%	1.2%	1.2%
保育施設や学校の受け入れ体制が十分でない	78	31	43	0	1	3	保育施設や学校の受け入れ体制が十分でない	3.1%	39.7%	55.1%	0.0%	1.3%	3.8%
保健、医療、防災、教育等の生活に必要な情報を十分に入手できない	209	89	112	1	4	3	保健、医療、防災、教育等の生活に必要な情報を十分に入手できない	8.2%	42.6%	53.6%	0.5%	1.9%	1.4%
ヘイトスピーチ*を伴うデモ、集会、街宣活動等が行われる	79	35	37	0	6	1	ヘイトスピーチ*を伴うデモ、集会、街宣活動等が行われる	3.1%	44.3%	46.8%	0.0%	7.6%	1.3%
納税の義務がある一方、参政権はない	131	48	78	1	2	2	納税の義務がある一方、参政権はない	5.2%	36.6%	59.5%	0.8%	1.5%	1.5%
その他	4	2	2	0	0	0	その他	0.2%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	168	66	100	1	0	1	わからない	6.6%	39.3%	59.5%	0.6%	0.0%	0.6%
外国人の人権が尊重されていないと感じることは特にない	81	32	47	0	1	1	外国人の人権が尊重されていないと感じることは特にない	3.2%	39.5%	58.0%	0.0%	1.2%	1.2%
無回答	64	28	31	0	1	4	無回答	2.5%	43.8%	48.4%	0.0%	1.6%	6.3%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	2539	1089	1355	9	37	49	回答計						



**問 20 年代別クロス**

外国人の人権が尊重されていないと感じることについて年代別でみると、最も回答の多かった「生活習慣、宗教、文化への理解や認識が不十分」を選んだ479人のうち、「60～69歳」が25.7%と最も多く、次いで「70歳～」が20.0%、「50～59歳」が19.2%となっています。

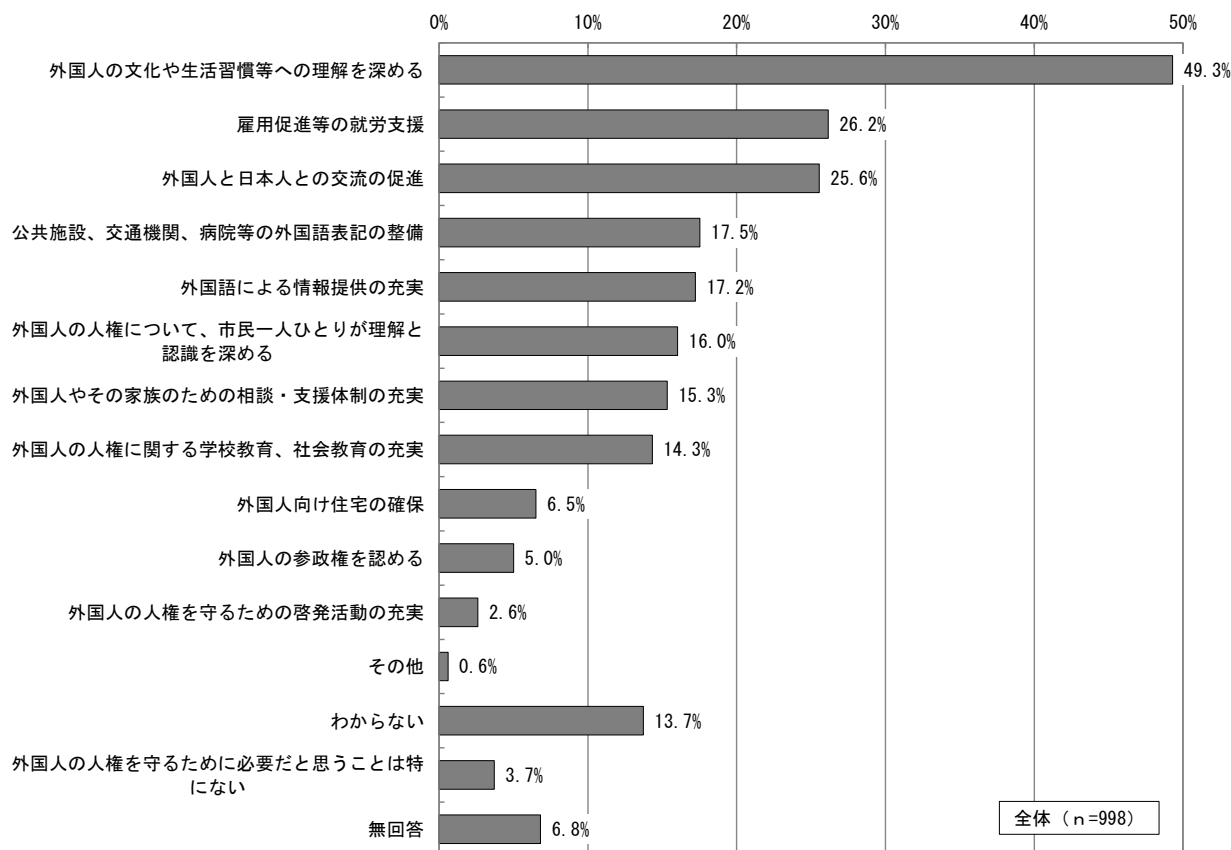


項目	全体	年代別							項目(比率)	全体	年代別							無回答
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～		
生活習慣、宗教、文化への理解や認識が不十分	479	31	49	78	92	123	96	10	生活習慣、宗教、文化への理解や認識が不十分	18.9%	6.5%	10.2%	16.3%	19.2%	25.7%	20.0%	2.1%	
差別的な発言や行動(じろじろ見る、避ける、入店拒否等)	243	22	33	40	50	54	38	6	差別的な発言や行動(じろじろ見る、避ける、入店拒否等)	9.6%	9.1%	13.6%	16.5%	20.6%	22.2%	15.6%	2.5%	
就職時や職場における不利な扱い(低賃金、解雇等)	379	31	37	56	71	103	77	4	就職時や職場における不利な扱い(低賃金、解雇等)	14.9%	8.2%	9.8%	14.8%	18.7%	27.2%	20.3%	1.1%	
結婚問題で周囲から反対を受ける	88	6	9	14	19	16	21	3	結婚問題で周囲から反対を受ける	3.5%	6.8%	10.2%	15.9%	21.6%	18.2%	23.9%	3.4%	
町内会等の地域社会で受け入れられにくい	157	14	11	24	30	40	34	4	町内会等の地域社会で受け入れられにくい	6.2%	8.9%	7.0%	15.3%	19.1%	25.5%	21.7%	2.5%	
アパート等賃貸住宅への入居が困難	127	11	9	25	26	30	22	4	アパート等賃貸住宅への入居が困難	5.0%	8.7%	7.1%	19.7%	20.5%	23.6%	17.3%	3.1%	
公共施設、交通機関、病院等に十分な外国語表記がなく、サービスを受けにくい	252	25	21	35	50	60	56	5	公共施設、交通機関、病院等に十分な外国語表記がなく、サービスを受けにくい	9.9%	9.9%	8.3%	13.9%	19.8%	23.8%	22.2%	2.0%	
保育施設や学校の受け入れ体制が十分でない	78	8	6	9	17	18	16	4	保育施設や学校の受け入れ体制が十分でない	3.1%	10.3%	7.7%	11.5%	21.8%	23.1%	20.5%	5.1%	
保健、医療、防災、教育等の生活に必要な情報を十分に入手できない	209	22	18	28	41	53	44	3	保健、医療、防災、教育等の生活に必要な情報を十分に入手できない	8.2%	10.5%	8.6%	13.4%	19.6%	25.4%	21.1%	1.4%	
ヘイトスピーチ*を伴うデモ、集会、街宣活動等が行われる	79	6	3	15	19	21	13	2	ヘイトスピーチ*を伴うデモ、集会、街宣活動等が行われる	3.1%	7.6%	3.8%	19.0%	24.1%	26.6%	16.5%	2.5%	
納税の義務がある一方、参政権はない	131	11	7	22	24	35	29	3	納税の義務がある一方、参政権はない	5.2%	8.4%	5.3%	16.8%	18.3%	26.7%	22.1%	2.3%	
その他	4	0	0	0	1	2	1	0	その他	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	
わからない	168	5	12	20	30	48	52	1	わからない	6.6%	3.0%	7.1%	11.9%	17.9%	28.6%	31.0%	0.6%	
外国人の人権が尊重されていないと感じることは特にならない	81	5	7	11	12	22	23	1	外国人の人権が尊重されていないと感じることは特にならない	3.2%	6.2%	8.6%	13.6%	14.8%	27.2%	28.4%	1.2%	
無回答	64	1	3	8	11	10	28	3	無回答	2.5%	1.6%	4.7%	12.5%	17.2%	15.6%	43.8%	4.7%	
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数									
回答計	2539	198	225	385	493	635	550	53	回答計									

○市民意識調査結果

**問 21 外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に大切だと思うものを選んでください。(〇は3つまで)**

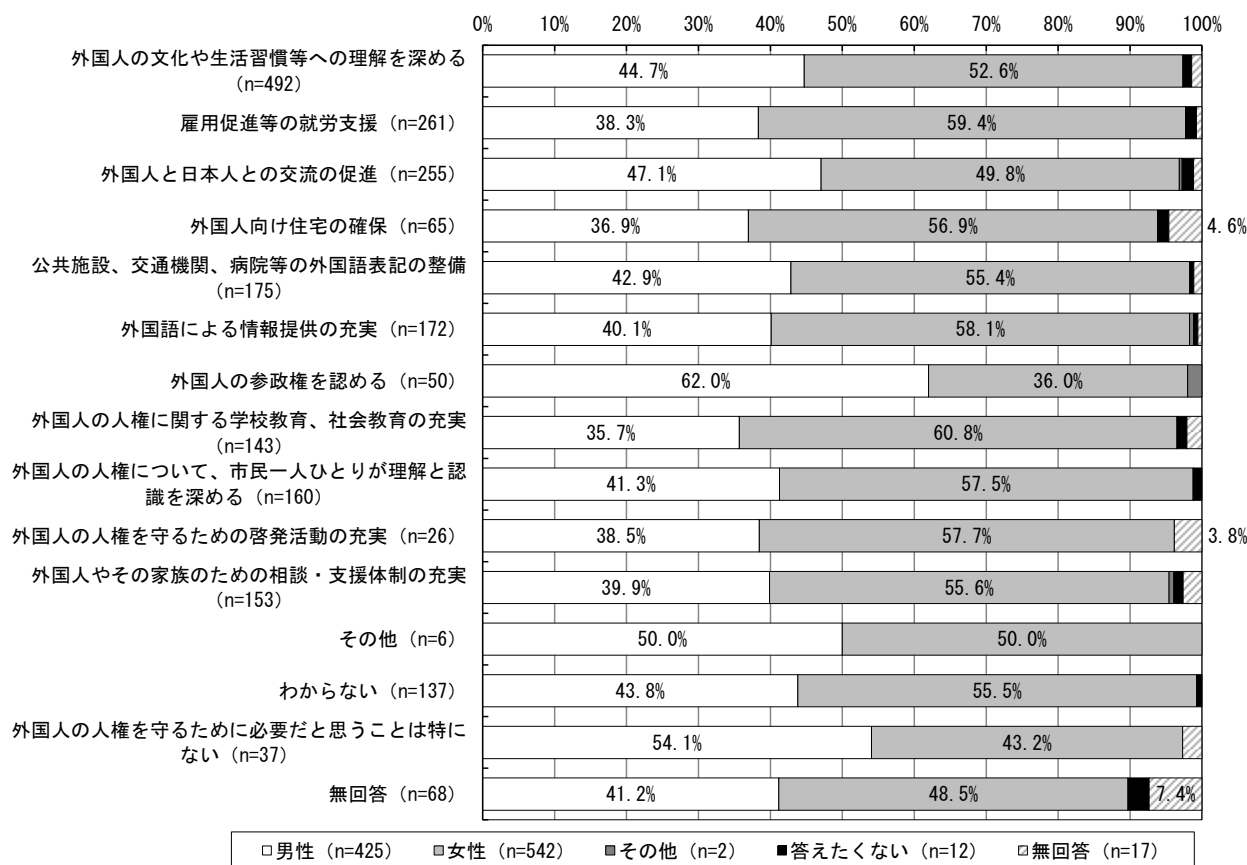
外国人の人権を守るために必要だと思うことについては、「外国人の文化や生活習慣等への理解を深める」が49.3%と最も多く、次いで「雇用促進等の就労支援」が26.2%、「外国人と日本人との交流の促進」が25.6%となっています。



項目	度数	比率
外国人の文化や生活習慣等への理解を深める	492	49.3%
雇用促進等の就労支援	261	26.2%
外国人と日本人との交流の促進	255	25.6%
公共施設、交通機関、病院等の外国語表記の整備	175	17.5%
外国語による情報提供の充実	172	17.2%
外国人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	160	16.0%
外国人やその家族のための相談・支援体制の充実	153	15.3%
外国人の人権に関する学校教育、社会教育の充実	143	14.3%
外国人向け住宅の確保	65	6.5%
外国人の参政権を認める	50	5.0%
外国人の人権を守るための啓発活動の充実	26	2.6%
その他	6	0.6%
わからない	137	13.7%
外国人の人権を守るために必要だと思うことは特にない	37	3.7%
無回答	68	6.8%
回答者数	998	
回答計	2200	

**問 21 性別クロス**

外国人の人権を守るために必要だと思うことについて性別で見ると、最も回答の多かった「外国人の文化や生活習慣等への理解を深める」を選んだ 492 人のうち、「男性」が 44.7%、「女性」が 52.6%となっています。

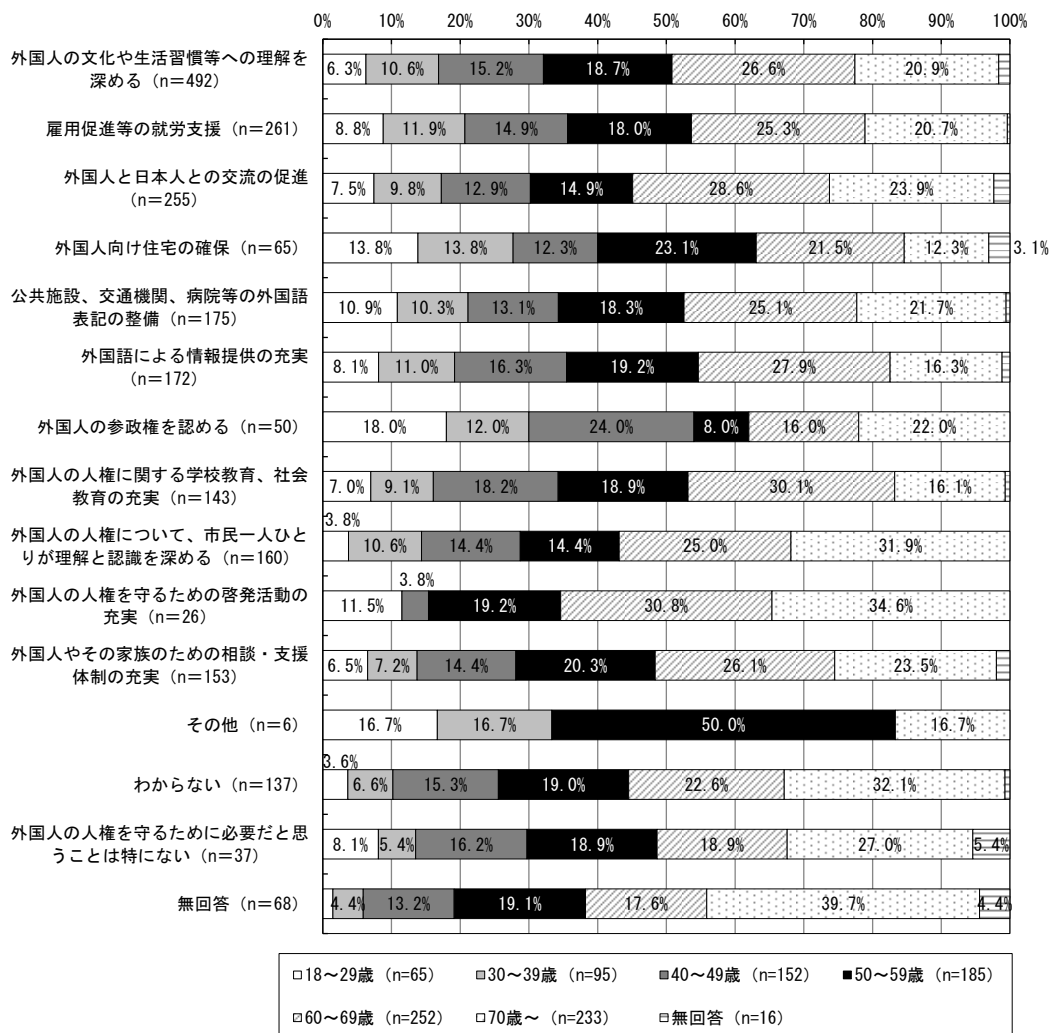


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
外国人の文化や生活習慣等への理解を深める	492	220	259	0	6	7	外国人の文化や生活習慣等への理解を深める	22.4%	44.7%	52.6%	0.0%	1.2%	1.4%
雇用促進等の就労支援	261	100	155	0	4	2	雇用促進等の就労支援	11.9%	38.3%	59.4%	0.0%	1.5%	0.8%
外国人と日本人との交流の促進	255	120	127	1	4	3	外国人と日本人との交流の促進	11.6%	47.1%	49.8%	0.4%	1.6%	1.2%
外国人向け住宅の確保	65	24	37	0	1	3	外国人向け住宅の確保	3.0%	36.9%	56.9%	0.0%	1.5%	4.6%
公共施設、交通機関、病院等の外国語表記の整備	175	75	97	0	1	2	公共施設、交通機関、病院等の外国語表記の整備	8.0%	42.9%	55.4%	0.0%	0.6%	1.1%
外国語による情報提供の充実	172	69	100	1	1	1	外国語による情報提供の充実	7.8%	40.1%	58.1%	0.6%	0.6%	0.6%
外国人の参政権を認める	50	31	18	1	0	0	外国人の参政権を認める	2.3%	62.0%	36.0%	2.0%	0.0%	0.0%
外国人の人権に関する学校教育、社会教育の充実	143	51	87	0	2	3	外国人の人権に関する学校教育、社会教育の充実	6.5%	35.7%	60.8%	0.0%	1.4%	2.1%
外国人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	160	66	92	0	2	0	外国人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	7.3%	41.3%	57.5%	0.0%	1.3%	0.0%
外国人の人権を守るための啓発活動の充実	26	10	15	0	0	1	外国人の人権を守るための啓発活動の充実	1.2%	38.5%	57.7%	0.0%	0.0%	3.8%
外国人やその家族のための相談・支援体制の充実	153	61	85	1	2	4	外国人やその家族のための相談・支援体制の充実	7.0%	39.9%	55.6%	0.7%	1.3%	2.6%
その他	6	3	3	0	0	0	その他	0.3%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	137	60	76	0	1	0	わからない	6.2%	43.8%	55.5%	0.0%	0.7%	0.0%
外国人の人権を守るために必要だと思うことは特にない	37	20	16	0	0	1	外国人の人権を守るために必要だと思うことは特にない	1.7%	54.1%	43.2%	0.0%	0.0%	2.7%
無回答	68	28	33	0	2	5	無回答	3.1%	41.2%	48.5%	0.0%	2.9%	7.4%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	2200	938	1200	4	26	32	回答計						

○市民意識調査結果

**問 21 年代別クロス**

外国人の人権を守るために必要だと思うことについて年代別でみると、最も回答の多かった「外国人の文化や生活習慣等への理解を深める」を選んだ492人のうち、「60～69歳」が26.6%と最も多く、次いで「70歳～」が20.9%、「50～59歳」が18.7%となっています。

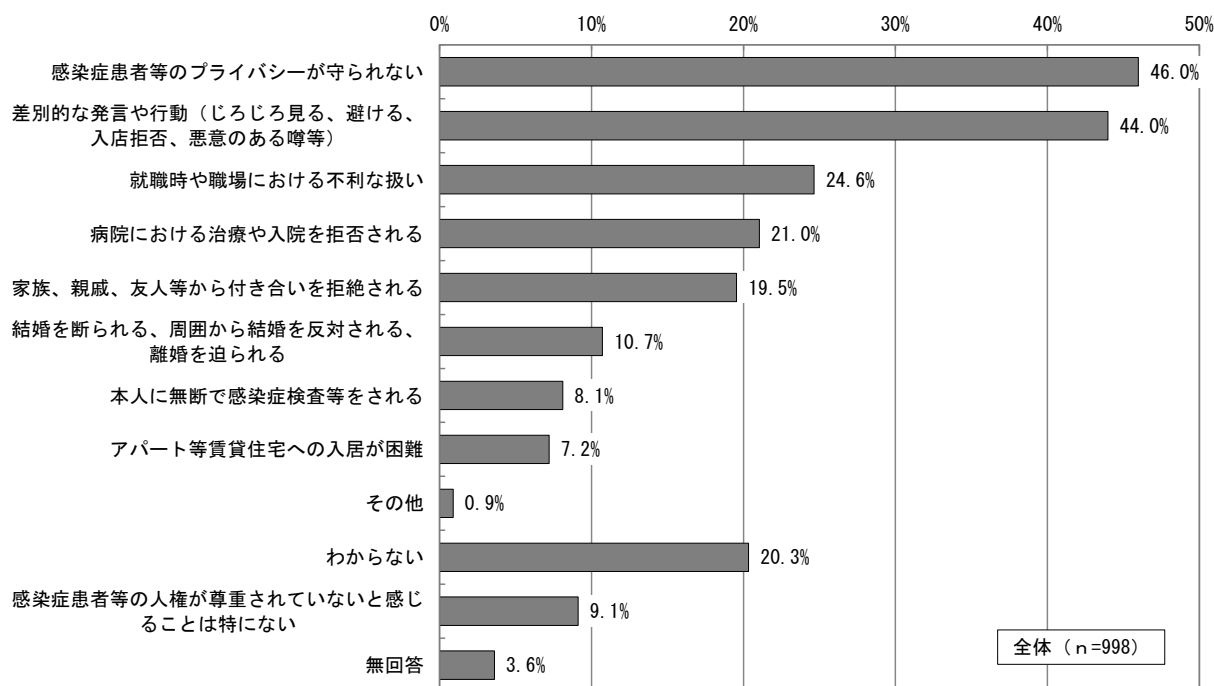


項目	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	項目(比率)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
外国人の文化や生活習慣等への理解を深める	492	31	52	75	92	131	103	8	外国人の文化や生活習慣等への理解を深める	22.4%	6.3%	10.6%	15.2%	18.7%	26.6%	20.9%	1.6%
雇用促進等の就労支援	261	23	31	39	47	66	54	1	雇用促進等の就労支援	11.9%	8.8%	11.9%	14.9%	18.0%	25.3%	20.7%	0.4%
外国人と日本人との交流の促進	255	19	25	33	38	73	61	6	外国人と日本人との交流の促進	11.6%	7.5%	9.8%	12.9%	14.9%	28.6%	23.9%	2.4%
外国人向け住宅の確保	65	9	9	8	15	14	8	2	外国人向け住宅の確保	3.0%	13.8%	13.8%	12.3%	23.1%	21.5%	12.3%	3.1%
公共施設、交通機関、病院等の外国語表記の整備	175	19	18	23	32	44	38	1	公共施設、交通機関、病院等の外国語表記の整備	8.0%	10.9%	10.3%	13.1%	18.3%	25.1%	21.7%	0.6%
外国語による情報提供の充実	172	14	19	28	33	48	28	2	外国語による情報提供の充実	7.8%	8.1%	11.0%	16.3%	19.2%	27.9%	16.3%	1.2%
外国人の参政権を認める	50	9	6	12	4	8	11	0	外国人の参政権を認める	2.3%	18.0%	12.0%	24.0%	8.0%	16.0%	22.0%	0.0%
外国人の人権に関する学校教育、社会教育の充実	143	10	13	26	27	43	23	1	外国人の人権に関する学校教育、社会教育の充実	6.5%	7.0%	9.1%	18.2%	18.9%	30.1%	16.1%	0.7%
外国人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	160	6	17	23	23	40	51	0	外国人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	7.3%	3.8%	10.6%	14.4%	14.4%	25.0%	31.9%	0.0%
外国人の人権を守るための啓発活動の充実	26	3	0	1	5	8	9	0	外国人の人権を守るための啓発活動の充実	1.2%	11.5%	0.0%	3.8%	19.2%	30.8%	34.6%	0.0%
外国人やその家族のための相談・支援体制の充実	153	10	11	22	31	40	36	3	外国人やその家族のための相談・支援体制の充実	7.0%	6.5%	7.2%	14.4%	20.3%	26.1%	23.5%	2.0%
その他	6	1	1	0	3	0	1	0	その他	0.3%	16.7%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%
わからない	137	5	9	21	26	31	44	1	わからない	3.6%	6.6%	15.3%	19.0%	22.6%	32.1%	0.7%	
外国人の人権を守るために必要だと思うことは特にない	37	3	2	6	7	7	10	2	外国人の人権を守るために必要だと思うことは特にない	1.7%	8.1%	5.4%	16.2%	18.9%	18.9%	27.0%	5.4%
無回答	68	1	3	9	13	12	27	3	無回答	3.1%	1.5%	4.4%	13.2%	19.1%	17.6%	39.7%	4.4%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数								
回答計	2200	163	216	326	396	565	504	30	回答計								

## 8 感染症患者等の人権について

問 22 感染症患者等の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。  
(○はいくつでも)

感染症患者等の人権が尊重されていないと感じることについては、「感染症患者等のプライバシーが守られない」が46.0%と最も多く、次いで「差別的な発言や行動（じろじろ見る、避ける、入店拒否、悪意のある噂等）」が44.0%、「就職時や職場における不利な扱い」が24.6%となっています。

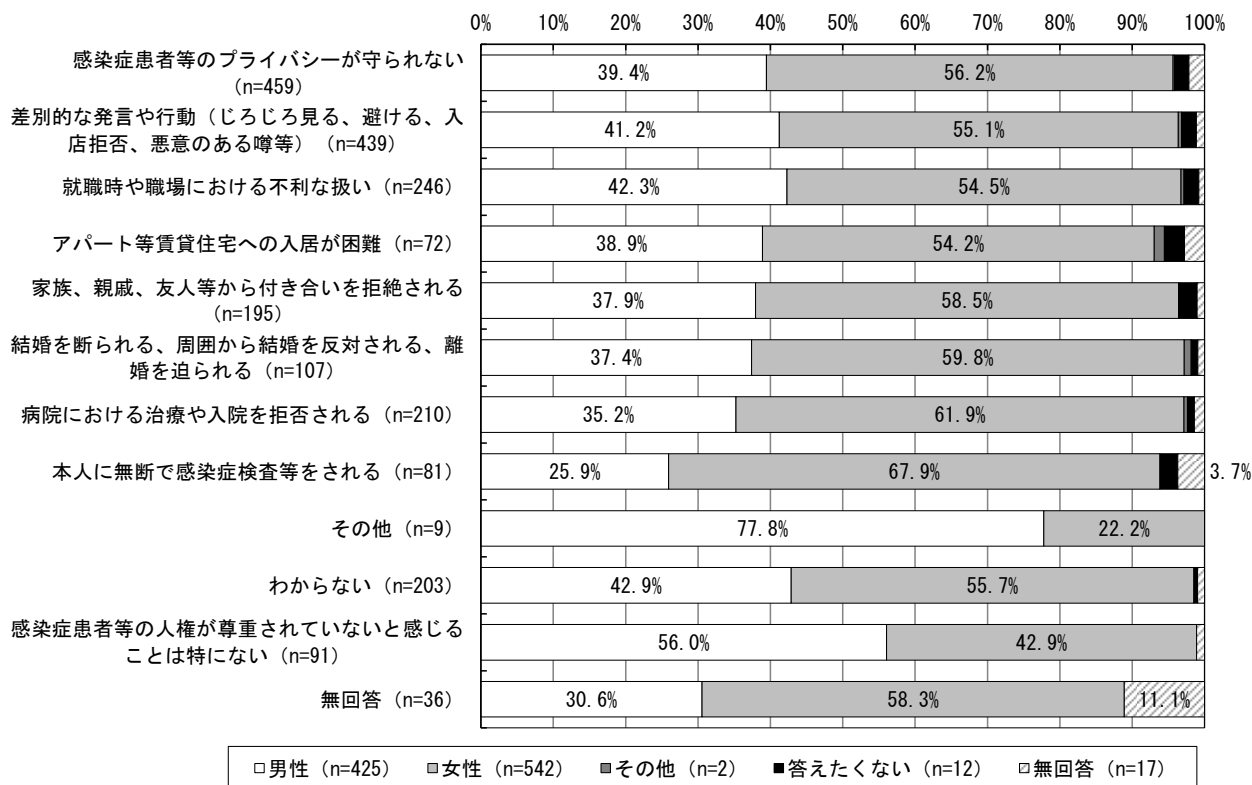


項目	度数	比率
感染症患者等のプライバシーが守られない	459	46.0%
差別的な発言や行動（じろじろ見る、避ける、入店拒否、悪意のある噂等）	439	44.0%
就職時や職場における不利な扱い	246	24.6%
病院における治療や入院を拒否される	210	21.0%
家族、親戚、友人等から付き合いを拒絶される	195	19.5%
結婚を断られる、周囲から結婚を反対される、離婚を迫られる	107	10.7%
本人に無断で感染症検査等をされる	81	8.1%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	72	7.2%
その他	9	0.9%
わからない	203	20.3%
感染症患者等の人権が尊重されていないと感じることは特にない	91	9.1%
無回答	36	3.6%
回答者数	998	
回答計	2148	

○市民意識調査結果

**問 22 性別クロス**

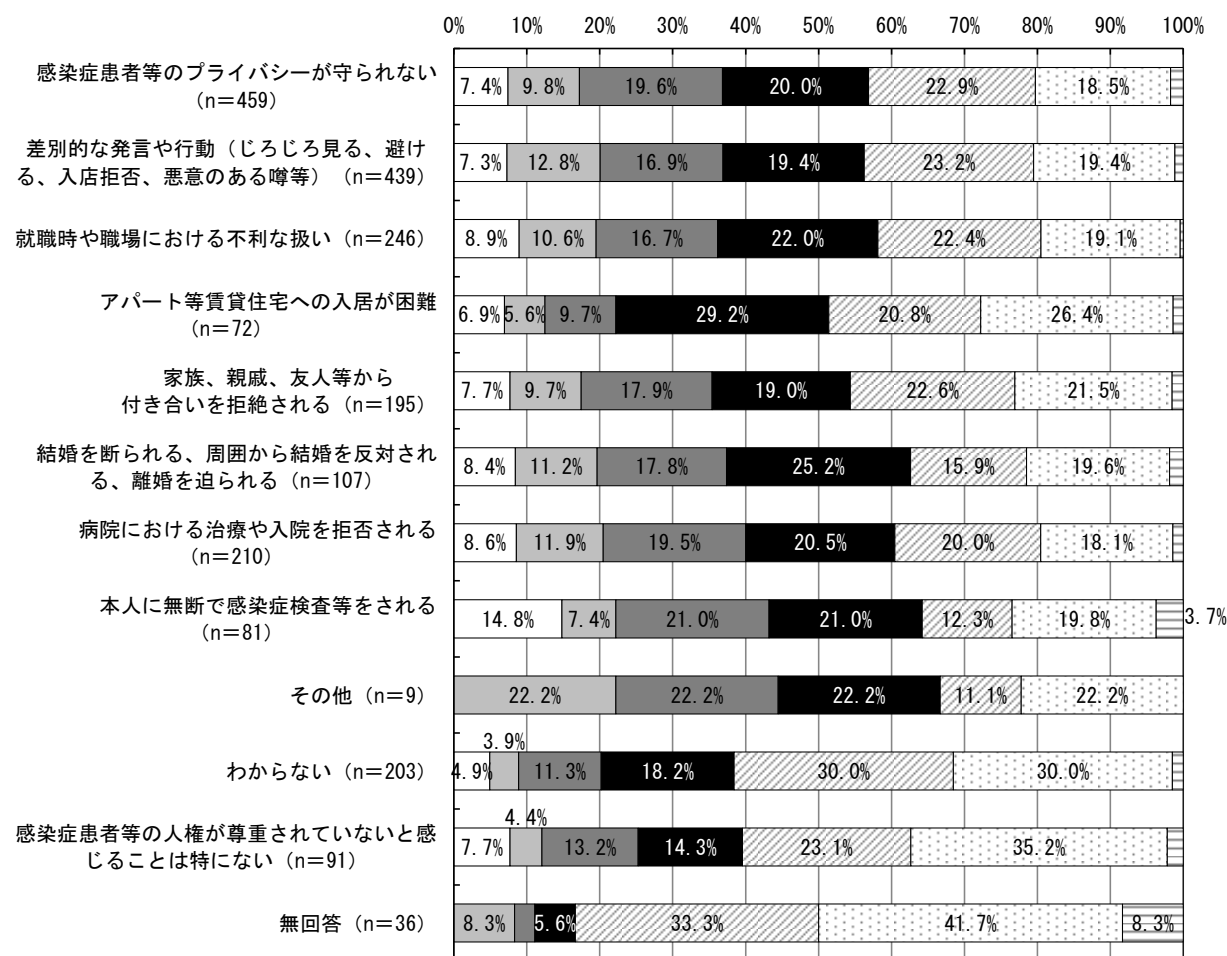
感染症患者等の人権が尊重されていないと感じることについて性別でみると、最も回答の多かった「感染症患者等のプライバシーが守られない」を選んだ 459 人のうち、「男性」が 39.4%、「女性」が 56.2%となっています。



項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
感染症患者等のプライバシーが守られない	459	181	258	1	9	10	感染症患者等のプライバシーが守られない	21.4%	39.4%	56.2%	0.2%	2.0%	2.2%
差別的な発言や行動(じろじろ見る、避ける、入店拒否、悪意のある噂等)	439	181	242	2	9	5	差別的な発言や行動(じろじろ見る、避ける、入店拒否、悪意のある噂等)	20.4%	41.2%	55.1%	0.5%	2.1%	1.1%
就職時や職場における不利な扱い	246	104	134	1	5	2	就職時や職場における不利な扱い	11.5%	42.3%	54.5%	0.4%	2.0%	0.8%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	72	28	39	1	2	2	アパート等賃貸住宅への入居が困難	3.4%	38.9%	54.2%	1.4%	2.8%	2.8%
家族、親戚、友人等から付き合いを拒絶される	195	74	114	0	5	2	家族、親戚、友人等から付き合いを拒絶される	9.1%	37.9%	58.5%	0.0%	2.6%	1.0%
結婚を断られる、周囲から結婚を反対される、離婚を迫られる	107	40	64	1	1	1	結婚を断られる、周囲から結婚を反対される、離婚を迫られる	5.0%	37.4%	59.8%	0.9%	0.9%	0.9%
病院における治療や入院を拒否される	210	74	130	1	2	3	病院における治療や入院を拒否される	9.8%	35.2%	61.9%	0.5%	1.0%	1.4%
本人に無断で感染症検査等をされる	81	21	55	0	2	3	本人に無断で感染症検査等をされる	3.8%	25.9%	67.9%	0.0%	2.5%	3.7%
その他	9	7	2	0	0	0	その他	0.4%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	203	87	113	0	1	2	わからない	9.5%	42.9%	55.7%	0.0%	0.5%	1.0%
感染症患者等の人権が尊重されていないと感じることは特にない	91	51	39	0	0	1	感染症患者等の人権が尊重されていないと感じることは特にない	4.2%	56.0%	42.9%	0.0%	0.0%	1.1%
無回答	36	11	21	0	0	4	無回答	1.7%	30.6%	58.3%	0.0%	0.0%	11.1%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	2148	859	1211	7	36	35	回答計						

**問 22 年代別クロス**

感染症患者等の人権が尊重されていないと感じることについて年代別でみると、最も回答の多かった「感染症患者等のプライバシーが守られない」を選んだ459人のうち、「60～69歳」が22.9%と最も多く、次いで「50～59歳」が20.0%、「70歳～」が18.5%となっています。



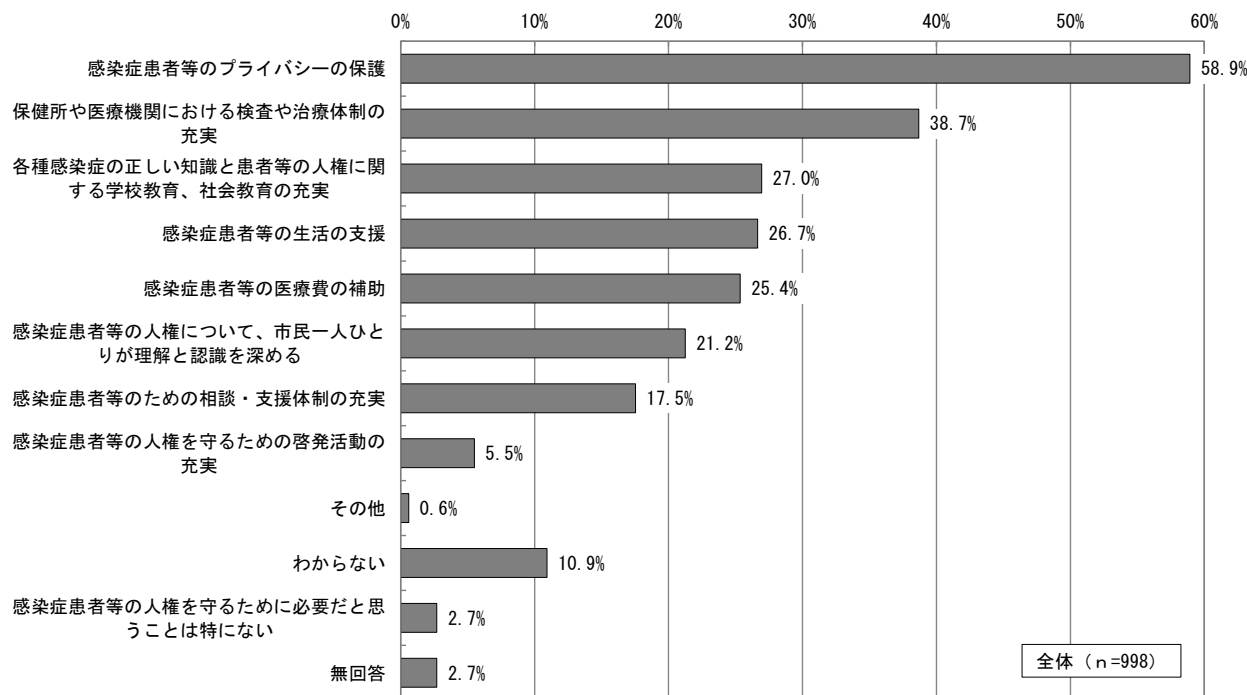
□18～29歳 (n=65) □30～39歳 (n=95) ■40～49歳 (n=152) ■50～59歳 (n=185)  
 □60～69歳 (n=252) □70歳～ (n=233) □無回答 (n=16)

項目	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	項目(比率)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
感染症患者等のプライバシーが守られない	459	34	45	90	92	105	85	8	感染症患者等のプライバシーが守られない	21.4%	7.4%	9.8%	19.6%	20.0%	22.9%	18.5%	1.7%
差別的な発言や行動(じろじろ見る、避ける、入店拒否、悪意のある噂等)	439	32	56	74	85	102	85	5	差別的な発言や行動(じろじろ見る、避ける、入店拒否、悪意のある噂等)	20.4%	7.3%	12.8%	16.9%	19.4%	23.2%	19.4%	1.1%
就職時や職場における不利な扱い	246	22	26	41	54	55	47	1	就職時や職場における不利な扱い	11.5%	8.9%	10.6%	16.7%	22.0%	22.4%	19.1%	0.4%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	72	5	4	7	21	15	19	1	アパート等賃貸住宅への入居が困難	3.4%	6.9%	5.6%	9.7%	29.2%	20.8%	26.4%	1.4%
家族、親戚、友人等から付き合いを拒絶される	195	15	19	35	37	44	42	3	家族、親戚、友人等から付き合いを拒絶される	9.1%	7.7%	9.7%	17.9%	19.0%	22.6%	21.5%	1.5%
結婚を断られる、周囲から結婚を反対される、離婚を迫られる	107	9	12	19	27	17	21	2	結婚を断られる、周囲から結婚を反対される、離婚を迫られる	5.0%	8.4%	11.2%	17.8%	25.2%	15.9%	19.6%	1.9%
病院における治療や入院を拒否される	210	18	25	41	43	42	38	3	病院における治療や入院を拒否される	9.8%	8.6%	11.9%	19.5%	20.5%	20.0%	18.1%	1.4%
本人に無断で感染症検査等をされる	81	12	6	17	17	10	16	3	本人に無断で感染症検査等をされる	3.8%	14.8%	7.4%	21.0%	21.0%	12.3%	19.8%	3.7%
その他	9	0	2	2	2	1	2	0	その他	0.4%	0.0%	22.2%	22.2%	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%
わからない	203	10	8	23	37	61	61	3	わからない	9.5%	4.9%	3.9%	11.3%	18.2%	30.0%	30.0%	1.5%
感染症患者等の人権が尊重されていないと感じることは特にない	91	7	4	12	13	21	32	2	感染症患者等の人権が尊重されていないと感じることは特にない	4.2%	7.7%	4.4%	13.2%	14.3%	23.1%	35.2%	2.2%
無回答	36	0	3	1	2	12	15	3	無回答	1.7%	0.0%	8.3%	2.8%	5.6%	33.3%	41.7%	8.3%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数								
回答計	2148	164	210	362	430	485	463	34	回答計								

○市民意識調査結果

**問 23 感染症患者等の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に大切だと思うものを選んでください。(○は3つまで)**

感染症患者等の人権を守るために必要だと思うことについては、「感染症患者等のプライバシーの保護」が 58.9%と最も多く、次いで「保健所や医療機関における検査や治療体制の充実」が 38.7%、「各種感染症の正しい知識と患者等の人権に関する学校教育、社会教育の充実」が 27.0%となっています。

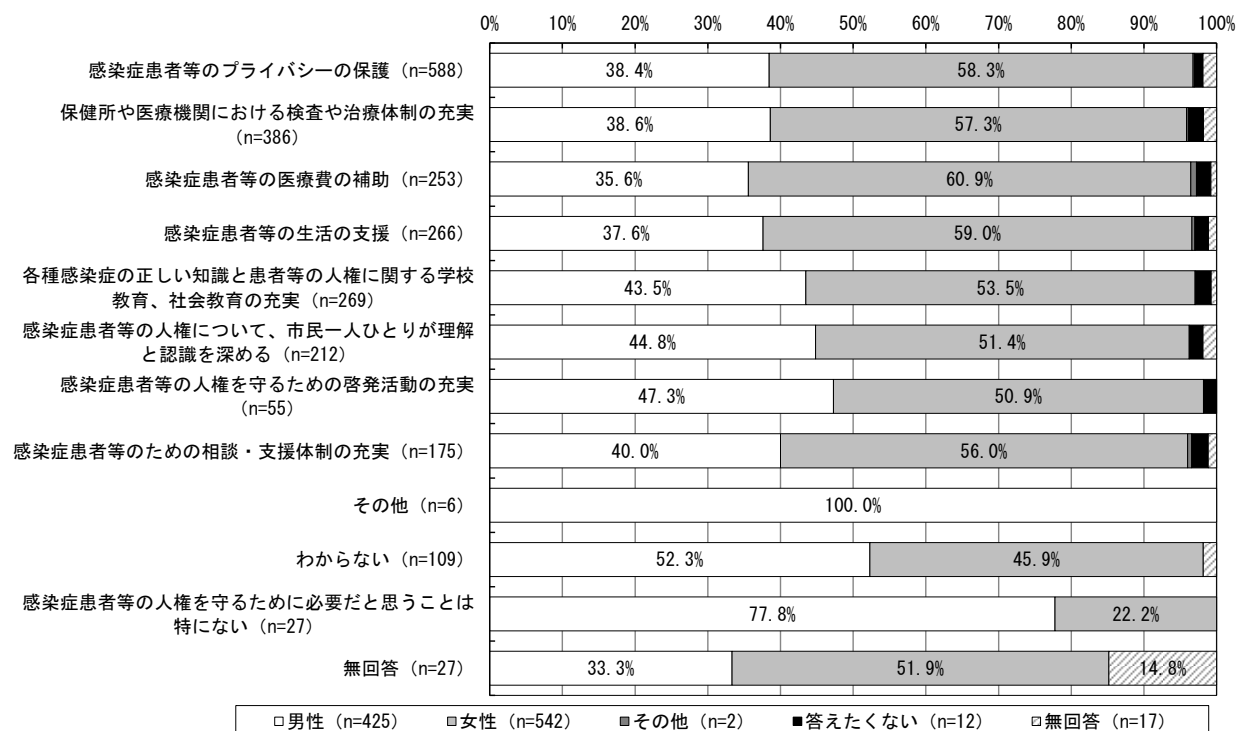


項目	度数	比率
感染症患者等のプライバシーの保護	588	58.9%
保健所や医療機関における検査や治療体制の充実	386	38.7%
各種感染症の正しい知識と患者等の人権に関する学校教育、社会教育の充実	269	27.0%
感染症患者等の生活の支援	266	26.7%
感染症患者等の医療費の補助	253	25.4%
感染症患者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	212	21.2%
感染症患者等のための相談・支援体制の充実	175	17.5%
感染症患者等の人権を守るための啓発活動の充実	55	5.5%
その他	6	0.6%
わからない	109	10.9%
感染症患者等の人権を守るために必要だと思うことは特にない	27	2.7%
無回答	27	2.7%
回答者数	998	
回答計	2373	



**問 23 性別クロス**

感染症患者等の人権を守るために必要だと思うことについて性別でみると、最も回答の多かった「感染症患者等のプライバシーの保護」を選んだ588人のうち、「男性」が38.4%、「女性」が58.3%となっています。

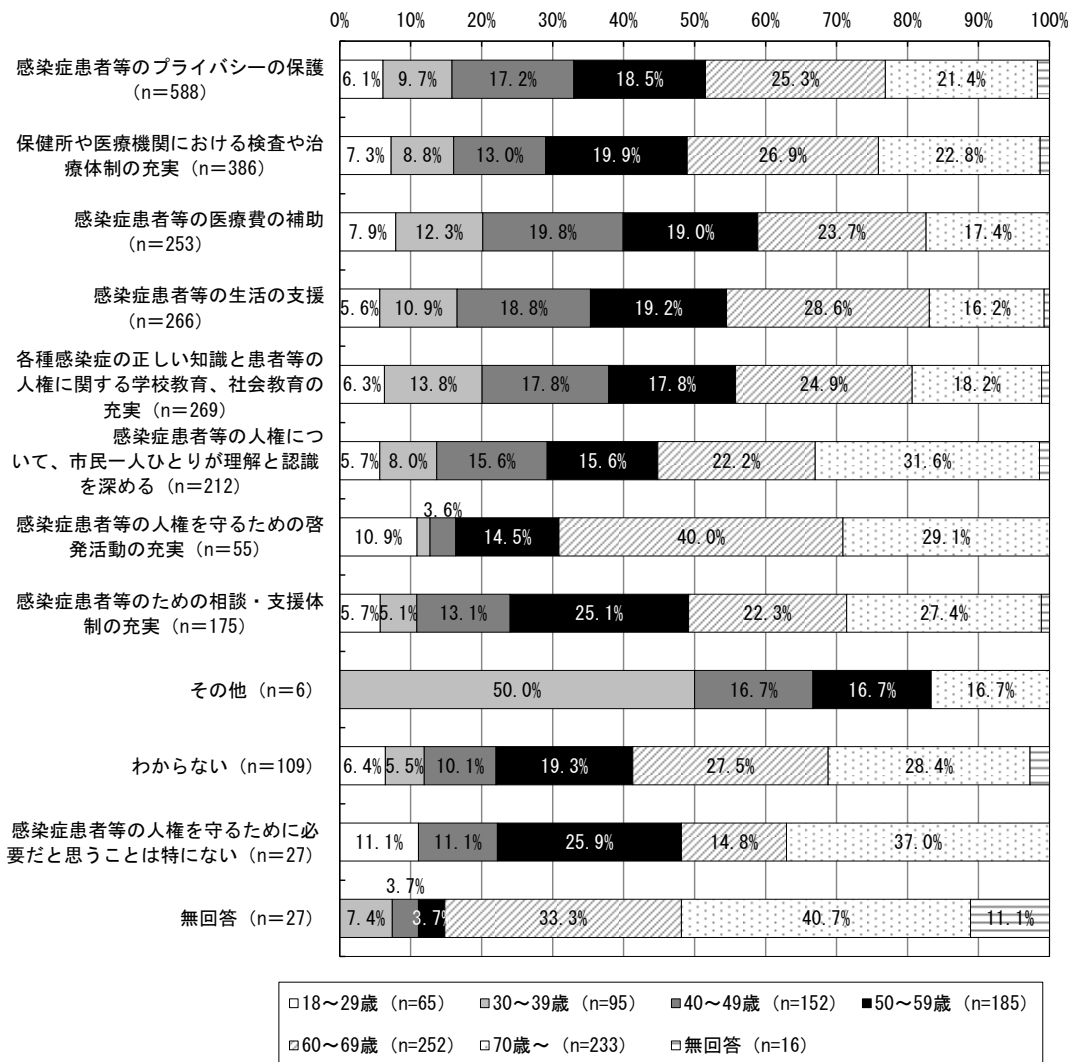


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
感染症患者等のプライバシーの保護	588	226	343	1	7	11	感染症患者等のプライバシーの保護	24.8%	38.4%	58.3%	0.2%	1.2%	1.9%
保健所や医療機関における検査や治療体制の充実	386	149	221	1	8	7	保健所や医療機関における検査や治療体制の充実	16.3%	38.6%	57.3%	0.3%	2.1%	1.8%
感染症患者等の医療費の補助	253	90	154	2	5	2	感染症患者等の医療費の補助	10.7%	35.6%	60.9%	0.8%	2.0%	0.8%
感染症患者等の生活の支援	266	100	157	1	5	3	感染症患者等の生活の支援	11.2%	37.6%	59.0%	0.4%	1.9%	1.1%
各種感染症の正しい知識と患者等の人権に関する学校教育、社会教育の充実	269	117	144	0	6	2	各種感染症の正しい知識と患者等の人権に関する学校教育、社会教育の充実	11.3%	43.5%	53.5%	0.0%	2.2%	0.7%
感染症患者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	212	95	109	0	4	4	感染症患者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	8.9%	44.8%	51.4%	0.0%	1.9%	1.9%
感染症患者等の人権を守るための啓発活動の充実	55	26	28	0	1	0	感染症患者等の人権を守るための啓発活動の充実	2.3%	47.3%	50.9%	0.0%	1.8%	0.0%
感染症患者等のための相談・支援体制の充実	175	70	98	1	4	2	感染症患者等のための相談・支援体制の充実	7.4%	40.0%	56.0%	0.6%	2.3%	1.1%
その他	6	6	0	0	0	0	その他	0.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	109	57	50	0	0	2	わからない	4.6%	52.3%	45.9%	0.0%	0.0%	1.8%
感染症患者等の人権を守るために必要だと思うことは特にない	27	21	6	0	0	0	感染症患者等の人権を守るために必要だと思うことは特にない	1.1%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	27	9	14	0	0	4	無回答	1.1%	33.3%	51.9%	0.0%	0.0%	14.8%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	2373	966	1324	6	40	37	回答計						

○市民意識調査結果

**問 23 年代別クロス**

感染症患者等の人権を守るために必要だと思うことについて年代別でみると、最も回答の多かった「感染症患者等のプライバシーの保護」を選んだ588人のうち、「60～69歳」が25.3%と最も多く、次いで「70歳～」が21.4%、「50～59歳」が18.5%となっています。

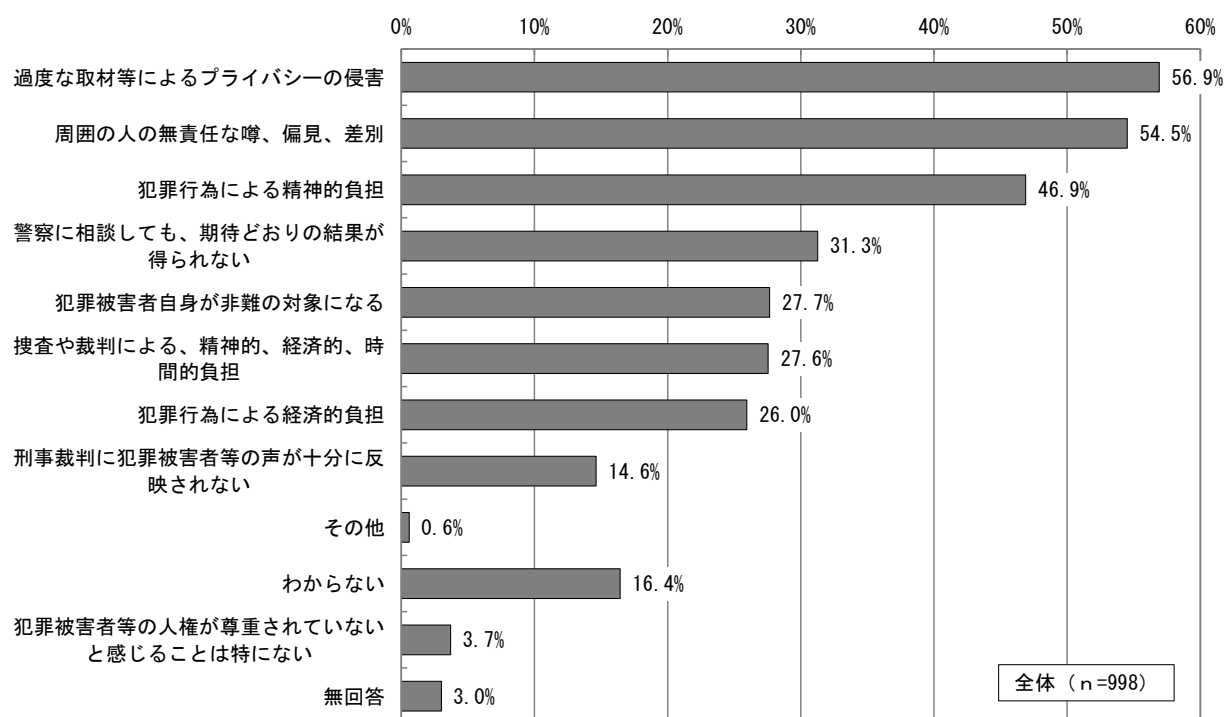


項目	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	項目(比率)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
感染症患者等のプライバシーの保護	588	36	57	101	109	149	126	10	感染症患者等のプライバシーの保護	24.8%	6.1%	9.7%	17.2%	18.5%	25.3%	21.4%	1.7%
保健所や医療機関における検査や治療体制の充実	386	28	34	50	77	104	88	5	保健所や医療機関における検査や治療体制の充実	16.3%	7.3%	8.8%	13.0%	19.9%	26.9%	22.8%	1.3%
感染症患者等の医療費の補助	253	20	31	50	48	60	44	0	感染症患者等の医療費の補助	10.7%	7.8%	12.3%	19.8%	19.0%	23.7%	17.4%	0.0%
感染症患者等の生活の支援	266	15	29	50	51	76	43	2	感染症患者等の生活の支援	11.2%	5.6%	10.9%	18.8%	19.2%	28.6%	16.2%	0.8%
各種感染症の正しい知識と患者等の人権に関する学校教育、社会教育の充実	269	17	37	48	48	67	49	3	各種感染症の正しい知識と患者等の人権に関する学校教育、社会教育の充実	11.3%	6.3%	13.8%	17.8%	17.8%	24.9%	18.2%	1.1%
感染症患者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	212	12	17	33	33	47	67	3	感染症患者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	8.9%	5.7%	8.0%	15.6%	15.6%	22.2%	31.6%	1.4%
感染症患者等の人権を守るための啓発活動の充実	55	6	1	2	8	22	16	0	感染症患者等の人権を守るための啓発活動の充実	2.3%	10.9%	1.8%	3.6%	14.5%	40.0%	29.1%	0.0%
感染症患者等のための相談・支援体制の充実	175	10	9	23	44	39	48	2	感染症患者等のための相談・支援体制の充実	7.4%	5.7%	5.1%	13.1%	25.1%	22.3%	27.4%	1.1%
その他	6	0	3	1	1	0	1	0	その他	0.3%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
わからない	109	7	6	11	21	30	31	3	わからない	4.6%	6.4%	5.5%	10.1%	19.3%	27.5%	28.4%	2.8%
感染症患者等の人権を守るために必要だと思うことは特にない	27	3	0	3	7	4	10	0	感染症患者等の人権を守るために必要だと思うことは特にない	1.1%	11.1%	0.0%	11.1%	25.9%	14.8%	37.0%	0.0%
無回答	27	0	2	1	1	9	11	3	無回答	1.1%	0.0%	7.4%	3.7%	3.7%	33.3%	40.7%	11.1%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数								
回答計	2373	154	226	373	448	607	534	31	回答計								

## 9 犯罪被害者等の人権について

### 問 24 犯罪被害者やその家族の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。(○はいくつでも)

犯罪被害者やその家族の人権が尊重されていないと感じることについては、「過度な取材等によるプライバシーの侵害」が 56.9%と最も多く、次いで「周囲の人の無責任な噂、偏見、差別」が 54.5%、「犯罪行為による精神的負担」が 46.9%となっています。

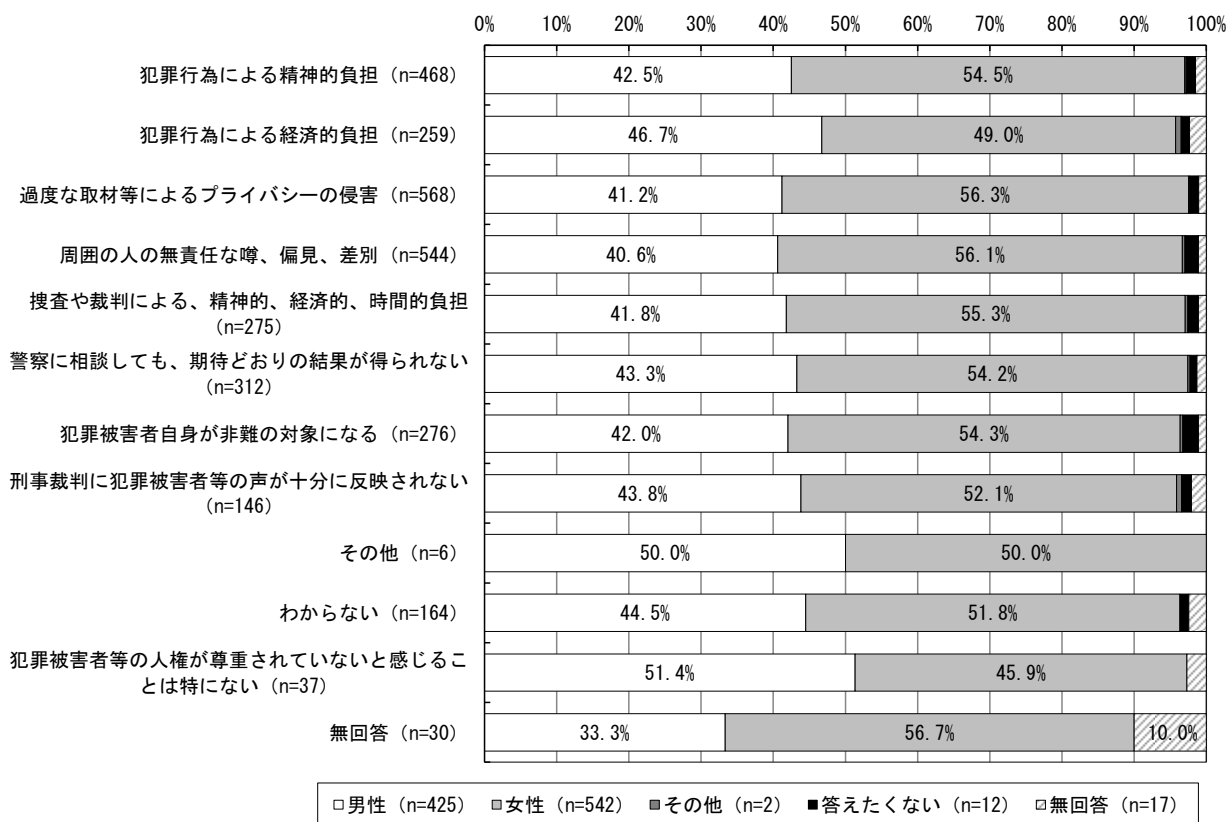


項目	度数	比率
過度な取材等によるプライバシーの侵害	568	56.9%
周囲の人の無責任な噂、偏見、差別	544	54.5%
犯罪行為による精神的負担	468	46.9%
警察に相談しても、期待どおりの結果が得られない	312	31.3%
犯罪被害者自身が非難の対象になる	276	27.7%
捜査や裁判による、精神的、経済的、時間的負担	275	27.6%
犯罪行為による経済的負担	259	26.0%
刑事裁判に犯罪被害者等の声が十分に反映されない	146	14.6%
その他	6	0.6%
わからない	164	16.4%
犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じることは特にない	37	3.7%
無回答	30	3.0%
回答者数	998	
回答計	3085	

○市民意識調査結果

**問 24 性別クロス**

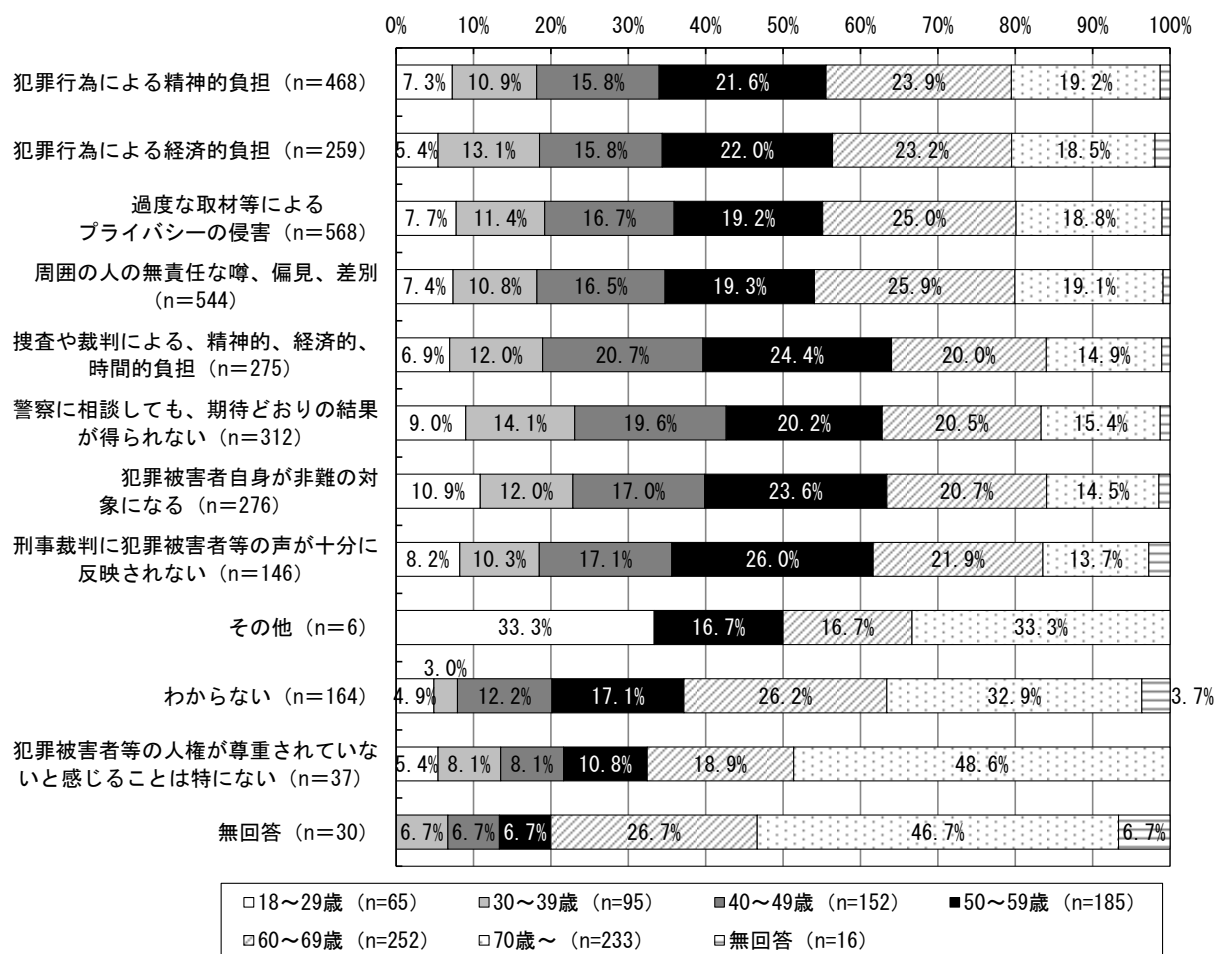
犯罪被害者やその家族の人権が尊重されていないと感じることについて性別で見ると、最も回答の多かった「過度な取材等によるプライバシーの侵害」を選んだ 568 人のうち、「男性」が 41.2%、「女性」が 56.3%となっています。



項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
犯罪行為による精神的負擔	468	199	255	1	6	7	犯罪行為による精神的負擔	15.2%	42.5%	54.5%	0.2%	1.3%	1.5%
犯罪行為による經濟的負擔	259	121	127	2	3	6	犯罪行為による經濟的負擔	8.4%	46.7%	49.0%	0.8%	1.2%	2.3%
過度な取材等によるプライバシーの侵害	568	234	320	1	7	6	過度な取材等によるプライバシーの侵害	18.4%	41.2%	56.3%	0.2%	1.2%	1.1%
周囲の人の無責任な噂、偏見、差別	544	221	305	2	10	6	周囲の人の無責任な噂、偏見、差別	17.6%	40.6%	56.1%	0.4%	1.8%	1.1%
捜査や裁判による、精神的、經濟的、時間的負擔	275	115	152	1	4	3	捜査や裁判による、精神的、經濟的、時間的負擔	8.9%	41.8%	55.3%	0.4%	1.5%	1.1%
警察に相談しても、期待どおりの結果が得られない	312	135	169	1	3	4	警察に相談しても、期待どおりの結果が得られない	10.1%	43.3%	54.2%	0.3%	1.0%	1.3%
犯罪被害者自身が非難の対象になる	276	116	150	1	6	3	犯罪被害者自身が非難の対象になる	8.9%	42.0%	54.3%	0.4%	2.2%	1.1%
刑事裁判に犯罪被害者等の声が十分に反映されない	146	64	76	1	2	3	刑事裁判に犯罪被害者等の声が十分に反映されない	4.7%	43.8%	52.1%	0.7%	1.4%	2.1%
その他	6	3	3	0	0	0	その他	0.2%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	164	73	85	0	2	4	わからない	5.3%	44.5%	51.8%	0.0%	1.2%	2.4%
犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じることは特にない	37	19	17	0	0	1	犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じることは特にない	1.2%	51.4%	45.9%	0.0%	0.0%	2.7%
無回答	30	10	17	0	0	3	無回答	1.0%	33.3%	56.7%	0.0%	0.0%	10.0%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	3085	1310	1676	10	43	46	回答計						

**問 24 年代別クロス**

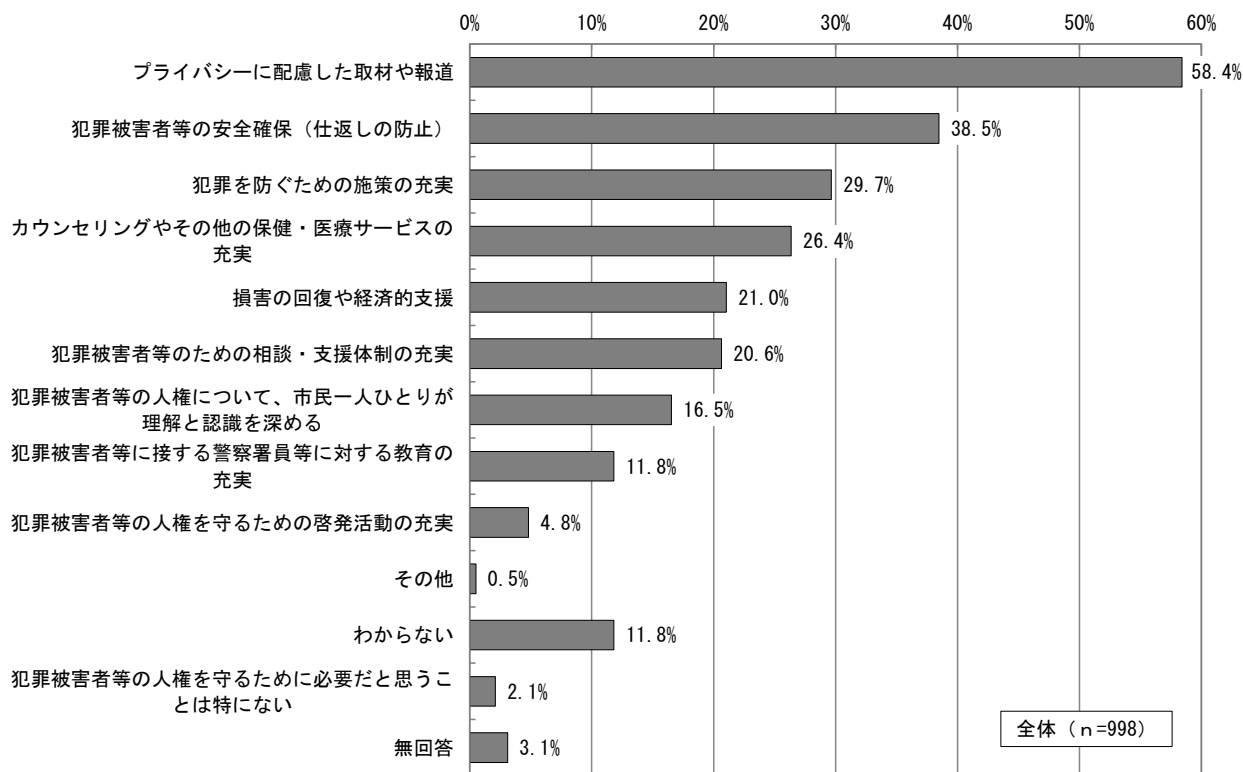
犯罪被害者やその家族の人権が尊重されていないと感じることについて年代別でみると、最も回答の多かった「過度な取材等によるプライバシーの侵害」を選んだ568人のうち、「60～69歳」が25.0%と最も多く、次いで「50～59歳」が19.2%、「70歳～」が18.8%となっています。



項目	全体	年代別							項目(比率)	全体	年代別(比率)						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
犯罪行為による精神的負担	468	34	51	74	101	112	90	6	犯罪行為による精神的負担	15.2%	7.3%	10.9%	15.8%	21.6%	23.9%	19.2%	1.3%
犯罪行為による経済的負担	259	14	34	41	57	60	48	5	犯罪行為による経済的負担	8.4%	5.4%	13.1%	15.8%	22.0%	23.2%	18.5%	1.9%
過度な取材等によるプライバシーの侵害	568	44	65	95	109	142	107	6	過度な取材等によるプライバシーの侵害	18.4%	7.7%	11.4%	16.7%	19.2%	25.0%	18.8%	1.1%
周囲の人の無責任な噂、偏見、差別	544	40	59	90	105	141	104	5	周囲の人の無責任な噂、偏見、差別	17.6%	7.4%	10.8%	16.5%	19.3%	25.9%	19.1%	0.9%
捜査や裁判による、精神的、経済的、時間的負担	275	19	33	57	67	55	41	3	捜査や裁判による、精神的、経済的、時間的負担	8.9%	6.9%	12.0%	20.7%	24.4%	20.0%	14.9%	1.1%
警察に相談しても、期待どおりの結果が得られない	312	28	44	61	63	64	48	4	警察に相談しても、期待どおりの結果が得られない	10.1%	9.0%	14.1%	19.6%	20.2%	20.5%	15.4%	1.3%
犯罪被害者自身が非難の対象になる	276	30	33	47	65	57	40	4	犯罪被害者自身が非難の対象になる	8.9%	10.8%	12.0%	17.0%	23.6%	20.7%	14.5%	1.4%
刑事裁判に犯罪被害者等の声が十分に反映されない	146	12	15	25	38	32	20	4	刑事裁判に犯罪被害者等の声が十分に反映されない	4.7%	8.2%	10.3%	17.1%	26.0%	21.9%	13.7%	2.7%
その他	6	2	0	0	1	1	2	0	その他	0.2%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%
わからない	164	8	5	20	28	43	54	6	わからない	5.3%	4.9%	3.0%	12.2%	17.1%	26.2%	32.9%	3.7%
犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じることは特にない	37	2	3	3	4	7	18	0	犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じることは特にない	1.2%	5.4%	8.1%	8.1%	10.8%	18.9%	48.6%	0.0%
無回答	30	0	2	2	2	8	14	2	無回答	1.0%	0.0%	6.7%	6.7%	6.7%	26.7%	46.7%	6.7%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数								
回答計	3085	233	344	515	640	722	586	45	回答計								

**問 25 犯罪被害者やその家族の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に大切だと思うものを選んでください。(○は3つまで)**

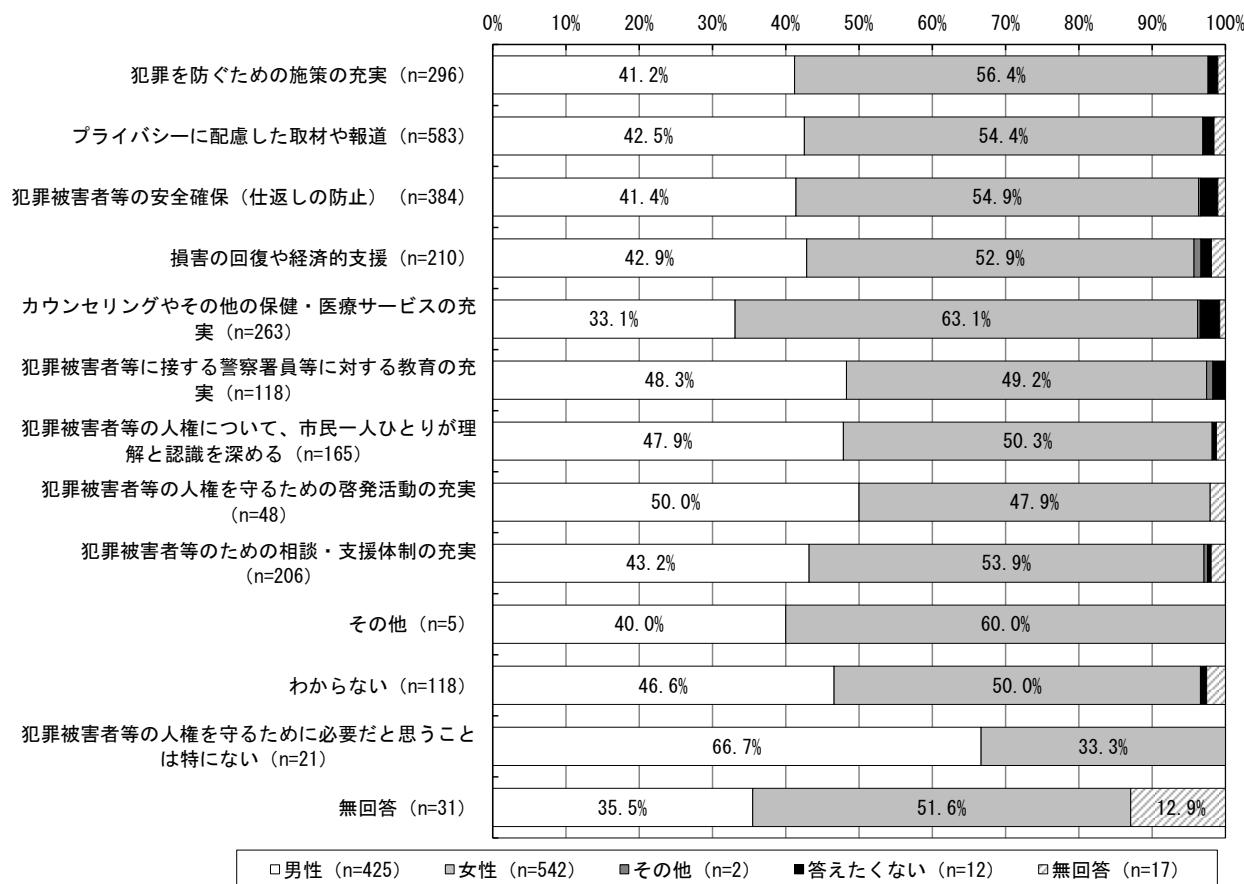
犯罪被害者やその家族の人権を守るために必要だと思うことについては、「プライバシーに配慮した取材や報道」が 58.4%と最も多く、次いで「犯罪被害者等の安全確保(仕返しの防止)」が 38.5%、「犯罪を防ぐための施策の充実」が 29.7%となっています。



項目	度数	比率
プライバシーに配慮した取材や報道	583	58.4%
犯罪被害者等の安全確保(仕返しの防止)	384	38.5%
犯罪を防ぐための施策の充実	296	29.7%
カウンセリングやその他の保健・医療サービスの充実	263	26.4%
損害の回復や経済的支援	210	21.0%
犯罪被害者等のための相談・支援体制の充実	206	20.6%
犯罪被害者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	165	16.5%
犯罪被害者等に接する警察署員等に対する教育の充実	118	11.8%
犯罪被害者等の人権を守るための啓発活動の充実	48	4.8%
その他	5	0.5%
わからない	118	11.8%
犯罪被害者等の人権を守るために必要だと思うことは特になし	21	2.1%
無回答	31	3.1%
回答者数	998	
回答計	2448	

**問 25 性別クロス**

犯罪被害者やその家族の人権を守るために必要だと思うことについて性別で見ると、最も回答の多かった「プライバシーに配慮した取材や報道」を選んだ 583 人のうち、「男性」が 42.5%、「女性」が 54.4%となっています。

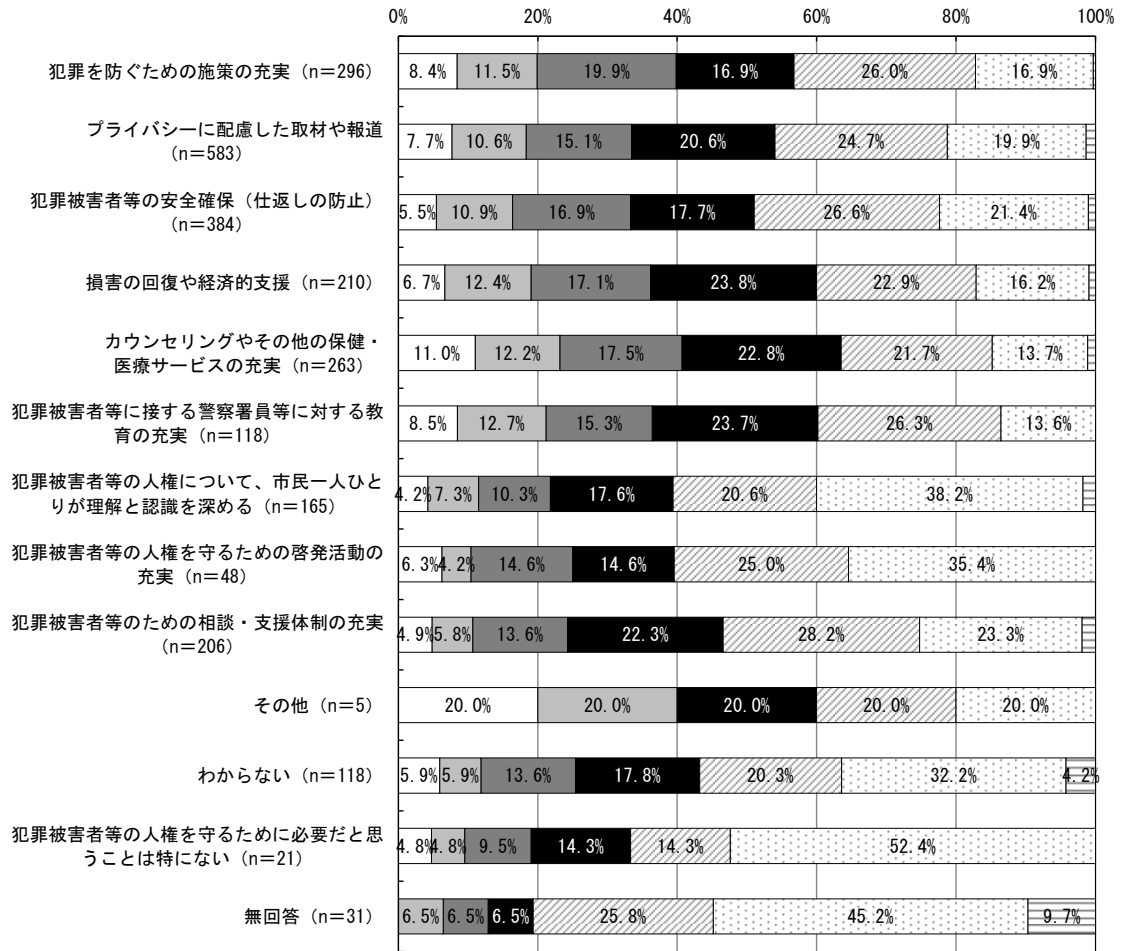


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
犯罪を防ぐための施策の充実	296	122	167	0	4	3	犯罪を防ぐための施策の充実	12.1%	41.2%	56.4%	0.0%	1.4%	1.0%
プライバシーに配慮した取材や報道	583	248	317	0	9	9	プライバシーに配慮した取材や報道	23.8%	42.5%	54.4%	0.0%	1.5%	1.5%
犯罪被害者等の安全確保(仕返しの防止)	384	159	211	1	9	4	犯罪被害者等の安全確保(仕返しの防止)	15.7%	41.4%	54.9%	0.3%	2.3%	1.0%
損害の回復や経済的支援	210	90	111	2	3	4	損害の回復や経済的支援	8.6%	42.9%	52.9%	1.0%	1.4%	1.9%
カウンセリングやその他の保健・医療サービスの充実	263	87	166	1	7	2	カウンセリングやその他の保健・医療サービスの充実	10.7%	33.1%	63.1%	0.4%	2.7%	0.8%
犯罪被害者等に接する警察署員等に対する教育の充実	118	57	58	1	2	0	犯罪被害者等に接する警察署員等に対する教育の充実	4.8%	48.3%	49.2%	0.8%	1.7%	0.0%
犯罪被害者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	165	79	83	0	1	2	犯罪被害者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	6.7%	47.9%	50.3%	0.0%	0.6%	1.2%
犯罪被害者等の人権を守るための啓発活動の充実	48	24	23	0	0	1	犯罪被害者等の人権を守るための啓発活動の充実	2.0%	50.0%	47.9%	0.0%	0.0%	2.1%
犯罪被害者等のための相談・支援体制の充実	206	89	111	1	1	4	犯罪被害者等のための相談・支援体制の充実	8.4%	43.2%	53.9%	0.5%	0.5%	1.9%
その他	5	2	3	0	0	0	その他	0.2%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	118	55	59	0	1	3	わからない	4.8%	46.6%	50.0%	0.0%	0.8%	2.5%
犯罪被害者等の人権を守るために必要だと思うことは特にない	21	14	7	0	0	0	犯罪被害者等の人権を守るために必要だと思うことは特にない	0.9%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	31	11	16	0	0	4	無回答	1.3%	35.5%	51.6%	0.0%	0.0%	12.9%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	2448	1037	1332	6	37	36	回答計						

○市民意識調査結果

**問 25 年代別クロス**

犯罪被害者やその家族の人権を守るために必要だと思うことについて年代別でみると、最も回答の多かった「プライバシーに配慮した取材や報道」を選んだ583のうち、「60～69歳」が24.7%と最も多く、次いで「50～59歳」が20.6%、「70歳～」が19.9%となっています。



□18～29歳 (n=65) □30～39歳 (n=95) ■40～49歳 (n=152) ■50～59歳 (n=185)  
 □60～69歳 (n=252) □70歳～ (n=233) □無回答 (n=16)

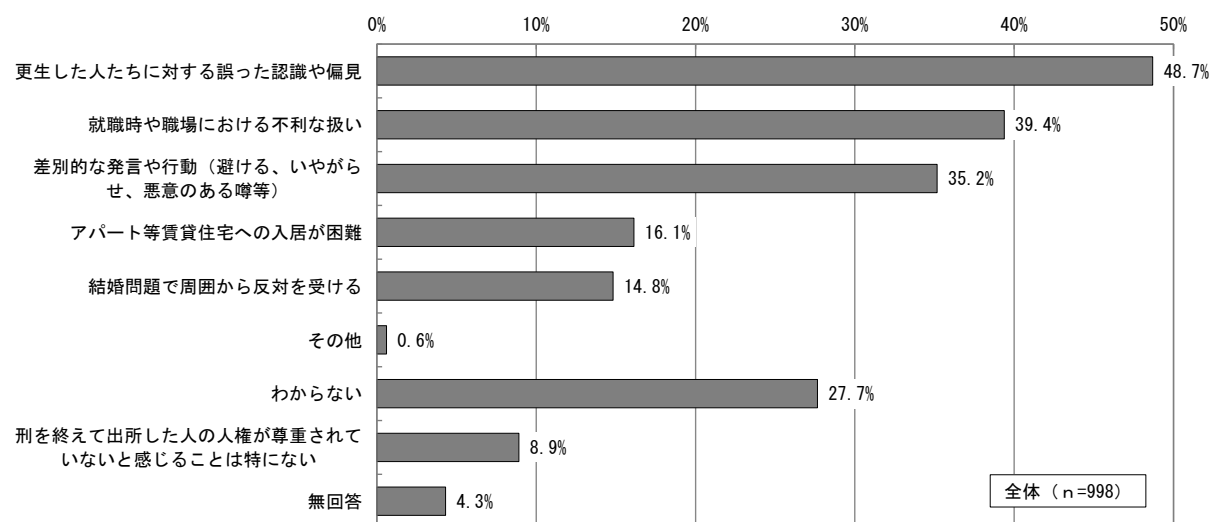
項目	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	項目(比率)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
犯罪を防ぐための施策の充実	296	25	34	59	50	77	50	1	犯罪を防ぐための施策の充実	12.1%	8.4%	11.5%	19.9%	16.9%	26.0%	16.9%	0.3%
プライバシーに配慮した取材や報道	583	45	62	88	120	144	116	8	プライバシーに配慮した取材や報道	23.8%	7.7%	10.6%	15.1%	20.6%	24.7%	19.9%	1.4%
犯罪被害者等の安全確保(仕返しの防止)	384	21	42	65	68	102	82	4	犯罪被害者等の安全確保(仕返しの防止)	15.7%	5.5%	10.9%	16.9%	17.7%	26.6%	21.4%	1.0%
損害の回復や経済的支援	210	14	26	36	50	48	34	2	損害の回復や経済的支援	8.6%	6.7%	12.4%	17.1%	23.8%	22.9%	16.2%	1.0%
カウンセリングやその他の保健・医療サービスの充実	263	29	32	46	60	57	36	3	カウンセリングやその他の保健・医療サービスの充実	10.7%	11.0%	12.2%	17.5%	22.8%	21.7%	13.7%	1.1%
犯罪被害者等に接する警察署員等に対する教育の充実	118	10	15	18	28	31	16	0	犯罪被害者等に接する警察署員等に対する教育の充実	4.8%	8.5%	12.7%	15.3%	23.7%	26.3%	13.6%	0.0%
犯罪被害者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	165	7	12	17	29	34	63	3	犯罪被害者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	6.7%	4.2%	7.3%	10.3%	17.6%	20.6%	38.2%	1.8%
犯罪被害者等の人権を守るための啓発活動の充実	48	3	2	7	7	12	17	0	犯罪被害者等の人権を守るための啓発活動の充実	2.0%	6.3%	4.2%	14.6%	14.6%	25.0%	35.4%	0.0%
犯罪被害者等のための相談・支援体制の充実	206	10	12	28	46	58	48	4	犯罪被害者等のための相談・支援体制の充実	8.4%	4.9%	5.8%	13.6%	22.3%	28.2%	23.3%	1.9%
その他	5	1	1	0	1	1	1	0	その他	0.2%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%
わからない	118	7	7	16	21	24	38	5	わからない	4.8%	5.9%	5.9%	13.6%	17.8%	20.3%	32.2%	4.2%
犯罪被害者等の人権を守るために必要だと思うことは特にない	21	1	1	2	3	3	11	0	犯罪被害者等の人権を守るために必要だと思うことは特にない	0.9%	4.8%	4.8%	9.5%	14.3%	14.3%	52.4%	0.0%
無回答	31	0	2	2	2	8	14	3	無回答	1.3%	0.0%	6.5%	6.5%	6.5%	25.8%	45.2%	9.7%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数								
回答計	2448	173	248	384	485	599	526	33	回答計								



## 10 刑を終えて出所した人の人権について

問 26 刑を終えて出所した人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。(○はいくつでも)

刑を終えて出所した人の人権が尊重されていないと感じることについては、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見」が 48.7%と最も多く、次いで「就職時や職場における不利な扱い」が 39.4%、「差別的な発言や行動（避ける、いやがらせ、悪意のある噂等）」が 35.2%となっています。

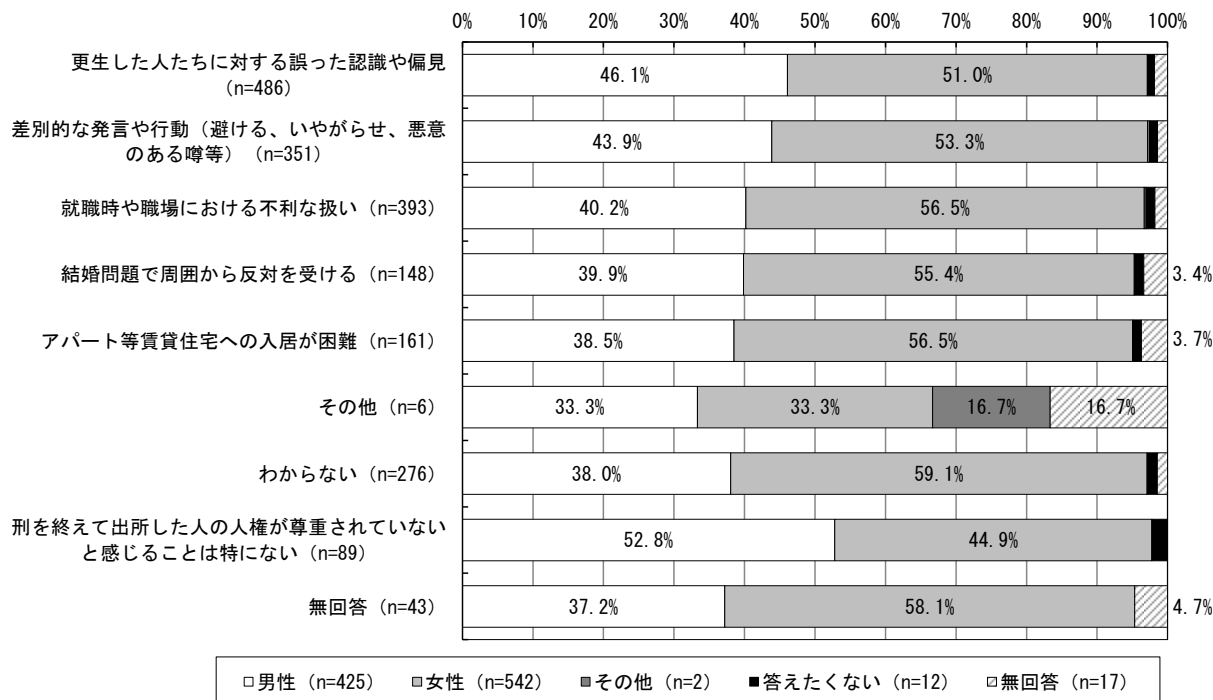


項目	度数	比率
更生した人たちに対する誤った認識や偏見	486	48.7%
就職時や職場における不利な扱い	393	39.4%
差別的な発言や行動（避ける、いやがらせ、悪意のある噂等）	351	35.2%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	161	16.1%
結婚問題で周囲から反対を受ける	148	14.8%
わからない	276	27.7%
刑を終えて出所した人の人権が尊重されていないと感じることは特にない	89	8.9%
無回答	43	4.3%
その他	6	0.6%
回答者数	998	
回答計	1953	

○市民意識調査結果

**問 26 性別クロス**

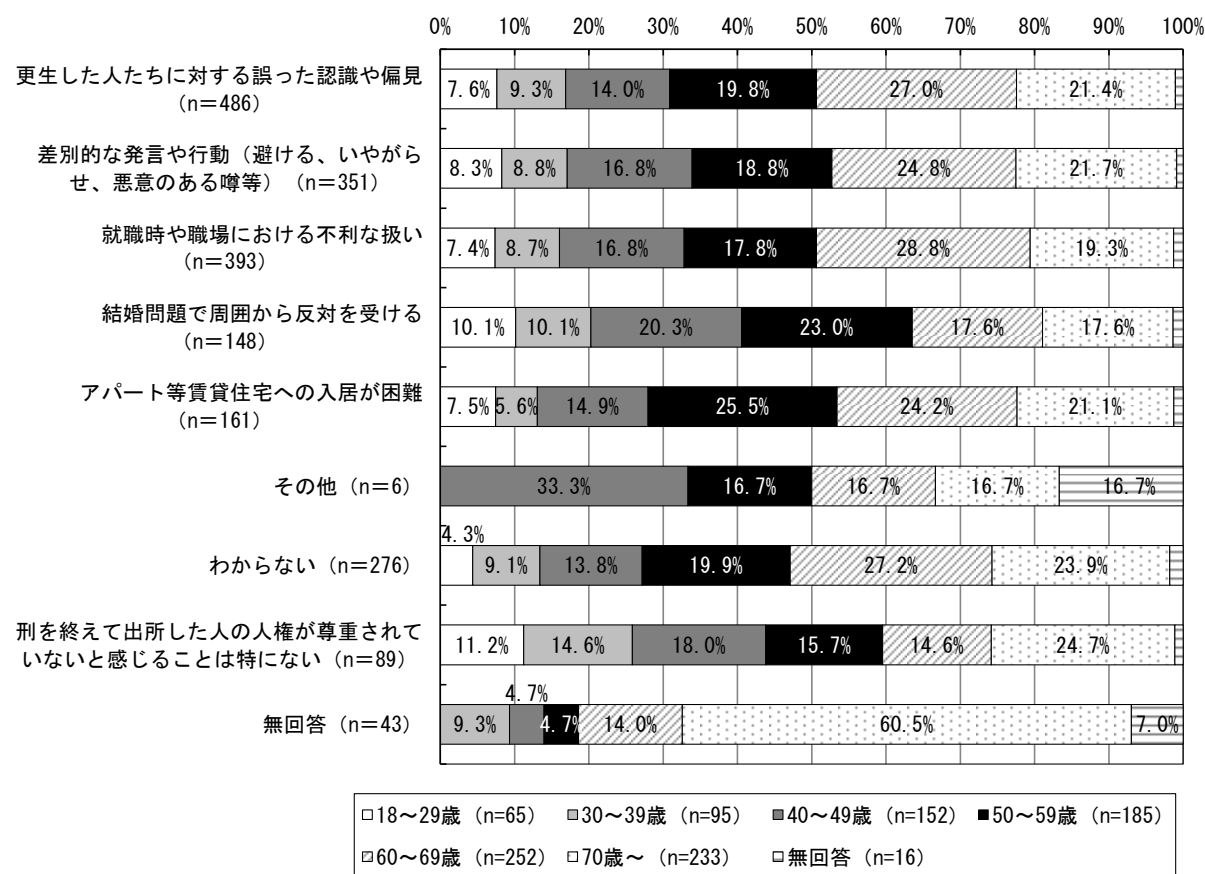
刑を終えて出所した人の人権が尊重されていないと感じることについて性別でみると、最も回答の多かった「更生した人たちに対する誤った認識や偏見」を選んだ486人のうち、「男性」が46.1%、「女性」が51.0%となっています。



項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
更生した人たちに対する誤った認識や偏見	486	224	248	0	5	9	更生した人たちに対する誤った認識や偏見	24.9%	46.1%	51.0%	0.0%	1.0%	1.9%
差別的な発言や行動(避ける、いやがらせ、悪意のある噂等)	351	154	187	1	4	5	差別的な発言や行動(避ける、いやがらせ、悪意のある噂等)	18.0%	43.9%	53.3%	0.3%	1.1%	1.4%
就職時や職場における不利な扱い	393	158	222	1	5	7	就職時や職場における不利な扱い	20.1%	40.2%	56.5%	0.3%	1.3%	1.8%
結婚問題で周囲から反対を受ける	148	59	82	0	2	5	結婚問題で周囲から反対を受ける	7.6%	39.9%	55.4%	0.0%	1.4%	3.4%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	161	62	91	0	2	6	アパート等賃貸住宅への入居が困難	8.2%	38.5%	56.5%	0.0%	1.2%	3.7%
その他	6	2	2	1	0	1	その他	0.3%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%
わからない	276	105	163	0	4	4	わからない	14.1%	38.0%	59.1%	0.0%	1.4%	1.4%
刑を終えて出所した人の人権が尊重されていないと感じることは特にない	89	47	40	0	2	0	刑を終えて出所した人の人権が尊重されていないと感じることは特にない	4.6%	52.8%	44.9%	0.0%	2.2%	0.0%
無回答	43	16	25	0	0	2	無回答	2.2%	37.2%	58.1%	0.0%	0.0%	4.7%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	1953	827	1060	3	24	39	回答計						

**問 26 年代別クロス**

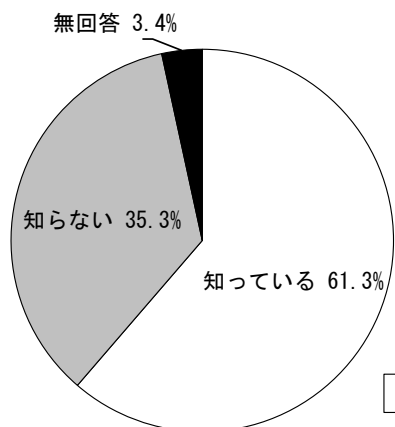
刑を終えて出所した人の人権が尊重されていないと感じることについて年代別でみると、最も回答の多かった「更生した人たちに対する誤った認識や偏見」を選んだ 486 人のうち、「60～69 歳」が 27.0%と最も多く、次いで「70 歳～」が 21.4%、「50～59 歳」が 19.8%となっています。



項目	全体	年代別							項目 (比率)	全体	年代別						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
更生した人たちに対する誤った認識や偏見	486	37	45	68	96	131	104	5	更生した人たちに対する誤った認識や偏見	24.9%	7.6%	9.3%	14.0%	19.8%	27.0%	21.4%	1.0%
差別的な発言や行動 (避ける、いやがらせ、悪意のある噂等)	351	29	31	59	66	87	76	3	差別的な発言や行動 (避ける、いやがらせ、悪意のある噂等)	18.0%	8.3%	8.8%	16.8%	18.8%	24.8%	21.7%	0.9%
就職時や職場における不利な扱い	393	29	34	66	70	113	76	5	就職時や職場における不利な扱い	20.1%	7.4%	8.7%	16.8%	17.8%	28.8%	19.3%	1.3%
結婚問題で周囲から反対を受ける	148	15	15	30	34	26	26	2	結婚問題で周囲から反対を受ける	7.6%	10.1%	10.1%	20.3%	23.0%	17.6%	17.6%	1.4%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	161	12	9	24	41	39	34	2	アパート等賃貸住宅への入居が困難	8.2%	7.5%	5.6%	14.9%	25.5%	24.2%	21.1%	1.2%
その他	6	0	0	2	1	1	1	1	その他	0.3%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%
わからない	276	12	25	38	55	75	66	5	わからない	14.1%	4.3%	9.1%	13.8%	19.9%	27.2%	23.9%	1.8%
刑を終えて出所した人の人権が尊重されていないと感じることは特にない	89	10	13	16	14	13	22	1	刑を終えて出所した人の人権が尊重されていないと感じることは特にない	4.6%	11.2%	14.6%	18.0%	15.7%	14.6%	24.7%	1.1%
無回答	43	0	4	2	2	6	26	3	無回答	2.2%	0.0%	9.3%	4.7%	4.7%	14.0%	60.5%	7.0%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数								
回答計	1953	144	176	305	379	491	431	27	回答計								

**問 27 刑を終えて出所した人の社会復帰を援助する「更生保護」活動をしている人たちがいることを知っていますか。(○は1つだけ)**

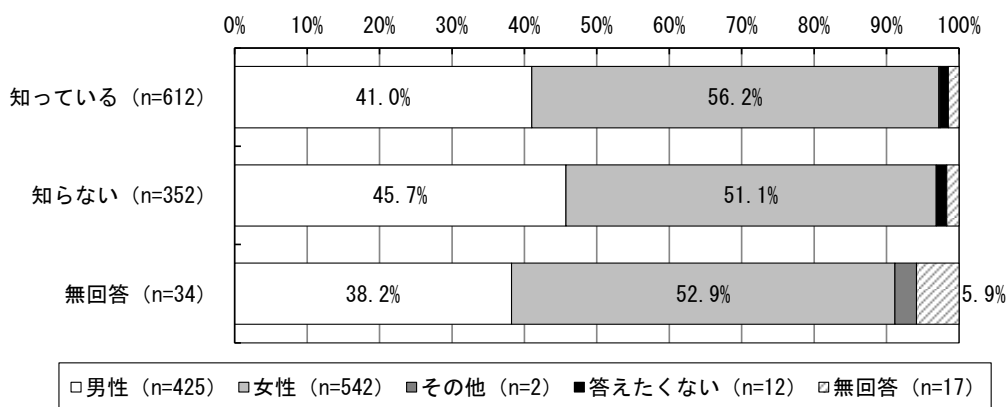
刑を終えて出所した人の社会復帰を援助する「更生保護」活動をしている人たちがいることを知っているかについては、「知っている」が61.3%と最も多く、次いで「知らない」が35.3%となっています。



項目	度数	構成比
知っている	612	61.3%
知らない	352	35.3%
無回答	34	3.4%
合計	998	100.0%

**問 27 性別クロス**

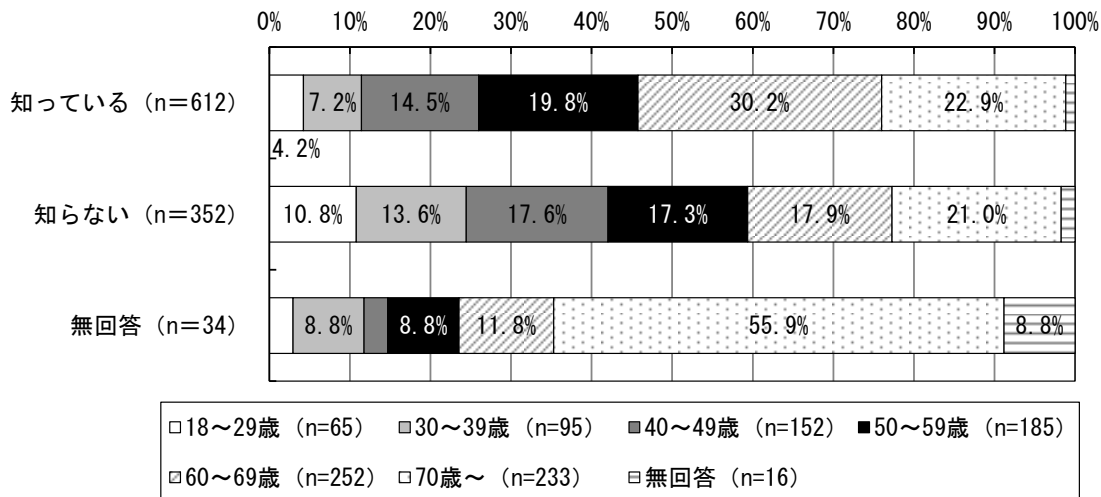
刑を終えて出所した人の社会復帰を援助する「更生保護」活動をしている人たちがいることを知っているかについて性別で見ると、最も回答の多かった「知っている」を選んだ612人のうち、「男性」が41.0%、「女性」が56.2%となっています。



項目(度数)	性別						項目(構成比)	性別					
	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答		全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
知っている	612	251	344	1	7	9	知っている	61.3%	41.0%	56.2%	0.2%	1.1%	1.5%
知らない	352	161	180	0	5	6	知らない	35.3%	45.7%	51.1%	0.0%	1.4%	1.7%
無回答	34	13	18	1	0	2	無回答	3.4%	38.2%	52.9%	2.9%	0.0%	5.9%
合計	998	425	542	2	12	17	合計						

**問 27 年代別クロス**

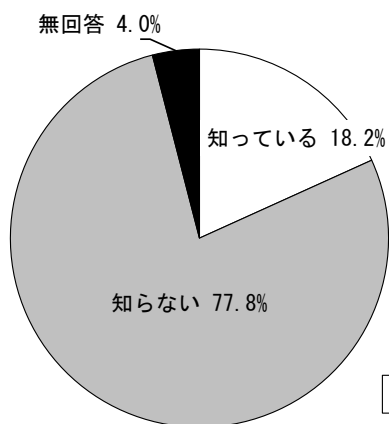
刑を終えて出所した人の社会復帰を援助する「更生保護」活動をしている人たちがいることを知っているかについて年代別で見ると、最も回答の多かった「知っている」を選んだ 612 人のうち、「60～69 歳」が 30.2%と最も多く、次いで「70 歳～」が 22.9%、「50～59 歳」が 19.8%となっています。



項目	全体	項目(構成比)							全体	項目(構成比)							
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	
知っている	612	26	44	89	121	185	140	7	知っている	61.3%	4.2%	7.2%	14.5%	19.8%	30.2%	22.9%	1.1%
知らない	352	38	48	62	61	63	74	6	知らない	35.3%	10.8%	13.6%	17.6%	17.3%	17.9%	21.0%	1.7%
無回答	34	1	3	1	3	4	19	3	無回答	3.4%	2.9%	8.8%	2.9%	8.8%	11.8%	55.9%	8.8%
合計	998	65	95	152	185	252	233	16	合計								

**問 28 犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動である「社会を明るくする運動」を知っていますか。(○は1つだけ)**

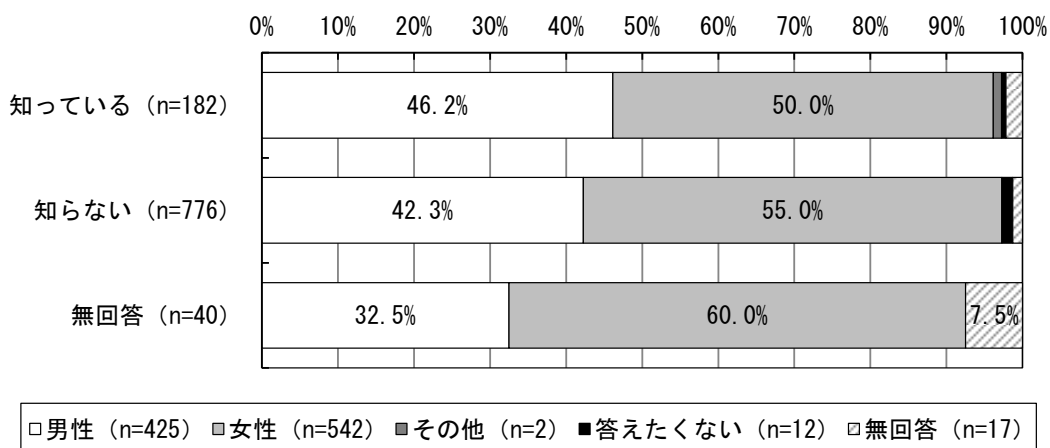
犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動である「社会を明るくする運動」を知っているかについては、「知らない」が77.8%、「知っている」が18.2%となっています。



項目	度数	構成比
知っている	182	18.2%
知らない	776	77.8%
無回答	40	4.0%
合計	998	100.0%

**問 28 性別クロス**

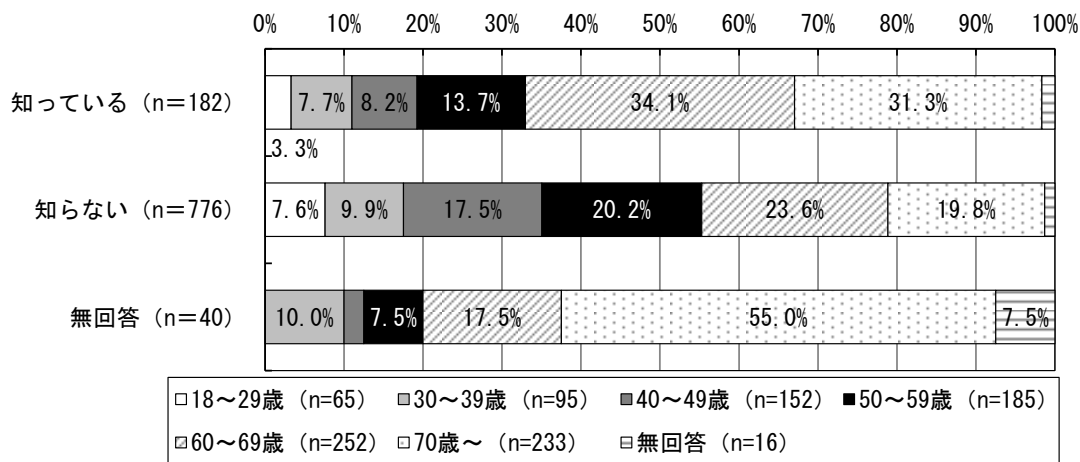
犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動である「社会を明るくする運動」を知っているかについて性別でみると、「知らない」を選んだ776人のうち、「男性」が42.3%、「女性」が55.0%となっています。



項目(度数)	項目(度数)						項目(構成比)					
	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
知っている	182	84	91	2	1	4	18.2%	46.2%	50.0%	1.1%	0.5%	2.2%
知らない	776	328	427	0	11	10	77.8%	42.3%	55.0%	0.0%	1.4%	1.3%
無回答	40	13	24	0	0	3	4.0%	32.5%	60.0%	0.0%	0.0%	7.5%
合計	998	425	542	2	12	17						

**問 28 年代別クロス**

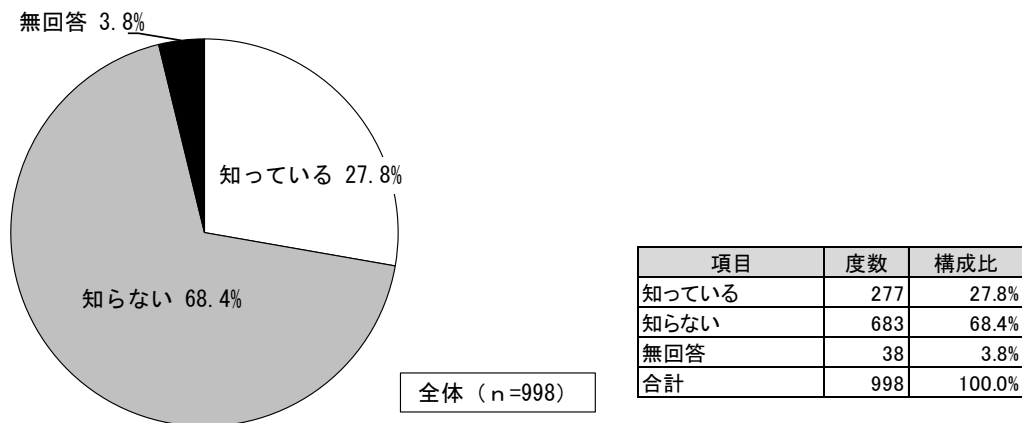
犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動である「社会を明るくする運動」を知っているかについて年代別でみると、「知らない」を選んだ776人のうち、「60～69歳」が23.6%と最も多く、次いで「50～59歳」が20.2%、「70歳～」が19.8%となっています。



項目	全体	項目(構成比)						全体	項目(構成比)								
		18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳~		無回答	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳~	無回答	
知っている	182	6	14	15	25	62	57	3	知っている	18.2%	3.3%	7.7%	8.2%	13.7%	34.1%	31.3%	1.6%
知らない	776	59	77	136	157	183	154	10	知らない	77.8%	7.6%	9.9%	17.5%	20.2%	23.6%	19.8%	1.3%
無回答	40	0	4	1	3	7	22	3	無回答	4.0%	0.0%	10.0%	2.5%	7.5%	17.5%	55.0%	7.5%
合計	998	65	95	152	185	252	233	16	合計								

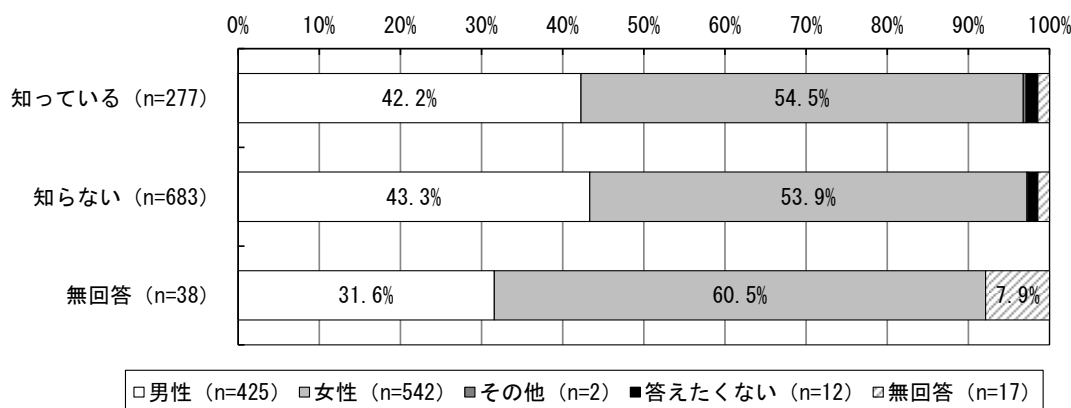
**問 29 犯罪・非行の前歴のために定職に就くことが容易でない刑務所出所者等を雇用し、立ち直りを助ける「協力雇用主制度」を知っていますか。(○は1つだけ)**

犯罪・非行の前歴のために定職に就くことが容易でない刑務所出所者等を雇用し、立ち直りを助ける「協力雇用主制度」を知っているかについては、「知らない」が68.4%、「知っている」が27.8%となっています。



**問 29 性別クロス**

犯罪・非行の前歴のために定職に就くことが容易でない刑務所出所者等を雇用し、立ち直りを助ける「協力雇用主制度」を知っているかについて性別で見ると、「知らない」を選んだ683人のうち、「男性」が43.3%、「女性」が53.9%となっています。

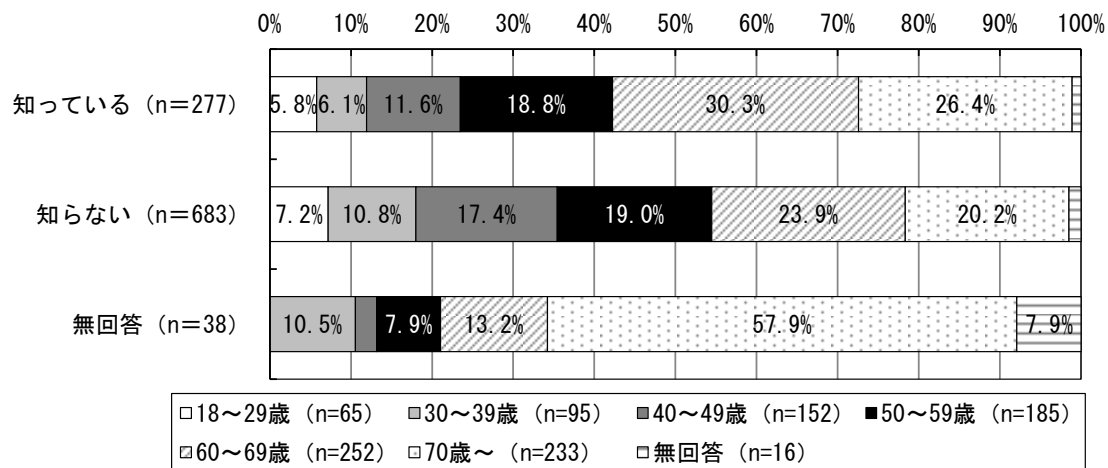


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(構成比)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
知っている	277	117	151	1	4	4	知っている	27.8%	42.2%	54.5%	0.4%	1.4%	1.4%
知らない	683	296	368	1	8	10	知らない	68.4%	43.3%	53.9%	0.1%	1.2%	1.5%
無回答	38	12	23	0	0	3	無回答	3.8%	31.6%	60.5%	0.0%	0.0%	7.9%
合計	998	425	542	2	12	17	合計						



**問 29 年代別クロス**

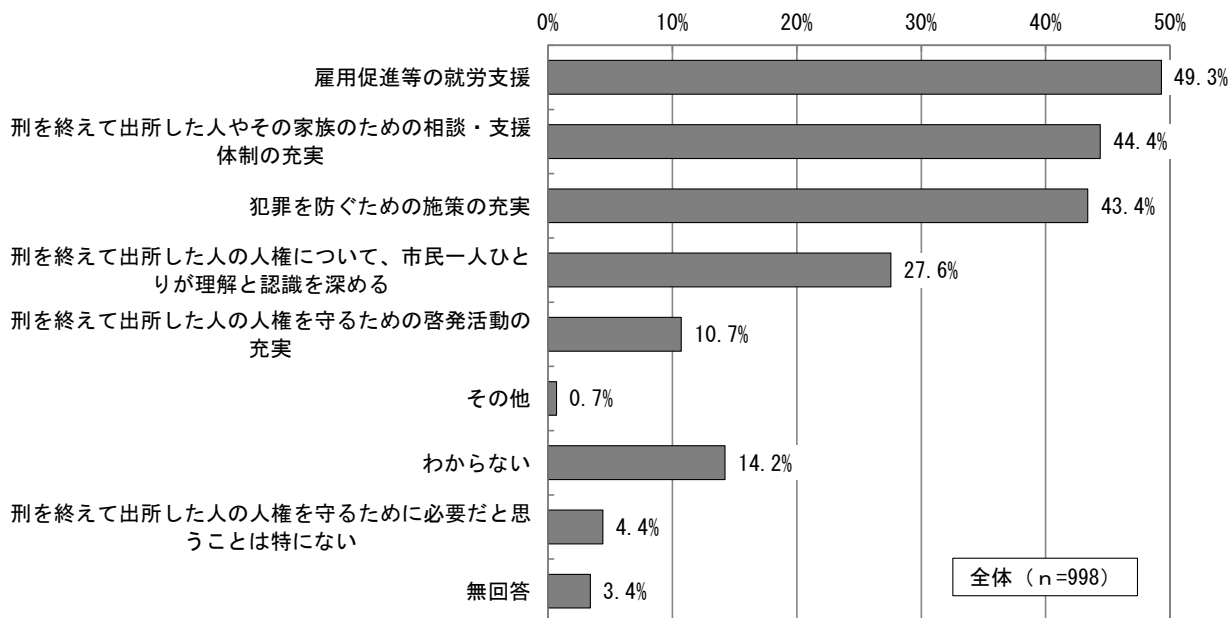
犯罪・非行の前歴のために定職に就くことが容易でない刑務所出所者等を雇用し、立ち直りを助ける「協力雇用主制度」を知っているかについて年代別でみると、最も回答の多かった「知らない」を選んだ683人のうち、「60～69歳」が23.9%と最も多く、次いで「70歳～」が20.2%、「50～59歳」が19.0%となっています。



項目	全体	年代別							項目(構成比)	全体	年代別						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
知っている	277	16	17	32	52	84	73	3	知っている	27.8%	5.8%	6.1%	11.6%	18.8%	30.3%	26.4%	1.1%
知らない	683	49	74	119	130	163	138	10	知らない	68.4%	7.2%	10.8%	17.4%	19.0%	23.9%	20.2%	1.5%
無回答	38	0	4	1	3	5	22	3	無回答	3.8%	0.0%	10.5%	2.6%	7.9%	13.2%	57.9%	7.9%
合計	998	65	95	152	185	252	233	16	合計								

**問 30 刑を終えて出所した人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に大切だと思うものを選んでください。(○は3つまで)**

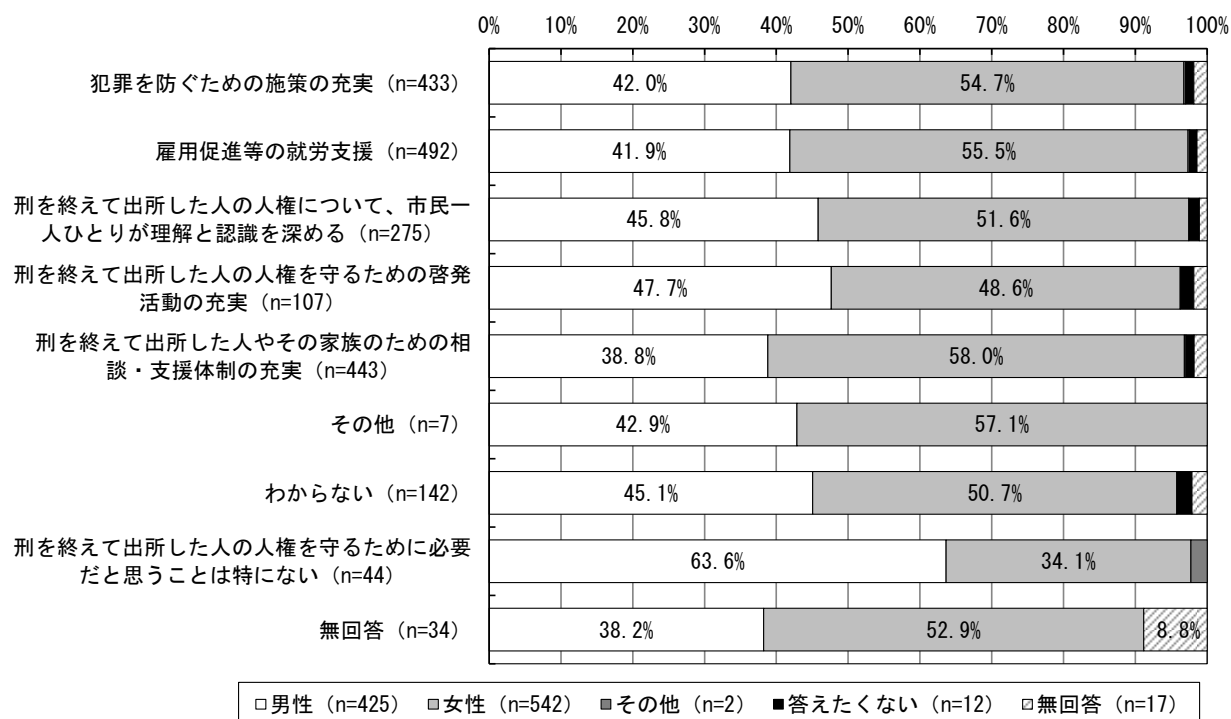
刑を終えて出所した人の人権を守るために必要だと思うことについては、「雇用促進等の就労支援」が49.3%と最も多く、次いで「刑を終えて出所した人やその家族のための相談・支援体制の充実」が44.4%、「犯罪を防ぐための施策の充実」が43.4%となっています。



項目	度数	比率
雇用促進等の就労支援	492	49.3%
刑を終えて出所した人やその家族のための相談・支援体制の充実	443	44.4%
犯罪を防ぐための施策の充実	433	43.4%
刑を終えて出所した人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	275	27.6%
刑を終えて出所した人の人権を守るための啓発活動の充実	107	10.7%
その他	7	0.7%
わからない	142	14.2%
刑を終えて出所した人の人権を守るために必要だと思うことは特にない	44	4.4%
無回答	34	3.4%
回答者数	998	
回答計	1977	

**問 30 性別クロス**

刑を終えて出所した人の人権を守るために必要だと思うことについて性別で見ると、最も回答の多かった「雇用促進等の就労支援」を選んだ 492 人のうち、「男性」が 41.9%、「女性」が 55.5% となっています。

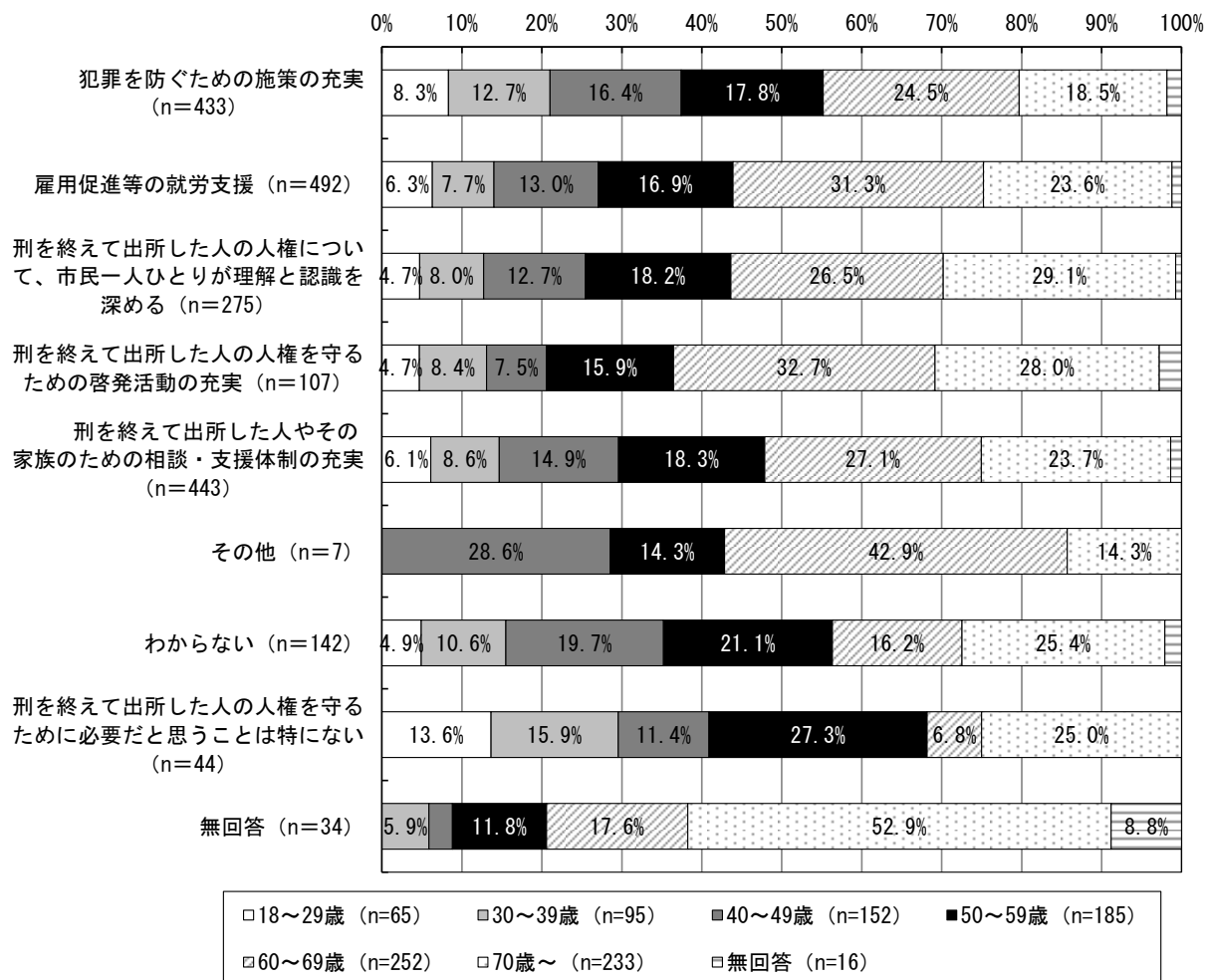


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
犯罪を防ぐための施策の充実	433	182	237	1	5	8	犯罪を防ぐための施策の充実	21.9%	42.0%	54.7%	0.2%	1.2%	1.8%
雇用促進等の就労支援	492	206	273	1	5	7	雇用促進等の就労支援	24.9%	41.9%	55.5%	0.2%	1.0%	1.4%
刑を終えて出所した人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	275	126	142	0	4	3	刑を終えて出所した人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	13.9%	45.8%	51.6%	0.0%	1.5%	1.1%
刑を終えて出所した人の人権を守るための啓発活動の充実	107	51	52	0	2	2	刑を終えて出所した人の人権を守るための啓発活動の充実	5.4%	47.7%	48.6%	0.0%	1.9%	1.9%
刑を終えて出所した人やその家族のための相談・支援体制の充実	443	172	257	1	5	8	刑を終えて出所した人やその家族のための相談・支援体制の充実	22.4%	38.8%	58.0%	0.2%	1.1%	1.8%
その他	7	3	4	0	0	0	その他	0.4%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	142	64	72	0	3	3	わからない	7.2%	45.1%	50.7%	0.0%	2.1%	2.1%
刑を終えて出所した人の人権を守るために必要だと思ふことは特にない	44	28	15	1	0	0	刑を終えて出所した人の人権を守るために必要だと思ふことは特にない	2.2%	63.6%	34.1%	2.3%	0.0%	0.0%
無回答	34	13	18	0	0	3	無回答	1.7%	38.2%	52.9%	0.0%	0.0%	8.8%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	1977	845	1070	4	24	34	回答計						

○市民意識調査結果

**問 30 年代別クロス**

刑を終えて出所した人の人権を守るために必要だと思うことについて年代別でみると、最も回答の多かった「雇用促進等の就労支援」を選んだ492人のうち、「60～69歳」が31.3%と最も多く、次いで「70歳～」が23.6%、「50～59歳」が16.9%となっています。

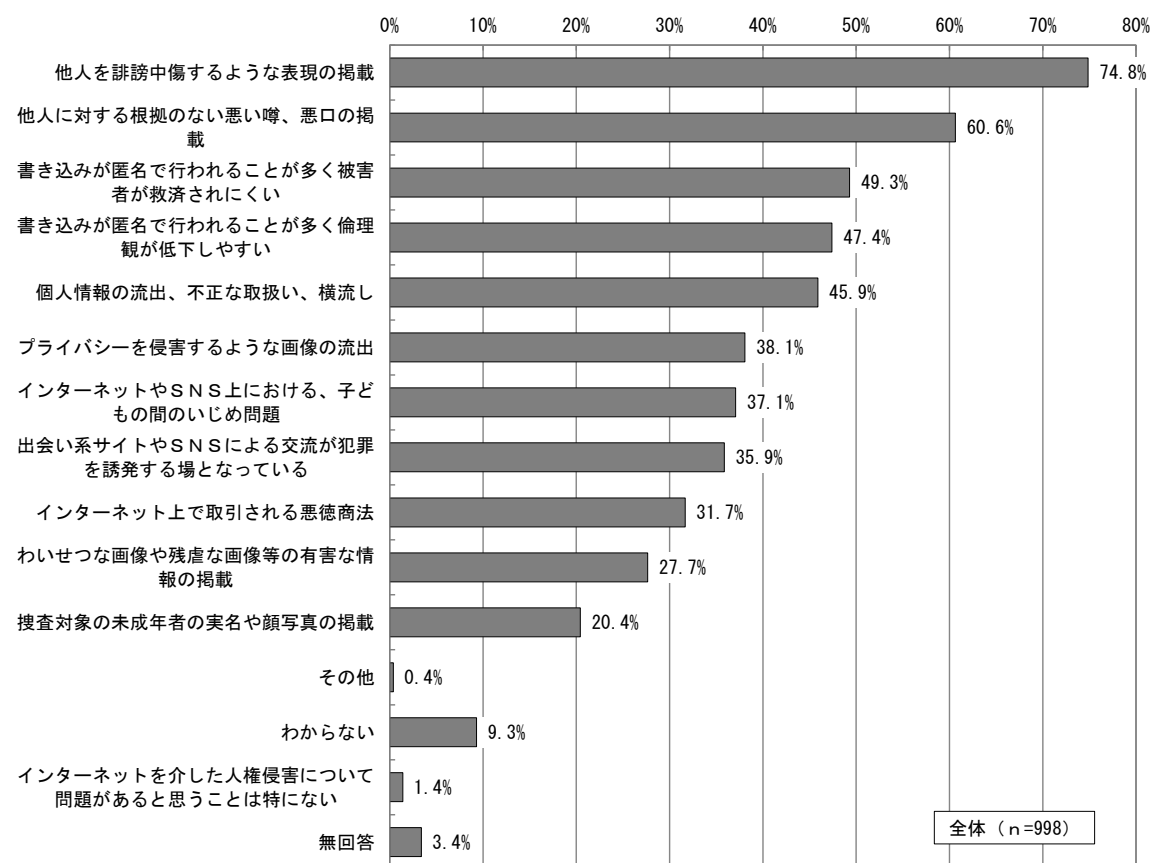


項目	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	項目(比率)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
犯罪を防ぐための施策の充実	433	36	55	71	77	106	80	8	犯罪を防ぐための施策の充実	21.9%	8.3%	12.7%	16.4%	17.8%	24.5%	18.5%	1.8%
雇用促進等の就労支援	492	31	38	64	83	154	116	6	雇用促進等の就労支援	24.9%	6.3%	7.7%	13.0%	16.9%	31.3%	23.6%	1.2%
刑を終えて出所した人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	275	13	22	35	50	73	80	2	刑を終えて出所した人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	13.9%	4.7%	8.0%	12.7%	18.2%	26.5%	29.1%	0.7%
刑を終えて出所した人の人権を守るための啓発活動の充実	107	5	9	8	17	35	30	3	刑を終えて出所した人の人権を守るための啓発活動の充実	5.4%	4.7%	8.4%	7.5%	15.9%	32.7%	28.0%	2.8%
刑を終えて出所した人やその家族のための相談・支援体制の充実	443	27	38	66	81	120	105	6	刑を終えて出所した人やその家族のための相談・支援体制の充実	22.4%	6.1%	8.6%	14.9%	18.3%	27.1%	23.7%	1.4%
その他	7	0	0	2	1	3	1	0	その他	0.4%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%
わからない	142	7	15	28	30	23	36	3	わからない	7.2%	4.8%	10.6%	19.7%	21.1%	16.2%	25.4%	2.1%
刑を終えて出所した人の人権を守るために必要だと思うことは特にない	44	6	7	5	12	3	11	0	刑を終えて出所した人の人権を守るために必要だと思うことは特にない	2.2%	13.6%	15.9%	11.4%	27.3%	6.8%	25.0%	0.0%
無回答	34	0	2	1	4	6	18	3	無回答	1.7%	0.0%	5.9%	2.9%	11.8%	17.6%	52.9%	8.8%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数								
回答計	1977	125	186	280	355	523	477	31	回答計								

## 11 インターネットを介した人権侵害について

### 問 31 インターネットを介した人権侵害において、人権上問題があると思うことはどのようなことについてですか。（〇はいくつでも）

インターネットを介した人権侵害において、人権上問題があると思うことについては、「他人を誹謗中傷するような表現の掲載」が74.8%と最も多く、次いで「他人に対する根拠のない悪い噂、悪口の掲載」が60.6%、「書き込みが匿名で行われることが多く被害者が救済されにくい」が49.3%となっています。

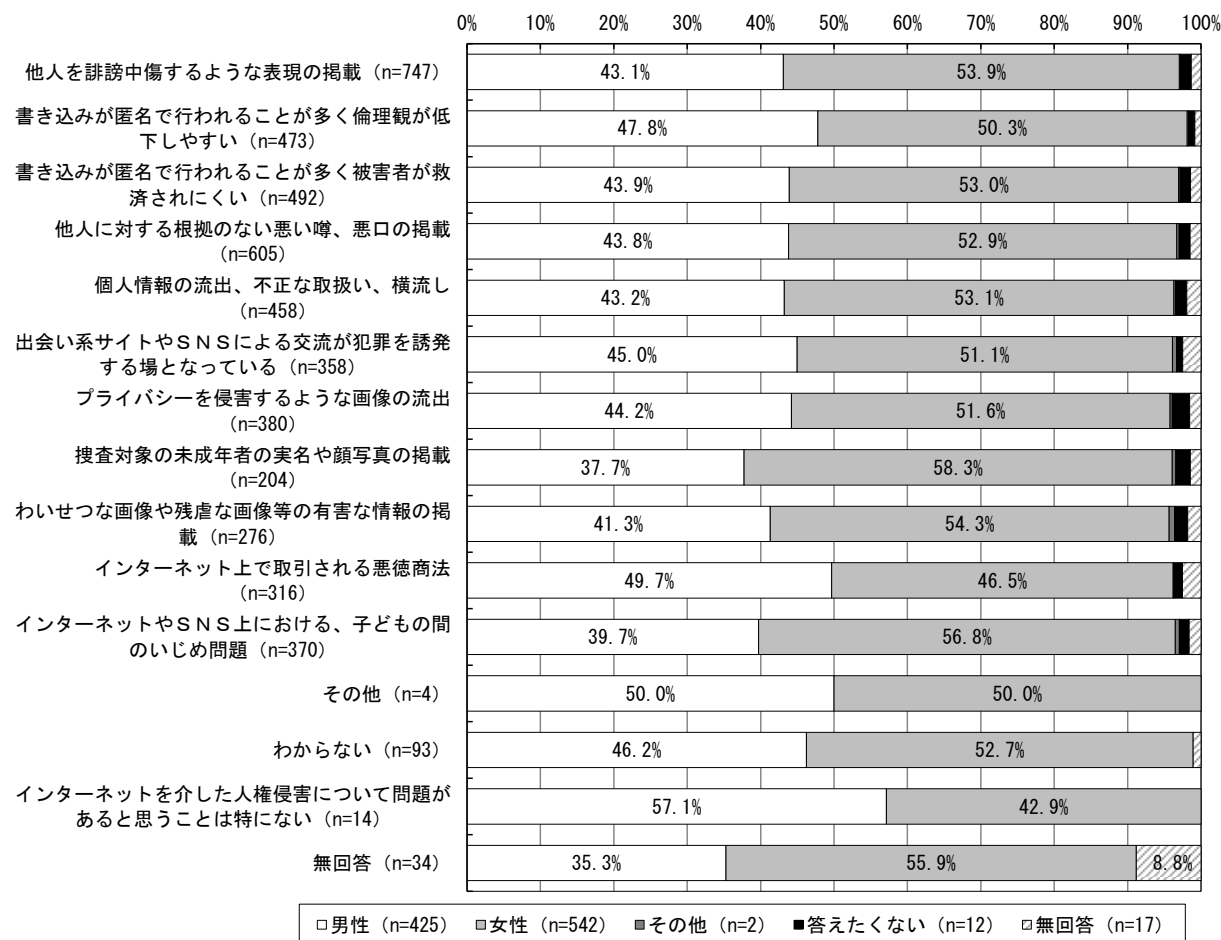


項目	度数	比率
他人を誹謗中傷するような表現の掲載	747	74.8%
他人に対する根拠のない悪い噂、悪口の掲載	605	60.6%
書き込みが匿名で行われることが多く被害者が救済されにくい	492	49.3%
書き込みが匿名で行われることが多く倫理観が低下しやすい	473	47.4%
個人情報の流出、不正な取扱い、横流し	458	45.9%
プライバシーを侵害するような画像の流出	380	38.1%
インターネットやSNS上における、子ども間のいじめ問題	370	37.1%
出会い系サイトやSNSによる交流が犯罪を誘発する場となっている	358	35.9%
インターネット上で取引される悪徳商法	316	31.7%
わいせつな画像や残虐な画像等の有害な情報の掲載	276	27.7%
捜査対象の未成年者の実名や顔写真の掲載	204	20.4%
その他	4	0.4%
わからない	93	9.3%
インターネットを介した人権侵害について問題があると思うことは特にない	14	1.4%
無回答	34	3.4%
回答者数	998	
回答計	4824	

○市民意識調査結果

**問 31 性別クロス**

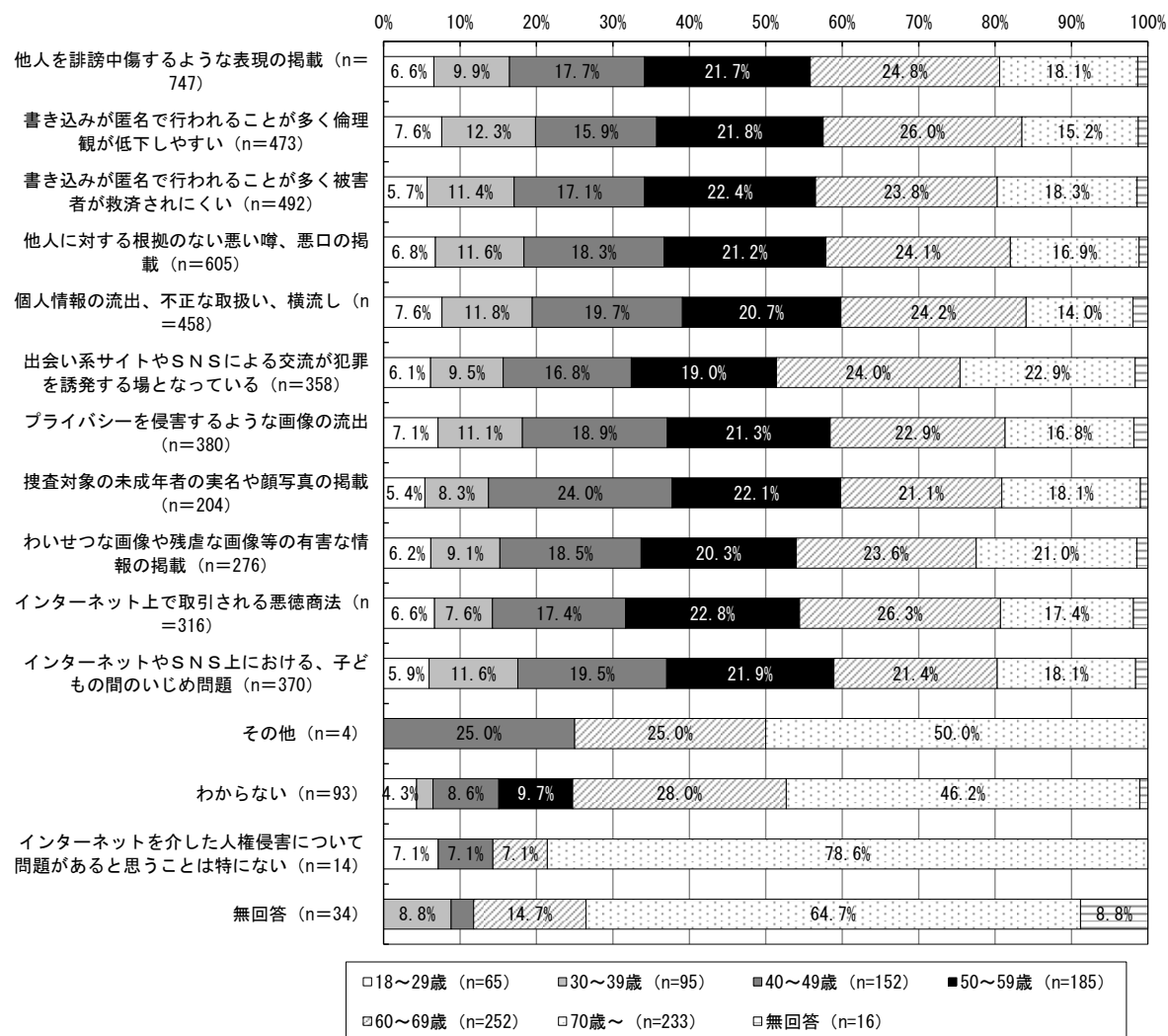
インターネットを介した人権侵害において、人権上問題があると思うことについて性別でみると、最も回答の多かった「他人を誹謗中傷するような表現の掲載」を選んだ 747 人のうち、「男性」が 43.1%、「女性」が 53.9%となっています。



項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
他人を誹謗中傷するような表現の掲載	747	322	403	1	11	10	他人を誹謗中傷するような表現の掲載	15.5%	43.1%	53.9%	0.1%	1.5%	1.3%
書き込みが匿名で行われることが多く倫理観が低下しやすい	473	226	238	1	4	4	書き込みが匿名で行われることが多く倫理観が低下しやすい	9.8%	47.8%	50.3%	0.2%	0.8%	0.8%
書き込みが匿名で行われることが多く被害者が救済されにくい	492	216	261	1	7	7	書き込みが匿名で行われることが多く被害者が救済されにくい	10.2%	43.9%	53.0%	0.2%	1.4%	1.4%
他人に対する根拠のない悪い噂、悪口の掲載	605	265	320	2	9	9	他人に対する根拠のない悪い噂、悪口の掲載	12.5%	43.8%	52.9%	0.3%	1.5%	1.5%
個人情報の流出、不正な取扱い、横流し	458	198	243	1	7	9	個人情報の流出、不正な取扱い、横流し	9.5%	43.2%	53.1%	0.2%	1.5%	2.0%
出会い系サイトやSNSによる交流が犯罪を誘発する場となっている	358	161	183	2	3	9	出会い系サイトやSNSによる交流が犯罪を誘発する場となっている	7.4%	45.0%	51.1%	0.6%	0.8%	2.5%
プライバシーを侵害するような画像の流出	380	168	196	1	9	6	プライバシーを侵害するような画像の流出	7.9%	44.2%	51.6%	0.3%	2.4%	1.6%
捜査対象の未成年者の実名や顔写真の掲載	204	77	119	1	4	3	捜査対象の未成年者の実名や顔写真の掲載	4.2%	37.7%	58.3%	0.5%	2.0%	1.5%
わいせつな画像や残虐な画像等の有害な情報の掲載	276	114	150	2	5	5	わいせつな画像や残虐な画像等の有害な情報の掲載	5.7%	41.3%	54.3%	0.7%	1.8%	1.8%
インターネット上で取引される悪徳商法	316	157	147	0	4	8	インターネット上で取引される悪徳商法	6.6%	49.7%	46.5%	0.0%	1.3%	2.5%
インターネットやSNS上における、子どもの間のいじめ問題	370	147	210	2	5	6	インターネットやSNS上における、子どもの間のいじめ問題	7.7%	39.7%	56.8%	0.5%	1.4%	1.6%
その他	4	2	2	0	0	0	その他	0.1%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	93	43	49	0	0	1	わからない	1.9%	46.2%	52.7%	0.0%	0.0%	1.1%
インターネットを介した人権侵害について問題があると思うことは特にない	14	8	6	0	0	0	インターネットを介した人権侵害について問題があると思うことは特にない	0.3%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	34	12	19	0	0	3	無回答	0.7%	35.3%	55.9%	0.0%	0.0%	8.8%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	4824	2116	2546	14	68	80	回答計						

**問 31 年代別クロス**

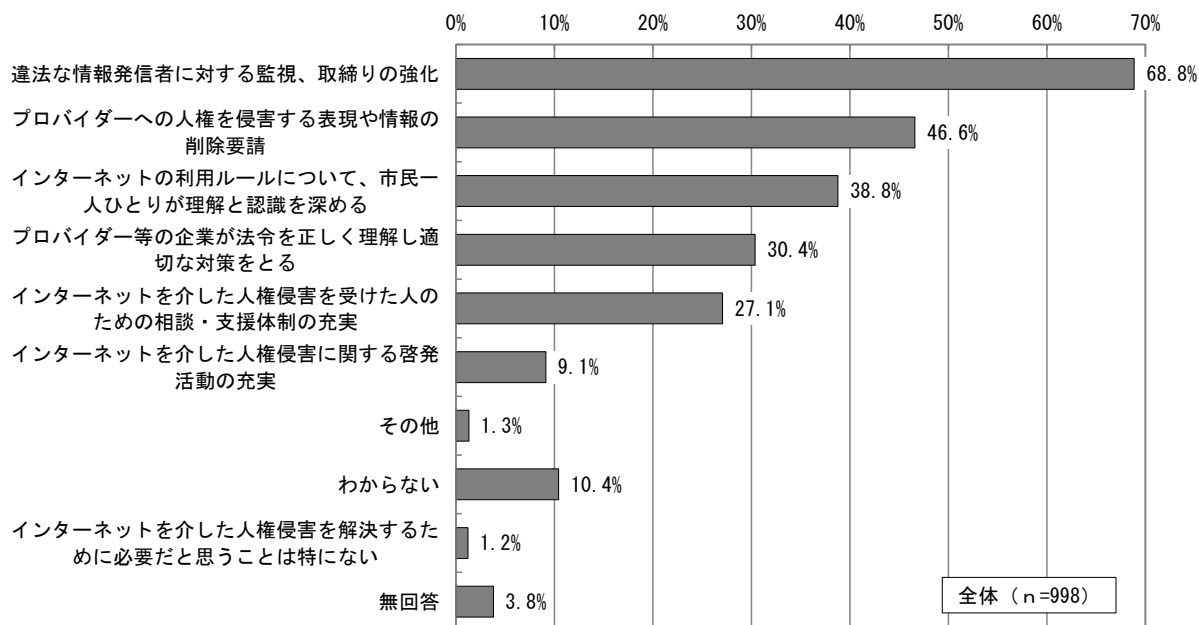
インターネットを介した人権侵害において、人権上問題があると思うことについて年代別でみると、最も回答の多かった「他人を誹謗中傷するような表現の掲載」を選んだ 747 人のうち、「60～69 歳」が 24.8%と最も多く、次いで「50～59 歳」が 21.7%、「70 歳～」が 18.1%となっています。



項目	全体	年代別							項目 (比率)	全体	年代別						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
他人を誹謗中傷するような表現の掲載	747	49	74	132	162	185	135	10	他人を誹謗中傷するような表現の掲載	15.5%	6.6%	9.9%	17.7%	21.7%	24.8%	18.1%	1.3%
書き込みが匿名で行われることが多く倫理観が低下しやすい	473	36	58	75	103	123	72	6	書き込みが匿名で行われることが多く倫理観が低下しやすい	9.8%	7.6%	12.3%	15.9%	21.8%	26.0%	15.2%	1.3%
書き込みが匿名で行われることが多く被害者が救済されにくい	492	28	56	84	110	117	90	7	書き込みが匿名で行われることが多く被害者が救済されにくい	10.2%	5.7%	11.4%	17.1%	22.4%	23.8%	18.3%	1.4%
他人に対する根拠のない悪い噂、悪口の掲載	605	41	70	111	128	146	102	7	他人に対する根拠のない悪い噂、悪口の掲載	12.5%	6.8%	11.6%	18.3%	21.2%	24.1%	16.9%	1.2%
個人情報の流出、不正な取扱い、横流し	458	35	54	90	95	111	64	9	個人情報の流出、不正な取扱い、横流し	9.5%	7.6%	11.8%	19.7%	20.7%	24.2%	14.0%	2.0%
出会い系サイトやSNSによる交流が犯罪を誘発する場となっている	358	22	34	60	68	86	82	6	出会い系サイトやSNSによる交流が犯罪を誘発する場となっている	7.4%	6.1%	9.5%	16.8%	19.0%	24.0%	22.9%	1.7%
プライバシーを侵害するような画像の流出	380	27	42	72	81	87	64	7	プライバシーを侵害するような画像の流出	7.9%	7.1%	11.1%	18.9%	21.3%	22.9%	16.8%	1.8%
捜査対象の未成年者の実名や顔写真の掲載	204	11	17	49	45	43	37	2	捜査対象の未成年者の実名や顔写真の掲載	4.2%	5.4%	8.3%	24.0%	22.1%	21.1%	18.1%	1.0%
わいせつな画像や残虐な画像等の有害な情報の掲載	276	17	25	51	56	65	58	4	わいせつな画像や残虐な画像等の有害な情報の掲載	5.7%	6.2%	9.1%	18.5%	20.3%	23.6%	21.0%	1.4%
インターネット上で取引される悪徳商法	316	21	24	55	72	83	55	6	インターネット上で取引される悪徳商法	6.6%	6.6%	7.6%	17.4%	22.8%	26.3%	17.4%	1.9%
インターネットやSNS上における、子ども間のいじめ問題	370	22	43	72	81	79	67	6	インターネットやSNS上における、子ども間のいじめ問題	7.7%	5.9%	11.6%	19.5%	21.9%	21.4%	18.1%	1.6%
その他	4	0	0	1	0	1	2	0	その他	0.1%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%
わからない	93	4	2	8	9	26	43	1	わからない	1.9%	4.3%	2.2%	8.6%	9.7%	28.0%	46.2%	1.1%
インターネットを介した人権侵害について問題があると思うことは特にない	14	1	0	1	0	1	11	0	インターネットを介した人権侵害について問題があると思うことは特にない	0.3%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	78.6%	0.0%
無回答	34	0	3	1	0	5	22	3	無回答	0.7%	0.0%	8.8%	2.9%	0.0%	14.7%	64.7%	8.8%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数								
回答計	4824	314	502	862	1010	1158	904	74	回答計								

**問 32 インターネットを介した人権侵害を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを選んでください。(○は3つまで)**

インターネットを介した人権侵害を解決するために必要だと思うことについては、「違法な情報発信者に対する監視、取締りの強化」が68.8%と最も多く、次いで「プロバイダーへの人権を侵害する表現や情報の削除要請」が46.6%、「インターネットの利用ルールについて、市民一人ひとりが理解と認識を深める」が38.8%、「インターネットの利用ルールについて、市民一人ひとりが理解と認識を深める」が38.8%となっています。

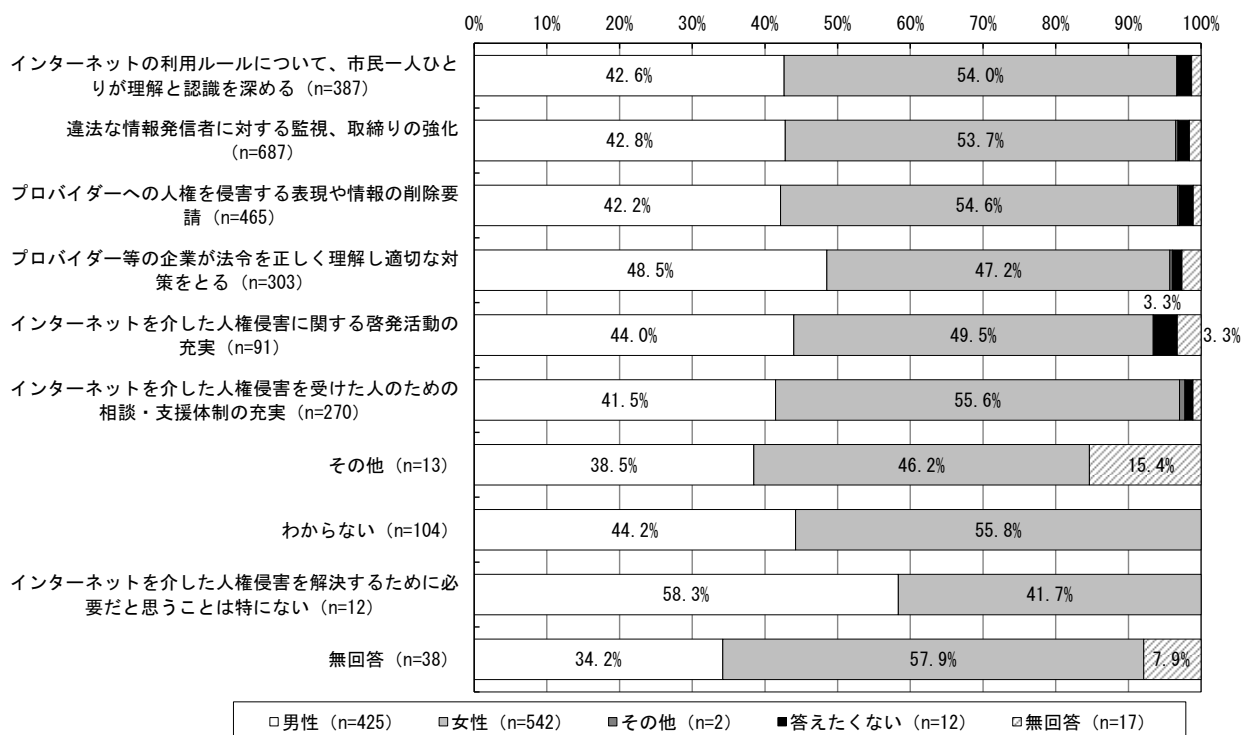


項目	度数	比率
違法な情報発信者に対する監視、取締りの強化	687	68.8%
プロバイダーへの人権を侵害する表現や情報の削除要請	465	46.6%
インターネットの利用ルールについて、市民一人ひとりが理解と認識を深める	387	38.8%
プロバイダー等の企業が法令を正しく理解し適切な対策をとる	303	30.4%
インターネットを介した人権侵害を受けた人のための相談・支援体制の充実	270	27.1%
インターネットを介した人権侵害に関する啓発活動の充実	91	9.1%
その他	13	1.3%
わからない	104	10.4%
インターネットを介した人権侵害を解決するために必要だと思うことは特にない	12	1.2%
無回答	38	3.8%
回答者数	998	
回答計	2370	



**問 32 性別クロス**

インターネットを介した人権侵害を解決するために必要だと思うことについて性別で見ると、最も回答の多かった「違法な情報発信者に対する監視、取締りの強化」を選んだ 687 人のうち、「男性」が 42.8%、「女性」が 53.7%となっています。

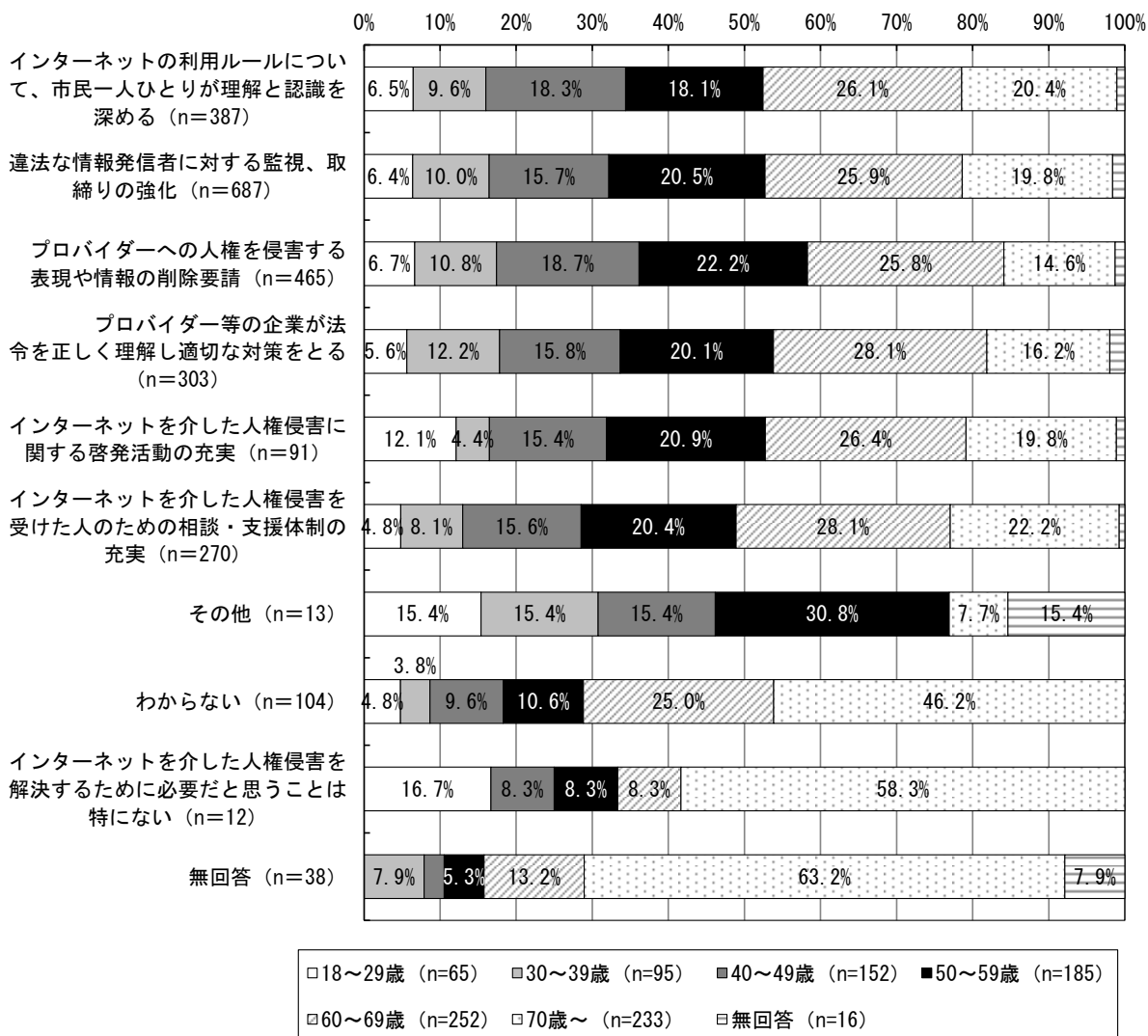


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
インターネットの利用ルールについて、市民一人ひとりが理解と認識を深める	387	165	209	0	8	5	インターネットの利用ルールについて、市民一人ひとりが理解と認識を深める	16.3%	42.6%	54.0%	0.0%	2.1%	1.3%
違法な情報発信者に対する監視、取締りの強化	687	294	369	2	11	11	違法な情報発信者に対する監視、取締りの強化	29.0%	42.8%	53.7%	0.3%	1.6%	1.6%
プロバイダーへの人権を侵害する表現や情報の削除要請	465	196	254	1	9	5	プロバイダーへの人権を侵害する表現や情報の削除要請	19.6%	42.2%	54.6%	0.2%	1.9%	1.1%
プロバイダー等の企業が法令を正しく理解し適切な対策をとる	303	147	143	1	4	8	プロバイダー等の企業が法令を正しく理解し適切な対策をとる	12.8%	48.5%	47.2%	0.3%	1.3%	2.6%
インターネットを介した人権侵害に関する啓発活動の充実	91	40	45	0	3	3	インターネットを介した人権侵害に関する啓発活動の充実	3.8%	44.0%	49.5%	0.0%	3.3%	3.3%
インターネットを介した人権侵害を受けた人のための相談・支援体制の充実	270	112	150	2	3	3	インターネットを介した人権侵害を受けた人のための相談・支援体制の充実	11.4%	41.5%	55.6%	0.7%	1.1%	1.1%
その他	13	5	6	0	0	2	その他	0.5%	38.5%	46.2%	0.0%	0.0%	15.4%
わからない	104	46	58	0	0	0	わからない	4.4%	44.2%	55.8%	0.0%	0.0%	0.0%
インターネットを介した人権侵害を解決するために必要だと思うことは特にない	12	7	5	0	0	0	インターネットを介した人権侵害を解決するために必要だと思うことは特にない	0.5%	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	38	13	22	0	0	3	無回答	1.6%	34.2%	57.9%	0.0%	0.0%	7.9%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	2370	1025	1261	6	38	40	回答計						

○市民意識調査結果

**問 32 年代別クロス**

インターネットを介した人権侵害を解決するために必要だと思うことについて年代別でみると、最も回答の多かった「違法な情報発信者に対する監視、取締りの強化」を選んだ687人のうち、「60～69歳」が25.9%と最も多く、次いで「50～59歳」が20.5%、「70歳～」が19.8%となっています。

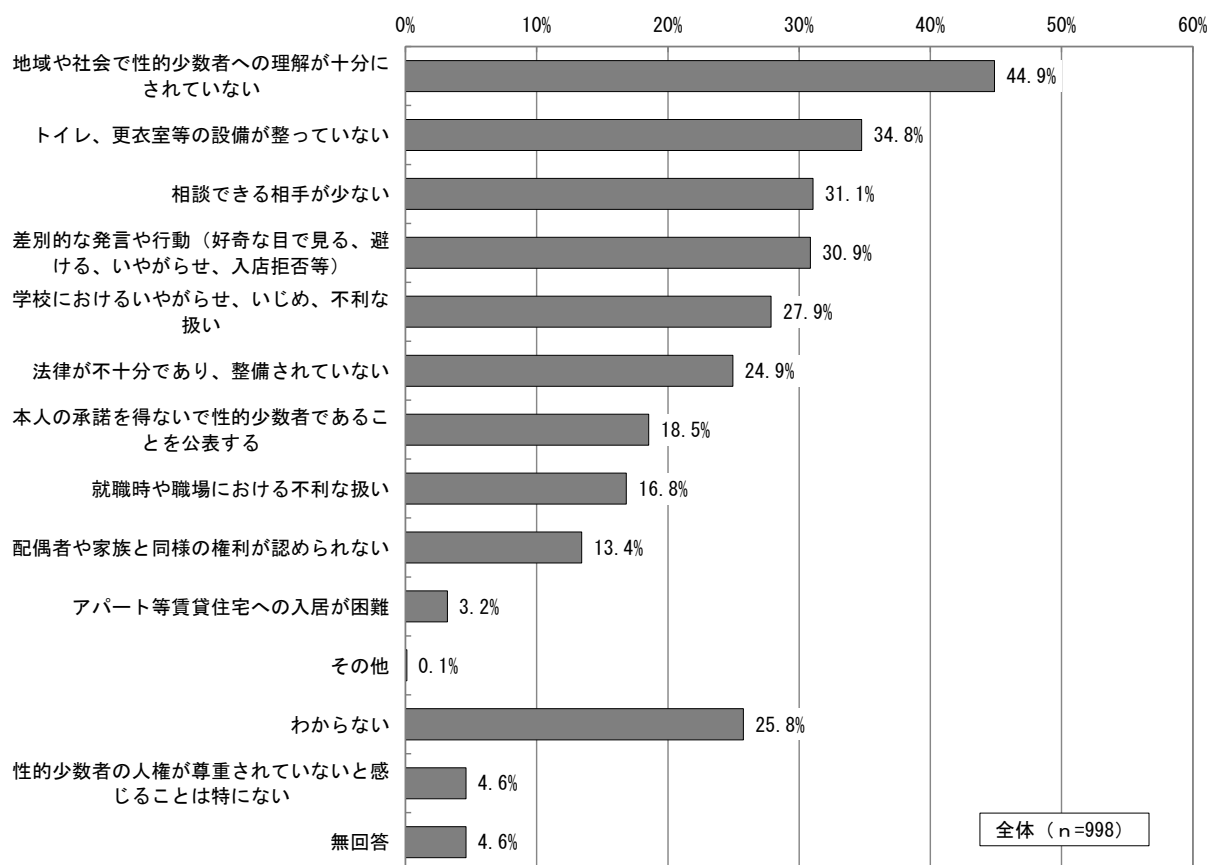


項目	全体	項目 (比率)							全体	項目 (比率)						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
インターネットの利用ルールについて、市民一人ひとりが理解と認識を深める	387	25	37	71	70	101	79	4	16.3%	6.5%	9.6%	18.3%	18.1%	26.1%	20.4%	1.0%
違法な情報発信者に対する監視、取締りの強化	687	44	69	108	141	178	136	11	29.0%	6.4%	10.0%	15.7%	20.5%	25.9%	19.8%	1.6%
プロバイダーへの人権を侵害する表現や情報の削除要請	465	31	50	87	103	120	66	6	19.6%	6.7%	10.8%	18.7%	22.2%	25.8%	14.6%	1.3%
プロバイダー等の企業が法令を正しく理解し適切な対策をとる	303	17	37	48	61	85	49	6	12.8%	5.6%	12.2%	15.8%	20.1%	28.1%	16.2%	2.0%
インターネットを介した人権侵害に関する啓発活動の充実	91	11	4	14	19	24	18	1	3.8%	12.1%	4.4%	15.4%	20.9%	26.4%	19.8%	1.1%
インターネットを介した人権侵害を受けた人のための相談・支援体制の充実	270	13	22	42	55	76	60	2	11.4%	4.8%	8.1%	15.6%	20.4%	28.1%	22.2%	0.7%
その他	13	2	2	2	4	0	1	2	0.5%	15.4%	15.4%	15.4%	30.8%	0.0%	7.7%	15.4%
わからない	104	5	4	10	11	26	48	0	4.4%	4.8%	3.8%	9.6%	10.6%	25.0%	46.2%	0.0%
インターネットを介した人権侵害を解決するために必要だと思うことは特にない	12	2	0	1	1	1	7	0	0.5%	16.7%	0.0%	8.3%	8.3%	8.3%	58.3%	0.0%
無回答	38	0	3	1	2	5	24	3	1.6%	0.0%	7.9%	2.6%	5.3%	13.2%	63.2%	7.9%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16								
回答計	2370	150	228	384	467	616	490	35								

## 12 性的少数者（LGBTQ等）の人権について

### 問 33 性的少数者（LGBTQ等）の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。（○はいくつでも）

性的少数者（LGBTQ等）の人権が尊重されていないと感じることについては、「地域や社会で性的少数者への理解が十分にされていない」が44.9%と最も多く、次いで「トイレ、更衣室等の設備が整っていない」が34.8%、「相談できる相手が少ない」が31.1%となっています。

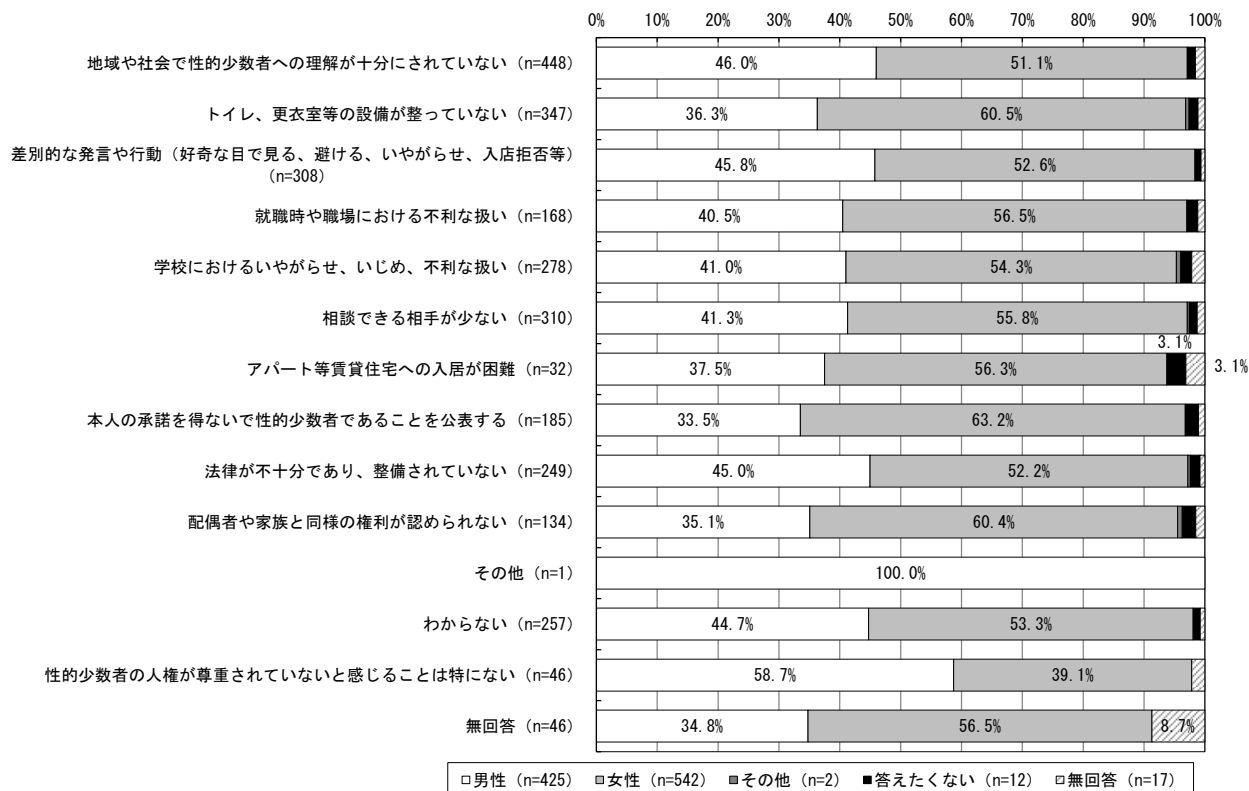


項目	度数	比率
地域や社会で性的少数者への理解が十分にされていない	448	44.9%
トイレ、更衣室等の設備が整っていない	347	34.8%
相談できる相手が少ない	310	31.1%
差別的な発言や行動（好奇心で見る、避ける、いやがらせ、入店拒否等）	308	30.9%
学校におけるいやがらせ、いじめ、不利な扱い	278	27.9%
法律が不十分であり、整備されていない	249	24.9%
本人の承諾を得ないで性的少数者であることを公表する	185	18.5%
就職時や職場における不利な扱い	168	16.8%
配偶者や家族と同様の権利が認められない	134	13.4%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	32	3.2%
その他	1	0.1%
わからない	257	25.8%
性的少数者の人権が尊重されていないと感じることは特にない	46	4.6%
無回答	46	4.6%
回答者数	998	
回答計	2809	

○市民意識調査結果

**問 33 性別クロス**

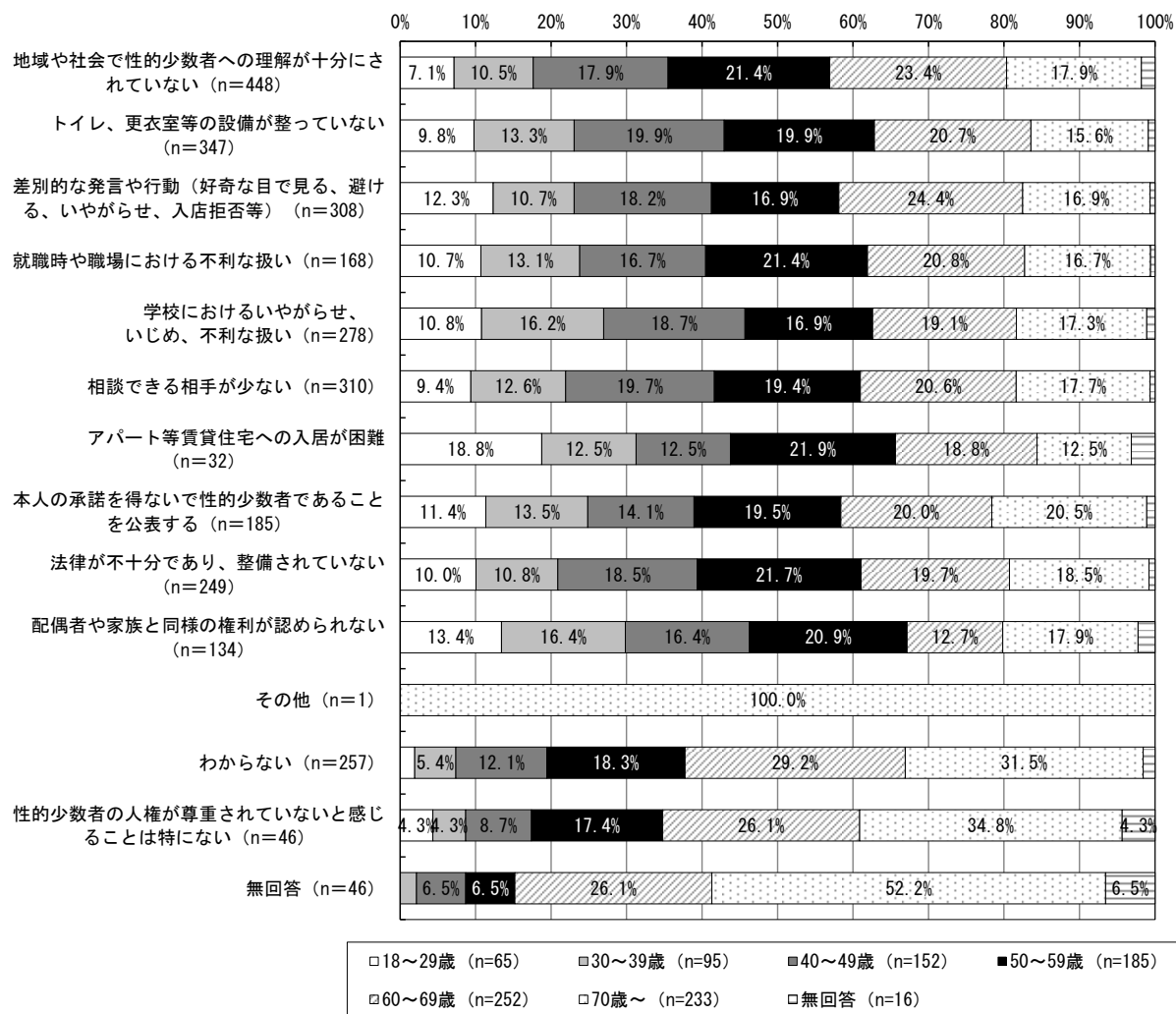
性的少数者（LGBTQ等）の人権が尊重されていないと感じることについて性別でみると、最も回答の多かった「地域や社会で性的少数者への理解が十分にされていない」を選んだ448人のうち、「男性」が46.0%、「女性」が51.1%となっています。



項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
地域や社会で性的少数者への理解が十分にされていない	448	206	229	0	6	7	地域や社会で性的少数者への理解が十分にされていない	15.9%	46.0%	51.1%	0.0%	1.3%	1.6%
トイレ、更衣室等の設備が整っていない	347	126	210	2	5	4	トイレ、更衣室等の設備が整っていない	12.4%	36.3%	60.5%	0.6%	1.4%	1.2%
差別的な発言や行動(好奇心目で見る、避ける、いやがらせ、入店拒否等)	308	141	162	0	3	2	差別的な発言や行動(好奇心目で見る、避ける、いやがらせ、入店拒否等)	11.0%	45.8%	52.6%	0.0%	1.0%	0.6%
就職時や職場における不利な扱い	168	68	95	0	3	2	就職時や職場における不利な扱い	6.0%	40.5%	56.5%	0.0%	1.8%	1.2%
学校におけるいやがらせ、いじめ、不利な扱い	278	114	151	2	5	6	学校におけるいやがらせ、いじめ、不利な扱い	9.9%	41.0%	54.3%	0.7%	1.8%	2.2%
相談できる相手が少ない	310	128	173	1	4	4	相談できる相手が少ない	11.0%	41.3%	55.8%	0.3%	1.3%	1.3%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	32	12	18	0	1	1	アパート等賃貸住宅への入居が困難	1.1%	37.5%	56.3%	0.0%	3.1%	3.1%
本人の承諾を得ないで性的少数者であることを公表する	185	62	117	0	4	2	本人の承諾を得ないで性的少数者であることを公表する	6.6%	33.5%	63.2%	0.0%	2.2%	1.1%
法律が不十分であり、整備されていない	249	112	130	1	4	2	法律が不十分であり、整備されていない	8.9%	45.0%	52.2%	0.4%	1.6%	0.8%
配偶者や家族と同様の権利が認められない	134	47	81	1	3	2	配偶者や家族と同様の権利が認められない	4.8%	35.1%	60.4%	0.7%	2.2%	1.5%
その他	1	1	0	0	0	0	その他	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	257	115	137	0	3	2	わからない	9.1%	44.7%	53.3%	0.0%	1.2%	0.8%
性的少数者の人権が尊重されていないと感じることは特にない	46	27	18	0	0	1	性的少数者の人権が尊重されていないと感じることは特にない	1.6%	58.7%	39.1%	0.0%	0.0%	2.2%
無回答	46	16	26	0	0	4	無回答	1.6%	34.8%	56.5%	0.0%	0.0%	8.7%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	2809	1175	1547	7	41	39	回答計						

**問 33 年代別クロス**

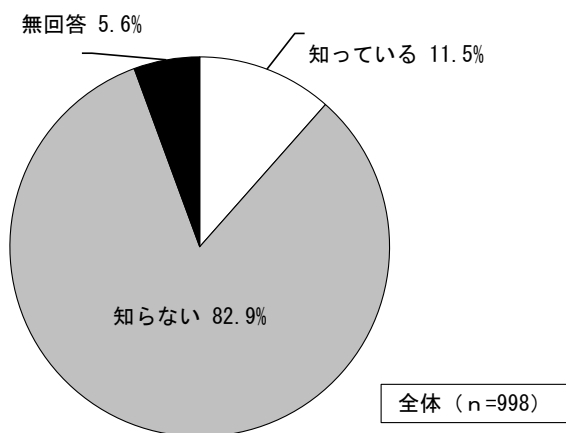
性的少数者（LGBTQ等）の人権が尊重されていないと感じることについて年代別でみると、最も回答の多かった「地域や社会で性的少数者への理解が十分にされていない」を選んだ448人のうち、「60～69歳」が23.4%と最も多く、次いで「50～59歳」が21.4%、「40～49歳」と「70歳～」が17.9%となっています。



項目	全体	項目(比率)							全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答								
地域や社会で性的少数者への理解が十分にされていない	448	15.9%	7.1%	10.5%	17.9%	21.4%	23.4%	17.9%	15.9%	7.1%	10.5%	17.9%	21.4%	23.4%	17.9%	1.8%
トイレ、更衣室等の設備が整っていない	347	12.4%	9.8%	13.3%	19.9%	19.9%	20.7%	15.6%	12.4%	9.8%	13.3%	19.9%	19.9%	20.7%	15.6%	0.9%
差別的な発言や行動(好奇心目で見る、避ける、いやがらせ、入店拒否等)	308	11.0%	12.3%	10.7%	18.2%	16.9%	24.4%	16.9%	11.0%	12.3%	10.7%	18.2%	16.9%	24.4%	16.9%	0.6%
就職時や職場における不利な扱い	168	6.0%	10.7%	13.1%	16.7%	21.4%	20.8%	16.7%	6.0%	10.7%	13.1%	16.7%	21.4%	20.8%	16.7%	0.6%
学校におけるいやがらせ、いじめ、不利な扱い	278	9.9%	10.8%	16.2%	18.7%	16.9%	19.1%	17.3%	9.9%	10.8%	16.2%	18.7%	16.9%	19.1%	17.3%	1.1%
相談できる相手が少ない	310	11.0%	9.4%	12.6%	19.7%	19.4%	20.6%	17.7%	11.0%	9.4%	12.6%	19.7%	19.4%	20.6%	17.7%	0.6%
アパート等賃貸住宅への入居が困難	32	1.1%	18.8%	12.5%	12.5%	21.9%	18.8%	12.5%	1.1%	18.8%	12.5%	12.5%	21.9%	18.8%	12.5%	3.1%
本人の承諾を得ないで性的少数者であることを公表する	185	6.8%	11.4%	13.5%	14.1%	19.5%	20.0%	20.5%	6.8%	11.4%	13.5%	14.1%	19.5%	20.0%	20.5%	1.1%
法律が不十分であり、整備されていない	249	8.9%	10.0%	10.8%	18.5%	21.7%	19.7%	18.5%	8.9%	10.0%	10.8%	18.5%	21.7%	19.7%	18.5%	0.8%
配偶者や家族と同様の権利が認められない	134	4.8%	13.4%	16.4%	16.4%	20.9%	12.7%	17.9%	4.8%	13.4%	16.4%	16.4%	20.9%	12.7%	17.9%	2.2%
その他	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
わからない	257	9.1%	1.9%	5.4%	12.1%	18.3%	29.2%	31.5%	9.1%	1.9%	5.4%	12.1%	18.3%	29.2%	31.5%	1.6%
性的少数者の人権が尊重されていないと感じることは特にない	46	1.6%	4.3%	4.3%	8.7%	17.4%	26.1%	34.8%	1.6%	4.3%	4.3%	8.7%	17.4%	26.1%	34.8%	4.3%
無回答	46	1.6%	0.0%	2.2%	6.5%	6.5%	26.1%	52.2%	1.6%	0.0%	2.2%	6.5%	6.5%	26.1%	52.2%	6.5%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16								
回答計	2809	258	327	482	543	612	551	36								

**問 34 ぐんまパートナーシップ宣誓制度を知っていますか。(○は1つだけ)**

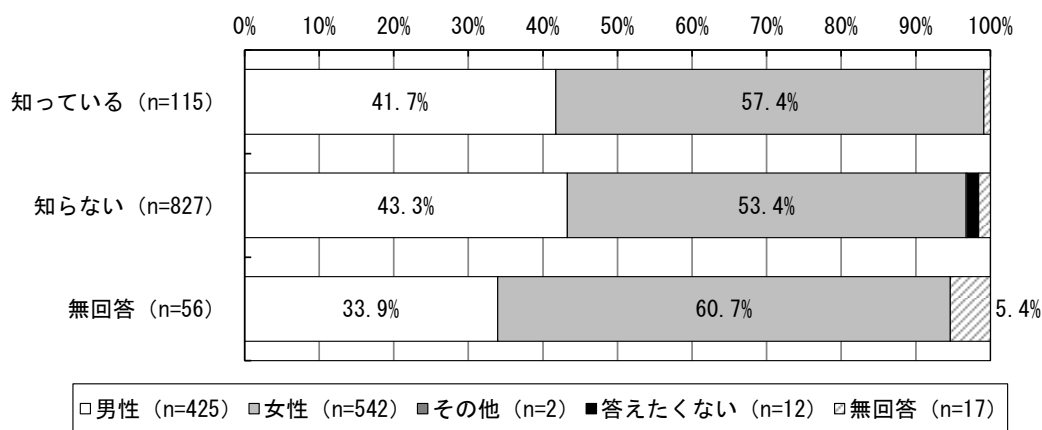
ぐんまパートナーシップ宣誓制度を知っているかについては、「知らない」が82.9%、「知っている」が11.5%となっています。



項目	度数	構成比
知っている	115	11.5%
知らない	827	82.9%
無回答	56	5.6%
合計	998	100.0%

**問 34 性別クロス**

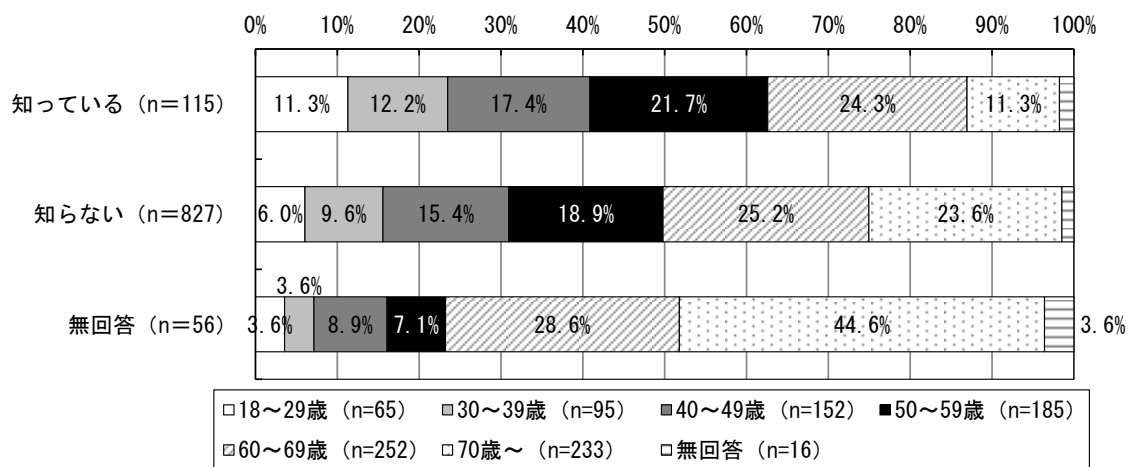
ぐんまパートナーシップ宣誓制度を知っているかについて性別でみると、「知らない」を選んだ827人のうち、「男性」が43.3%、「女性」が53.4%となっています。



項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(構成比)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
知っている	115	48	66	0	0	1	知っている	11.5%	41.7%	57.4%	0.0%	0.0%	0.9%
知らない	827	358	442	2	12	13	知らない	82.9%	43.3%	53.4%	0.2%	1.5%	1.6%
無回答	56	19	34	0	0	3	無回答	5.6%	33.9%	60.7%	0.0%	0.0%	5.4%
合計	998	425	542	2	12	17	合計						

**問 34 年代別クロス**

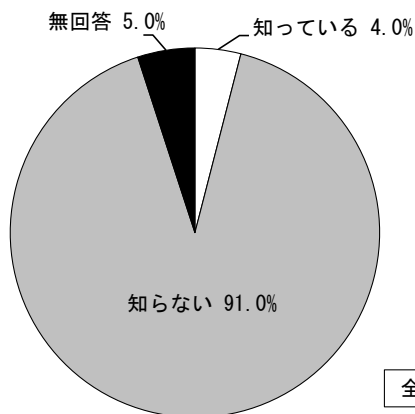
ぐんまパートナーシップ宣誓制度を知っているかについて年代別でみると、「知らない」を選んだ827人のうち、「60～69歳」が25.2%と最も多く、次いで「70歳～」が23.6%、「50～59歳」が18.9%となっています。



項目	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	項目(構成比)	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
		人数	人数	人数	人数	人数	人数			人数	割合	割合	割合	割合	割合	割合	
知っている	115	13	14	20	25	28	13	2	知っている	11.5%	11.3%	12.2%	17.4%	21.7%	24.3%	11.3%	1.7%
知らない	827	50	79	127	156	208	195	12	知らない	82.9%	6.0%	9.6%	15.4%	18.9%	25.2%	23.6%	1.5%
無回答	56	2	2	5	4	16	25	2	無回答	5.6%	3.6%	3.6%	8.9%	7.1%	28.6%	44.6%	3.6%
合計	998	65	95	152	185	252	233	16	合計								

**問 35 ぐんまパートナーシップ宣誓書受領カードにより利用できるサービスがあることを知っていますか。(○は1つだけ)**

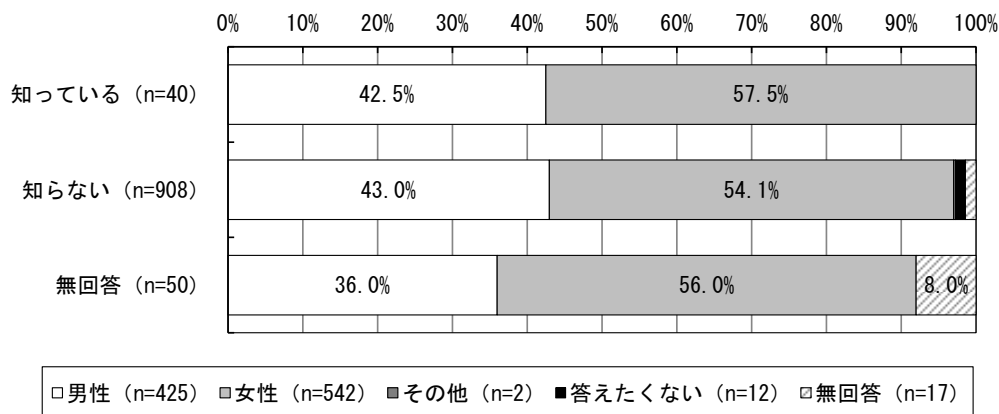
ぐんまパートナーシップ宣誓書受領カードにより利用できるサービスがあることを知っているかについては、「知らない」が91.0%、「知っている」が4.0%となっています。



項目	度数	構成比
知っている	40	4.0%
知らない	908	91.0%
無回答	50	5.0%
合計	998	100.0%

**問 35 性別クロス**

ぐんまパートナーシップ宣誓書受領カードにより利用できるサービスがあることを知っているかについて性別でみると、「知らない」を選んだ908人のうち、「男性」が43.0%、「女性」が54.1%となっています。

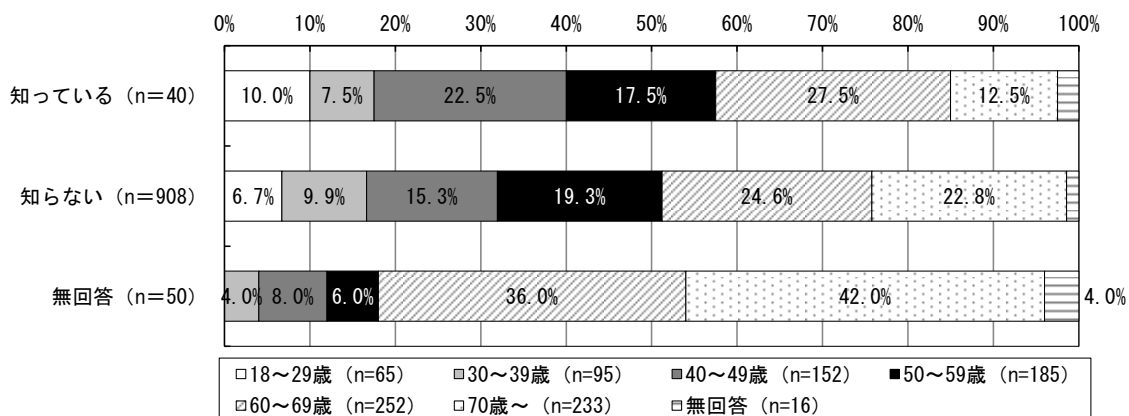


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(構成比)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
知っている	40	17	23	0	0	0	知っている	4.0%	42.5%	57.5%	0.0%	0.0%	0.0%
知らない	908	390	491	2	12	13	知らない	91.0%	43.0%	54.1%	0.2%	1.3%	1.4%
無回答	50	18	28	0	0	4	無回答	5.0%	36.0%	56.0%	0.0%	0.0%	8.0%
合計	998	425	542	2	12	17	合計						



**問 35 年代別クロス**

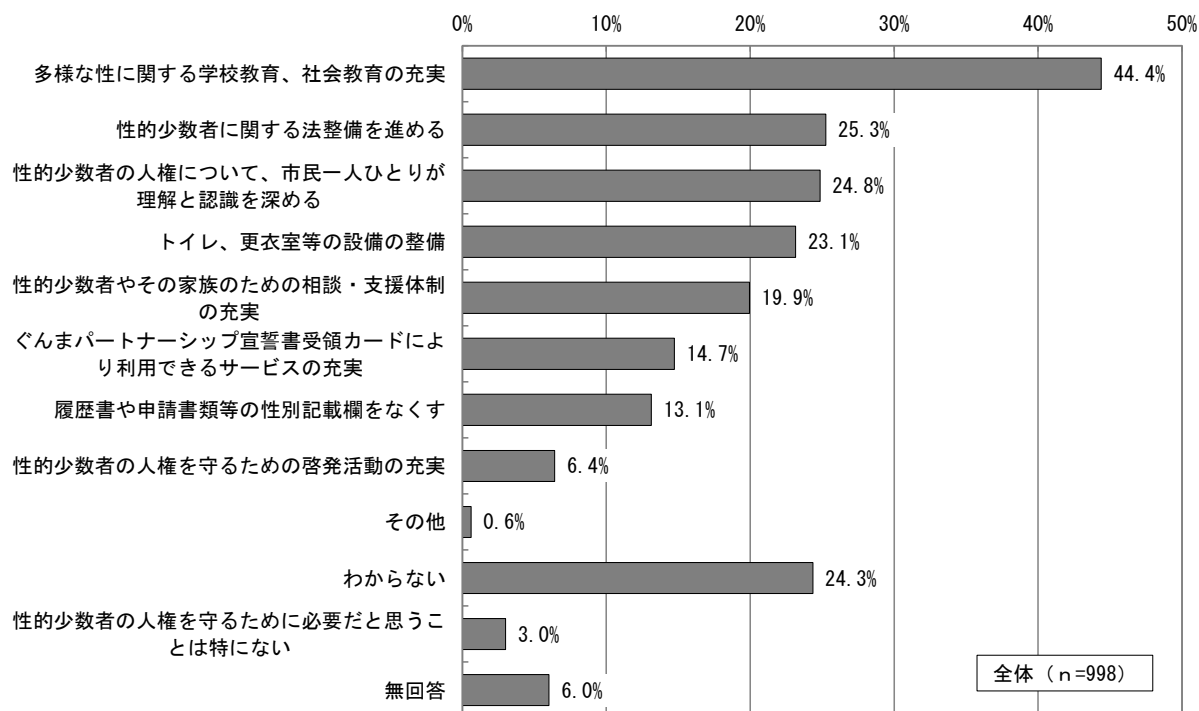
ぐんまパートナーシップ宣誓書受領カードにより利用できるサービスがあることを知っているかについて年代別で見ると、「知らない」を選んだ 908 人のうち、「60～69 歳」が 24.6%と最も多く、次いで「70 歳～」が 22.8%、「50～59 歳」が 19.3%となっています。



項目	全体	項目(構成比)							全体	項目(構成比)							
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答		全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
知っている	40	4	3	9	7	11	5	1	知っている	4.0%	10.0%	7.5%	22.5%	17.5%	27.5%	12.5%	2.5%
知らない	908	61	90	139	175	223	207	13	知らない	91.0%	6.7%	9.9%	15.3%	19.3%	24.6%	22.8%	1.4%
無回答	50	0	2	4	3	18	21	2	無回答	5.0%	0.0%	4.0%	8.0%	6.0%	36.0%	42.0%	4.0%
合計	998	65	95	152	185	252	233	16	合計								

**問 36 性的少数者（LGBTQ等）の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。特に大切だと思うものを選んでください。（○は3つまで）**

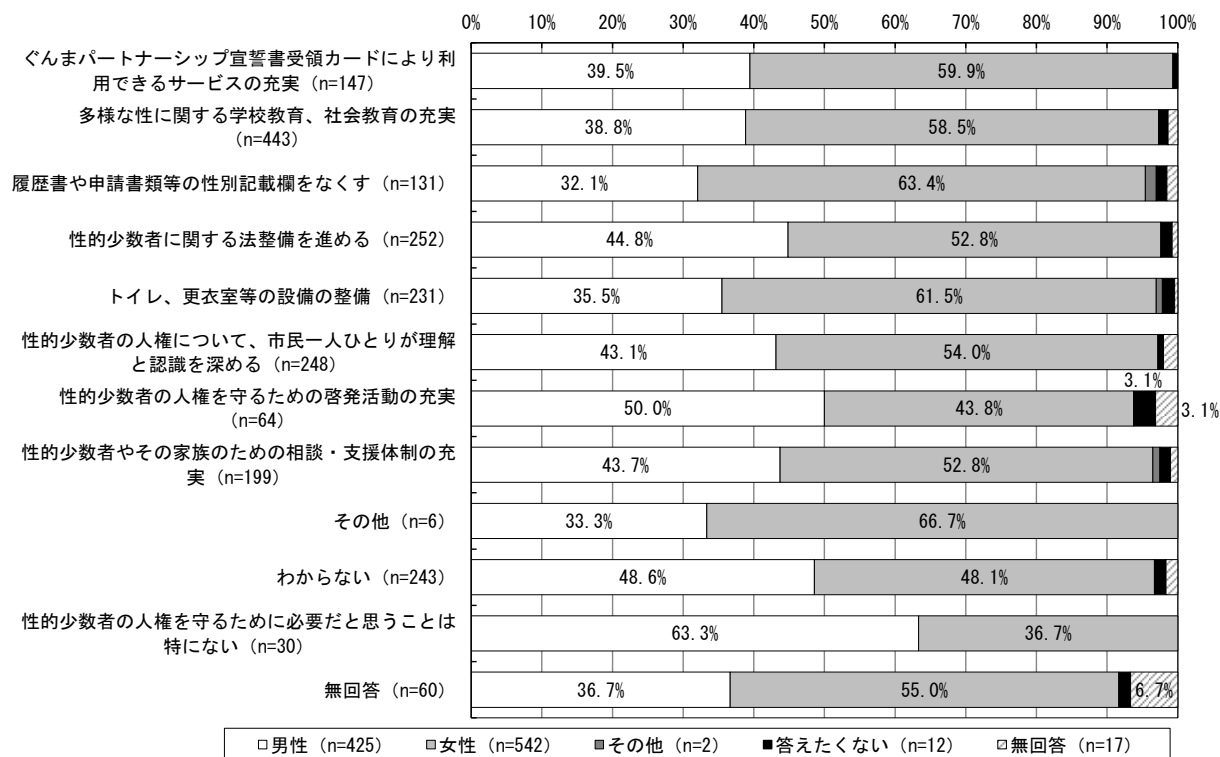
性的少数者（LGBTQ等）の人権を守るために必要だと思うことについては、「多様な性に関する学校教育、社会教育の充実」が44.4%と最も多く、次いで「性的少数者に関する法整備を進める」が25.3%、「性的少数者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」が24.8%となっています。



項目	度数	比率
多様な性に関する学校教育、社会教育の充実	443	44.4%
性的少数者に関する法整備を進める	252	25.3%
性的少数者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	248	24.8%
トイレ、更衣室等の設備の整備	231	23.1%
性的少数者やその家族のための相談・支援体制の充実	199	19.9%
ぐんまパートナーシップ宣誓書受領カードにより利用できるサービスの充実	147	14.7%
履歴書や申請書類等の性別記載欄をなくす	131	13.1%
性的少数者の人権を守るための啓発活動の充実	64	6.4%
その他	6	0.6%
わからない	243	24.3%
性的少数者の人権を守るために必要だと思うことは特にない	30	3.0%
無回答	60	6.0%
回答者数	998	
回答計	2054	

**問 36 性別クロス**

性的少数者（LGBTQ等）の人権を守るために必要だと思うことについて性別で見ると、最も回答の多かった「多様な性に関する学校教育、社会教育の充実」を選んだ 443 人のうち、「男性」が 38.8%、「女性」が 58.5%となっています。

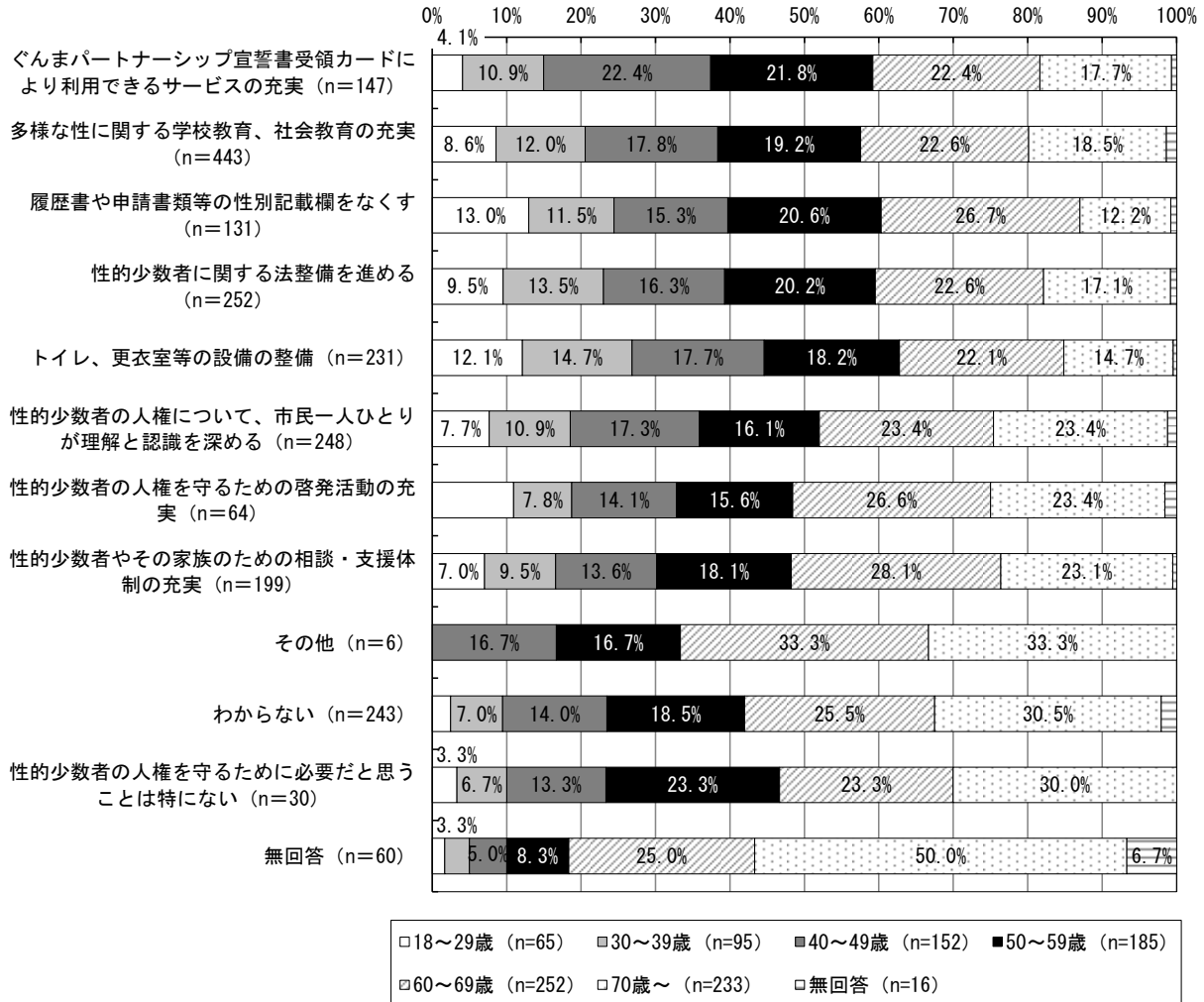


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
ぐんまパートナーシップ宣誓書受領カードにより利用できるサービスの充実	147	58	88	0	1	0	ぐんまパートナーシップ宣誓書受領カードにより利用できるサービスの充実	7.2%	39.5%	59.9%	0.0%	0.7%	0.0%
多様な性に関する学校教育、社会教育の充実	443	172	259	0	6	6	多様な性に関する学校教育、社会教育の充実	21.6%	38.8%	58.5%	0.0%	1.4%	1.4%
履歴書や申請書類等の性別記載欄をなくす	131	42	83	2	2	2	履歴書や申請書類等の性別記載欄をなくす	6.4%	32.1%	63.4%	1.5%	1.5%	1.5%
性的少数者に関する法整備を進める	252	113	133	0	4	2	性的少数者に関する法整備を進める	12.3%	44.8%	52.8%	0.0%	1.6%	0.8%
トイレ、更衣室等の設備の整備	231	82	142	2	4	1	トイレ、更衣室等の設備の整備	11.2%	35.5%	61.5%	0.9%	1.7%	0.4%
性的少数者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	248	107	134	0	2	5	性的少数者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	12.1%	43.1%	54.0%	0.0%	0.8%	2.0%
性的少数者の人権を守るための啓発活動の充実	64	32	28	0	2	2	性的少数者の人権を守るための啓発活動の充実	3.1%	50.0%	43.8%	0.0%	3.1%	3.1%
性的少数者やその家族のための相談・支援体制の充実	199	87	105	2	3	2	性的少数者やその家族のための相談・支援体制の充実	9.7%	43.7%	52.8%	1.0%	1.5%	1.0%
その他	6	2	4	0	0	0	その他	0.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	243	118	117	0	4	4	わからない	11.8%	48.6%	48.1%	0.0%	1.6%	1.6%
性的少数者の人権を守るために必要だと思うことは特にない	30	19	11	0	0	0	性的少数者の人権を守るために必要だと思うことは特にない	1.5%	63.3%	36.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	60	22	33	0	1	4	無回答	2.9%	36.7%	55.0%	0.0%	1.7%	6.7%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	2054	854	1137	6	29	28	回答計						

○市民意識調査結果

**問 36 年代別クロス**

性的少数者（LGBTQ等）の人権を守るために必要だと思うことについて年代別でみると、最も回答の多かった「多様な性に関する学校教育、社会教育の充実」を選んだ443人のうち、「60～69歳」が22.6%と最も多く、次いで「50～59歳」が19.2%、「70歳～」が18.5%となっています。

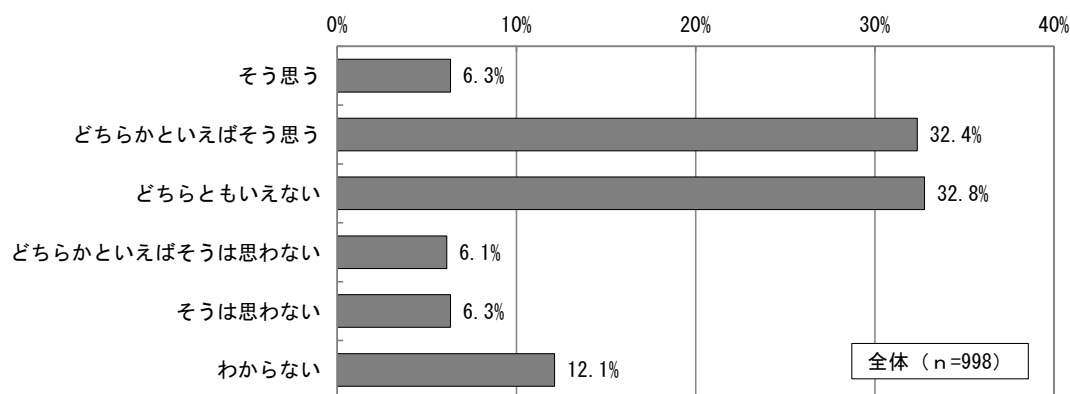


項目	全体	項目(比率)							全体	項目(比率)						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
ぐんまパートナーシップ宣誓書受領カードにより利用できるサービスの充実	147	6	16	33	32	33	26	1	7.2%	4.1%	10.9%	22.4%	21.8%	22.4%	17.7%	0.7%
多様な性に関する学校教育、社会教育の充実	443	38	53	79	85	100	82	6	21.6%	8.6%	12.0%	17.8%	19.2%	22.6%	18.5%	1.4%
履歴書や申請書類等の性別記載欄をなくす	131	17	15	20	27	35	16	1	6.4%	13.0%	11.5%	15.3%	20.6%	26.7%	12.2%	0.8%
性的少数者に関する法整備を進める	252	24	34	41	51	57	43	2	12.3%	9.5%	13.5%	16.3%	20.2%	22.6%	17.1%	0.8%
トイレ、更衣室等の設備の整備	231	28	34	41	42	51	34	1	11.2%	12.1%	14.7%	17.7%	18.2%	22.1%	14.7%	0.4%
性的少数者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	248	19	27	43	40	58	58	3	12.1%	7.7%	10.9%	17.3%	16.1%	23.4%	23.4%	1.2%
性的少数者の人権を守るための啓発活動の充実	64	7	5	9	10	17	15	1	3.1%	10.9%	7.8%	14.1%	15.6%	26.6%	23.4%	1.6%
性的少数者やその家族のための相談・支援体制の充実	199	14	19	27	36	56	46	1	9.7%	7.0%	9.5%	13.6%	18.1%	28.1%	23.1%	0.5%
その他	6	0	0	1	1	2	2	0	0.3%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%
わからない	243	6	17	34	45	62	74	5	11.8%	2.5%	7.0%	14.0%	18.5%	25.5%	30.5%	2.1%
性的少数者の人権を守るために必要だと思うことは特にない	30	1	2	4	7	7	9	0	1.5%	3.3%	6.7%	13.3%	23.3%	23.3%	30.0%	0.0%
無回答	60	1	2	3	5	15	30	4	2.9%	1.7%	3.3%	5.0%	8.3%	25.0%	50.0%	6.7%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16								
回答計	2054	161	224	335	381	493	435	25								

## 13 市の取り組みに関すること

問 37 今の沼田市は、市民一人ひとりの人権が尊重された住みやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)

今の沼田市は、市民一人ひとりの人権が尊重された住みやすいまちだと思うかについては、「どちらともいえない」が32.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.4%、「そう思う」「そうは思わない」が6.3%となっています

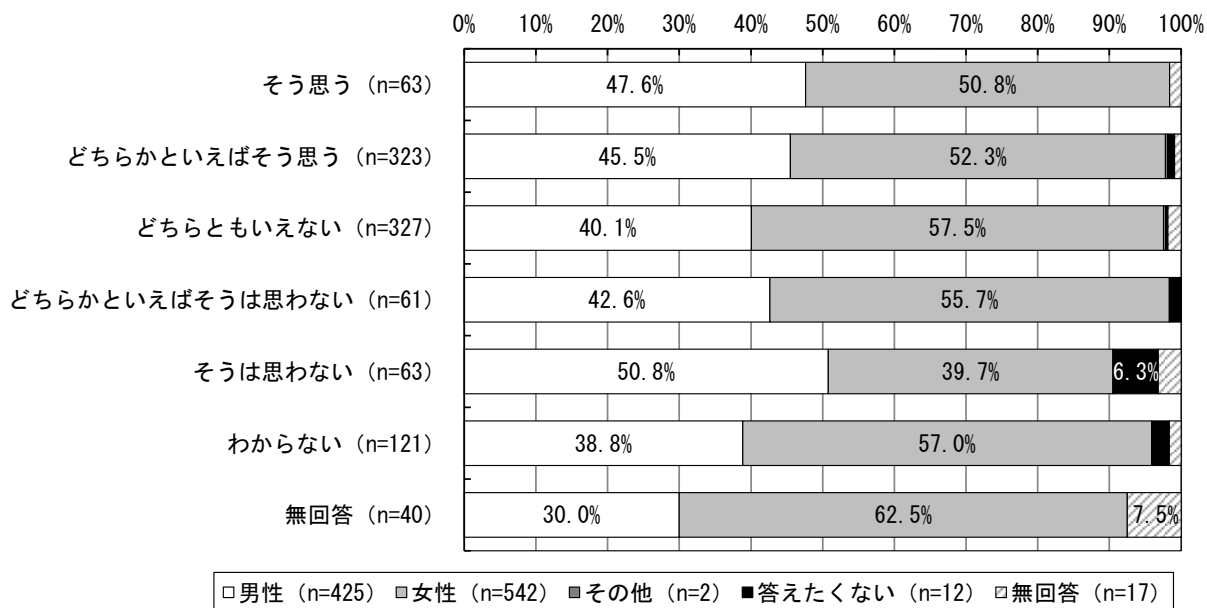


項目	度数	構成比
そう思う	63	6.3%
どちらかといえばそう思う	323	32.4%
どちらともいえない	327	32.8%
どちらかといえばそうは思わない	61	6.1%
そうは思わない	63	6.3%
わからない	121	12.1%
無回答	40	4.0%
合計	998	100.0%

○市民意識調査結果

**問 37 性別クロス**

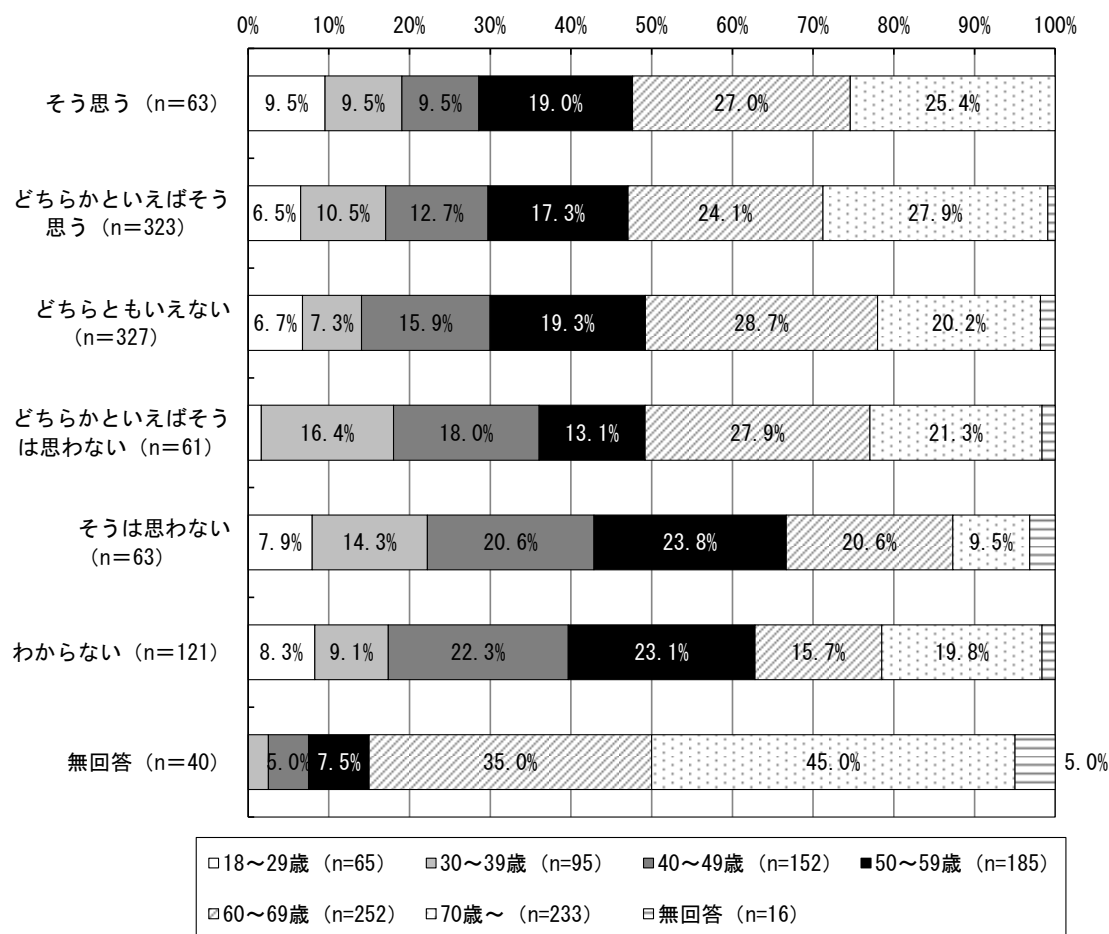
今の沼田市は、市民一人ひとりの人権が尊重された住みやすいまちだと思うかについて性別で見ると、最も回答が多かった「どちらともいえない」を選んだ327人のうち、「男性」が40.1%、「女性」が57.5%となっています。



項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(構成比)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
そう思う	63	30	32	0	0	1	そう思う	6.3%	47.6%	50.8%	0.0%	0.0%	1.6%
どちらかといえばそう思う	323	147	169	1	3	3	どちらかといえばそう思う	32.4%	45.5%	52.3%	0.3%	0.9%	0.9%
どちらともいえない	327	131	188	1	1	6	どちらともいえない	32.8%	40.1%	57.5%	0.3%	0.3%	1.8%
どちらかといえばそうは思わない	61	26	34	0	1	0	どちらかといえばそうは思わない	6.1%	42.6%	55.7%	0.0%	1.6%	0.0%
そうは思わない	63	32	25	0	4	2	そうは思わない	6.3%	50.8%	39.7%	0.0%	6.3%	3.2%
わからない	121	47	69	0	3	2	わからない	12.1%	38.8%	57.0%	0.0%	2.5%	1.7%
無回答	40	12	25	0	0	3	無回答	4.0%	30.0%	62.5%	0.0%	0.0%	7.5%
合計	998	425	542	2	12	17	合計						

**問 37 年代別クロス**

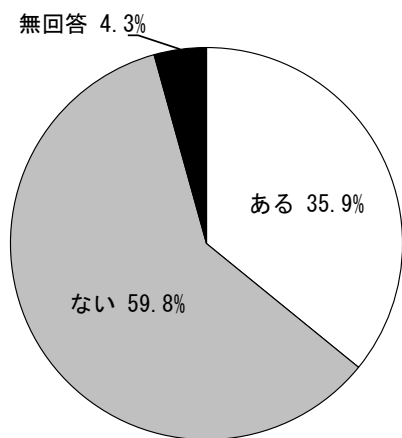
今の沼田市は、市民一人ひとりの人権が尊重された住みやすいまちだと思うかについて年代別で見ると、最も回答の多かった「どちらともいえない」を選んだ327人のうち、「60～69歳」が28.7%と最も多く、次いで「70歳～」が20.2%、「50～59歳」が19.3%となっています。



項目	全体	項目(構成比)							全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答								
そう思う	63	6.3%	9.5%	9.5%	9.5%	19.0%	27.0%	25.4%	0.0%							
どちらかといえばそう思う	323	32.4%	6.5%	10.5%	12.7%	17.3%	24.1%	27.9%	0.9%							
どちらともいえない	327	32.8%	6.7%	7.3%	15.9%	19.3%	28.7%	20.2%	1.8%							
どちらかといえばそう思わない	61	6.1%	1.6%	16.4%	18.0%	13.1%	27.9%	21.3%	1.6%							
そうは思わない	63	6.3%	7.9%	14.3%	20.6%	23.8%	20.6%	9.5%	3.2%							
わからない	121	12.1%	8.3%	9.1%	22.3%	23.1%	15.7%	19.8%	1.7%							
無回答	40	4.0%	0.0%	2.5%	5.0%	7.5%	35.0%	45.0%	5.0%							
合計	998															

**問 38 市の広報やホームページの人権に関する記事を読んだことがありますか。(○は1つだけ)**

市の広報やホームページの人権に関する記事を読んだことがあるかについては、「ない」が59.8%「ある」が35.9%となっています。

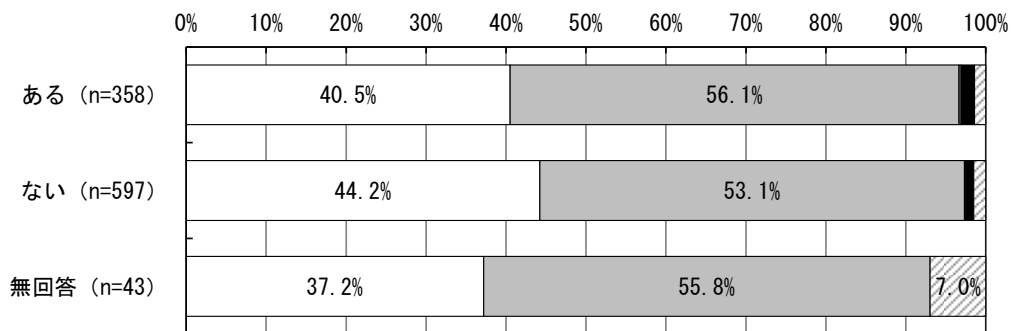


項目	度数	構成比
ある	358	35.9%
ない	597	59.8%
無回答	43	4.3%
合計	998	100.0%

全体 (n=998)

**問 38 性別クロス**

市の広報やホームページの人権に関する記事を読んだことがあるかについて性別で見ると、「ない」を選んだ597人のうち、「男性」が44.2%、「女性」が53.1%となっています。



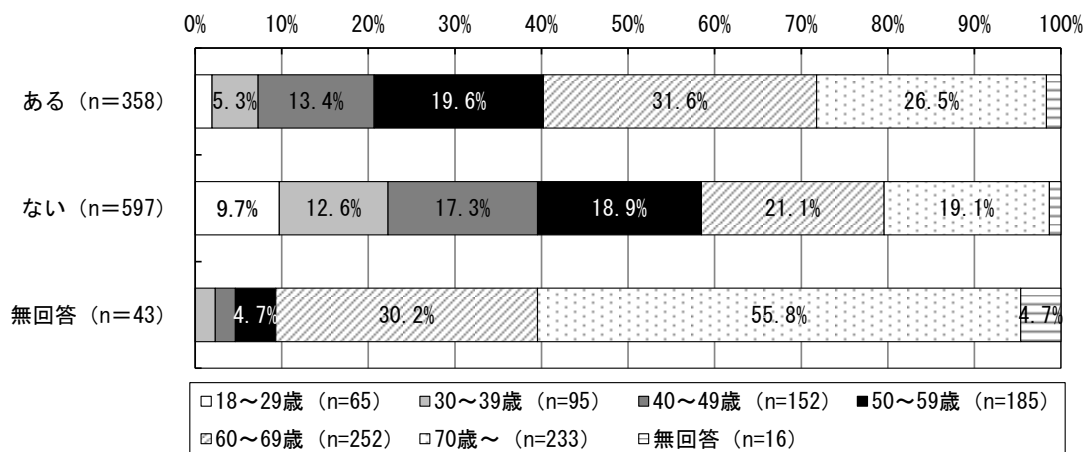
□男性 (n=425) □女性 (n=542) ■その他 (n=2) ■答えたくない (n=12) □無回答 (n=17)

項目(度数)	性別						項目(構成比)	性別					
	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答		全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
ある	358	145	201	1	6	5	ある	35.9%	40.5%	56.1%	0.3%	1.7%	1.4%
ない	597	264	317	1	6	9	ない	59.8%	44.2%	53.1%	0.2%	1.0%	1.5%
無回答	43	16	24	0	0	3	無回答	4.3%	37.2%	55.8%	0.0%	0.0%	7.0%
合計	998	425	542	2	12	17	合計						



**問 38 年代別クロス**

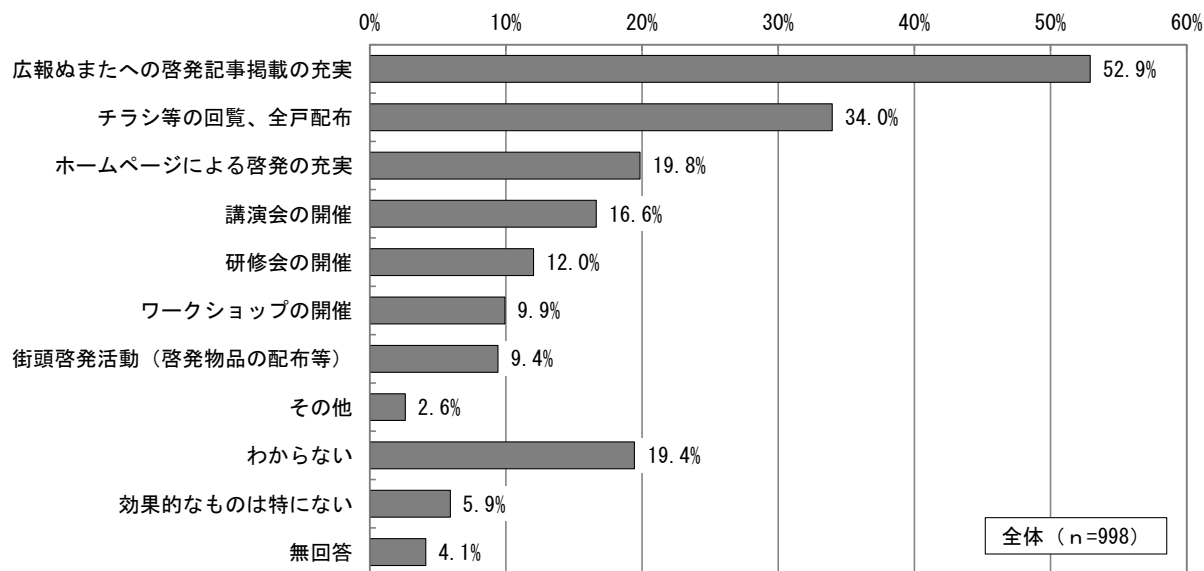
市の広報やホームページの人権に関する記事を読んだことがあるかについて年代別でみると、「ない」を選んだ597人のうち、「60～69歳」が21.1%と最も多く、次いで「70歳～」が19.1%、「50～59歳」が18.9%となっています。



項目	全体	項目(構成比)						全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答										
ある	358	7	19	48	70	113	95	6	知っている	35.9%	2.0%	5.3%	13.4%	19.6%	31.6%	26.5%	1.7%
ない	597	58	75	103	113	126	114	8	知らない	59.8%	9.7%	12.6%	17.3%	18.9%	21.1%	19.1%	1.3%
無回答	43	0	1	1	2	13	24	2	無回答	4.3%	0.0%	2.3%	2.3%	4.7%	30.2%	55.8%	4.7%
合計	998	65	95	152	185	252	233	16	合計								

**問 39 人権啓発を推進するために、市がどのような方法による啓発活動を行うことが効果的だと思いますか。(○はいくつでも)**

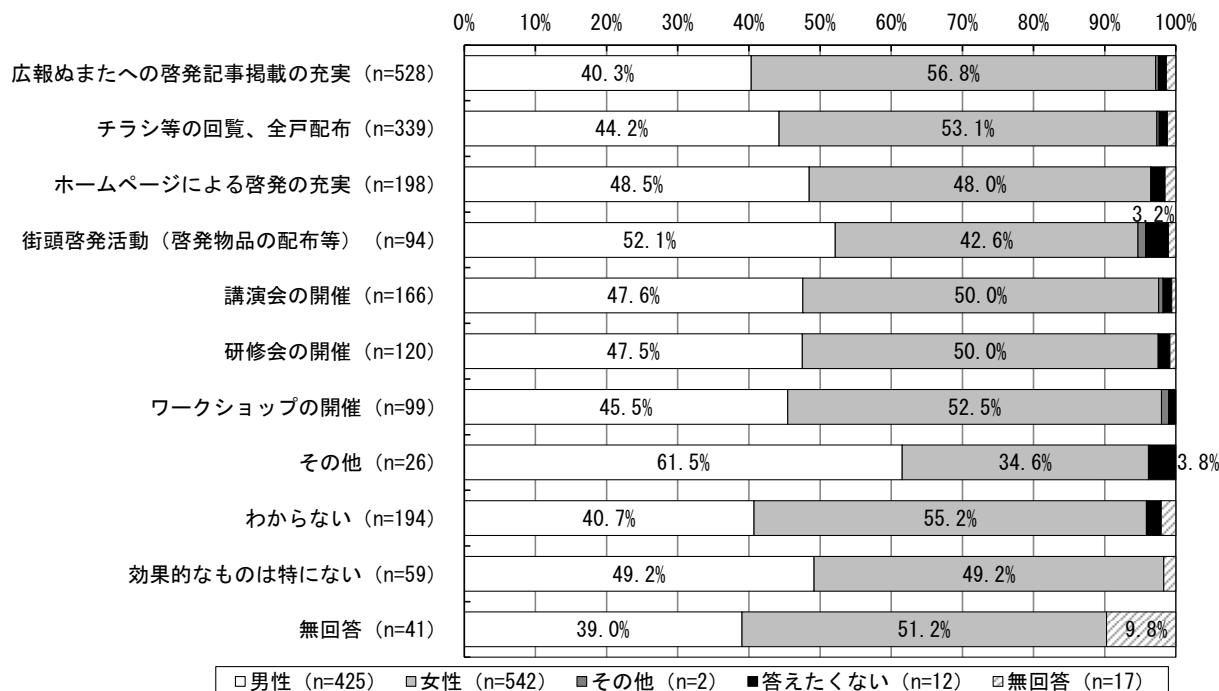
人権啓発を推進するために、市がどのような方法による啓発活動を行うことが効果的だと思うかについては、「広報ぬまたへの啓発記事掲載の充実」が52.9%と最も多く、次いで「チラシ等の回覧、全戸配布」が34.0%、「ホームページによる啓発の充実」が19.8%となっています。



項目	度数	比率
広報ぬまたへの啓発記事掲載の充実	528	52.9%
チラシ等の回覧、全戸配布	339	34.0%
ホームページによる啓発の充実	198	19.8%
講演会の開催	166	16.6%
研修会の開催	120	12.0%
ワークショップの開催	99	9.9%
街頭啓発活動（啓発物品の配布等）	94	9.4%
その他	26	2.6%
わからない	194	19.4%
効果的なものは特にない	59	5.9%
無回答	41	4.1%
回答者数	998	
回答計	1864	

**問 39 性別クロス**

人権啓発を推進するために、市がどのような方法による啓発活動を行うことが効果的だと思うかについて性別で見ると、最も回答の多かった「広報ぬまたへの啓発記事掲載の充実」を選んだ528人のうち、「男性」が40.3%、「女性」が56.8%となっています。

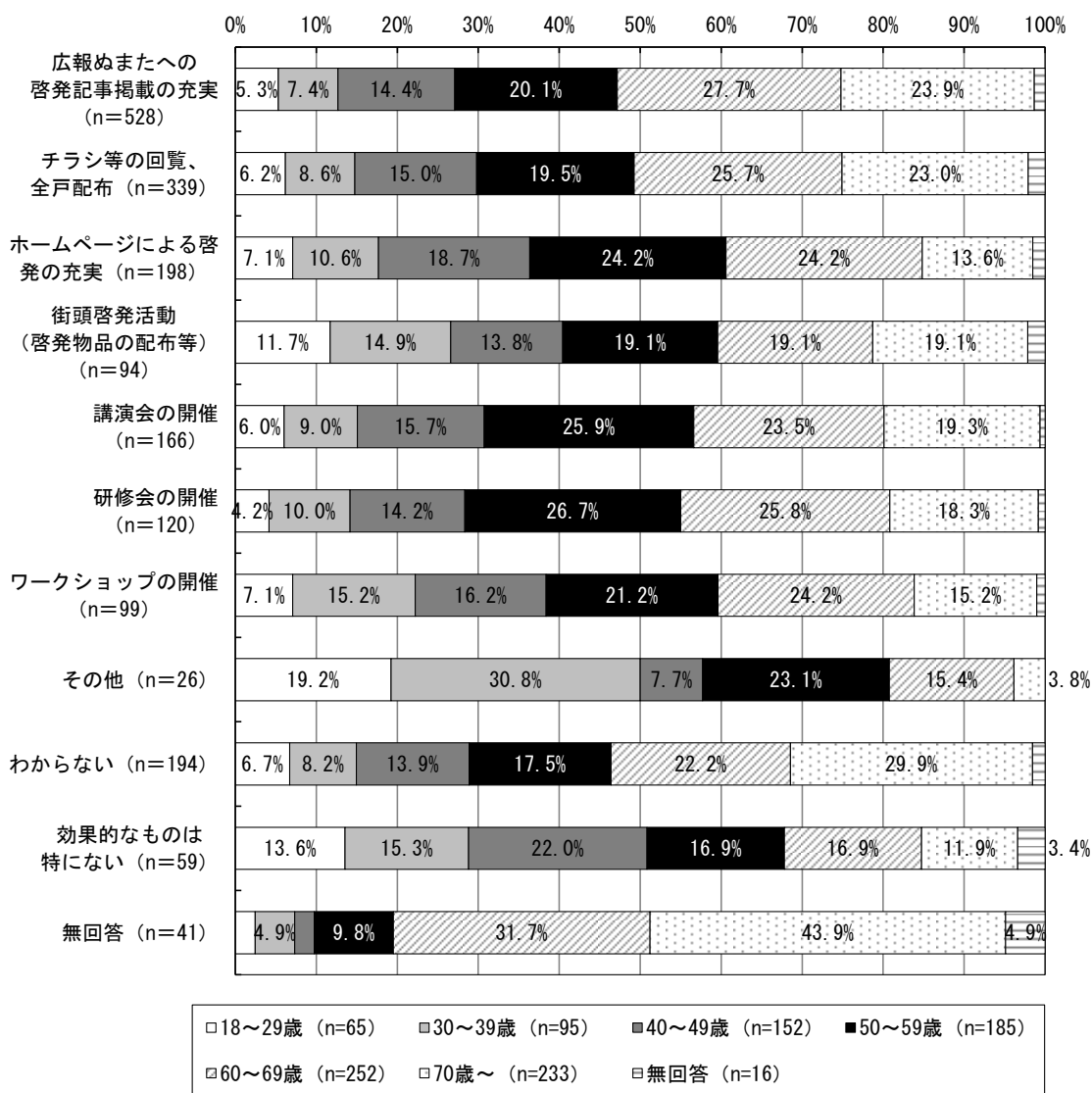


項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
広報ぬまたへの啓発記事掲載の充実	528	213	300	2	6	7	広報ぬまたへの啓発記事掲載の充実	28.3%	40.3%	56.8%	0.4%	1.1%	1.3%
チラシ等の回覧、全戸配布	339	150	180	1	4	4	チラシ等の回覧、全戸配布	18.2%	44.2%	53.1%	0.3%	1.2%	1.2%
ホームページによる啓発の充実	198	96	95	0	4	3	ホームページによる啓発の充実	10.6%	48.5%	48.0%	0.0%	2.0%	1.5%
街頭啓発活動(啓発物品の配布等)	94	49	40	1	3	1	街頭啓発活動(啓発物品の配布等)	5.0%	52.1%	42.6%	1.1%	3.2%	1.1%
講演会の開催	166	79	83	1	2	1	講演会の開催	8.9%	47.6%	50.0%	0.6%	1.2%	0.6%
研修会の開催	120	57	60	0	2	1	研修会の開催	6.4%	47.5%	50.0%	0.0%	1.7%	0.8%
ワークショップの開催	99	45	52	1	1	0	ワークショップの開催	5.3%	45.5%	52.5%	1.0%	1.0%	0.0%
その他	26	16	9	0	1	0	その他	1.4%	61.5%	34.6%	0.0%	3.8%	0.0%
わからない	194	79	107	0	4	4	わからない	10.4%	40.7%	55.2%	0.0%	2.1%	2.1%
効果的なものは特にない	59	29	29	0	0	1	効果的なものは特にない	3.2%	49.2%	49.2%	0.0%	0.0%	1.7%
無回答	41	16	21	0	0	4	無回答	2.2%	39.0%	51.2%	0.0%	0.0%	9.8%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	1864	829	976	6	27	26	回答計						

○市民意識調査結果

**問 39 年代別クロス**

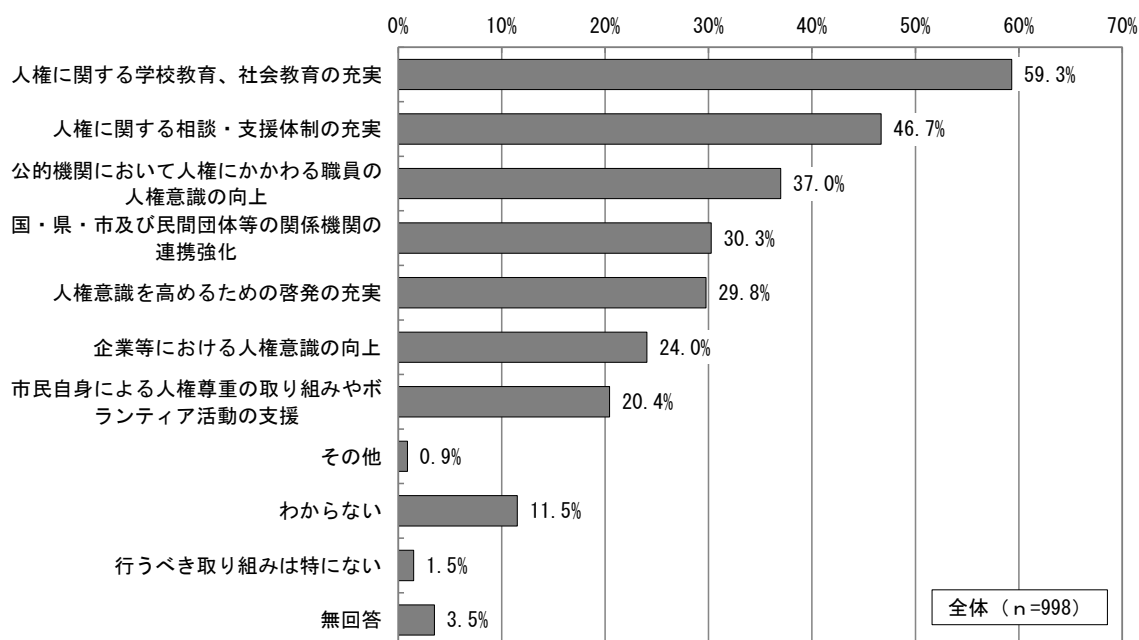
人権啓発を推進するために、市がどのような方法による啓発活動を行うことが効果的だと思うかについて年代別でみると、最も回答の多かった「広報ぬまたへの啓発記事掲載の充実」を選んだ528人のうち、「60～69歳」が27.7%と最も多く、次いで「70歳～」が23.9%、「50～59歳」が20.1%となっています。



項目	全体	年代別							項目(比率)	年代別(比率)							
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答		全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答
広報ぬまたへの啓発記事掲載の充実	528	28	39	76	106	146	126	7	広報ぬまたへの啓発記事掲載の充実	28.3%	5.3%	7.4%	14.4%	20.1%	27.7%	23.9%	1.3%
チラシ等の回覧、全戸配布	339	21	29	51	66	87	78	7	チラシ等の回覧、全戸配布	18.2%	6.2%	8.6%	15.0%	19.5%	25.7%	23.0%	2.1%
ホームページによる啓発の充実	198	14	21	37	48	48	27	3	ホームページによる啓発の充実	10.6%	7.1%	10.6%	18.7%	24.2%	24.2%	13.6%	1.5%
街頭啓発活動(啓発物品の配布等)	94	11	14	13	18	18	18	2	街頭啓発活動(啓発物品の配布等)	5.0%	11.7%	14.9%	13.8%	19.1%	19.1%	19.1%	2.1%
講演会の開催	166	10	15	26	43	39	32	1	講演会の開催	8.9%	6.0%	9.0%	15.7%	25.9%	23.5%	19.3%	0.6%
研修会の開催	120	5	12	17	32	31	22	1	研修会の開催	6.4%	4.2%	10.0%	14.2%	26.7%	25.8%	18.3%	0.8%
ワークショップの開催	99	7	15	16	21	24	15	1	ワークショップの開催	5.3%	7.1%	15.2%	16.2%	21.2%	24.2%	15.2%	1.0%
その他	26	5	8	2	6	4	1	0	その他	1.4%	19.2%	30.8%	7.7%	23.1%	15.4%	3.8%	0.0%
わからない	194	13	16	27	34	43	58	3	わからない	10.4%	6.7%	8.2%	13.9%	17.5%	22.2%	29.9%	1.5%
効果的なものは特にない	59	8	9	13	10	10	7	2	効果的なものは特にない	3.2%	13.6%	15.3%	22.0%	16.9%	16.9%	11.9%	3.4%
無回答	41	1	2	1	4	13	18	2	無回答	2.2%	2.4%	4.9%	2.4%	9.8%	31.7%	43.9%	4.9%
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数								
回答計	1864	123	180	279	388	463	402	29	回答計								

### 問 40 「人権が守られる社会」をつくるためには、市はどのような取り組みを行うべきだと思いますか。（〇はいくつでも）

「人権が守られる社会」をつくるためには、市はどのような取り組みを行うべきだと思うかについては、「人権に関する学校教育、社会教育の充実」が59.3%と最も多く、次いで「人権に関する相談・支援体制の充実」が46.7%、「公的機関において人権にかかわる職員の人権意識の向上」が37.0%となっています。

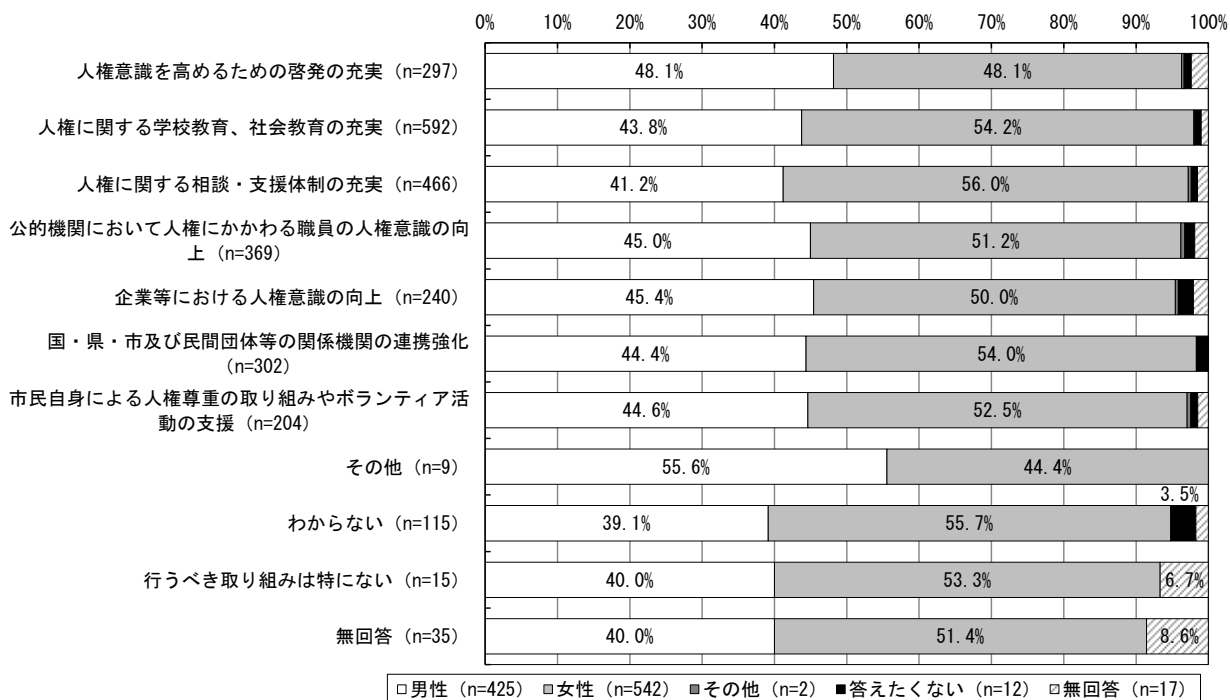


項目	度数	比率
人権に関する学校教育、社会教育の充実	592	59.3%
人権に関する相談・支援体制の充実	466	46.7%
公的機関において人権にかかわる職員の人権意識の向上	369	37.0%
国・県・市及び民間団体等の関係機関の連携強化	302	30.3%
人権意識を高めるための啓発の充実	297	29.8%
企業等における人権意識の向上	240	24.0%
市民自身による人権尊重の取り組みやボランティア活動の支援	204	20.4%
その他	9	0.9%
わからない	115	11.5%
行うべき取り組みは特にない	15	1.5%
無回答	35	3.5%
回答者数	998	
回答計	2644	

○市民意識調査結果

**問 40 性別クロス**

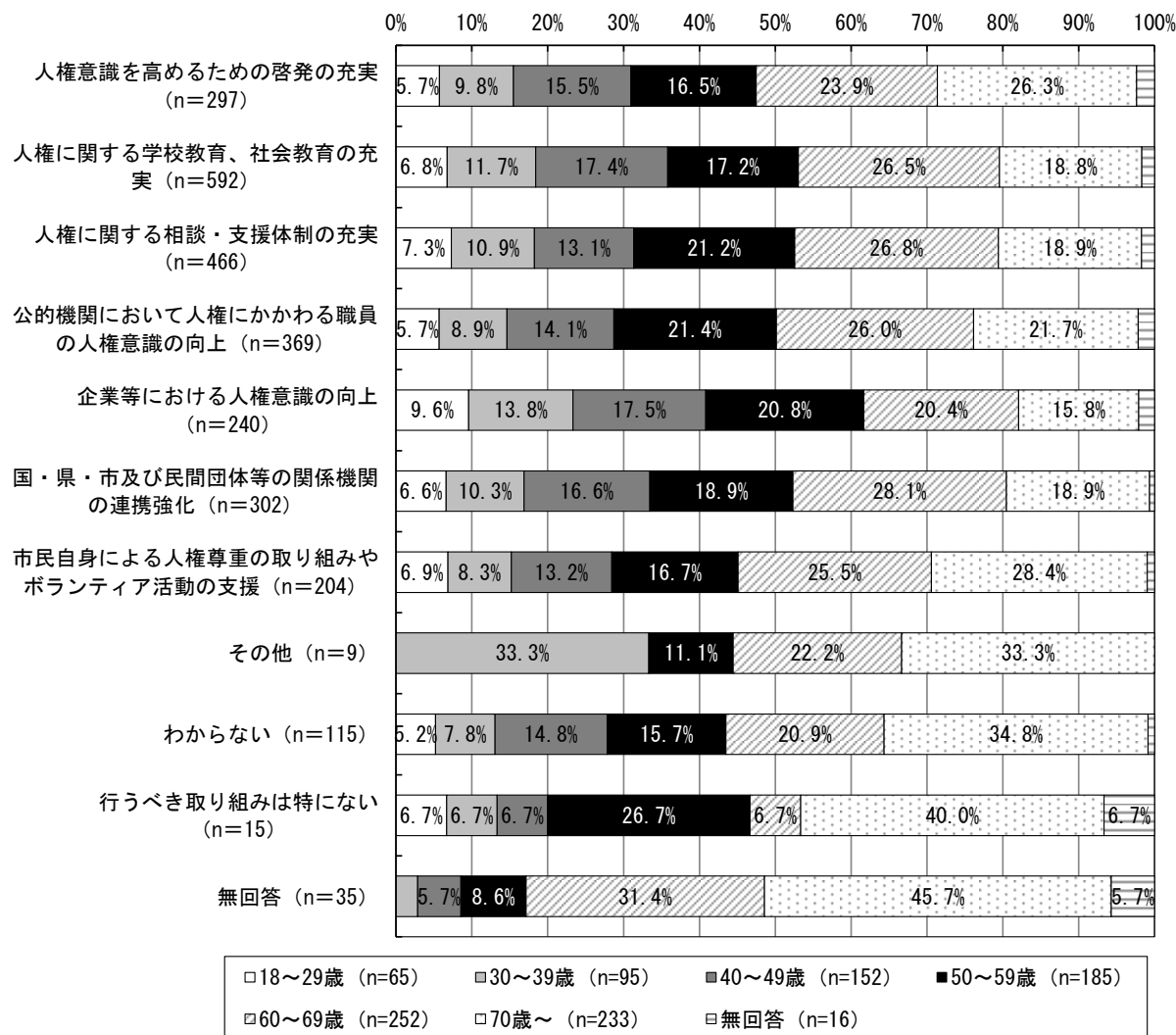
「人権が守られる社会」をつくるためには、市はどのような取り組みを行うべきだと思うかについて性別でみると、最も回答の多かった「人権に関する学校教育、社会教育の充実」を選んだ592人のうち、「男性」が43.8%、「女性」が54.2%となっています。



項目(度数)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答	項目(比率)	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
人権意識を高めるための啓発の充実	297	143	143	1	3	7	人権意識を高めるための啓発の充実	11.2%	48.1%	48.1%	0.3%	1.0%	2.4%
人権に関する学校教育、社会教育の充実	592	259	321	1	5	6	人権に関する学校教育、社会教育の充実	22.4%	43.8%	54.2%	0.2%	0.8%	1.0%
人権に関する相談・支援体制の充実	466	192	261	2	4	7	人権に関する相談・支援体制の充実	17.6%	41.2%	56.0%	0.4%	0.9%	1.5%
公的機関において人権にかかわる職員の人権意識の向上	369	166	189	2	5	7	公的機関において人権にかかわる職員の人権意識の向上	14.0%	45.0%	51.2%	0.5%	1.4%	1.9%
企業等における人権意識の向上	240	109	120	1	5	5	企業等における人権意識の向上	9.1%	45.4%	50.0%	0.4%	2.1%	2.1%
国・県・市及び民間団体等の関係機関の連携強化	302	134	163	0	5	0	国・県・市及び民間団体等の関係機関の連携強化	11.4%	44.4%	54.0%	0.0%	1.7%	0.0%
市民自身による人権尊重の取り組みやボランティア活動の支援	204	91	107	1	2	3	市民自身による人権尊重の取り組みやボランティア活動の支援	7.7%	44.6%	52.5%	0.5%	1.0%	1.5%
その他( )	9	5	4	0	0	0	その他( )	0.3%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	115	45	64	0	4	2	わからない	4.3%	39.1%	55.7%	0.0%	3.5%	1.7%
行うべき取り組みは特にない	15	6	8	0	0	1	行うべき取り組みは特にない	0.6%	40.0%	53.3%	0.0%	0.0%	6.7%
無回答	35	14	18	0	0	3	無回答	1.3%	40.0%	51.4%	0.0%	0.0%	8.6%
回答者数	998	425	542	2	12	17	回答者数						
回答計	2644	1164	1398	8	33	41	回答計						

**問 40 年代別クロス**

「人権が守られる社会」をつくるためには、市はどのような取り組みを行うべきだと思うかについて年代別でみると、最も回答の多かった「人権に関する学校教育、社会教育の充実」を選んだ592人のうち、「60～69歳」が26.5%と最も多く、次いで「70歳～」が18.8%、「40～49歳」が17.4%となっています。



項目	全体	年代別							項目(比率)	全体	年代別							無回答
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～		
人権意識を高めるための啓発の充実	297	17	29	46	49	71	78	7	人権意識を高めるための啓発の充実	11.2%	5.7%	9.8%	15.5%	16.5%	23.9%	26.3%	2.4%	
人権に関する学校教育、社会教育の充実	592	40	69	103	102	157	111	10	人権に関する学校教育、社会教育の充実	22.4%	6.8%	11.7%	17.4%	17.2%	26.5%	18.8%	1.7%	
人権に関する相談・支援体制の充実	466	34	51	61	99	125	88	8	人権に関する相談・支援体制の充実	17.6%	7.3%	10.9%	13.1%	21.2%	26.8%	18.9%	1.7%	
公的機関において人権にかかわる職員の人権意識の向上	369	21	33	52	79	96	80	8	公的機関において人権にかかわる職員の人権意識の向上	14.0%	5.7%	8.9%	14.1%	21.4%	26.0%	21.7%	2.2%	
企業等における人権意識の向上	240	23	33	42	50	49	38	5	企業等における人権意識の向上	9.1%	9.6%	13.8%	17.5%	20.8%	20.4%	15.8%	2.1%	
国・県・市及び民間団体等の関係機関の連携強化	302	20	31	50	57	85	57	2	国・県・市及び民間団体等の関係機関の連携強化	11.4%	6.6%	10.3%	16.6%	18.9%	28.1%	18.9%	0.7%	
市民自身による人権尊重の取り組みやボランティア活動の支援	204	14	17	27	34	52	58	2	市民自身による人権尊重の取り組みやボランティア活動の支援	7.7%	6.9%	8.3%	13.2%	16.7%	25.5%	28.4%	1.0%	
その他	9	0	3	0	1	2	3	0	その他	0.3%	0.0%	33.3%	0.0%	11.1%	22.2%	33.3%	0.0%	
わからない	115	6	9	17	18	24	40	1	わからない	4.3%	5.2%	7.8%	14.8%	15.7%	20.9%	34.8%	0.9%	
行うべき取り組みは特にない	15	1	1	1	4	1	6	1	行うべき取り組みは特にない	0.6%	6.7%	6.7%	6.7%	26.7%	6.7%	40.0%	6.7%	
無回答	35	0	1	2	3	11	16	2	無回答	1.3%	0.0%	2.9%	5.7%	8.6%	31.4%	45.7%	5.7%	
回答者数	998	65	95	152	185	252	233	16	回答者数									
回答計	2644	176	277	401	496	673	575	46	回答計									

---

---

## Ⅲ. アンケート調査結果（記述編）

---

---



**問3. どのような人権問題に関心がありますか。**

## ・その他

- 精神疾患者の人権（女性、50～59歳）
- 自分の人権（男性、70歳～）
- 地域・近隣での人権侵害（女性、60～69歳）
- 病気《がん、精神》の方の人権（女性、50～59歳）
- 生存権（答えたくない、50～59歳）
- 宗教（男性、30～39歳）
- 男性の人権（男性、50～59歳）
- ほぼすべて（女性、40～49歳）
- 死刑制度（男性、18～19歳）
- 精神的な悩みを抱えている（例えば、発達障害など）人たちの深い悩みを差別的に扱われるのは悲しい。教師等がその障害を理解しようとせず個性として理解しようとしめない。（女性、60～69歳）
- わからない（女性、70歳～）
- ヤクザとのつながりの有る人物が、会社員などに紛れこんでいる（男性、50～59歳）

**問5. 自分の人権が侵害されたと感じたのは、どのようなことですか。**

## ・その他

- 保護者のクレーム（女性、60～69歳）
- コロナ、マスク着用、消毒、ワクチン、行動規制（男性、60～69歳）
- 親の介護を当たり前のようになされている（女性、50～59歳）
- 非正規を理由としたもの（女性、40～49歳）
- 仕事にかかわるもの（男性、30～39歳）
- 嫁に対するハラスメント（女性、50～59歳）
- 宗教を理由として（男性、50～59歳）
- パワハラ（女性、70歳～）
- 精神的DV（元夫による）（女性、40～49歳）
- DV・ハラスメント（女性、60～69歳）
- 思想及び、良心にかかわること。（女性、50～59歳）
- 職場内のマタニティーハラスメント（女性、30～39歳）
- 職場（女性、50～59歳）
- 生存権（答えたくない、50～59歳）
- ない（男性、70歳～）
- 普通養子縁組の苗字を選べない事。（女性、50～59歳）
- 両親の離婚の関係（男性、20～29歳）
- 上司（支店長）に子供のことは犠牲にしてくれと言われたこと。（女性、40～49歳）
- 会社の人からのパワハラ（女性、20～29歳）
- 小学生のとき、先生（男性、60～69歳）
- 仕事上の立場の違い（女性、30～39歳）

○市民意識調査結果

- 職場にて（男性、50～59歳）
- 病気や未婚を理由とするもの（女性、50～59歳）
- 職場で、いやがらせ 答えたくないほど精神的ダメージを受けた（男性、50～59歳）
- 以前勤務していた同僚による言葉がけ（女性、40～49歳）
- 政治家による高齢者いじめ（女性、70歳～）
- 職業や学歴のことでバカにされた。（女性、無回答）

**問7. 自分の人権が侵害されたと感じた時、どこ（誰）に相談しましたか。**

---

・その他

- 市の教育委員会（女性、70歳～）
- 役所の職員に一蹴された。（答えたくない、50～59歳）
- 教育関係の人（女性、50～59歳）

**問8. 相談しなかったのはなぜですか。**

---

・その他

- 平等に関する提案をしたが却下された（男性、60～69歳）
- 相談する事が怖くて出来なかった。（女性、30～39歳）
- 周囲に迷惑をかけたくない（特に家族）、我慢した。（女性、70歳～）
- 時間が経過される中で解決した。（男性、60～69歳）
- 子供だったので。（女性、50～59歳）
- 人が人を傷つけるということは（言動）普通にあるから。（女性、60～69歳）
- 男女の不当な扱いは、大小様々常にあるので、そういう世間だと思ってあきらめている。（女性、50～59歳）
- それほどの事ではないと思った（男性、60～69歳）

**問9. 女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。**

---

・その他

- 近所の暴言（女性、70歳～）
- 女性の人権についてと問われる事自体、差別されている。（女性、70歳～）
- パート職の待遇（男性、60～69歳）
- 生理周期による体調の変化に対する理解不足。スポーツなどで男性より練習時間の多い現実。（女性、50～59歳）
- 最近では女性も働き高収入の人もいるから全てではない！（男性、40～49歳）
- 男女平等（男性、70歳～）

**問 10. 女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。**

## ・その他

- 男性の意識改革（女性、50～59歳）
- 女性だから得をしてきた私にとって、差別化しない事の方が不利益である事もあるので、そこまで女性の人権を守るべきとは主張はしなくて良いと思っています。（個人の見解です）（女性、30～39歳）
- 全てにおいての平等は不可能とし、個別の棲み分けが必要。（男性、30～39歳）
- 世代別、価値観の違い（男性、30～39歳）
- 女性自身が現状に甘えている。（女性、70歳～）
- 問9でマルを付けたものに対する対策全て（女性、50～59歳）

**問 11. 子どもの人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。**

## ・その他

- 家庭の裕福さによって学歴が限られる事。（男性、40～49歳）
- 子どもを平等に扱う取り組み（男性、60～69歳）
- いろいろあるので、はっきり言えない。、、、（女性、40～49歳）

**問 12. 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。**

## ・その他

- ひどい体罰はダメだが、しつけとしての体罰は必要（男性、60～69歳）
- 相談する相談所や支援体制をしている等、地域等の人に周知されない（男性、70歳～）
- 携帯電話が一番悪い（男性、30～39歳）
- 中学、高校、大学の受験制度を変える。（男性、40～49歳）
- 学校での道徳をしっかりやるべき。体罰は良くないが、指導等は強く行う方が良い。（男性、30～39歳）
- 学校の先生を選ぶ時、成績だけではなく、人柄もよく見て採用してもらいたい。（女性、50～59歳）
- 経済格差をなくす。（男性、40～49歳）
- 子供の人権は親にあるため、法的に子供の人権を作る。（男性、60～69歳）
- 教師はもっと子供の立場にたって物を考えて欲しい。（女性、60～69歳）
- 教師を増やす。とにかく教師が忙しい。（男性、70歳～）
- 人権侵害は法に触れるという教育。（女性、50～59歳）
- 親のいない子供が経済的な理由で教育に差が生じない仕組みづくり。（男性、50～59歳）
- 経済的支援（男性、20～29歳）
- いじめの原因を探る（男性、70歳～）
- 教師の子どもに対する言葉の暴力、いじめを見て、絶望した。（女性、70歳～）

**問 13. 高齢者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。**

---

・その他

- 経済的支援（男性、50～59歳）
- 家庭内での孤立（女性、70歳～）
- 医療費が高い。やっと暮らしている。（男性、50～59歳）
- 交通の不便さ（女性、30～39歳）
- 高齢者に対して市としてアナウンスが少ない（男性、60～69歳）
- 公共施設のエレベーターが少ない（コミュニティーセンター）など（男性、60～69歳）
- 内臓の障害（男性、70歳～）
- メディア、政治、、は税金のほとんどを高齢者が使っていると言う考え。その結果若者の負担になり、なげやりになっている 将来が見えない報道が言っていることにくずんとしている。（女性、70歳～）
- ごみの収集場所が遠い。（女性、70歳～）

**問 14. 高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。**

---

・その他

- 運転免許証を返納した高齢者への支援（バスの本数を増やす等）（女性、30～39歳）
- ユニバーサルデザインを公共施設に適用（男性、50～59歳）
- 車がなくても生活できる環境（女性、40～49歳）
- 公共交通機関の拡充（男性、40～49歳）
- 医療費や介護保険料を下げる。（自己負担分）（男性、50～59歳）
- 近年、身勝手、わがままな自己中心の高齢者も多い！車の事故など。（男性、40～49歳）
- 多くのボランティア（男性、70歳～）
- 問13で答えたように市民レベルで理解と認識とかではない、日本と言う国のありようがっかりしている。高齢者の人権はないと言うことがあたりまえのこと（女性、70歳～）

**問 15. 障がい者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。**

---

・その他

- 手助けしたくとも、どうしたら良いのか解らない。（女性、70歳～）
- 3に付随するが、家庭が障がいを認めてあげない。（女性、30～39歳）
- 障がい者施設が多く、作る（男性、70歳～）
- ○をつけましたが、人それぞれなので、よくわからないし なにも言えません！！、、、（女性、40～49歳）
- 障がい者がもっともって町の中に安心してでられる町づくり（女性、70歳～）

**問 16. 障がい者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。**

---

・その他

- 雇用後の継続的な支援（男性、20～29歳）
- 市からの支援が少ない（男性、70歳～）
- 社会全般の支援の充実（女性、50～59歳）

- 職場、各団体での、事前に健常者への理解を得るためのセミナー等を行う。(女性、40～49歳)
- 障がい者の皆さんはもっともっと前に出て、健常者と日常的にかかわることで人権も尊重されるのではないかと思う(女性、70歳～)

**問 18. 同和問題において、人権上問題があると思うことはどのようなことについてですか。**

---

・その他

- 学校等では学んだものの、身近に「同和問題」「部落差別」があると感じた事がないので今もこの問題があるとの自覚がない(女性、60～69歳)
- 差別的ならくがきなど(男性、50～59歳)
- 現在60代の小生が20代頃までは、沼田市においても上記1～5の存在を強く感じていた。現在日常生活で1～5の存在を感じることはない。(男性、60～69歳)
- 職場で定期的に研修があったが、今現在もこの差別があるのか身近になっていないのでわからない。(女性、50～59歳)
- 知ってはいるが、自分のまわりで感じた事がなくわからない(女性、60～69歳)
- 名称だけ知っている(女性、70歳～)

**問 19. 同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。**

---

・その他

- 学校での道徳の時間の復活(男性、40～49歳)
- えせ同和による悪いイメージをなくす(男性、60～69歳)
- 上記問18での回答のとおり、あまり自覚がなかったので具体的な考えは今はない(女性、60～69歳)
- タブーにしない。同和を利用する人たちへの指導も必要(男性、50～59歳)
- 同和問題は知っているが、身近での問題と感じていないため、この地域では問題になっていないと思う。(女性、40～49歳)
- 学校で教えなければ、皆知らないと思う。(女性、50～59歳)
- 同和問題を見聞きする機会は、今までの私の周囲ではなかった。(女性、50～59歳)
- 学校教育、子供の時から教える。差別はいけない。(女性、60～69歳)
- 年配の方だけだと思う(女性、50～59歳)
- 若い人は知らないのでは？学校教育で取り上げるのは疑問。(女性、70歳～)
- 過去のことで現代で問題視しないこと(男性、40～49歳)
- 60代ですが学校では当たり障りのない学習をしました。全国にこんなに差別があるとは思わなかったです。もう少し深く教えてほしかった。(女性、60～69歳)
- 制度を廃止した方が良いのでは。(男性、60～69歳)

**問 20. 外国人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。**

---

・その他

- 災害時(女性、50～59歳)
- 身近に外国の方がいないのでよくわかりません。(女性、60～69歳)

○市民意識調査結果

- 各地域に外国人の数を公表し、受け入れる体制（男性、60～69歳）

**問 21. 外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。**

---

・その他

- 賃金を上げる（女性、18～19歳）
- 翻訳のアプリ etc の充実によりコミュニケーションを図る場の提供（女性、30～39歳）
- 入国外国人に日本の規則を良く教える。（男性、50～59歳）
- 災害時を想定した、誘導や通知の充実。（女性、50～59歳）
- 日本文化をマニュアル化して国や自治体が指導する。（男性、50～59歳）

**問 22. 感染症患者等の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。**

---

・その他

- マスコミの報道の仕方に問題あり（男性、50～59歳）
- 近所住民による嫌がらせ（男性、30～39歳）
- 身近で感じたことがない。（男性、60～69歳）
- 人権は大事！でもコロナに関してはもう少し情報がほしい！（女性、70歳～）
- ある病院はコロナ患者陽性者は集団部屋に隔離され、軟禁状態であり1つのトイレを集団で使用しているという、事実（男性、50～59歳）
- いろいろ〇をつけましたが、なんとも言えません！！（女性、40～49歳）
- 周囲からの圧力、攻撃（男性、30～39歳）

**問 23. 感染症患者等の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。**

---

・その他

- 病院関係者が一番ひろめている。※沼田中央病院（男性、30～39歳）
- 5番だけでなく、情報として正しい物を伝える。（男性、30～39歳）
- 嫌がらせ、差別に対する刑事罰（男性、30～39歳）
- お金（男性、50～59歳）

**問 24. 犯罪被害者やその家族の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことですか。**

---

・その他

- 家まで特定をされ、逃げられないような状況におちいりざるをえないこと（女性、18～19歳）
- マスコミ：加害者は匿名で、被害者は実名+写真（男性、50～59歳）
- 偏ったメディアの報道（男性、18～19歳）
- 2、、、は絶対反対（女性、70歳～）

**問 25. 犯罪被害者やその家族の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。**

---

・その他

- 早く裁判をし、判決を出し、その問題の話題を社会から忘れさせること（女性、18～19歳）
- ネット上の誹謗中傷の取り締まり等強化（男性、50～59歳）

---

**問 26. 刑を終えて出所した人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。**


---

## ・その他

- 性犯罪は別でGPSを付ける（女性、60～69歳）
- 犯罪者に人権は必要ないと思う。（男性、40～49歳）
- 再犯が増えすぎ（女性、40～49歳）
- 刑の度合い、出所＝更生ではない場合があるので、何とも言えない。（無回答、無回答）

---

**問 30. 刑を終えて出所した人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。**


---

## ・その他

- 問 26.7 と一緒（女性、60～69歳）
- 刑を終えても犯罪者は犯罪者なので必要ないと思う。（男性、40～49歳）
- 性犯罪は治療が必要だと思う。（女性、40～49歳）
- 罪状によって違うから、わからない。（女性、60～69歳）
- 性犯罪に対しては再発防止の為にしきり対応する。（男性、60～69歳）
- 住居の確保（女性、50～59歳）

---

**問 31. インターネットを介した人権侵害において、人権上問題があると思うことはどのようなことですか。**


---

## ・その他

- インターネットを使っていない。（女性、70歳～）
- 自分が SNS で表現したこと、（日常の幸せな日記）を嫉妬されて攻撃を受けた（女性、40～49歳）
- 匿名でネットに上げない（男性、60～69歳）

---

**問 32. インターネットを介した人権侵害を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。**


---

## ・その他

- アカウントを作る際に個人を特定できるようなシステムをつくる（プライバシー管理も充実させる）電話番号登録必須など…（女性、18～19歳）
- 中傷者の情報開示の簡略化（男性、30～39歳）
- 全ては匿名が悪い（男性、50～59歳）
- 法による処罰を（女性、50～59歳）
- 全てのインターネット、タブレットに対し時間制限のやり方をもっと表示してほしい（男性、50～59歳）
- 思いやり（無回答、無回答）
- 未成年SNS使用禁止（女性、40～49歳）
- 警察の捜査能力の向上（男性、18～19歳）
- 匿名だから暴言を吐くのと、実名を晒し、罰則を設ける憲法を作るべき（女性、40～49歳）
- 教育機関でも子ども達への教育を取り入れてほしい。増やしてほしい。（女性、30～39歳）

○市民意識調査結果

- 投稿者を素早く把握でき、被害者が告発しやすいようにする。そして厳罰化の強化。(無回答、無回答)

**問 33. 性的少数者（LGBTQ等）の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。**

---

・その他

【回答者無し】

**問 36. 性的少数者（LGBTQ等）の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。**

---

・その他

- まずすぐに出来る事からすすめて行く（女性、60～69歳）
- 性別記載欄を増やす（女性、50～59歳）
- 性的少数者という言葉がもう差別だと思う。（女性、40～49歳）
- 最近の世論がおかしな方に傾いて来ている用を感じる。（男性、60～69歳）

**問 39. 人権啓発を推進するために、市がどのような方法による啓発活動を行うことが効果的だと思いますか。**

---

・その他

- 自分の身近に対象者不在のため、又、対象人権項目が多く啓発効果を求めにくいので2・チラシ回らんの継続（男性、60～69歳）
- SNS を使った人権の活動等の発展（女性、20～29歳）
- 市は啓発活動を行うだけでは絵に描いた餅となりかねない。そのプロセス、結果、フォロー等が必要と思料される（女性、60～69歳）
- ことさら人権を声高に叫ぶと逆に人権侵害につながる恐れがあるので慎重に（男性、50～59歳）
- 1～5 普段見ない。参加しないから。インスタグラム、Facebook、ticktock、YouTube、ニコニコ動画、ツイッター毎日見てる（男性、30～39歳）
- コロナ感染者の特定が目立っていた。そこの辺のプライバシーが守られていないと思う。（男性、50～59歳）
- 市だけでなく、学校教育から考えるべきだと思う。（男性、30～39歳）
- 様々な人が集まるイベントを行う。（男性、60～69歳）
- イベント（男性、30～39歳）
- 毎日 SNS での投稿したほうがいい。上記方法は古い。今の時代に合わせて。（答えたくない、50～59歳）
- 学校教育（男性、30～39歳）
- 人権に関する教育の充実。（男性、18～19歳）
- 学校教育（女性、50～59歳）
- 幼少時からの教育が一番重要と思う。（男性、50～59歳）
- インスタのアカウントを作り、若者に向けて発信する。（女性、20～29歳）



- 闇雲にチラシを配ったり、広報に記事を書かせても読まない。関心を持たせることから始めるべき。(女性、50～59歳)
- 実際にふれあう(女性、30～39歳)
- 人権啓発の取り組みを群テレで取り上げてもらう。(男性、40～49歳)
- 地域の連携(女性、30～39歳)
- 人権啓発イベントの開催。といってもそれ単体だと興味を引きにくいから沼田の大きなイベントに人権啓発的な内容を少し盛り込む。沼田祭りや花火大会などに。あとは、有名人などを起用した人権啓発PR。大事なのは、いかにたくさんの市民に興味を持ってもらうかだと思うので、その為の仕掛けづくり。(男性、30～39歳)
- LINEで送信(男性、30～39歳)
- 当事者と話す場所づくり。困っている人と友達になったら、考えるようになると思う。(女性、20～29歳)
- 一番噂話をするのは中年～高齢者だがホームページなどは見ない!!紙面が効果的(男性、60～69歳)
- 学校、会社等での講演(男性、40～49歳)
- イベントやお祭りのように楽しい事と一緒に、子供から大人まで楽しみながら学べるとよいなと思う。差別化されやすい人との接する機会をもって偏見をなくすこと。(女性、20～29歳)

#### 問40.「人権が守られる社会」をつくるためには、市はどのような取り組みを行うべきだと思いますか。

##### ・その他

- 興味を持てるような機会を作る。Youtube、サイト閲覧すると特典がもらえるなど、気をひく内容を作り、興味を持たせる。人権についての対談など。(女性、30～39歳)
- 人権相談所開設されていますが、毎週月曜日の午後(1時～3時)で回数的にはどうか?(男性、70歳～)
- 上記問39の回答と同様(女性、60～69歳)
- 市長の考え次第(男性、30～39歳)
- 相談の場所を作る。(男性、70歳～)
- 女性センターがあると、女性が相談しやすい。(女性、50～59歳)
- 期待できない、問40は出来るなら当の昔に達成出来ているはず、無駄な時間と税金を使わない方がいい(女性、70歳～)

#### 自由記述(市民からの意見)

- 一般市民ができることなどあまりないと思うので、国や市町村が制度をより良くして、一人親の家庭や障害のある人達に支援の充実と、生活しやすい環境を整えてもらいたいです。未成年だから犯罪を犯しても軽くすむと思っている輩がいるので、未成年の犯罪者も犯罪を犯したのだから、顔や名前を公表すべきだと思う。(男性、40～49歳)

## ○市民意識調査結果

- 沼田はとても良い市、と思って生きてきて、沼田を出たくないと思っていました。しかし、愛媛県の市街地から来た方が、「いじわるな人が多いね。皆きついし、仲間意識が強くて、部外者は避けられたり、何だか住みずらい所だな」って話を聞いた時には、とても残念な気持ちになりました。私は沼田市から来た方に会うのは嬉しいですが、差別をするような事は絶対にしたくないです。私が幸せを実感できるまち沼田を目指して、できる事は差別しない、子供にその事を伝える。高齢者の方を大事に、困っている人がいたら助ける事だと思っています。毎日笑顔でいる事だと思うので、日々悲観的にならず、過ごしたいと思います。幸せの感じ方は人それぞれです。少しの事でも幸せとを感じる事ができる人でありたいです。(女性、30～39歳)
- 沼田市の高齢者は人口の減少の中で、高齢化率が令和22年に42.3%になるという見込みがあるという。私はその時には80歳。車で移動ができなくなれば、通院や買い物も不便になり、年金の使い方や、ゴミの始末等にも支援が必要になってくると思うと、不安が付きません。退職するまで、知的障害者や、情緒障害者の教育に約30年携わってきた。この経験を生かして、人権擁護委員や民生委員として、活動の手助けをすることは、できるだろうかとも考えられます。身体が動けるうちに地域や人のために役に立つ事で、これまでのお返しができると思うからです。そして、将来、福祉にお世話になる日が来るまで、こころ豊かに幸せを感じられる沼田市民でありたいと思います。「SDGs3 すべての人に健康と福祉を」(女性、60～69歳)
- 仕事に遊びに来てる者、遅刻、居眠りする者はいません。邪魔。(男性、40～49歳)
- 年を重ねる事に、新しいことをするのに勇気がいると思いますが、何かを始めたいと思ったら、ためらわず入っていくことだと思います。人前に出かける事は大事です。(女性、70歳～)
- 沼田市の町1つあたりの住民数が、色々な所で減少していて、町の行事や育成会の存続などが困難な状態におちいつていると思います。又、逆に、住民数がとても多い所は、町や育成会などの参加に否定的に感じます。特に地区の運動会などは、区会や体育委員さん達はとても苦労されています。ここ最近ではコロナウイルスの影響で2年開催されていませんので、2022年の秋には参加者も自由参加の方向で開催されたらどうかと思います。(男性、40～49歳)
- このアンケートの使い道（活用方法が分からない）質問内容で活用できるのか？(男性、60～69歳)
- 障害者に対しての差別化に対しては、無くす事は不可能だと思う。一人ひとり意見が違うので、全ての人間が…書くのが面倒なのでやめます。(男性、30～39歳)
- ひとりひとりがまず幸せ感を持てる町であること。自分が幸せであることが他者への「おもしろい」ができるのではないのでしょうか。私のような高齢になるとみなさんのちょっとした思いやりがとてもうれしいものです。それが一日の笑顔の源となるのです。みなさんの優しさにいつも感謝しています。ありがとうございます。(女性、70歳～)

- 一応〇印やっってはみたのですが、人権とは幅広くどこに目線を置くかで大きな意識の差が出る。世間並み流れて「そうだ」「ちがう」と言う前に極身近な所からきちんとした自覚をもって考えるべきである。例えば「犯罪者、自殺者を出した家」「身内に精神病がいる」「後妻だ、再婚だ、嫁の方が〇才年上だ」とか etc. そんな会話を我々は無神経に平素していないだろうか。それらを平素耳にして育った子等は果たして成長し基本的人権についてクリーンな考えを持てるだろうか。根っこの所で我々は子孫に人権差別の種を植え付けてはいないだろうか。アンケートもいい。人権を守る市だと勝手に申すのもいい。けれどもいかにも役所目線での〇×アンケートの様な気がする。研修を受けた担当だから識者に要項をもらった…そういう事で心に染みて人権問題は考えられるのだろうか。何か芯に響くものが無い。だが取り敢えず手がかりを得る手段としての取り組み。ということでは評価したいと思う。辛口の見解が多分無きものとされることを承知で一筆。(女性、70歳～)
- 沼田市も高齢化が進み、大変ですが高齢者の雇用も大変ですが事業所によっては働く人の人権を無視してパワハラが非常にひどい所もあると聞いてます。住みよい沼田市になるとよいことを願ってます。(男性、70歳～)
- 若い人たちがへっているのでボランティア企画などをして沼田市のことをもっと知ってもらう機会を作った方がよいと思います。また人権とは関係がないかもしれませんが学習室が会議やイベントなどとかぶると使えなくなるのは高校生にとって不便です。沼田の高校生にも他から来ている高校生のためにも「常にあいている」という状態がほしいです。(女性、18～19歳)
- 自分自身で差別的な言動や行動をしない (女性、50～59歳)
- ・1人暮らしの高齢者への援助 ・ひんこん家庭への援助 ・市役所へ相談へいっても、たらい回しで解決しない (男性、60～69歳)
- 仕事で高齢者や障がい者と接する機会が多いが、支援されること助けられることがあたりまえと思い感謝や礼儀を忘れてる人がいます。もちろん仕事だし支援すること助けることはあたりまえだが、そういった人が多いと仕事する側の不満がたまり良い環境とは言えません。お互いに感謝や礼儀を忘れないことが人権の平等につながるのではないかと思います。これは仕事だけではなく何においてもですが、色々な人がいること色々な意見があることはあたり前で、LGBTQを受け入れられずとも、その人たちのことを否定する必要はないことや、どの意見についても受け入れられずとも否定する必要がないということを一人一人が理解出来れば、人権の侵害は起こらないのではないかと思います。自分が幸せにくらすためには、お互い否定しないことだと思います。どの意見も受け入れることは不可能ですが、こういった意見もあるのだと私とは違うが、これも間違っていないと思えるような人がふえれば良いと思いました。(女性、20～29歳)
- ネットニュースや SNS など、注目されやすい本人のマイナスな情報を発信することやそれに対して同調するようなコメントを書き込むこと。匿名を良いことに悪口等を書き込むこと等に対して、書かれた本人の人権が守られていないと感じることが多々あります(芸能人、一般人含め)。「こころ豊かに～」の観点では、日々周りの人への気づかいや助け合いを意識すること、また一児の母として豊かな沼田市の自然を活用した子育てをすること等ができることかと思えます(市内の公園遊具が新しくなったり、日々、清掃や整備をしてくださったりしている方々やそのような環境を考えている方々に感謝しています!!)。(女性、30～39歳)

## ○市民意識調査結果

- 公務員と民間企業、正規雇用、非正規雇用の格差が大きいと感じる。かつ、高齢者に対しては尚更である。子どものいじめ等についても、学校・教育委員会等がその内容を調査認識し、決して隠蔽等があってはならない。教育者も本気の対応をすることを望みます。本調査がおざなりになることの無いよう、有効な活用を望みます。(女性、60～69歳)
- 人権に対する意識をふだんから持っていることが大切だと思います。子供は学校で教わる機会がありますが、大人にはないので、そのような機会がもっと増えると良いと思います。性別による役割分担意識については、自分も無意識のうちに持っていると思うので、新しい考え方を常に取り入れたいと思います。(女性、40～49歳)
- 人権と言っても、その時、場所、状況によって変化するものだと思う。また、幸せと同じ様に人権がおびやかされた時にしか”人権”というものを強く必要と感じられることが出来ないことも確かだ。人権がおびやかされた時に人権を主張するものである。そもそもなぜ人権がおびやかされるのか。一つは法の整備不足。これは市民の力ではどうすることも出来ない。市民の中で生活の中での人権がおびやかされる時。それは人々の心のなかにある”人より上にいたい”という心理ではないだろうか。それはまた人にとって当たり前の感情であることも確かだ。誰も”自分の存在価値”を高く保っていたいものだ。それを”他人”に向けずに、もっと自分の価値を認めてもらう場、機会、社会をつくることもまた人権を守る為に必要と思う。また学校での人権・差別についてのビデオ学習は有効と思う。(女性、30～39歳)
- コロナ、真実を正しく市民に伝えてほしい。上位機関からの情報をそのまま市民へ流すのではなく、沼田市としてその指示が市民のためになることか否か？正しい情報であるか否か「判断する」機能を高めて欲しい。(男性、60～69歳)
- 給付金等、平等にして欲しい。(女性、40～49歳)
- 地区の子供見守り隊を継続した街づくりをしたい(男性、40～49歳)
- 若い頃は、人権についてあまり考えた事はなかったと思います。自分のやりたい事や、自分の思う通りに生きられる事が当たり前のように思っていました。大人になって、知的障害のある人達とかかわる仕事に就いてから、今まで自分の思ってきた価値観が間違っていた事に気付く事ができました。施設の利用者さんは、家族と離れた暮らしの中で、たまにはケンカする人もいましたが、年下の人をめんどくさく見たり、とてもやさしい人達でした。こちらの方がとても大切な事を教えて頂きました。ただ、一般の人と同じ電車に乗った時、サアッとまわりの人がいなくなってしまう、こちらの方をじっと見ていた事が今もはっきり覚えています。私もその仕事をしていなければそちら側になっていたのかな、どうだろうと思いました。(女性、60～69歳)
- 難しい問題ですが、行き過ぎた人権主張は逆に差別を生む恐れがあります(ヘイトスピーチ法等)。正しい知識の啓発が重要です。(男性、50～59歳)
- 高齢者(年金収入のみ)の住居が少なく、市営住宅の様な家賃が低い住居を増やし少しでも生活が安定するようになっていただきたい。街中を整備したところで沼田から離れる若者は減らない。一人一人の生活へ還元できるような事に税金を使っていただきたい。(女性、40～49歳)
- 年齢的に運転免許証返上の時期が近づいているのですが、車を手放した時に通院や買物などがどのように不自由になるかが心配です。(男性、70歳～)
- 税金を納める(男性、30～39歳)

- 今、生活保護受給中なんですけど、1つの病気に対して1つの病院しかだめと言うのはなぜ？しばらく通院しても良くなれないから他の病院受診したいと言っても、また電話しなきゃならないでしょ…初診料払わなきゃいけないでしょと言われました。生活保護受給中とは、そんなに弱いものですか？（女性、60～69歳）
- 時代は流れる 人権なんて有るようで無い（男性、40～49歳）
- 子どもを持たないと選択した人についての人権。働く上で子なしの体調不良より、子ありのイベント参加の為の休みが優先される。シフトも急に変えられたりする。子ありが働きやすい環境は整えられるが子なしに優しい制度はない。また障害を理由に辞めさせられたが、自己都合による退職にしろと言われて辞めたこともある。バイトだったので訴えるのも面倒で辞めたが、小さなコミュニティの中で生きるのは大変だなと思った。こういった事を相談したとして、企業に連絡がいけば誰が言ったか特定できるので、言う人はほとんどいないと思う。（女性、30～39歳）
- 誰でも平和に生活して欲しい。そして幸せを感じて欲しい。（女性、60～69歳）
- 外国人にコロナ持ち込みと言う人がいるが、それはどうかなと思う。きちんとマスク、手洗いをして、個人それぞれで対処して自分の責任をきちんとしてほしいと思う。”他人の事をタナに上げて”が多々あるなと感じます。だれに対しても家族、友達と思うと心が軽くなると思うけどな…としみじみ感じる今日この頃です。市役所、保健所、病院の皆様ご苦労さまです。これからもがんばって下さい。ありがとうございます。（女性、50～59歳）
- 人を大切にするということについて一人一人が考えることが大切だと感じます。できること、小さなことから少しずつ取り組んでいきたいと考えています。おつかれさまです。よろしくお願いたします。（男性、50～59歳）
- 特になく、あまり考えていない。身近にそのような人がいない為分からない。（女性、70歳～）
- 地域のお年寄、小さな子供等、毎日あいさつを行い、安心安全を見守っていくことで地域が安定し、よい暮らしに繋がっていくと思います。（男性、40～49歳）
- 街灯を増やしてほしい。たくさん稼いで納税します。（男性、30～39歳）
- 沼田は社会情勢も特に遅れている訳でもないし今のままでいいと思います。（女性、70歳～）
- ネット社会と言われていの中で、ネットが得意でない人もいると思うのでそういう人達も情報をえられるようにチラシ等を配布して欲しいです。（男性、40～49歳）
- ボランティアなどの活動（女性、70歳～）
- 交通弱者に対する整備が必要。道路の段差解消、標識の整備。（男性、50～59歳）
- すべての人を平等に触れ合うこと（男性、50～59歳）
- 介護で人生終るのではないかと日々不安です。市や病院のサービスをきらっていますのでこまっています。1日でも介護から逃げたい。そうすることは本人の理解や手続きが必要です。リハビリをやっとの思いで週2行っていますが、いつまで続けられるのか、やめられたらまたずっとつきっきりの日々です（介護認定を受けています）。認知症もあると思います。言葉の暴力が激しいです。このような家庭はたくさんいると思います。毎日苦しんでいると思います。訪問していただいても、その時はふつう。家族だけの時に発症します。こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるのはほど遠いです。ショートステイなど簡単に利用出来ればありがたいです。ゆっくり休める時間がほしいです。本来の主旨とはまったく程遠い内容ですみませんでした。（女性、50～59歳）

## ○市民意識調査結果

- 年齢や立場に関係なく「あいさつ」をしましょう。(男性、50～59歳)
- 人権問題は多岐に渡り、いろいろな考え方の人がいて、本当に難しい問題です。まずは大人が襟を正し、言動に留意する事が肝要です。私が一番気にしているのは若年層のいじめ問題で、自殺者が出る事です。スマホ・インターネットが普及し、いじめが陰湿化している様で且つ、周りの大人が見て見ぬ振りをしているからなのか？本当に残念です。何とか防止策を考えてもらいたいと思います。(男性、70歳～)
- 個人保護の観点から、手続（行政のみならず）が煩雑になっている。少し方向性が違うのではと思うことがある。(女性、60～69歳)
- 特にない。(女性、70歳～)
- 今、スリランカ人の入管における事件が問題となっています。病気なら医師に診てもらおう等基本的なことが守れる社会が必要と考えます。(男性、60～69歳)
- 高齢者、障がい者、妊婦、子育て世代には不便な段差がある歩道が多い。自分が子育て中の時、ベビーカーで移動する時歩道がきつく、車道に出ないと通れない、未だに整備されていない（沼田公園通りなど）、車椅子の方や高齢者も不便だろうと思います（人権とはちがうかも知れませんが）。目の不自由な方のためにも信号機の音楽がもっと増えたらと思います。いじめや偏見のない地域になってほしいと思います。学校での教育も必要だと思います。私の小学～中学校の時、同和問題・部落差別の授業があり、自分たちの親世代はそういった差別があった事を知りました。自分の住んでいる所では部落差別がなかっただけに、そんな差別があるとはおどろきでした。あれから50年位たちますが、まだ同和問題や部落差別があるのですか？(女性、60～69歳)
- インターネットの利用は便利だがコミュニケーション不足によって生じる事件、個人情報流出の原因となっている。正しい情報と個人特定されるような内容は自動的に削除できる機能が世の中で必要なのではないかと思う。(男性、50～59歳)
- 関心をもち続け、問題に直面したときに声を上げることができるようになるように(男性、60～69歳)
- 沼田は住みやすい街だと思います！（女性、30～39歳）
- 税金の無駄をとにかくなくして欲しいです。アンケートも無駄だと思う。ペーパーレスで行える方法はないのか？税金の無駄使いと思う事が多くあるので改善を。人権と関係ありませんでした。(女性、40～49歳)
- 日頃、生きづらいと感じている人々が少しでも生きやすくなるよう、最低限の知識やそういう方達がいるんだという事だけでも知っておく必要を感じた。(女性、20～29歳)
- 最近インターネットによる人権侵害による被害が多いので、防いでいけるように私達は行動するべきだと思います。情報を見ない。(人権を侵害するような情報について) 情報を書かない。情報を人に話さない。(女性、30～39歳)
- ボランティアがあればやりたいと思っています。そのための活動場所の提供等、しくみ作りは市の仕事だと思いますのでどうか頑張って下さい。(女性、40～49歳)
- 企業側は積極的にどのような人材を雇っていききたいか、市や県が調査をしても良いと思います。年齢差、性別、前科、障害者、外国の方、働く自由を与えて欲しいです。雇う側の不安をなくすなど。(女性、40～49歳)
- 子供の人権をもっと尊重してもらいたい。いじめに対してもっと教育委員会、教師などが一人一人気持ち理解し、生徒と向き合ってもらいたい。(男性、30～39歳)

- 人間は「こうあるべき」的な考え方を、私は道徳の授業で学んだ様に思います。授業時間等に上限があると思いますが、道徳が人間を育てると思います。(男性、30～39歳)
- 市内における工事、観光用の建物の建設、区画整備など様々な取り組みを多く認める気がします。市を運営していく上で、必要な事であれば致し方ないかと思いますが、出来る事であれば、障害児に関する取り組みを強化して頂くことをお願いできないかと思います。私的な理由ではございますが、実子が二人とも障害児です。ただ遊ばせるだけでも人の目が気になります。そんな悩みを持つ方は少なからず私以外にもいると思います。なので障害児のみの遊べるフリースペースを作ってもらえないかと思ってます。宜しくお願いします。(男性、30～39歳)
- 子供間の仲間はずれ、いじめ、無視等はその人の一生を左右するものです。悩みを親、教師等にも相談できず、一人で苦しんでいるかと思います。スクールカウンセラーの対応も大事かと思いますが、本当に気軽に話せる環境作りが必要だと思います。又、家庭教育、子育てが元になって、いじめ等につながると思います。心身共にたくましく、思いやりのある人に育てて欲しいと願っています。(女性、70歳～)
- いじめや差別など、することはもちろん許されないことだが、される側にも問題がある場合が多い。感染症や犯罪者本人が、どのように生きてきて、そうなったか、犯罪にならないけれど他人を傷つけている人も多いと思う。(男性、40～49歳)
- 町内の高齢者と友人となる様に、付き合い、話し合いなどの時を持ちたいと思う。(男性、60～69歳)
- 誰もが人権の考え方を尊重するようになれば、人権＝文化として定着して、暮らしやすい社会が実現するのではないかと思います。(男性、60～69歳)
- 沼田市より、子育てに対する得策を充実させて頂きたい。沼田～東京の大学、専門学校へ行く学生に対し、将来戻って、職場につけるようなシステムの構築。沼田で育った子供達が、地元で働ける環境を整えて頂きたい。(男性、40～49歳)
- 私も記入して色々考えさせられる事や、勉強になる事、そして初めて知る事がありました。(女性、70歳～)
- 自分には子供がいるので、コロナでの差別、偏見などが心配です。ワクチン非接種者に対しての新たな差別が心配です。(ワクチン接種は本人の自由) 日本でのコロナワクチン義務化はやめて欲しい。(男性、40～49歳)
- 中高生の制服を廃止するか、おおまかに色や型を指定するのみにし、自由に選択できるようにする。幼児の頃から、日常、差別や偏見はいけないことと教え続け、自身も他人も大切にする、しなければいけないと教育していく。(女性、60～69歳)
- 誤った認識で軽率な行動をせず、理解と認識を深める事。(男性、40～49歳)
- 誰もが参加出来る行事、遊び会等を考えて下さい。自分も高齢ですが、これからもっと高齢者が増えると思いますので、交流広場等を設けて下さい。(男性、70歳～)
- 今年10月頃「テラス沼田」に私一人で用事があり、車のパーキングで、駐車券を機械に入れるのに手間取っていたら、(少し私も障がいがあり、障がいのシールを貼ってあるのですが)後方に2台位止まっていて、わずかな間なのに、後方の男性に早く出るとどなられてびっくりしました。私にとっては初めてなので、本当にショックを受けました。「テラス沼田」に用事がある時はこれから一人で行けないようになると思います。この先が心配です。本当に怖い思いをしました。もう少し一人一人が思いやりを持ってもらいたいと思います。(女性、70歳～)

## ○市民意識調査結果

- 若い時、ストーカーという言葉がまだない頃、ストーカー行為にあい、とても嫌な思いをしました。助けになってくれそうな立場にある人に相談しても、個人間の問題と、取り合ってもらえませんでした。その時の辛い思いから、自分で自分の身を守る為、通信制ではありますが大学の法学部で法律を学びました。しかし、個人で法律を知るだけでは対処しきれない問題は沢山あります。行政という大きな枠組みの中で、人権意識を社会的に変えていくことや、支援して下さることにより、さらに住みやすい沼田市になって欲しいと思います。(女性、50～59歳)
- 特にありません。(男性、50～59歳)
- 安心して暮らせる水問題について、不公平さを感じています。個人の自宅にタンクを設置しなければならないような事はあり得ないと思うし、設置しない人もいる。(昔からの住民) 緑と水の利根沼田なんてキャッチフレーズはおかしいと思います。(女性、60～69歳)
- 一人一人の人権を尊重することが大切だと思っています。それなので、男女平等を訴えるよりは一人一人を理解する、他人を分かろうとする方が良いと考えます。(女性、20～29歳)
- 最近地域での交流が少なくなっている感じがします。少子化もあると思いますが、せめて大人同士、隣人、声かけ出来る世の中であって欲しいですね。(女性、70歳～)
- 何の垣根も一切ないイベントを、規模の大小に関わらず、市内のあちらこちらで数多く開催出来る様に市が支援する。→色々な目が行き届く。配布物や掲示物が多くても、人との交わり(交流)が無ければ学べないと思います。どんな人も同じ人間。でも一人一人が皆違って当たり前という実体験が身に付きやすいと考えます。(女性、50～59歳)
- 市の公的委員(児童民生委員など)の選定に関し、選定基準等の照合など、調査が適確に行った上での選定が望ましいと思われれます。(男性、60～69歳)
- 不安に思っている事を書きます。①プライバシーを守るために、隣近所に越して来た人が誰なのか?組に入らないために分からない。②災害時に隣近所助け合って、避難する様に言われていますが、顔も名前も知らない人が助け合いなど出来るでしょうか?空き家も多いし。やたら声かけたら怖いし。(女性、70歳～)
- 人権を侵害する様な行為には、罰則をもうけた方が良い。口で言っている事と心の中は違う。人の心まで変えることは難しい。(男性、60～69歳)
- 今の時代、何事も他人より自分、損より得なのかな。お互い様、気持ちに余裕が欲しいね。(女性、70歳～)
- 比較的元気な高齢者が生き生きと活動するためには、移動する手段が必要だと思うが、沼田市内のバス路線は、あまりにも充実しているとは言えない。今後増えていく高齢者の活動、人権を守るためには、公共の交通機関の充実が必要だと思う。又、道路に歩道が少なく、歩行が困難である。車椅子での移動が難しい。人権を守るのであれば、まずは自由に歩ける環境作りが必要だと思った。(女性、60～69歳)
- 沼田市の中心部より、のどかな自然に恵まれたエリアに住んで、3年近く、沼田市を知りたいと模索していますが、このコロナ、禍思う様に行動出来ないのが現状です。地域の人達との交流もそんなに多くない現状ですが、この自然が心の余裕を作ってくれ、この年になって、自然への感心が強くなりました。環境の重要性も感じています。「終の住み家」になりましたが、多くの事にアンテナを張って沼田市での生活をしてみたいですし、また、小さな貢献もしたいと考えています。(女性、70歳～)



- 誰にも挨拶する習慣とする事（男性、70歳～）
- 農福連携など、立場の弱い人に対する居場所作りを推進する。（男性、50～59歳）
- その為には、手助けできる機会を作って頂きたい。仕事も含め。（男性、60～69歳）
- 日頃あまり意識はしていませんが、アンケートを見て色々あるのだなと再認識しました。テレビなどのメディアを通して、特に犯罪被害者への過剰な取材を見て、不快になることが多々あるなあと感じます。人権問題に関して、解消の為に色々な対策を行うことは大切だと思いますが、あまりに全て整備しようとするとかえって反感を買いかねないともあり、難しいところだと思います。（例えば、一部のフェミニスト団体の主張や、外国人の参政権を認めるなど…）（女性、30～39歳）
- 差別に対して、逆差別があるので留意したい。北朝鮮人権侵害対処法について言及が少ないですね。少数だからといって、人権はおろそかにしてはなりません、少数の人権を過大に評価して全体をだいなしにする愚を冒さないでほしいです。アンケート自体に広報効果があることは認めますが、誘導と取られかねないので、留意してほしい。特に21-7は唐突感がある。憲法で認められておらず、違法であり回答例として不適切。（行政が行うものであれば、なおさら）（男性、60～69歳）
- 小さい時からの学校教育、道徳教育が大切だと思う。（女性、70歳～）
- すべての人が安心、安全に生きられる世の中であって欲しいです。相談窓口のTELが調べてかける、見てかけるのではなく、110番や119番のように、もっと身近にあるものになれば…（女性、50～59歳）
- ・自ら沼田の魅力を発信している。・行政と市民の考えを、一致できた方が良いと思う。沼田の将来性、どういう所を強みに発信していくのか。（男性、40～49歳）
- マタニティーハラスメントを強く感じます。育児に関しても同様です。男女平等に育児休暇がとれる世の中になって欲しいです。核家族が増える中、ワンオペには限界があります。社会全体で子育てをする考えが、広まれば良いと思います。病院勤務ですが、人が少ない、皆休まないでやっている等の理由で、子供が熱でも休めず、女性にだけ育児、家事、仕事をおしつけられている感じです。女性でも管理職の年代はやはり、家事、育児は女性という考えが多いように思えます。女性だけでなく、時短勤務は男性にも適応できていいのではと思います。（女性、30～39歳）
- 一人一人が大切にされていると実感できれば、住みやすいまちになるのではないかと思います。（女性、50～59歳）
- 市役所1Fにあるippoを、よく利用させていただいております。障害のある方が頑張っているお姿を見て、応援しています。しかし理解していてもちょっと無理では、大変ではと感じることがあります。障害者及び健常者スタッフ両方にストレスがあるのではないかと思います。不利な扱い等やむ得ないと思うし、大変難しい問題です。私自身はワクチン未接種の為、長いお付き合いだった男女7人のグループから安心安全の旅ができないと言われ、決まっていた旅行を欠席しました。そこまで言われては、旅行も日頃の会食も同じと考え、グループを離脱しました。誰一人差別だと思っていない、あなたが勝手に離脱したと言われました。離脱しろとは言っていないと、わけのわからない経験をしました。命にかかわることなので、これも難しい問題です。ワクチン未接種の為、いずれ社会生活で制限を受けると覚悟していましたが、パンデミックに恐怖の感じ方は人それぞれと感じた出来事でした。（女性、70歳～）

## ○市民意識調査結果

- 特になし。(男性、70歳～)
- 障害者への差別を、身近な人が持たないで欲しい。障害者はみばが悪いというような考えを、いまだに持っている人がいることに愕然とした出来事があった。(女性、60～69歳)
- ご近所の人達の交流が、少なくなってきました。年の差があるのだと思いますが、いきあった時は挨拶する様心掛けて居ます。(男性、70歳～)
- 学校を1つにまとめて、バスを出すべき。(男性、30～39歳)
- 年々体の衰えを感じる、この頃です。国民年金でまかなえるような老人ホームがあると良いと思います。それは不可能かと思いますが、年金だけでは、とても生活が大変なものですから…(男性、70歳～)
- 知識不足の為、良い回答が出来ず申し訳ありません。(女性、70歳～)
- 生存権がノータッチなのは、どうしてですか。(答えたくない、50～59歳)
- 私は、沼田の人々はとても思いやりがあり、又ほんのりとした人柄とっております。観光客に対しても、とても親切な対応しているのを見ているので、沼田に住んでいて良かったと感じています。(女性、70歳～)
- 町内での、町民同志の見守り。(男性、60～69歳)
- 年齢を重ねたからか、隣近所の人とのかかわりが変わってしまい、これは大切な事ではないかな?と考える日々です。(女性、70歳～)
- 過度な人権を主張することによる、差別意識を助長する、メディアの偏った報道に追随しすぎる。(男性、60～69歳)
- 目指せ5万5千円。(男性、70歳～)
- 今の所、特に何も在りません。ありがとう。(女性、70歳～)
- 他人の人権を理解し、守る教育は小さな頃からしなくてはいけないと思う。逆に、大人になってからの教育は無意味とまではいかないが、期待はできないと思う。仕事が充実し、生活が豊かになれば、貧富の差ができ、ますます他人には優しくできなくなるのが人間だと思う。もし、国や県や市ができることがあるとすれば、特に小さな子供を教育する者が、丁寧に教育し、個々の個性を理解する、(自己肯定感を高める)教育が大切だと思う。自分を愛することを知らない人間は、他人を理解し、尊重することはできないと思う。(女性、40～49歳)
- 道路側(脇)のゴミの散乱が多くなっていると感じる。農道等を含めて細い道も。定期的に住民参加の清掃活動をお願いしたい。(男性、70歳～)
- 沼田市に望む事。図書館の元駐車場の復活。公民館の地下又は1階の駐車場。分散している小さな公園などに老人も使える遊具の設置。中学生の制服の見直し。(女性、60～69歳)
- 人権という言葉が大事な事だと思っておりますが、人間はどうにかいろいろな事に立ち向かい、やっていけるのだと思います。親の時にはなかった、インターネット系、ストーカー、LGBT、e t c いろいろな問題が出て来ていますが、きっとどうにか解決できるような気がします。私は幸せ者なのか、今は人権というより、野良猫問題の方が心配です。好きで捨てられた訳ではなく、野良猫になり公園に捨てられる。人間ばかりではなく、幸せに暮らして行くには人も生き物も不幸にならない沼田を目指して欲しいです。まずは人ですが、動物も幸せにいられる沼田市になりますように願います。(女性、20～29歳)

- トランスジェンダー等が広く認知され、先の衆院選でも候補者を性別で表記しないなど、社会が変わってきたことは良いことだと思います。その一方で「女性の議員が少ない」とか「女性の社会参加を！」といったことでは、性の違いを持ち出しているわけで、そういう意味では矛盾を感じることもあります。(答えたくない、50～59歳)
- 最近インターネットを介した人権侵害で、他人を誹謗中傷する事が原因での事故、事件が増えて大変気になっています。何とか減少する方向となるような施策を期待します。(男性、70歳～)
- 昔世の中に存在していた倫理観、道德観念、世間の繋がり、家族間の希薄を特に感じている。上記の事を踏まえ学校教育、社会教育への取り組み、私達一人一人が理解と認識を深めて、古き良き時代の(温故知新)の復活。何か出来る事があればと感じている。(男性、60～69歳)
- 渋沢栄一のところで・・・助け合う社会、沼田市も、皆元気に協力して豊かな町になりますように。(女性、70歳～)
- 老若男女にこだわる事なく、できる人、分かる人が先頭に立って理解に苦しんでいる人達に、教える、理解してもら事が必要ではないでしょうか。特にSNSなどによる情報の集め方や、見つけ方は若い方々に教えてもらわないと、置いていかれてしまう中年が多い為、中年や老人も若い人のやる事を理解しようとする柔軟性が必要だと思います。(女性、50～59歳)
- 今はコロナで開催は難しいと思いますが、非力な高齢者が参加できる祭りだったり、外国の人達と一緒に楽しめるような企画を考えてもらいたいと思います。(男性、20～29歳)
- 人権については、短期間で解決できるものではなく、市民各自の生活習慣の中で自覚し家庭内及び地域社会の中で尊重していく必要がある。会議・集会・イベント時・友達同志の会話等においても、差別・偏見・中傷がないよう人権について正しい認識をもちたいと考えています。(男性、70歳～)
- 少しは理解していたが、深くはあまり考えた事がなかった、保護司という人達がいる事。どのような事をしているのかを、最近になって知ったところです。私が思うにやはりまず学校教育で子供の頃から、人権について学んでほしいと思います。そうすれば、かなりの勉強、理解ができると思うのです。子供は純粋なので、きっと素晴らしい人間になってくれるのではないのでしょうか。(女性、60～69歳)
- 本当に困っている人の人権問題は、積極的に対応したいと思うが、人権問題をビジネスにしている団体、企業は、取締りをして、被害者が出ない様にしていきたい。(男性、50～59歳)
- 田舎の生活に憧れ住んで10年が過ぎても、よそ者扱いされ悲しいです。想像していた生活と違い、とても残念です。障害者の人に対しても、冷たくとても残念に思います。もっとバリアフリーをしてほしいです。障害者が住みやすければ、皆が住みやすい町になります。点字ブロックも無さすぎだと思います。(女性、60～69歳)
- 一人一人差別のない社会になり、暮らしやすい社会になればよいと思います。(女性、70歳～)
- 私事ですが、娘は発達障害があり、今は両親が何かと面倒を見ていますが、親亡き後の事が心配です。今は持家ですが維持は出来ないだろうし、娘が一人になった時の住居探しや病気になったらとか…知能の遅れはないのですが障害の特性に合った仕事は、なかなか無いことなどがあります。近い将来には社会的立場の弱い人達にとって、住みやすい世の中に変わっていることを願っています。(女性、60～69歳)

## ○市民意識調査結果

- 高齢化社会の中で、私も高齢者の一人として、地域の中で私なりに出来る事を手助けしていきたい。(現在区の役員として活動中) (男性、70歳～)
- 高齢者の能力を発揮する所が少ないと思う。(男性、70歳～)
- 今までは、人権に関してあまり考えて来なかったのですが、これから年を重ねて、住むうえに社会全体に、人に優しく暮らしやすい環境を願っています。(女性、60～69歳)
- 1世帯ごとに、アンケート調査を実施したほうが良いと思います。(男性、60～69歳)
- 障がい者が働ける場所が増え、健常者が理解して共調していければ嬉しいと思います。(女性、50～59歳)
- 私は立派な意見が言えません。市民部の皆さんの取組みに感謝し、期待しております。(女性、50～59歳)
- コロナ禍で子供食堂の廃止。片親家庭の支援。心が幸せと感じるプラスの思い。物ではなく心の考え方への啓発。心豊かな沼田市になって欲しい。(女性、60～69歳)
- 「人権」について日頃考えることはほとんどありません。ただ私は、日本人で、健常者で、女性で、大人で今回のアンケートで当事者となることが男女平等のことだけです。だから、他の項目については、回答が難しかったです。突然、「人権」を問われてもきちんと答えられる人は少ないかと思います。それだけ、人権について無頓着でいられる、ある意味平和なのかも知れません。その裏で、私が気づかない人権で悩んでいる人がいるのだと思います。その悩んでいる人達が、悩まず苦しまない世の中になることが、真の幸せを実感できるまち沼田だと思います。今までになかった人権問題が出てきましたが、なぜ男女平等は今もなくならないのでしょうか。これが一番の問題です。(女性、50～59歳)
- 表には出ない家庭内のパワハラ、モラハラ等、一方が我慢して家庭を守り、子供を守っている人がいると思う。そういう人がまわりに気にすることなく相談できたり、話を聞いてくれる人がいるという事の、情報が伝わりやすくなると良いと思う。(男性、50～59歳)
- 私自身、高齢者なので、生きがいをもって健康的に暮らせるまち作りをしていただきたいと思います。(例：健康づくりや地域とのつながりができる施設を増やす) コロナ禍で、子供達が、伸び伸びと体を動かして遊べる場が少ないと感じています。公共の遊び場をもっと増やしても良いと思います。(女性、60～69歳)
- 人権に関しては、永遠にこれで良いという解決はないでしょう。一日一日を充実した日を過ごすためにも、健康で心を豊かにして生活していければと！以上です。(男性、70歳～)
- 昔からあったご近所同士お互い様の精神が大切だなと思います。今は他人は何をする人ぞと都会的になってきているように思う毎日です。(女性、70歳～)
- 沼田が今後も元気な街、美味しい街であり続けて欲しいです。(女性、40～49歳)
- 沼田市の消防団活動を長年やっていますが、新規に入団する人がまったくいないため、辞められず困っています。マナーやモラルのない団員もいるため(コロナ禍の状況でも詰所で集まって酒を飲んだり、昔の部活みたいに若い人をこきつかったり)嫌々参加、もしくは全く参加しない(できない)団員もいます。どうか今後の沼田市消防団にてついでご検討下さい。(男性、40～49歳)
- 沼田市は他市から見て、企業も少なく、税金も高い。市財政の改善計画を推進すべきかと思います。経営破綻する前に対処すべきだと思います。(男性、無回答)

- 差別や偏見は簡単に変わることは難しいと感じます。子供の時から教育が大切ではないかと感じています。家庭や学校でそのような環境を作り、差別意識をなくしていくことが一番重要ではないでしょうか。(男性、50～59歳)
- 特にないです。(男性、60～69歳)
- 学校教職員の礼節、向上をお願いします。(女性、40～49歳)
- 時折、貧困家庭の児童が多くいると耳にしますが、実際沼田市にどのくらいいるのか分かりませんが、多くの原因は両親の離婚等による片親家庭が多いのではないかと私は感じます。このような事の減少と、児童虐待等による負の連鎖と成らないように、このような児童の教育が充分されるような社会と成るよう願っています。(男性、70歳～)
- 日常のちょっとした不平不満、何気ない噂話が、いつの間にか他者の人権を侵害し得ることと理解し、日々の発言、行動に気をつける必要があると思う。すべての人が平等である場所に生きていることを意識する。そして理解する。(女性、40～49歳)
- 私が住んでいる所は、皆いい人ばかりで、こころ豊かに暮らしています。今の生活は幸せだと思います。良い所です。(女性、70歳～)
- 人権を意識せず、素直に普通の生活ができる事、同じように生活が出来る事が、重要であると思います。(男性、60～69歳)
- 「人権について感じる」とは少し違いますが、私は毎日上毛新聞の「U22 私の声」というページを読むのが楽しみで日課でもあります。そこには子供達の考えなどが書かれていて、それを読むと感動したり、改めて考えさせられたりと、とても良い刺激を与えてもらっています。私の幼少期の頃からの「祖母の教え」の1つである私も大切にしている“あいさつ”について載っていたので、切り取り同封させていただきました。みなさんにも読んでいただけたら幸いです。(女性、70歳～)
- 小学生の頃に、同和地区のことを道徳の授業で聞きましたが、何を言っているのか全然わからなかったことが記憶にあります。あいまいに教えるのではなく、こういう現実があったということを、わかりやすく子供達に説明することが、大切ではないでしょうか。(女性、40～49歳)
- 官尊民卑の考えを改めて、市民主導の政治で政策を施行すべきではないですか。(男性、70歳～)
- ・他人の悪口や噂話をしない。・もし、その様な場面に出会った時には、話の中に加わらない。・相談された場合には一生懸命に聞きます。(ただ聞くだけです…) (女性、70歳～)
- 差別をしない。見て見ぬふりをしない。可能な限り協力する。理解を深める。プライバシーを配慮する。沼田が好きで住んでいますが、何かあった時の相談方法が良くわからない。相談しても公的な回答のみで、的確なアドバイスと回答を願いたい。(女性、50～59歳)
- 経済的弱者に対する支援や理解が不足しているように思います。(女性、50～59歳)
- 障がい者であり、本人がアンケート回答できるような生活を送っていないのに、郵送されてくるのは、どういう事でしょうか？もう少し考えて頂きたいです！（無回答、無回答）
- SDGsのバッチを市公的機関に就いている方は付けてアピールする。たくさんの方がつけていれば何のバッチか？とのことで一人でも多くの方の関心を引いて「誰一人取り残さない」ように私でも誰かを救えるのでは、少しでも役に立てるのでは…という気持ちになるように、まずは周知してもらえるようにアピールする。(女性、60～69歳)

## ○市民意識調査結果

- 子供が毎日楽しく学校へ行くために、小・中学校は、担任2人制がいいと思います。休み時間も教室に1人先生が残るなどすれば学級内でのいじめがなくなる？かな？先生の仕事の負担も減るのではないのでしょうか？（女性、50～59歳）
- 高齢者になっても地域に参加していきたいです。ボランティア情報など、どんどん聞かせて下さい。（女性、60～69歳）
- 子供の人権は守りたいです。見て見ぬふるだけはしたくないです。（女性、50～59歳）
- デジタル化が進み、私達老人は付いていけない事もあります。身近な事例ではテンキー、スマホを使えない人は差別では？金銭的に買えない人もいるはずで、50数年暮らした都会を離れ、大好きな沼田に戻ってきました。どの路地を曲がっても正面に“山”が見えます。自然豊かで、箱庭のような沼田の美しさを都会にいる友人達に発信しようと思います。（女性、70歳～）
- 障がい者や高齢者、子供、弱い立場の人達、子育て中の人、地域で暮らす人達が助け合って支え合える。困ったことを相談できる。それが暮らしやすい沼田なのだと思います。昔の沼田は隣近所で子供を預かったり、料理をあげたり、いつも井戸端会議がどこでも見られていたのに、今は孤立していて孤独な人が多い気がします。幸せを実感する為には、温かい家と食べ物があって働ける場所あり、収入を得られる。そして仲間がいること。困った時に助けてくれる、それが行政の役目だと思います。どうか住みやすい沼田の為に、宜しくお願い致します。（女性、50～59歳）
- なん人も不平不満はあるでしょう。家も生活苦しく、病院通いがちです。正直生活しづらく、コロナのせいで家は出かけられなく2年近く経ちました。自分はサービス業（コンビニ店員）妻は看護師です。コロナにかかれなから出かけられない。仕方ないと思う反面、なぜ他県から人が集まるのだろう。人種差別がこんな所にもあるじゃん。よく思います。客や患者が意識が低く、マスクなしで出歩くとか仕事からよく感じます。仕事してるだけなのにうつされたらといつも不安になります。都会に比べて沼田は田舎なのでコロナにかかると、さらし者にされるんではと本当に不安です。そんな悲しい世の中が本当に嫌だけど、それも現実なんだろうな。本当に世の中は不公平だと思う機会が増えました。（男性、50～59歳）
- 子供の虐待の報道。亡くなってからの報道、いたたまれません。社会、学校、地域、警察、自分の事として扱ってほしい。人におしつけしないで、責任のがれをしないで。子供の命の大切さをもっと話してほしい。（女性、70歳～）
- 友達が自殺した H.16.7.10日。虐待が原因。民生委員のやり方が原因。もっとしっかりやって欲しい。（男性、60～69歳）
- 人の言うことを、頭から否定しないようにしている。（女性、20～29歳）
- 特に関心がある項目が少なくてアンケートを記入するのが苦痛だった。少し人権について考えてみようと思う。（女性、60～69歳）
- 特に意見等はありません。（男性、60～69歳）
- 生きづらい世の中だなと思います。（男性、30～39歳）
- 自身が人を偏見を持って見たりしない事（女性、60～69歳）
- 日ごろ、人権問題とか考えたことがありませんでした。今回、このアンケートでこんなに人権が守られていない事があるんだと思いました。テレビや新聞で報道される情報ぐらいしかありませんでしたが、子供や老人への虐待は心が痛みます。ひとりひとりが幸せを実感できる町になってほしいです。（女性、60～69歳）

- 市外から嫁いで 30 数年が経ちますが、沼田（利根沼田地区）は閉鎖的です。少しでも人と違うと陰口をたたかれ、批判され。自由に発言、行動が出来る場所(機会)が増えれば心は豊になっていくのではないのでしょうか。(女性、50～59歳)
- 他文化交流。赤ちゃんの頃から取り組める対策として、どんな人種にも偏見なく接する事が出来るように、沼田や近隣に住む海外の市との交流や、アメリカなどで行われているストーリータイムや身体を使った歌遊び。汚くなりすみません。(女性、30～39歳)
- アンケートの数が多すぎ！(女性、60～69歳)
- 政策が高齢者に偏りすぎていると感じる。もっと若い人間に向けた政策をすべきであると思う。例えば、子供達が学習できる自習室の設置をすべきだと思う。そもそも沼田市においては若い者が高齢者から不当な扱いを受けている。わが物顔で横柄な態度の高齢者が多いと感じる。そんな高齢者に向けた「昭和ではなく令和の生き方」を説くべきであると強く感じる。正直そんな高齢者を支えたいと思わない。就職先がないのもそうだがこのことも関係し都内方面への流出が起きていると感じる。(男性、18～19歳)
- 女性と子供の人権が身近ではないがしろにされているように感じます。女性の相談にもっと本格的にのってくれるところがあると助かります。女性と子ども、自分たちの権利の内容をより明確に知ることが出来たらいいと思います。シェルターの数を増やすとか、法律的なことがよくわかるような…。離婚した方が、子供を進学させてあげられるのに…って家庭も多いのではないのでしょうか。どういう方法があるのか、どうしていったら自分と子供に有利か、具体的に教えてくれる所があればうれしいなと思います。(女性、40～49歳)
- 市民 1 人 1 人の意思が市の方へ届いていないことが多い。法律があるといわれて、前に進めない事が多くて市の方に言っても職員の意見だけで市長さんに届かない事が多いような気がします。もっと私達の意見が市長さんに届くような方法に少しでも出来る様な沼田市になってくれれば良いと思います。(女性、70歳～)
- 精神障がい者に対する理解がないように感じられます。精神障がい者に対する理解を深めることが出来るよう、学校教育等でそういう機会を作っていただけたらと思います。また、精神障がい者の求人が少なく、働きにくいと感じています。もっと精神障がい者が能力を発揮出来る場所を作っていただけたら嬉しいです。作業所の環境をもっと良くしていただきたいです。インターネットを介した人権侵害は特に大きな問題だと感じています。相談、支援体制をもっと充実してほしいです。(女性、30～39歳)
- 犯罪だとわからず SNS で発信している物を見る事が多い。子供なのか大人なのか、そんな書き込みをしている相手もわからない。動画をすぐにネットに上げる、そういう行為が怖く感じる。学校などでも、もっと授業に入れる方がいいと思うし、チラシなどでこれは犯罪です。など出してほしいと思う。(女性、40～49歳)
- 大変難しいことですが、心のバリアフリーを心がけています。思いと実践は必ず同等とはなりません、日々の草の根運動的なものが、大きく人権を尊重することが出来ると信じ精進するのが個人として出来ることです。(女性、60～69歳)

## ○市民意識調査結果

- 小さい頃（小学生くらい？）同和問題のビデオを授業で見ました。その時は内容がよく理解できませんでしたが、記憶に残っていて大人になってからより詳しく知ることができました。今はLGBTQ等の人をもたくさん増えてきたように思います。子供ながらに周りに理解されず苦しんでいる子もいるかもしれません。そういった教育も早期に必要なのではないかと思います。それが、いじめなどの防止につながるのではないのでしょうか。（女性、40～49歳）
- 人権問題とは関係ありませんが、遊覧坂の冬場の融雪設備がいつになっても改修されないのが非常に危険なので、国交省に迅速に対処する様に要望します。（何年もそのままなので）（男性、60～69歳）
- 日本には古くからの伝統、文化があります。そして外国との交流、国際化がはかられています。多くの国と交流するにあたり、よりよいことを吸収して今後の日本の発展向上に役立ててほしいです。世界の機関がありますが、この機関の幹部を派遣出来るよう人材育成してほしいと思います。（男性、70歳～）
- 人権に関する知識や感覚、正しい理解というのは、幼いころからだんだんと身に付けていくもの（べきもの）だと思うので、義務教育の中で計画的定期的に学ぶことが出来たら良いと思います。またそれを学校現場に任せるだけでなく、行政や地域が協力、支援をすることで一緒になって学ぶ機会がもてると良いなと感じました。今のこども達が正しい人権感覚をもてることで、今後の幸せを実感できるまちづくりにつながっていくと良いなと思います。（男性、40～49歳）
- 教育、学校に予算を使ってください。（男性、50～59歳）
- 隣近所共にもっと声をかけあい助け合えばと思います。（女性、70歳～）
- 新型コロナ陽性者を特定し、その人や家族を避ける、非難するなど田舎ならではのご近所付き合い、人との距離が近いのが良い事でもあり、悪いことでもあると思うので、悪い方には使わないようにしたいです。（女性、40～49歳）
- 特にありません（女性、30～39歳）
- 特にありません（男性、70歳～）
- 特にありません（女性、40～49歳）
- 意識調査の項目をやってみて「人権」について自分の無関心、知識の低さを知りました。「人権」侵害についてよく分からないや、よく知らない人の方が圧倒的に多いかと思います。まさしく全ての人にとっての「人権」という意味で、もっと周知する方法と関心を寄せる方法の一考が必要だと思います。当事者でないとやはり他人事とってしまうので。（女性、50～59歳）
- 小さい時から人権について教育していくことの重要性を感じました。何気なくやっていること、言っていることが人権問題になるんだということを理解しておくことが身について成長していくと願っています。特に、いじめ問題について思います。（女性、60～69歳）
- 私は、沼田に住み続けて30年あまり経ちますが大変良い所だと感じています。美味しい野菜も果物もありますし、人も良い方が多く、私の近所とか職場とか、皆さん親切に教えてくれて、皆さん良い人ばかりだと思います。とても働きやすい場所だと感じています。（女性、50～59歳）
- 平和ボケと呼ばれる生活をしています。今回のアンケート調査で、改めて世の中の「人権」を考えるきっかけをいただきました。自分は何を見、何を考え行動が出来るかを考えていきたいと思いました。役立つ事でなくてすみません。（女性、70歳～）



- 差別やいじめのない沼田市民の方々が、しあわせな生活ができますよう願っております。(女性、70歳～)
- 私は中国人です。日本の人権問題について、日本語理解が通じない。これから日本語をちゃんと勉強します。(男性、40～49歳)
- 「あいさつ」大切だと思います。(男性、50～59歳)
- 健康で長生き(女性、60～69歳)
- 人権の前に、近年、個人個人が社会モラルを守らない勝手な人間が根本的に増えている。そこから教育、道徳など改善すべきではないでしょうか！(男性、40～49歳)
- 現代は多様性の世の中であり、同じ地域に住む人々はともに人権が守られるべきであると思う。沼田市がそんな優しい街であって欲しいと願います。私自身も意識を高めていきたいと思いません。(男性、50～59歳)
- スポーツ施設が多数建設されたが、豊かな暮らし、しあわせを実感できる人がどれだけいるか疑問を感じる。(男性、60～69歳)
- 毎年、新聞沙汰になっているような市は、信用ならない。市民思いの市とは思えない!!透明性のある、無駄に金を使わない市を望む。(特定な会社が台頭するようではダメ!!) 移住手当もない!(中年以降のものは特に)。そもそもこんなアンケートはしてもムダだ!!(男性、60～69歳)
- 私は現在大学生で、格差や差別などの人権について考える授業があり、理解が深まっていたと思っていました。しかし、今回の質問に回答してみて、まだまだ知らない人権があったので、もっと人権について知る必要があると気づかされました。また、日頃から人権について知りたくて調べる人はあまりいないと思うので、市や県で取り組まれている人権に対する対策などをもっと発信していくべきだと思います。(女性、18～19歳)
- 意識調査ご苦労さまです。人権について考える良い機会となりました。コロナ禍で人権問題が浮き彫りになるケースもあると思います。コロナ鬱、コロナ離婚など耳にします。まだまだ家庭での女性の負担は大きいと感じます。また、コロナワクチンに対して意見の違いからお互いを否定してしまう、避難してしまう話も聞きます。自分とは違う考えの相手に対して認め合うことも必要なことだと感じます。それが人権を尊重していく事につながると思います。自分自身も周りの人たちの人権を尊重しているか見直したいと思いました。「こころ豊かに暮らし、しあわせを実感出来るまち沼田を目指して」これからできることも考えてみたいと思います。(女性、40～49歳)
- 紙媒体ではなく、メールなどでアンケート実施する方が良いと思う。(男性、20～29歳)
- 女性の社会進出(子育てを終えた女性の職場復帰の支援)(女性、40～49歳)
- ※講演会、教育啓発活動を支援していくこと、私も知らなすぎることも多し、と反省している。※文化活動(映画、公民館での生涯学習、討論会、国際交流、他)をもっと活発にしてゆくこと。市民の質も高上していくのではないかと? ※木々の保存、美しい木々を守り育てる(市内の)は大切。簡単に木を切ってしまう感性(文化会館のイチョウの木)は心豊かな心情とはほど遠い。(男性、70歳～)
- 年配者の社会参加(男性、60～69歳)

## ○市民意識調査結果

- ネットでの情報や、人のウワサ話など、“その人”を判断（適切な言葉ではないですが、、、）する情報をアテ（？）にしないで、“その人”が私にとって、どう接してくれているか、あくまでも、“その人”対“私”、、、その人の考えなども含めて、自分で判断していきたいです。“目の前にいる人を笑顔にする”ような言葉かけを心がけています。例えば、、、スーパーのレジの新人さんに“頑張ってくださいね”とか、職場で、髪の毛を切った同僚に“その髪型、似合ってますね”とか、、、、、そういう気持ちでまわりの人に接していきたいです。（女性、50～59歳）
- （コロナの影響）私は、コロナで職を失さない、日々不安な毎日を送って、おります。そこで、スキルUPを目指し ハローワークに通い、職業訓練で再就職を目指しておりますが、その訓練学校の入校選考テストが有り そこで何度か落とされるという実態が発生しており、そのつど大変心を痛めております その募集人数に対して、ほぼ毎日2倍、3倍という、人数に達してしまい、募集人数の枠から外れてしまうのです 何度かチャレンジすれば、その内に入学する、チャンスは、やってくるかも、しれませんが、そんなに、心は強くありません いったいどうすれば、打破できるのか、迷っております。この制度の見直しをしてほしい。又新たなセーフティネットを画一化してほしい。（男性、50～59歳）
- いろいろな集いに積極的に参加してふれあうようにする。そして相手を思いやる気持ち 1つ1つが大切な事だと思います。今迄こんなに人権について考えたことなくすぎてきていました。このような回答でいいのでしょうか。（女性、70歳～）
- 沼田城を再建して、町を活性可して、豊かになりましょう！！（男性、30～39歳）
- 沼田市が、基本的人権が尊重される社会の実現を目指され、アンケートを実施され、改めて回答していく中で、自分自身、耳にしたことがない制度があることに気がきました。日頃から、意識して、生活していかなければならないと感じました。（女性、40～49歳）
- ①病院等の、充分な しせつ作り ②個人の内臓の悪化をなくす事 ③老人のしせつ ボランティア等 ④各村等のせいび 交通便利等 ⑤老人のごらくせつび等（男性、70歳～）
- アンケートを読んで頭の中が混乱中！！（女性、60～69歳）
- 意試調査に参加し、スローガンは理解しました。今後の市の取り組みで市の広報、ホームページ、チラシ、街頭啓発、講演会、研修会が効果的と考えているようですが、今は情報は広く社会にひろまっています。上記の取り組みを行ったとして市民何人が眼にとめさらに理解を深めると思っていますか ここ10年、20年を振り返っても、沼田市街での日常生活で人権に反しているような場面をみたことがありません。問題があるのなら少人数のこととはいえ、大切だと思いますが、弱い立場だからと言って囲いこみ手厚い保護のため高く立派な壁を作り 市民と隔離しているようにしか見えません。一般市民に理解し協力してくれと言われても この沼田で実際に何が起きているかもわからず見たこともない、どこか遠くの国の出来ごとしか思えないのが事実です。沼田で深刻な問題ならそれを教えてほしいです。沼田は大自然にめぐまれています。人権教育と言うなら、皆さんがわけへだたりなく日常生活の中、（公園、祭り、花見、ボランティア、くだものがり）山、里、川を通して自然と生活したり遊んだりする中でお互いに思いやりも生まれるのだと思います。市民部、市民協働課の皆さんはプロの集りと聞いています。今までの取り組みを基盤にし、人権を守り、取り組むことができれば全国の先駆けとなることと思います。1/10（女性、70歳～）

- 高齢の為、アナログ人間なので情報が仲々自分に伝わる事が少なく もう少し少数派の人の事も考えて欲しい面も多少感じています。配布物も、方法を少し考えてもらえたら嬉しいかな？  
(女性、70歳～)
- ・少子化なので、子供が増えるよう支援してほしい。 ・子持ちの女性が働きやすく、生活しやすくしてほしい。(女性、30～39歳)
- 生まれてきた以上、人生には常に理不尽がつきまとう物です。そう思って諦めるしかないと思います。学生の間は、いじめ、成人すれば社会、会社でのセクハラ、モラハラ それが常です。嫌ならやめればいいで終わりです。ある程度の年齢になれば、やめたくとも、次の仕事が年令のせいでみつからないから我慢するしかない。大手ならまだしも、中小企業なら表にも出てきません。だまって我慢して給料をもらうか、表沙汰にして、無職になるかの選択しかないのです。(女性、40～49歳)
- コロナが流行して人と交流がなくなりさみしく思います。なんとかならないのでしょうか？早く治まって、皆と楽しくランチ、お茶、おしゃべりが出来たらなあ～(女性、70歳～)
- 差別のない社会にする為には教育が大事ではないでしょうか。人を大切にする心を育てなければならぬと思います。(女性、60～69歳)
- 沼田市の職員の方々は皆様とても親切で優しいです。街も発展し美しい景色になり特別支援学校もバリアフリーになり高等部も出来て職業の選択枠も増えて障害をもつ私達や子どもの未来も相談できる場所も充実しています。沼田市民全員が身体障害者、知的障害者、精神障害者を理解してもらうのはむずかしいと思いますが、理解によって彼らが働きやすい、生活しやすい社会になってくれたら幸いです。見た目は違うかもしれないけど同じ人間なので応援して頂ける企業や会社が増え、沼田市民全員が笑って暮せる社会になってくれたら嬉しいです。今後も市の職員の方々のお健康とご多幸をお祈りしております！これからも明るく暖かい社会を応援しております。(女性、40～49歳)
- ・1人1人がやっていいことといけないことの区別をつけるべきだと思う。 ・LGBTQの人がもっと自分を隠さず、オープンにしていけるかんきょう作りを徹底していくべきだと思う。  
(女性、18～19歳)
- 今回送られてきたアンケートによって、日常的にニュースなどで見聞きする人権問題について、自分自身がよく考えてみる時間になりました。家庭内でも男だから、女だから、子供だから、という固定的な考え方がどうしてもあります。無意識な思い込みや偏見は言っている側はあまり気付かず、相手を傷つけてしまいます。そんな日頃の何気ない対話も、次の世代の子供達に影響が大きいと反省します。多様な時代の中で、基本に戻り、相手の立場や気持ちを理解し、相手を尊重する意識を持つように、家庭内から変わらなければと思います。(無回答、50～59歳)
- 人権とは関係ないのですが、給食センターが移転してから味が変わってしまったようで、子供が幸せを実感できていないようです。(他の家庭のお母さん達の意見でもあります。)(女性、40～49歳)
- 乳児、幼児、児童が安心して成長していける態勢。(急病等の受け入れる機関があると親が安心して働けるのでは) 一人暮らしの老人の支援。申請すれば受けられる補助などの説明。誰でも相談しやすい環境づくり。特定の電話番号ではなく、市役所-窓口だと番号忘れなどなく良いのでは。広報などちゃんと読んでいないので、すみません。(女性、60～69歳)

## ○市民意識調査結果

- 人権について理解していても、ある程度の距離をとってしまい、踏み込まないようにしてきた。  
「こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち沼田を目指して」と言われたら他人ごとではなく、一歩踏み込んで、自分なりにもっと人権のことについて、知る事が大事だと思った。  
(女性、60～69歳)
- 高齢者に対しての賃貸住宅の支援が少ないと思います。家賃が他の市町村より高すぎると思う。  
(女性、60～69歳)
- このアンケートで何か変わりますか？良い方向に変化があることを願っています。(無回答、無回答)
- 家庭での教育が大事であると思う。命が一番大事である。自分の命と他人の命は同じ大切さであることを教える。次に認め合うこと。どの人もかけがえのない存在である事をわからせる。他の人と比べてはいけない。世の中にはいろんな人がいて、いろんな考えを持っていて、身体的特徴も違って・・・それを自分の価値観で優劣をつけてはいけない。人をバカにしたり、見下したりする人はどこにでもいる。自分はそこに加担しない強さと、逆に自分がその被害を受けた時、気にしない心の強さを持てるように、愛情をもって育てれば、少なくとも他人も自分も大事にすると思う。(女性、無回答)
- 人権とは少し違っていますが、群馬出身ではなく、2年前に仕事の関係で沼田に住み始めたのですが、横断歩道のない信号を小学生が渡る時、気づいて車を止めて渡らせてあげた時、渡り終えた後にも振り返り、止まってくれた車にお辞儀をしてくれるのを見て(体験して)すごく感動しました。渡りながらお辞儀で終わるのが普通だと思っていたので、その振り返ってまたしっかりとお辞儀をするという+1の動作があるのとないのだと全然された側の気持ちが違うし、学校や地域でそうするように教わっているのだと思い、すごくいい街だと思いました。人の気持ちを動かしてくれるのも人だし、そういう人のやさしさや思いやりが繋がっていくのかなと思えたので、人権問題も、人と人のふれ合いで、特に子供達に良い教育ができれば少しずつ世の中も変わっていくかなと思いました。(女性、20～29歳)
- 他県から来た人をなかなか受け入れてもらえない。私自身も沼田に嫁いだ時は、なかなか受け入れてもらえず、自分からも友達を積極的に作ろうとしなかった。他県から来た人に、今でも聞きます。土地柄のせいかなと思います？今では沼田人になれたと思っていますが、思えるまで何十年もかかりました。今では廻りの人にも恵まれ沼田が大好きです。(女性、70歳～)
- 50歳を過ぎ老後の生活の不安はあります。年金貯蓄に関係なく、誰もが安心して穏やかな生活が送れるような制度があればよいかと思います。どんなに頑張っても生活の苦しい人もいます。誰でも安心した老後が送れる沼田市であってほしいと思います。(女性、50～59歳)

---

---

沼田市  
人権に関する市民意識調査報告書

令和4年2月

沼田市 市民部 市民協働課 市民相談係  
〒378-8501 群馬県沼田市下之町 888 番地  
TEL : 0278-23-2111 (内線3056)

---

---